昭和24年3月19日　第3種郵便物認可　昭和37年8月20日印刷　昭和37年8月25日発行　第43巻8号（通巻511号）1回25日発行

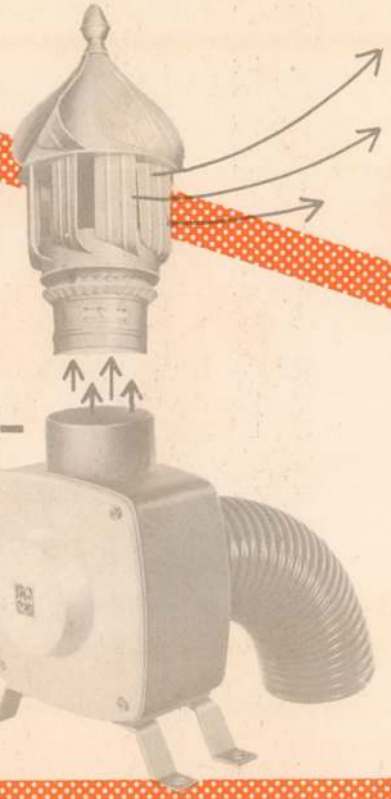
建築と社会

8

1962

阪神高速道路と都市の開発

日本建築協会



いやなニオイが
サッと消える！

コーナーベンター

ナショナル

松下電器

トイレや暗室にぜひお取付け下さい。悪臭が消え通気もよくなるので、いつも涼しくさわやかです

トイレ・暗室専用換気扇
（コーナーベンター）
12センチC2正価 六、八〇〇円

換D1718イ昭

鉄路を護る保線手と建物を護る防水工事

何れも目立たぬ蔭の存在ですが絶えず何千万の人命を、又総ゆる建物の寿命を黙々と護つて、大切な役割を果して居ります。

TRADE MARK

DOG

メンブレン式防水

の補強材料は35年の経歴と信用を誇る

ドッグ印で!!

製品種目

ドッグ印 アスファルト ルーフイング
アスファルト フエルト
石綿ルーフイング
石綿フエルト
砂付ルーフイング
メルタイト ルーフイング
キンマレアタイト
ヘッシヤン ファブリック
コットン ファブリック
白麻ファブリック
ゲオンタイト

株式会社
工英社

本社・工場 大阪市西成区橘通9丁目24番地
電話 ㊊代表 8861 ㊊ 7381

設計施工

■家具・室内装飾
■造作
■船室内装
■其の他



DAIMARU
SHITUNAI
SŌKŌBU
OSAKA·TOKYO·NAGOYA

●生きた
デザイン
すぐれた
クラフト

すまいをカラー設計する美しい床材

●程よい弾力性
●美しい色彩
●工事が簡単
●価格が手頃

ビニラート VINYLART タイル

各種製品　リノリューム・リノタイル・Nタイル・スポンジシート

TOYO LINOLEUM MFG CO.,LTD.

美しい床材をつくって40年

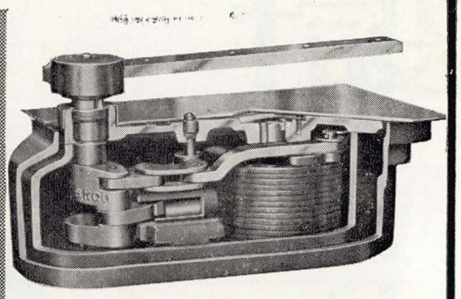
東洋リノリューム株式会社

大　阪・大阪市南区順慶町通り4丁目（三和ビル）TEL 271－5051（代）
東　京・東京都中央区銀座4丁目（三和ビル）TEL 561－1701. 2564

S.K

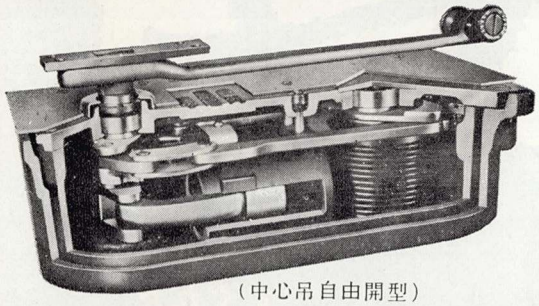
近代人の感覚にマッチする

ユートピア印



（片開持出吊り型）

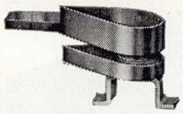
フロアーヒンヂ　ピボットヒンヂ



（中心吊自由開型）



上枠・上扉



下枠・下扉

（ピボット・ヒンヂ持出し吊り型）

（カタログ御入用の節は御申込下さい）

製造元

敷島金物株式会社

大阪府布施市横沼町1の46　電話布施　(721) 7713～4

東京都千代田区神田三崎町2の26　電話東京 (332)5310 (301)0403

あなたの会社の合理化は

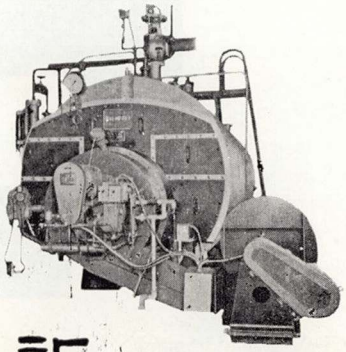
平川～MPボイラで

製品のコストダウン　直ちにOK！

あなたの工場での蒸気単価はいくらですか？

MPボイラでは560円/TONを保証致します。

MPボイラ 500型 スーパー



株式会社 平川鐵工所

本社・工場	大阪市大淀区大仁西2の1	TEL (458) 3631～5
東京営業所	東京都中央区八重洲6の7	TEL (272) 2721(代)
九州出張所	小倉市富野545	TEL (52) 4862
滋賀工場	滋賀県野洲郡野洲町三上	TEL 野洲局405

● あなたの忠実な…

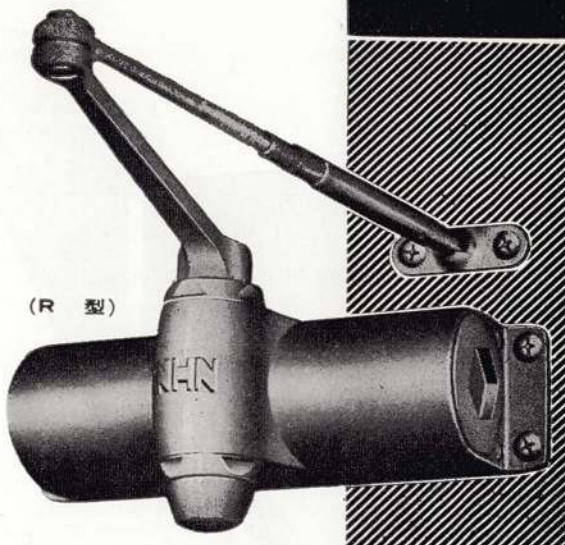
ドアーボーイ！

NHN

＊紫綬褒章に輝く＊

日・米・英・独，各国特許

ニッカナ ドアーチエック



日本金具製作所

製造元 ダイハツ工業株式會社

型状優美
故障絶無

アルミパールタイル
ヤハズラス

木毛セメント板
カラーベストス

新 ボード 建 スロール 材

ビニール加工板
メラミン加工板

ビニ床タイル
プリント合板

四ツ橋 ウモト

生きる近代建築に
魂ある文化材

30メーカー代理店

モデルハウスと展示

すまいの用材店

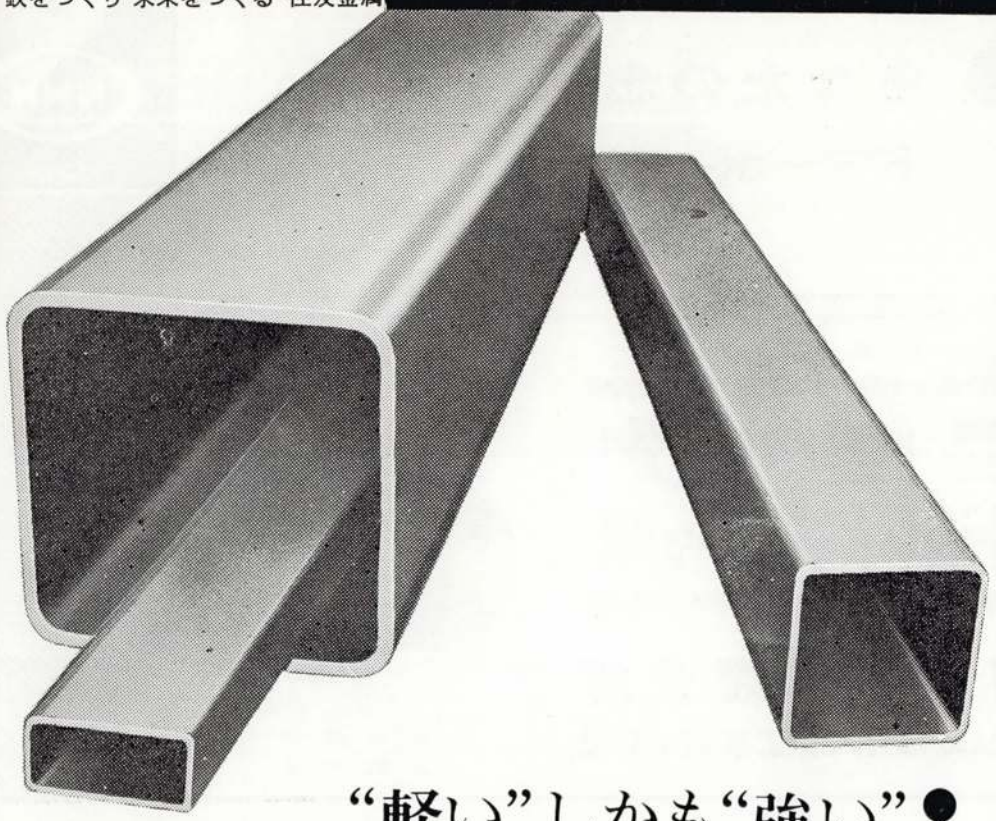
西区立花通2電(531)2843

大阪・四ツ橋

株式会社 山本建材

TEL (541) 1861～5・2131・2233・7060・7161

"鉄をつくり 未来をつくる"住友金属



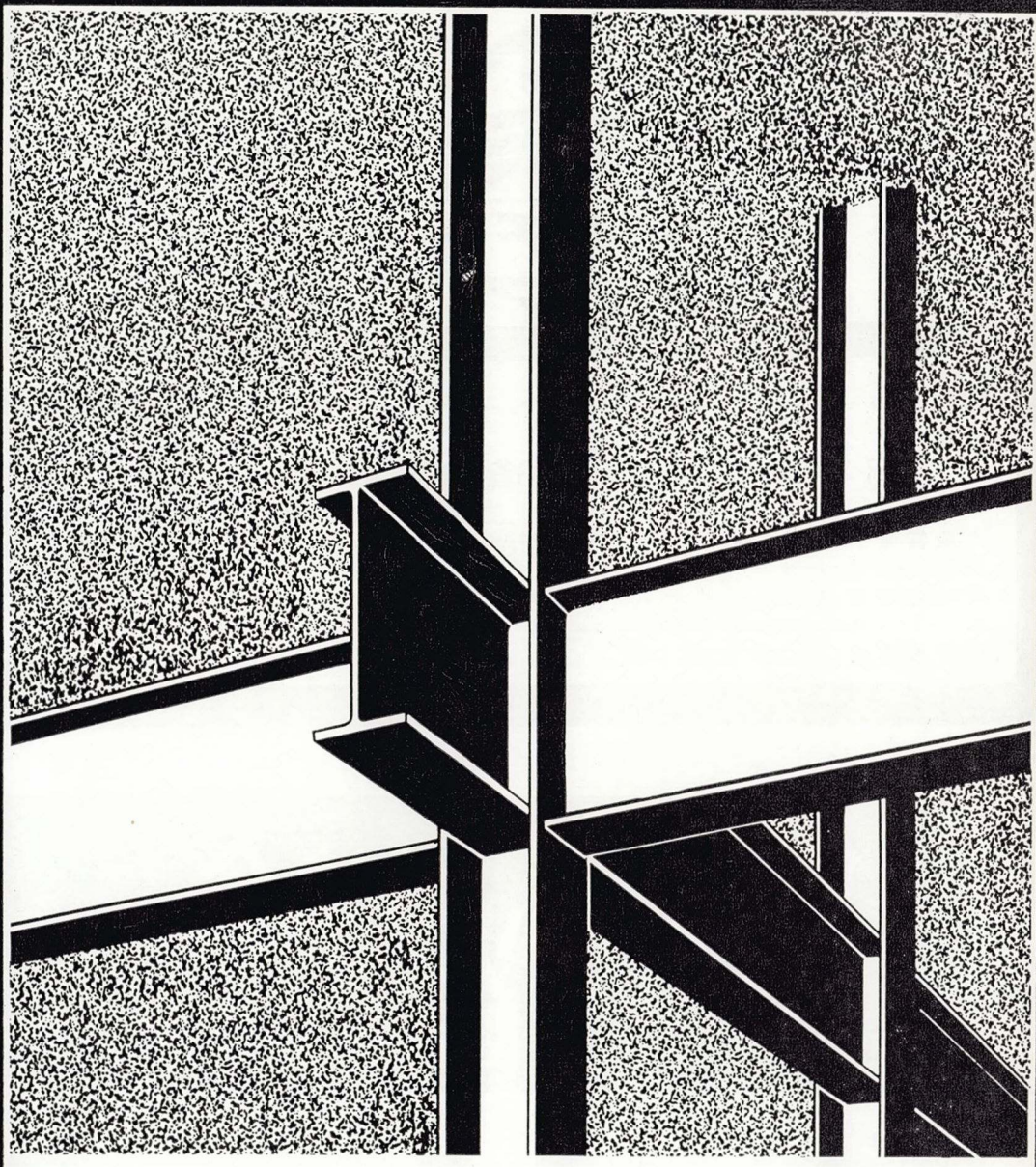
"軽い"しかも"強い"!
さすが住友製と好評

産業活動の大動脈——鋼管。
その鋼管と四つに組んで半世紀！
"鋼管なら住友"と欧米を初め世界各国で折り紙つき！　その住友が総力を結集してつくりあげた角形鋼管。
"強い"鉄鋼は"重い"という常識を破って"軽く"しかも驚異的な"強さ"！
ビルや学校など不燃建築物の柱材および部材などにスバラシイ人気です。

住友の角形鋼管

住友金属工業

本　社／大阪市東区北浜５の１５（新住友ビル）
支　社／東京都千代田区丸の内１の８（新住友ビル）
営業所／福 岡・広 島・名 古 屋・仙 台・札 幌



これがH形鋼の魅力です

●八幡のH形鋼は、能率的なH形の断面を生かして、信頼性の高い構造物を経済的に建設いたします。

●構造用H形鋼、基礎杭用H形鋼の2種類があり、用途に最適の製品をご使用いただけます。

八幡製鐵

あなたの働きを楽しく　暮らしを豊かに　夢を育てる……鉄

NS
アルミサッシ
NSスチールサッシ
NSエア・フイルタ

日本スピンドル製造株式会社
金属成型事業部

大阪営業所	大阪市東区備後町(綿業会館内)	電大阪(231) 8088・7958
茨木第一工場	大阪府茨木市太田新田60	電茨木(07262) 4741(代)
茨木第二工場	大阪府茨木市太田上野	電茨木(07262)5065・5066
本社	兵庫県尼崎市潮江(国鉄尼崎駅北)	電大阪(401) 5551(代)
東京事務所	東京都千代田区(丸ビル403号)	電東京(201) 0875・3605

社団法人
日本サッシ協会
関西支部賛助会員

スチールシャッター
小俣製作所大阪支店
三和シャッター株式会社
鈴木シャッター製作所
日本シャッタア商会
本田工業株式会社

錠前
昭和金属工業株式会社
谷山製作所

サッシ・ドアー附属その他建築金物
石倉金属株式会社
大阪建築金物製造(株)
協同金属工業株式会社
近松金物株式会社
株式会社熊本商店
渋谷金属産業株式会社
日本ドアーチェック製造(株)
平安伸銅工業株式会社
増田産業株式会社
株式会社満点製作所

サッシバー
加納鉄鋼株式会社大阪支店
東都実業株式会社大阪出張所
東鋼商事株式会社大阪営業所
西村金属株式会社大阪出張所

サッシ・ドアー製造用諸機械
関西鉄工所

パーカー
日本パーカライジング
株式会社大阪出張所

(五十音順)



驚異的低価格

性能も乗心地もトップレベル
中高層建築に最も理想的な

規格型乗客用昇降機

パブリベータ

定　　員　6人用・8人用
運転条件　交流可変速度45 m／min
操作方式　セレクチブ、コレクチブ
　　（運転手なし乗合全自動式）
位置表示　フラッシュライト式
扉　　乗場、カゴ共1枚片引自動扉
　　（セフティーエッヂ付）
乗場寸法　760㎜×2050㎜

◆クマリフトP－6の機構、制御方式等に画期的な設計を採り入れ面目一新しました。
此の機会に呼称をパブリベータと改めました。

規格化と量産
然も総てに画期的な

特許 クマリフト ジュニアー

J－30
食堂・喫茶店向
三相・単相　100V／200V½HP
積載量　25kg　毎分速度　20m
カゴ鋼製　有効500×500×600㎜
押釦式全自動運転・各階上下引分扉付
出入口　三方向自由
全機構が壁付のため通路工事簡易

特許 クマリフト マスター



M－50
食堂・旅館向
三相交流　200 V½HP
積載量　50kg　毎分速度　30m
カゴ鋼製　有効 600×600×750㎜
押釦式全自動運転・各階上下引分扉付　出入口三方向自由

M－100
料理店・ホテル・学校給食・商店・工場向
三相交流　200V 1HP
積載量　100kg　毎分速度30m
カゴ鋼製　有効750×750×900㎜
押釦式全自動運転・各階上下引分扉付　出入口三方向自由

M－200
三相交流　200V　2HP
積載量　200kg　毎分速度　30m
カゴ鋼製　900×900×1050㎜
押釦式全自動運転・各階扉付

M－300
三相交流　200V　3HP
積載量　300kg　毎分速度　30m
カゴ鋼製　1,000×1,000×1,200㎜
押釦式全自動運転・各階扉付

クマガイ　日本エレベータ協会々員

クマガイ工業株式会社

大阪市西区京町堀二丁目三十番地
電話 441－4748・0209・7788　381－0822・2686・4527

東京支店　東京都北区岸町1－9　TEL東京（911）4253・（919）3062
名古屋支店　名古屋市中区東陽町7－2　TEL　名古屋（24）0372
京都営業所　京都市中京区二条通西洞院西入　TEL　京都（23）3560

アスファルト防水は年限保證する
日本アスファルト防水工業会の仕様による
経験と技術の工業会員へ

日本アスファルト防水工業会員名簿　（イロハ順）

地区別	会社名	住所	電話
北海道地区	日本スレートKK	札幌市北三条東4－1	②3458・4426
東北地区	大和工業KK 仙台出張所	仙台市二日町1－2	③7790・②0335
関東地区	井上瀝青工業KK	東京都中央区銀座東2－13	(541)1974-5
	伊藤建材KK	東京都台東区浅草田島町77	(871)5311(841)5729
	北条瀝青工業KK	東京都中央区湊町3－7	(551)2676・4382
	YK金岡興業	東京都新宿区柏木5－1172	(361)5947・(371)1337
	高山工業KK	東京都千代田区神田小川町1－8	(251)0161-3・1301-2
	瀝青建材KK	東京都中央区銀座東3－11	(541)6945・7834
	桑原建材KK	東京都文京区新諏訪町6	(921)0448・0647
	大和工業KK	東京都荒川区南千住6－42	(891)1144-6・7155-7
	マサル瀝青工業KK	東京都台東区新坂本町61	(841)8501・(871)2851
	藤井工業KK	東京都文京区林町94	(941)0271・2582
	KK三柏商会	東京都千代田区神田同朋町3	(251)8867・7517
	KK金港商店	横浜市西区高島町1－1	㊹7846・8476-7
東海地区	中央建材工業KK	名古屋市中区南久屋町3－12	㉔0496・2066・8700
	日本建材興業KK	名古屋市西区南押切町5－12	㊺6860・2574・0415
近畿地区	日新工材KK	大阪市西区新町北通1－17	㊱3785-6・2721
	マルエス工業KK	大阪市福島区上福島南1－152	㊺2360・2030
	KK新光商店	大阪市南区塩町通2－13	㊸7195-7・4467
	高山工業KK 大阪営業所	大阪市北区老松町2－19	㊱5976-8
	清水興業KK	大阪市北区鶴野町34	㊲0251-3
中国地区	豊永建材KK	広島市南竹屋町103	④3567
	東中國防水工業YK	岡山市磨屋町22	③2211・6302
四国地区	大三工業KK	高松市内磨屋町7	②8697
	KK山本商会	松山市萱町2－95	②2717・8422
九州地区	日新興業KK	延岡市本小路74	4305
	大同工業KK	宮崎市橘通6－82	8155-6
	KK工材社	門司市大里東通10丁目	㊽1468-9
	安藤工事KK	福岡市大浜1丁目新町95	②6968・③5765
	KK北原建材商会	鹿児島市上之園町62	④0001-2

日本アスファルト防水工業会関西事務所

大阪市西区新町北通1-18　日新工業KK大阪営業所　㊱ 5281-3



あなたに
能率の良い空間を!!

準不燃材料　サンドウィッチパネル(F.B+木毛板)

ネオユニオンボード

吸音板 アコニオン

木毛板 ポーライト

断熱板 カルトン

旭化工板製造株式会社

本社営業所　大阪市北区茶屋町三八
TEL 大阪 四 代表 六五五五～七

東京営業所　東京都千代田区神田須田町一丁目五番地(東洋ビル)
TEL 東京(二)四八(直通) 六六九一～二

工場　尼崎・鈴鹿

完全な防水に…

レオパールBA

- 永久に老化しない
- 伸びる（伸長率 500%）
- −30°C～+70°Cの範囲で完全に使用し得る
- 酸、アルカリに強い

ドイツと技術提携により国産化完成
製造元　タキロン化学株式会社

防水の
コンサルタント

各種防水の設計から施工まで

日本綜合防水株式会社

取締役社長　山崎慎二

本　社　東京都千代田区神田猿楽町1の9(大平舎ビル2階)
電話(201)7691(代表)

大阪営業所　大阪市東区道修町1－4(橋井ビル)
電話(202)6884

工事々務所　東京都板橋区板橋町6の3356　電話(961)9089

地盤の注入に…　(薬液注入工法)

特許 ケ・ミイ・ゼクト工法

- 地盤の固結と沈下防止
- 地下水の遮断阻止と漏湧防止
- 隧道地下室、貯水池ダム等の漏湧水防止

建設大臣登録
(ト)4082



出入口をまもる！

鉄の鎧に身を固め門を見張ったのは昔の話、今は**三和シヤッター**が出入口をガッチリとまもります。盗難、火災、天災には心配はもういりません。
堅牢、あけしめが簡単で、しかも美しく、近代感覚のあふれる**三和シヤッター**を御使用ください。

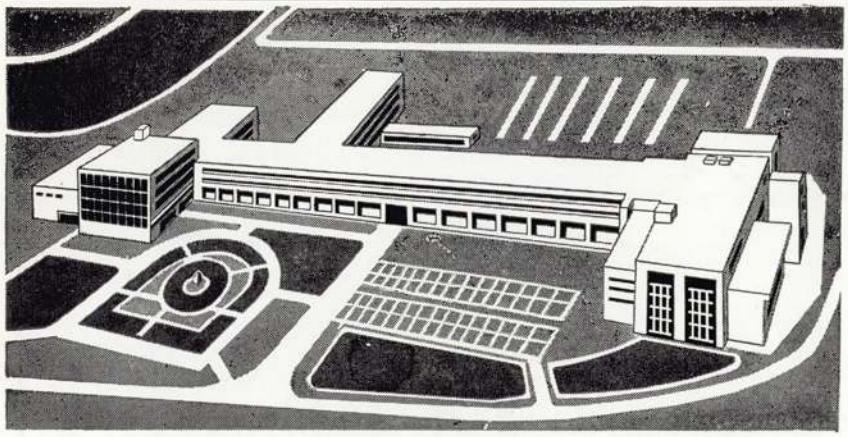
三和シヤッター

甲種・乙種防火シヤッター
電動式・手動式・スプリング式
其他のシヤッター全般

三和シャッター株式会社

本店 尼崎市久々知字コエ23 電代表(401)5341

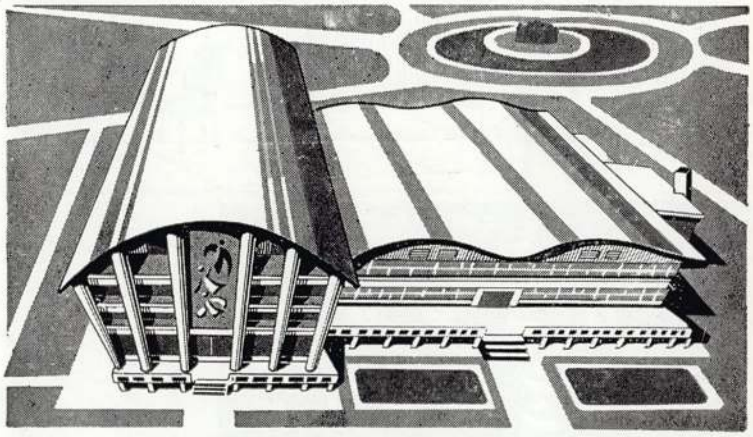
札幌支店	札幌市琴似町琴似522電	(4)4161～3	大阪支店	尼崎市久々知字コエ23 電代表	(401)5341
旭川営業所	電 5097		大阪南営業所	電 (671)5412	大阪北営業所 電 (351)2300
東北支店	仙台市土樋112電	(3)3296・9618	神戸営業所	電 (22)0189	京都営業所 電 (22)0900
青森営業所	電 (2)7102	盛岡営業所 電 (2)7407	金沢営業所	電 (6)5481	彦根営業所 電 2053
秋田営業所	電 2783	郡山営業所 電 1766	高松営業所	電 (3)4290	高知営業所 電 (2)1576
新潟営業所	電 (4)1443	平駐在所 電 3303	徳島出張所	電 (2)0659	広島営業所 電 (4)3756
東京支店	東京都板橋区新河岸町38 電代表	(933)7156	岡山営業所	電 (3)9049	
新宿営業所	電 (341)2478・9678	神田営業所 電(251)6278(291)3841～4			
品川営業所	電 (441)1300	横浜営業所 電 (2)7278	九州支店	福岡市渡辺通5丁目92電	(75)5181・6901
高崎営業所	電 2166	宇都宮営業所 電 7722	小倉営業所	電 (5)3201	熊本営業所 電 (2)0893
甲府営業所	電 2442・6292	水戸営業所 電 8635	宮崎営業所	電 2314	鹿児島営業所 電 (2)6762
名古屋支店	名古屋市東区主税町3－6電	(94)2846			
静岡営業所	電 (3)2846(2)6931	長野営業所 電 (2)5292			



軽量、緩勾配屋根に
軽快な近代建築材

日泝スーパーアルソイド
日泝ゴールデンルーフイング

伸縮目地材　エキスパンタイト
　　セロタイト
コーギング材　シールセメント



日泝化学工業株式会社

本　　社　東京都中央区八重洲1—3
　　TEL（271）7000・5463～5
営業所及東京工場　東京都荒川区尾久町6—101
　　TEL（807）代表 0161～5

大阪営業所及大阪工場
大阪市東淀川区堀上通り3—39
TEL（391）0924～5・2045・2079

'62
新形洗面器のトリオ



L 1305
意匠登録
第214821号

ジュピター
タナ、ソデ付洗面器
陶器、金具セット
1級　¥ 15,400
並級　¥ 13,900



L 1223
意匠登録
第214819号

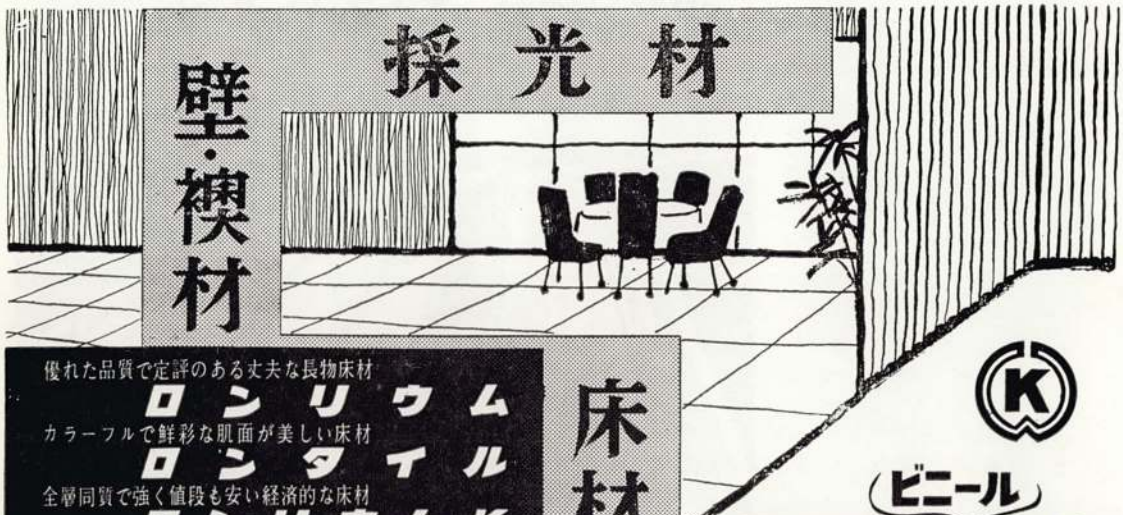
ヴィナス
前丸洗面器
陶器、金具セット
1級　¥ 15,000
並級　¥ 13,560



L 1306

アポロ
タナ付洗面器
陶器、金具セット
1級　¥ 14,200
並級　¥ 12,700

Toyotoki
東洋陶器株式会社
本社／小倉　工場／小倉、茅ヶ崎、滋賀
大阪営業所／大阪市東区高麗橋 Tel (231)4518～9
1424



採光材
壁・襖材
床材

優れた品質で定評のある丈夫な長物床材
ロンリウム
カラーフルで鮮彩な肌面が美しい床材
ロンタイル
全層同質で強く値段も安い経済的な床材
ロンリウムK
ロンタイルK
軽く強く美しい採光用の屋根・間仕切材
ロンガラス
ロンプレート
ニューロンプレート
壁下に貼れ水拭き出来る優雅な壁・襖材
ロンフィックス

ビニール
川口ゴムの建材!

川口ゴム工業株式会社
本社　東京都葛飾区本田四ッ木町54　電話 東京(697)6141(代表)
東京営業所　東京都千代田区神田松永町13（川口ビル）　電話 東京(291)4941～4946
大阪営業所　大阪市南区北炭屋町33　電話 大阪(271)4358～9

会員の受賞

本年7月の国土建設週間に際し，下記会員諸氏は，建設界における多年の功労によってそれぞれ建設大臣の表彰をうけられました。ここに誌してそのご栄誉をお慶び申し上げます。

記

秋田喜代治氏（秋田建築事務所代表取締役）
稲垣皎三氏（大林組専務取締役）
内田成之氏（須賀工業常務取締役）
蛯原逸雄氏（西松建設取締役関西支店長）
小河吉之助氏（小河建築設計事務所代表取締役）
熊田繁蔵氏（熊田工務店代表取締役）
菅谷知己氏（大阪電気暖房商会副社長）
中村亀太郎氏（中村組社長）
浜田豊太郎氏（山田組社長）
三国利道氏（安井建築設計事務所代表取締役）

運営審議会の設置と会勢審議会の廃止

従来会勢審議会を設けて主として会員の増加，会勢の発展に重点をおいて会の事業につき審議をおこなってまいりましたが，さらに建築界の進展に適応した発展的運営を図るため，会のあらゆる面の現状を調査分析し，各種事業や会運営の根本方針などについて再検討をおこなうよう新たに運営審議会を設置することにいたしました。従って従来の会勢審議会はこれを発展的解消することになりましたので，併せて会告申し上げます。

追って運営審議会委員につぎのとおり委嘱申し上げましたので報告申します。

記

1. 理事会

副会長　塚本猛次君
理事　足立孝君（技術部門）
〃　鴻池藤一君（総合部門）
〃　佐藤太君（電気部門）
〃　須賀豊治郎君（管工部門）
〃　村石秋吉君（建材部門）
〃　池田総一郎君（京都支部）
〃　鳥田家弘君（兵庫支部）

1. 常設委員会委員長

事業委員長　岩崎甚太郎君
編集委員長　恒岡俊行君
教育委員長　中原茂君
出版委員長　高橋慶夫君
住宅委員長　海上静一君
法規委員長　未定
災害委員長　未定
建材委員長　未定

1. 一般会員

技術部門　栗原嘉一郎君（大阪市立大学）
〃　乾亮三君（今宮工業高校）
〃　三品哲夫君（大阪市建築局）
〃　塚本喜八郎君（住宅公団）
〃　福田朝生君（竹腰建築事務所）
〃　山本純孝君（安井建築事務所）
総合部門　山本茂君（大日本土木K.K.）
〃　力武利夫君（清水建設K.K.）
電気部門　白庄司秀三君（近畿電気工事K.K.）
管工部門　本田知之君（大阪暖房商会）
建材部門　安田金吾君（東洋リノリユームK.K.）

創立45年記念事業資金受領報告 (No.6)

その後創立45年記念事業資金として下記受領いたしました。ここに報告申し上げてご後援のほど厚くお礼申し上げます。

記

¥ 1,000	西島　勇　殿
¥ 500	三友慧一　殿
¥ 500	松井昭光　殿
累　計	¥ 5,886,000

法規委員追加委嘱

法規委員会委員につぎのとおり追加委嘱申し上げましたので報告申します。

記

山本康雄　君　(大阪府建築部指導課長)

今井兼宣　君　(近畿電通局建築部第二設計係長)

H形鋼デザイン・マニュアル講習会開催

1. 日　時　8月17日（金）9時半——4時半
1. 会　場　毎日ホール（大阪市北区堂島中町）（冷房設備）
1. 講師ならびに映画
   1. H形鋼について　京都大学教授　棚橋　諒氏
   2. 鉄骨構造について　神戸大学助教授　山田　稔氏
   3. 鉄骨鉄筋コンクリート構造について　京都大学助教授　若林　実氏
   4. スライド「H形鋼使用実例」
   5. 映　画　「Hパイル」
1. 主　催　大阪府建築士会　本会
1. 後　援　日本建築学会近畿支部
   日本建築家協会関西支部
1. 協　賛　八幡製鉄株式会社
1. 資料その他　「H形鋼デザイン・マニュアル」「H形鋼カタログ」
   その他無料配付。なお簡単な中食を準備。

創立45年記念事業資金
受領報告

法規委員追加委嘱

H型鋼デザイン・マニュアル
説　明　会

特殊建築物の定期報告

特殊建築物の定期報告については建築基準法12条および大阪府建築基準法施行細則第11条の規定にもとづいて，昨年7月，大阪府告示第556条をもって定期報告の時期および報告事項がきめられております。詳細については，大阪府建政課へ問合せて下さい。

創立45年記念事業
記念講習会

創立45年記念事業
記念講演会開催通知

創立45年記念事業もお蔭様で会員各位のご協力ご後援によって順次滞りなく進捗し，その大部を終了することができましたが，なお，このたび下記により会員並びに一般世人を対象とした講演会を開催することにいたしました。暑中ではございますが何卒お誘い合せの上多数ご来聴下さいますようお願い申し上げます。

記

1．日　時　8月24日（金）午後1時——4時
1．会　場　関電ホール　北区中之島　関電会館
（冷房設備あり）
1．講　演
1．建築随想　竹腰健造氏
（本会名誉顧問，前会長
双星社　竹腰建築事務所所長）
1．経営雑感　松下幸之助氏
（松下電器産業株式会社会長）
1．映　画
「大いなる黒部」　ワイドカラー
（黒部第四発電所建設記録第3部）
1．後　援　朝日新聞社

「ふるさとのすまい」
発　刊

創立45年記念事業
「ふるさとのすまい」発刊予告

昨年来日本全国に亘って資料を収集中でありました日本民家集も，ようやく資料の整理を終って目下印刷中でありますが，8月下旬には下記内容を以って発刊の運びとなりました。日本民族の誇りである民家への郷愁を湛えた民家の案内書，現代に生きる創造のデザインソースとしての民家研究への新らしい意欲をそそるものとして一覧に値するものと信じます。何卒ご期待下さい。

記

1.書　名　「ふるさとのすまい」日本民家集
1.体　裁　18×17cm，上製本260頁　総グラビア
1.序　文　今和次郎氏　竹内芳太郎氏　小倉強氏　蔵田周忠氏
石原憲治氏　伊藤ていじ氏
1.内　容　日本全国各県に亘り約190点
総グラビアによる鮮明な写真とともに全ての平面と主なる断面を集録
1.定　価　960円　会員特価　800円
1.発　刊　8月下旬



六甲山ホテル新館見学会

1．日　時　8月28日（火）12.00（出発）→18,00（解散）

1．集合所　大阪駅西口バス駐車場　全但観光バス　目標　本会旗

1．申　込　25日までに電話による。ただし定員60名に達したときは先着順で締切ります。

建　築　概　要

所在地	神戸市灘区篠原字六甲山1034の14					
敷地面積	37,743.97m²					
建築面積	新館	970.10m²	旧館	897.86m²	合計	1,867.96m²
延面積	〃	4,874.03m²	〃	2,057.04m²	〃	6,931.07m²
高さ	新館	軒高	19.100m			
		塔屋	26.600m			
構造	鉄筋コンクリート造					
外装	屋根	モルタル防水，モルタル目地切り				
	パラペット	銅板葺				
	外壁	色モルタルかきおとし				
	室数	新館 47室　旧館 25室　計 72室				
工期	起工	昭和36年1月7日				
	竣工	昭和37年5月11日				
設計	株式会社 竹中工務店設計部					
監理	六甲山経営株式会社					
施工	株式会社 竹中工務店					

新館各階主要用途

R2	展望台，エレベーター機械室，水槽室
R1	ファンルーム
7	屋上ロビー，ファンルーム
6	ラウンヂ，主食堂，和食堂，厨房
5	客室（17室内2室は和室）
4	〃（16室内2室は和室）
3	〃（14室）
2	ロビー，会議室
1	玄関，フロント，厨房，機械室，電気室

六甲山ホテル
新館見学会

天王寺民衆駅見学会

各階主要用途

B_2	機械室，電気室，洗濯室
B_{M2}	電気室，従業員室
B_1	フードセンター，荷捌広間，映画館，店舗
1	コンコース，連絡通路，駅公衆部分 ホテル玄関
M_2	駅務室，公安室，店舗
2	総合店舗，貸室
3	名品店，名流食堂街
4	ホテルフロントおよび宴会場，貸事務所
5	ホテル客室，結婚式場
6	貸室，機械室，
7	貸室
8	機械室
9	機械室
10	機械室，クーリングタワー

特　長

上層が民間出資の民衆駅である

・過半が既設の橋上にあるため特に主要構造部を鉄骨造パーライトモルタル被覆，床版と軽量コンクリート造として建物の軽量化を図り，1階柱脚をピン構造として下部既設橋台の負担を軽減した。

・立地条件から南北に長い建物となつたので意匠上の諸問題があつた。外装を連窓アルミサツシユ及びアルミスパンドレル仕上げとし横線を強調し，橋より北の地盤に建てられた部分に塔屋を配して形付けをし，南よりの部分に各階（2階～5階）バルコニーを設けて，アクセントをつけた。

日本陶管とトヨタ自動車工場見学会

参　考

交通費は各自ご負担のこと，（大阪→刈谷600円乗車券代，急行券200円，準急行券100円。名古屋→大阪乗車券530円 急行，準急行券は前記の通り）

天王寺民衆駅見学会

（大阪府建築士会・共催）

日　時　9月8日（土）集合　13時30分→解散15時00分

集合所　国鉄天王寺駅南口附近（会旗目標）

定　員　200名（両会々員）

申　込　電話による。但し申込期限8月5日

建築概要

設　計　日本国有鉄道東京建築工事局
〃　大阪工事局
〃　大阪電気工事局
〃　天王寺鉄道管理局
株式会社天王寺ステーションビルデイング
株式会社安井建築設計事務所

施　工　株式会社　奥　村　組

構　造　S.R造，S.R.C造，一部R.C造

規　模　地下2階，地上5階，塔屋部分10階

建築面積　6,400m²

延建築面積　35,000m²

工　期　昭和35年4月→37年9月20日

第3回工場見学会

日本陶管とトヨタ自動車工場見学会（1泊）

日　時　9月21日（金）　22日（土）

集合所　国鉄刈谷駅南出口前・目標本会旗

申　込　往復はがきに限ります。はがきには氏名，勤務先名，住所，連絡先電話，を記入の上9月13日までに願います。

定　員　50名。定員を越えた際は抽せんで参加者を決めます。申込者には17日頃までにご連絡いたします。

会　費　500円（宿泊料の一部に充てます）

行　程　9月21日（金）
国鉄刈谷駅南出口前—（徒歩）→日本陶管工場（昼食，見学）—（貸切バス）→衣浦温泉吉文旅館—（宿泊）
9月22日（土）
吉文旅館—（貸切バス）→トヨタ自動車工業元町工場（見学，昼食）—（貸切バス）→名古屋市内新建築見学（興業銀行，名古屋センタービル，その他）—（貸切バス）→名古屋駅前解散17,00の予定

日本陶管株式会社刈谷工場： テラカツタ・衛生陶器を製造し，昭和28年に生産の合理化，コストダウンを図るため，高浜第二工場の設備を刈谷工場に移してモザイクタイルの製造をおこなうとともにトンネル窯による品質向上に努めた。年々製品の改良，施設の改善を進めると共に外装用磁器タイル専用トンネル窯を増設し，新製品「ネオタイル」を発売好評を博している。

トヨタ自動車工業株式会社元町工場： 愛知県豊田市元町1に在り，日本のデトロイトと呼ばれトヨタ自動車工業株式会社の本拠地で自動車生産の中心地でもある。
同工場は，わが国初の乗用車専門工場として新設され最新の工場設備と，新しい工場レイアウトにより，理想的な生産システムから世界に誇る優秀な自動車が生産されている。

第6回　現場実務講習会要項

1. **目　的**　学校を卒業し新に採用された技術者を対象として学校教育における一般知識の不足を補い，現場実務において直ちに役立つ実際的知識を，各方面におけるそれぞれのエキスパートによる一連の系統的講習によって会得せしめ，従来の長期を要した経験的知識の習得期間を短縮し，かつ確実に把握せしめることによって，より有用な技術者を養成しようとするものである。
2. **対　象**　本年及び昨年学校を卒業したもの。
3. **会　期**　昭和37年9月17日—10月2日まで。日曜日を除く毎日。朝8時30分より12時30分まで。
   1日・4時間延13日間（50時間）
4. **会　場**　大阪建設会館6階集会場：冷房完備：（大阪市東区京橋3丁目天神橋南詰・大阪郵政局向い）
5. **申　込**　9月5日までに申込書に受講料（1.800円）を添えて本会事務局（大阪市東区北浜 3—37 北浜2・3丁目電停中間北側）へ申込のこと。尚会場の都合により定員（120名）に達した際は締切ります。
6. **日時・科目・講師**

日　　時	科　　目	講　　師　（敬称略）
9月17日(月)	建築工事の着工から竣功までの業務総論 契約，支払などの事務手続を含む	大阪府営繕課主幹　板垣　精治郎
17日(月)　18日(火)	労務管理と安全管理	鹿島建設（株）大阪支店　総務部次長　岸田成計
18日(火)　19日(水)	仮設物と仮設材料	（株）松村組　監査役　政岡基次
19日(水)	現場に関する諸法規とその手続	大成建設（株）神戸営業所長　大久保登
20日(木)	材料の検収とその管理	（株）鴻池組　工務部副部長　近藤史郎
20日(木)　21日(金)	工事機械と工器具類	（株）大林組　機械課長　依田潔
21日(金)　22日(土)	施工計画	大成建設（株）大阪支店　作業所長　松岡照夫
22日(土)	現場製図	（株）浅沼組　工事部次長　篠崎一郎
24日(月)	地下工法	（株）竹中工務店　技術部長　北山二十三
24日(月)　26日(水)	土工事，基礎工事，排水工事	（株）間組大阪支店　建築課長　渡辺勇
26日(水)　27日(木)	鉄筋コンクリート工事，鉄骨工事	清水建設（株）大阪支店　工事主任　安井猛
27日(木)　28日(金)	木工事，屋根工事，金属工事，雑工事	鹿島建設（株）大阪支店　建築部長　岩下久哉
28日(金)　29日(土)	石工事，タイル工事，ブロツク工事	（株）藤木工務店　工務部長　矢野豊作
29日(土)　10月1日(月)	防水工事，左官工事，塗装工事	（株）鐵高組　建築課長　武藤藷吉
10月1日(月)　10月2日(火)	設備工事	（株）竹中工務店　設備部長　石黒次郎

7. **現場見学**　9月25日（火）午前9時「津村別院」を予定しております。

- ▶ 9月17日には開講式・10月2日には終講式を挙行して終了証書を受講者にお渡しします。
- ▶ 講習時間割は受講お申込の際お渡しします。
- ▶ テキスト（講義の項目を記載したもの）を各講義毎にお渡しします。

主催　　社団法人　日本建築協会

第1回若い会員の集い「ホテル経営と機能について」は開催日に台風のため不本意でしたが取止めることになりました。企画は担当委員会で検討の上更めて発表いたします。

第5回　建築写真コンクール　募集規定

■ 主題

屋根/壁/インテリア

■ 応募資格

日本建築協会会員に限る。

■ 大きさ

四ツ切版以上（応募点数は制限しないが未発表のもの）

■ 〆　切

昭和37年9月30日（当日の消印あるものは有効）

■ 審査員

50音順

北村 隆夫 氏　竹中工務店
木村 喬夫 氏　大阪事務所
佐久間 宏 氏　大成建設
清水 民雄 氏　清水建設
鈴木 洋也 氏　東畑事務所
多比良敏雄 氏　タイラホート
恒成 一訓 氏　つねなりすたじお
弥屋 毅一 氏　京阪神急行
薬袋 公明 氏　日建設計

■ 入選作品の数と賞

入選作品は10点とする。
その内
1等　10,000円
2等　5,000円
3等　3,000円の賞金
および副賞／賞状。
外の入選作品には副賞／賞状を贈る。

■ 主　催　<作品送付先>

社団法人　日本建築協会
大阪市東区北浜3—37　電話㈹9648番（代表）

■ 入選発表

本人に通知する外「建築と社会」12月号で入選者氏名を発表する。入選作品は「建築と社会」12月号に掲載する

■ その他

(a)応募作品は希望者のみ返却する。

(b)応募写真の裏面には暗号（文字に限る）を附し，別に暗号／撮影場所／日時／データ／住所／氏名を明記した紙片を封筒に入れ密封し封筒表面には暗号のみを記入する。

(c)入選作品は公表する前に他で発表することは出来ない。

(d)入選作品を本会で出版する場合の版権は本会に帰属する。

天井・間仕切には軽量鉄骨を・軽量式を御採用下さい・
耐震・耐火・軽量・堅牢
防錆完全・中空防音
合理的工法・責任施工
株式会社 奥村重兵衛商店
大阪市北区木幡町五六番地
電話北㈹四一三一〜四

＝特許＝
氣光式通風器　製造販売
開閉式レヂスター
特許第一五三八号　実用新案
カタログ
大阪市西区江戸堀下通2-79
田辺工業株式会社
電話土佐堀㈹7437—9

暑中お見舞申しあげます　昭和37年盛夏　(50音順)

青盛繁男
広島市鉄砲町108
青盛建材株式会社取締役社長

浅井貞治
大阪市北区堂島中2—37
双星社竹腰建築事務所次長

安藤芳雄
大日本土木株式会社専務取締役

井手正雄
京都市中京区麩屋町二条南
日本建築協会京都支部長

五十嵐芳雄
株式会社　大　林　組

伊丹久吉
大阪市東区両替町1—13
株式会社　藤木工務店　専務取締役

伊東正也
大阪市東区南久宝寺町4—7
伊東建築設計事務所

伊藤鑛一
日建設計工務株式会社　取締役社長

猪飼幸次郎
大阪市生野区勝山通9—72
江東電気工業株式会社　取締役社長

飯田精次郎
大阪市北区富田町9
共同設計株式会社代表取締役

池田宮彦
大阪市西区京町堀2—75
株式会社大阪建築事務所取締役会長
自宅　堺市上野芝向ケ町4—1405

石川良興
日本冷熱工産株式会社　代表取締役
自宅　豊中市螢ケ池西町2—61

石川寛三
大阪市天王寺区茶臼山町111
石川建築事務所長

一円俊郎
名古屋市中区南大津通4—1
社団法人　日本建築協会東海支部長

今村騰
大阪市北区梅ケ枝町25
中央電気工業株式会社　取締役社長

稲垣皎三
株式会社　大　林　組

岩佐直則
有限会社岩佐建築設計事務所

岩崎甚太郎
大阪市東区京橋3—75
株式会社　大林組工務監督

内田成之
須賀工業株式会社

浦辺鎮太郎
大阪市北区梅田8(新阪急ビル)　電話(36)1351
倉敷建築研究所

暑中お見舞申しあげます　昭和37年盛夏　(50音順)

尾　亀　清　四　郎
株式会社 三晃商会　専務取締役

尾　崎　久　助
大阪市東区横堀2—38
日建設計工務株式会社　取締役会長

大　井　弘　治　郎
株式会社大井建築設計事務所
大阪市北区宗是町44　第一ビル2階
電話　大阪(441)　4220

大阪生コンクリート株式会社
大阪市北区堂島浜通1—25（新大ビル3階）

大　澤　幸　平
大幸建設株式会社　取締役社長

大　下　順　三　郎
大阪市城東区関目町1—40　電話(930)3134(代)—6
平和建設株式会社　取締役社長

大　林　芳　郎
大阪市東区京橋3—75
株式会社　大林組　取締役社長

岡　三　郎
株式会社　岡　組　取締役社長
自宅　箕面市桜ケ丘205

岡　本　行　善
株式会社昭和建築設計事務所取締役社長

奥　村　太　平
株式会社　奥村組　社長
自宅　奈良県北葛城郡香芝町逢坂

海　上　静　一
大阪市南区鰻谷仲之町62（市川ビル）
株式会社海上静一建築事務所

笠　原　梯　治　郎
大阪市西区京町堀1—74
田島応用化工㈱大阪出張所

柏　岡　十　三　介
大阪市東淀川区十三西之町1—175　電話(302)0231—5
阪急電気工事株式会社　専務取締役

梶　本　秀　尾
大阪市東区森之宮東之町392
八千代電設工業株式会社取締役社長

金　光　五　郎
万年スレート株式会社

川　口　哲　雄
兵庫県尼崎市南竹谷町2—89
田中工業株式会社大阪出張所長

河　井　覚　弘
大阪市北区兎我野町15　電話(341)3330・3339
河井建築設計事務所

河　津　喜　之　助
大阪市北区堂島上1—24
河津装飾株式会社社長

木　下　國　男
株式会社内外写真　代表取締役社長

木　戸　口　信　義
大阪市天王寺区北河堀町54
大洋建設工業株式会社　取締役社長

暑中お見舞申しあげます　昭和37年盛夏　(50音順)

城戸七太郎
大阪市西区土佐堀通2—2
清水建設株式会社大阪支店　常務取締役支店長

栗林一馬
和歌山市西汀丁1（内田ビル3階）
社団法人日本建築協会和歌山支部長

京阪興業株式会社
大阪市旭区大宮町9—27

小林得志
大阪市北区堂島北町20
小林得志建築事務所所長

鴻池藤一
大阪市此花区伝法町北3—67
株式会社　鴻池組　取締役社長

佐野正一
株式会社　安井建築事務所
本　　社　大阪市東区淡路町2—34
東京事務所　東京都中央区宝町2—4(第二ぬ利彦ビル)
名古屋事務所　名古屋市中区広小路通4—8(名神ビル)

佐藤重夫
広島市千田町3丁目
広島大学工学部建築学科教授　工学博士

佐藤辰夫
内外木材工業株式会社　専務取締役

佐藤太
大阪市北区南扇町11
近畿電気工事株式会社　取締役会長

雑賀孝夫
和歌山市小松原通5—1
株式会社雑賀建築設計事務所

斉藤光夫
株式会社三晃商会　取締役社長

貞永直義
貞永建築士事務所
兵庫県川西市加茂字柚木谷5番地の1
電話　池田⑤3607

島村佐次郎
和歌山市四番丁
島村建築事務所

白杉嘉明三
自宅　神戸市東灘区本山町野寄19—1

建築金物
渋谷金属産業株式会社
大阪市南区鍛冶屋町52

庄野勝
大阪市南区鰻谷仲之町57
不動建設株式会社　取締役社長

須賀豊治郎
須賀工業株式会社

菅谷三郎
大阪市西区江戸堀1—60
株式会社大阪電気商会　大阪暖房商会　取締役社長

杉本裕
大阪市北区堂島上3—10　電話(341)3468
株式会社　松田平田設計事務所　大阪出張所長

鈴木清市
大阪市東淀川区新高南通1—14
株式会社　ケントク　取締役社長

暑中お見舞申しあげます　昭和37年盛夏　(50音順)

銭高輝之
大阪市西区阿波座上通3—2
株式会社　銭高組　取締役社長

竹中錬一
大阪市北区堂島中2—30
株式会社　竹中工務店　取締役社長

仙田四郎
大阪市住吉区万代東6—3
関西煖房工業株式会社　取締役社長

千原大五郎
東京都港区赤坂溜池町30(溜池東急ビル)　電話(48)8160
株式会社　大阪建築事務所東京支所　取締役所長

田中政二
大阪市城東区野江東之町4—104
大島応用化学工業株式会社取締役社長

地頭政人
大阪市北区若松町30　電話(31)9004・9016・4825
株式会社　小俣製作所大阪支店　取締役支店長

田辺信
西日本建設業保証株式会社

塚本猛次
大阪市東区横堀2—38
日建設計工務株式会社取締役副社長

田村史郎
大阪市西区京町堀1—170
社団法人　日本建材協会　常務理事

東畑謙三
大阪市東区伏見町5—19　電話(20)0391
株式会社東畑建築事務所所長

田村巍
大阪市東区南久宝寺町4—47
亀井株式会社　取締役社長

伴野龍太
大阪市北区絹笠町16(大江ビル)
本田工業株式会社　常務取締役

高木幹祐
大阪市西区靱本町1—77(八幡製鉄ビル3階)
八幡エコンスチール㈱大阪営業所技術課長

内藤資忠
株式会社内藤建築事務所代表取締役

高橋慶夫
大阪市西区京町堀2—75
株式会社大阪建築事務所取締役社長
自宅　大阪市東淀川区相川中通2—2—4

長尾正大
大阪市大淀区天神橋筋6—5(天六阪急ビル)
日本エレベータ工業株式会社

竹腰健造
大阪市北区堂島中2—37
双星社竹腰建築事務所所長

西岡末男
大阪市西区南堀江通1—8
西岡商事株式会社　代表取締役

竹中清
大阪市西区江戸堀1—60
株式会社大阪電気商会　大阪暖房商会　常務取締役

西島修吉
大阪市東成区大今里町北4—385
協同金属工業株式会社　取締役社長

暑中お見舞申しあげます　昭和37年盛夏　(50音順)

西嶋徳太郎
大阪市西区京町堀2—75
株式会社大阪建築事務所常務取締役
自宅 箕面市桜ケ丘320

宝来佐市郎
大阪市東区京橋3—75
株式会社 大林組

伴秀雄
大阪市大淀区中津南通4—44
株式会社 西原衛生工業所大阪店

星廣文
大阪市城東区関目町1—40　電話(930)3134(代)—6
平和建設株式会社 常務取締役

彦谷邦一
彦谷建築設計事務所

本田令三
千代田工芸株式会社 取締役社長

平田作太郎
株式会社平田タイル副社長
大阪市西区阿波座中1—5

町田信治
大阪市南区順慶町通4—25（順慶町三和ビル）
東洋リノリューム株式会社取締役社長

平山京平
大阪市西区江戸堀2—2
平山工業株式会社

松尾久雄
大阪市都島区都島北通1—14
内外アスベスト株式会社大阪支店長

福田朝生
大阪市北区堂島中2—37
双星社 竹腰建築事務所次長

松田昌平
福岡市下西町2（明治屋ビル）
株式会社松田設計事務所代表取締役

福永薫
大阪市南区順慶町通4—61
株式会社福永建築設計事務所代表取締役

三宅昭栄
大阪市東区本町1—15
三宅電気株式会社

藤木正一
大阪市東区両替町1—13
株式会社 藤木工務店 取締役社長

南寛一
和歌山市北町28（本町4丁目）
南電設株式会社 代表取締役

藤原巧
大阪市東区今橋1—14
株式会社 増岡組大阪支店 取締役支店長

南長吉
斉久工業株式会社 大阪支店

藤村清一
大阪市北区永楽町8 （日産ビル6階）
株式会社 日新建築設計事務所 代表取締役
（日本建築家協会会員）

向井保晴
大阪市南区順慶町通4—25（順慶町三和ビル）
東洋リノリューム株式会社

暑中お見舞申しあげます　昭和37年盛夏　(50音順)

村石秋吉
大阪市浪速区幸町通3—20
浪速合板株式会社 代表取締役

山田豊
大日本土木株式会社　大阪支店次長

室谷山水
大阪市北区絹笠町50(堂ビル)
株式会社 室谷商店

山邑励二
大阪市東区瓦町5—71 (瓦町ビル)
鹿島建設株式会社 常務取締役

望田忠夫
大阪市東区平野町2—40
富家建築設計事務所

山中茂一
大阪市東区高麗橋詰町54
栄興建築株式会社 専務取締役

八十島健二
西宮市甲子園2—24

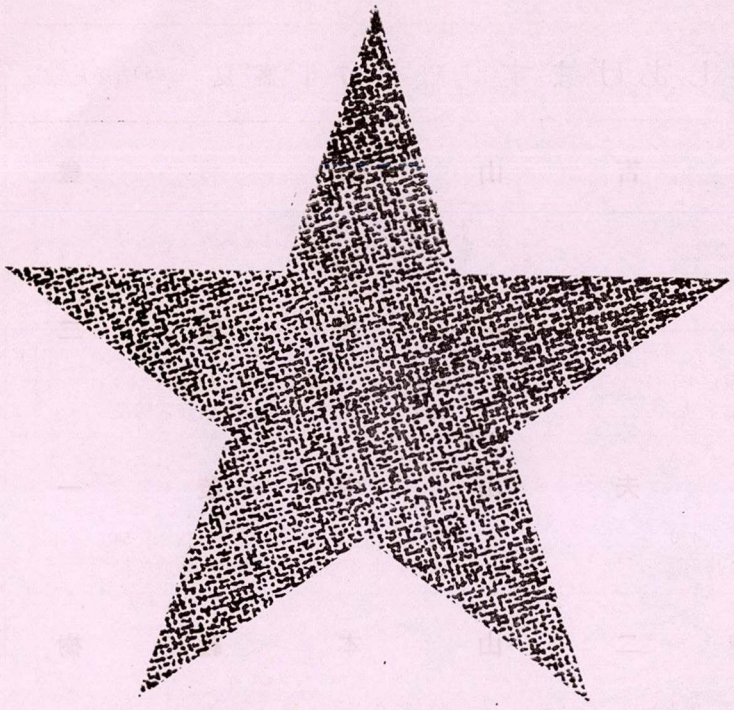
山本義樹
株式会社 銭高組

株式会社 矢橋大理石商店 大阪出張所
大阪市東区高麗橋2—9 (野村ビル)

山本竜太郎
大阪市北区西堀川町15
株式会社ヤマト電気商会取締役社長

山口吾郎
自宅 豊中市栄通2—5

若林繁吉
大阪市大淀区木庄川崎町2—6
二葉屋装備工業株式会社



ベネシヤン
ブラインド
の
スター

Uni Con

デラックス

アルミニウム製スラットに気品のある木目塗装など　豪華な部屋にはぜひ欲しいユニコン　デラックスは　ベネシャンブラインドのスターです
最寄りの営業所・出張所・代理店でお問合せを受けて居ります

日米ブラインド工業株式会社

本　　社　東京都中央区日本橋江戸橋３－７　ＴＥＬ(272) 2011(代)
豊洲工場　東京都江東区深川豊洲4－2　ＴＥＬ(641) 5276・5722・8939
広島工場　広島県安佐郡祇園町大字南下安　ＴＥＬ　祇園　２１６

大阪営業所
大阪市浪速区河原町２－1449
ＴＥＬ(641)0495　(631)3905

あらゆる建築用の接着剤

Bond ボンド II

木工用	ボンド CH_2	ハードボード用	ボンド CV_{2000}
テックスボード用	ボンド K	化粧板用	ボンド G_5
セメントモルタル補強用	ボンド CZ	ビニタイルサラン用	ボンド G_{100} その他
コンクリート石材用	ボンド E	木材構造用	ボンド KR 170種

製造元 株式会社 小西儀助商店ボンド工場

接着に関するご相談及び各種カタログはボンドK-S係迄

大阪市東区道修町2丁目6番地 電話 (231) 2047, 2057 (代)
東京都中央区日本橋本町3丁目1番地 電話 (241) 7161 (代) 5524～5
東京都中央区日本橋本町1丁目7番地 電話 (241)2191 (代) 0495,2541,4727
名古屋市西区西菊井町8丁目3番地 電話 (53) 8131 (代) 4
札幌市北四条東1丁目 電話 (4) 0976, (5)8614

三星の床材 ソフトンタイル

株式会社 木下謹三商店
大阪市西区江戸堀南通5ノ35
電話 (441) 5408・5486

株式会社 久保商店
大阪市北区真砂町5
電話 (341) 0207～8・4836～7

三友工業株式会社大阪営業所
大阪市西区南堀江大通1の19 電話 (541)・6161～4

合名会社 利倉幸商店
大阪市南区長堀橋筋2ノ20 (道頓堀電停前)
電話 (211) 0571～4

京都営業所 京都市中京区河原町夷川下ル 電話 ㉓ 3299

和泉産業株式会社
大阪市南区日本橋筋2ノ36
電話 (631) 0137 (641) 3286・7335

石井建材有限会社
神戸市兵庫区荒田町1
電話 ⑤ 2697・2140

タテバヤシ商店
京都市下京区大宮通四条下ル 電話 ㉞ 4468

岡田建材株式会社
名古屋市西区西菊井町2ノ12
電話 ⑬ 1021・2057・7464

株式会社 名建商会
名古屋市中区宮出町41ノ2
電話 ㉔ 1329・2106・2817

日東物産株式会社
本社・名古屋中区東瓦町39 電話 ㉔ 6176～9
岐阜出張所・岐阜市竹屋町27 電話 ③ 2261・2360

青盛建材株式会社
本社・広島市鉄砲町108 電話 ② 2281～4
岡山・岡山市東田町3 電話 ② 7911・8169
福岡・福岡市万行寺前町14 電話 ② 1255～6

関西三星タイル会員

Toray
Reg. Trade Mark
東洋レーヨン株式会社

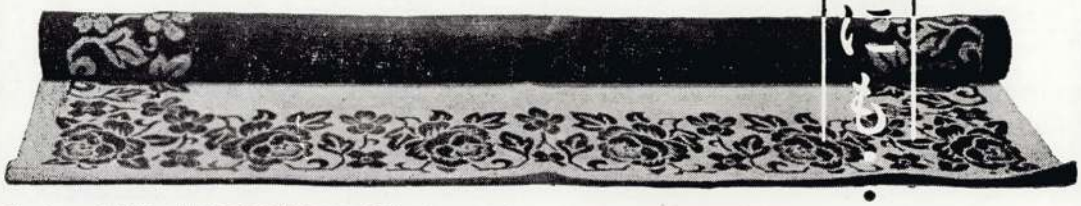
美しい
花園をお部屋にも・・・

丈夫で弾力性に富み、ホコリがたたないので大へん衛生的です。お部屋の雰囲気にマッチしたカーペットをお選びいただくため、あらゆる色柄を豊富に準備いたしております。室内に豪華な感覚と新鮮で楽しい雰囲気を漂わす東レ・カーペットをぜひお試し下さい

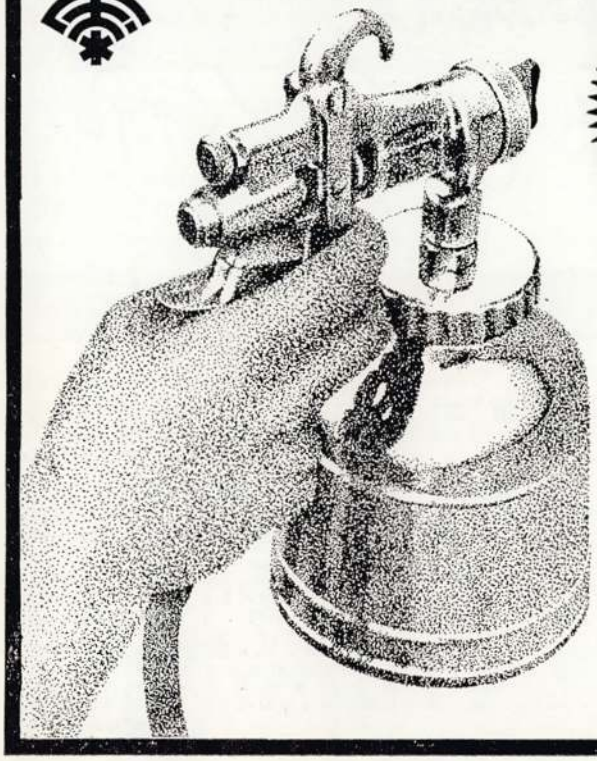
東レカーペット

二重織・銀鈴織・富士織・三重織・装美織・額縁三重織・三美織などがございます

東レ・カーペットのほか、東レ・フラットーヨー使用ファンシーラッグ(夏の敷物)も好評を頂いております



東レカーペット発売元—(株)辻田文平商店(大阪市住吉区南住吉町4の59)　ファンシーラッグ発売元—丸紅飯田(株)



近代建築に
もっとも
ふさわしい

ゾラコート

日・米・英等17カ国の特許に結ばれる多彩塗料

華やかな多彩模様から
落着いた和壁模様まで
西洋建築にも日本建築
にもピッタリの塗料です

関西ペイント株式会社

本社事務所　大阪市東区伏見町5丁目27番地
●カタログ色見本ご希望の方は宣伝課Z係へ

建築と社会

8

阪神高速道路と近畿の開発特集

1962年・第43集・8月号・目次

作品作風

新住友ビル……設計監理：日建設計工務株式会社…1
施工：株式会社大林組

広島県立体育館……設計：KK横山建築構造設計事務所…8
広島県土木建築部営繕課
監理：広島県土木建築部営繕課
施工：KK藤田組広島支店

建築の眼……12
担当50音順：足立 英雄・中道 正照・山下 暢雄・吉岡 巌

本文

阪神高速道路を中心とした大阪の道路網計画……毎度 好数…14

阪神高速道路と業務地域との結びつき……23
①案：スーパーブロック方式による都心再開発の要点…秀島 乾…24
②案：市街地と高速道路……竹中工務店設計部…26
③案：大阪市内ハイウエイと業務地域の改造計画
……共同設計株式会社…31
④案：商業地計画……RIA建築綜合研究所大阪分室…35
⑤案：阪神高速道路の建設に伴なう大阪業務センターの改造について
……畝内幸雄・湯川利和…40

随想

1. 阪神高速道路に思う……中沢誠一郎…43
2. "住民のための計画"……粂川 義男…45

近畿（兵庫）の開発例

1. 明石海峡のかけ橋……仲野 真夢…47
2. 神戸市背山総合開発計画……諸岡 博熊…51
3. 兵庫県綜合開発マップ——加古川河水統制を中心として——
……松宮 勝・大久保昌一…57

近代建築調査委員会報告 32
大阪帝国座……林野 全孝…61

会報（6月分）……63

先月号の63頁の「公開質問：千里丘陵住宅地区開発計画における住宅棟の配置について」にのせた配置図のガットは上が東方位でなく，左側が東方位です。

建物クリーニングと管理の店

住宅美素工事の創始者

ビルディングの洗浄工事
木造建築洗浄・美素仕上工事

株式会社 **美素工業所**

（登録商標）

大阪市東区瓦町二丁目（三和ビル）
電話（231）5888. 4938 （771）8050

ビルディング清掃・一般管理

美素建物管理株式会社

大阪市東区横堀二丁目二十九
電話（231）6136

8

表紙デザイン：表紙デザイン小委員会
SMデザイングループ

© 建築と社会

第43集

1962

買価 1部180円・送料共
昭和37年8月20日印刷
昭和37年8月25日発行
編集人 松井昭光
発行所 社団法人 日本建築協会
大阪市東区北浜3丁目37
電話 大阪㈹ 9648・9649・9640番
振替口座 大阪39975番
発行人 沖田誠一
印刷所 株式会社 研文社
大阪市北区堂山町66
電話㈹ 2091～3番
印刷者 網野栄



1. 外観

新住友ビル

設計監理　日建設計工務株式会社
施　工　株式会社 大林組

■新住友ビル設計者のことば

『信用を重んじ確実を旨とし浮利を追はざること。時代の進運を察知し世の進歩に遅れざるよう事業の興廃を行うこと。』これが永く住友家の家憲として定められ住友の伝統精神として伝えられてきたものと聞いております。新住友ビルディングの計画をめぐる人々の構想の基底には，やはりこの精神が生きていて住友のモニュメントという夢に，また設計上のいろいろの要求に具象化して行ったものと思われます。特に『確実を旨とし』『世の進歩に遅れざる』心構えは設計者としての私の心からも終始離れなかったようです。完成した姿を眺めて所期通りの実を結んだかどうか諸賢のご批判を仰ぎたいと思います。

また西側の現住友ビルディングは，私の終生の恩師長谷部鋭吉先生，竹腰健造先生の作品で，日本の名建築とうたわれた建物であります。これとならび立つ新ビルがこの美しい環境を汚すことにならないようにということが，私のもう一つの願いでありました。むしろ祈りに近い気持であったといえます。この点で当初から最後まで竹腰先生のご指導をうけ得ましたことは非常な幸せであったと思います。

竣工の日を迎えて，特に強く私の心によみがえってくるのは，以上の二点であります。

（山根正次郎）



2. 全　景（右側が現住友ビル）

新住友ビル

設計監理　日建設計工務株式会社
施　工　株式会社大林組

建築位置	大阪市東区北浜5丁目15番地	
敷地面積		9,455.4m²
建築面積		5,775.9m²
延床面積		90,270.4m²
	内訳　地下4階	25,197.2m²
	地上12階（含塔屋3階）	65,073.2m²
	（基準階	5,394.3m²）
階数	地下4階，地上12階，塔屋3階	
主要部高	軒高	GL＋45.000m
	塔屋軒高	GL＋57.000m
	鉄柱尖端	GL＋70.000m
	基礎底面	GL－18.050m
工期	着工	昭和34年9月1日
	竣工	昭和37年6月30日
構造	基礎	鉄筋コンクリート造ベタ基礎
	主体	鉄骨鉄筋コンクリート造
外装	・1～2階　窓，柱，梁共ステンレス（スチールシャッター付）	
	・3階以上　窓，スパンドレル，庇共アルミ	
	・建物四隅部　イタリー産大理石#98	
	・屋上　アスファルト防水，クリンカータイル貼	
	・塔屋　アルミ浪板貼	
	・外部　犬走り及敷石，花崗石，オオベ石	



3. 鳥瞰写真　　手前が淀川（土佐堀川），右下が現住友ビル。



4



5

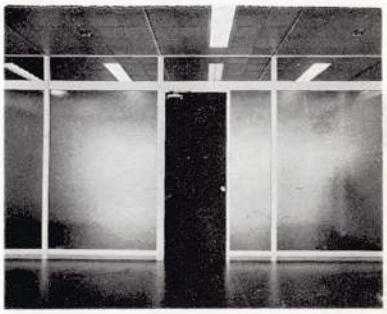
新住友ビル



6



7



8



9

4.　一階エレベータホール

床：花崗石（日吉桜）
壁：イタリー産大理石磨きおよび特殊粗面仕上
天井：有孔角浪アルミニューム

5.　住友信託銀行営業室（1階）

床：ゴムタイル
壁・柱：イタリー産大理石
天井：光り天井
カウンター：スエーデンブラック

6.　基準階エレベータホール

床：ゴムタイル
壁：イタリー産大理石磨き
天井：有孔角浪アルミニューム

7.　一般事務室

床：リノタイル
壁：モルタル，スプレッドサテン
天井：有孔アルミタイル

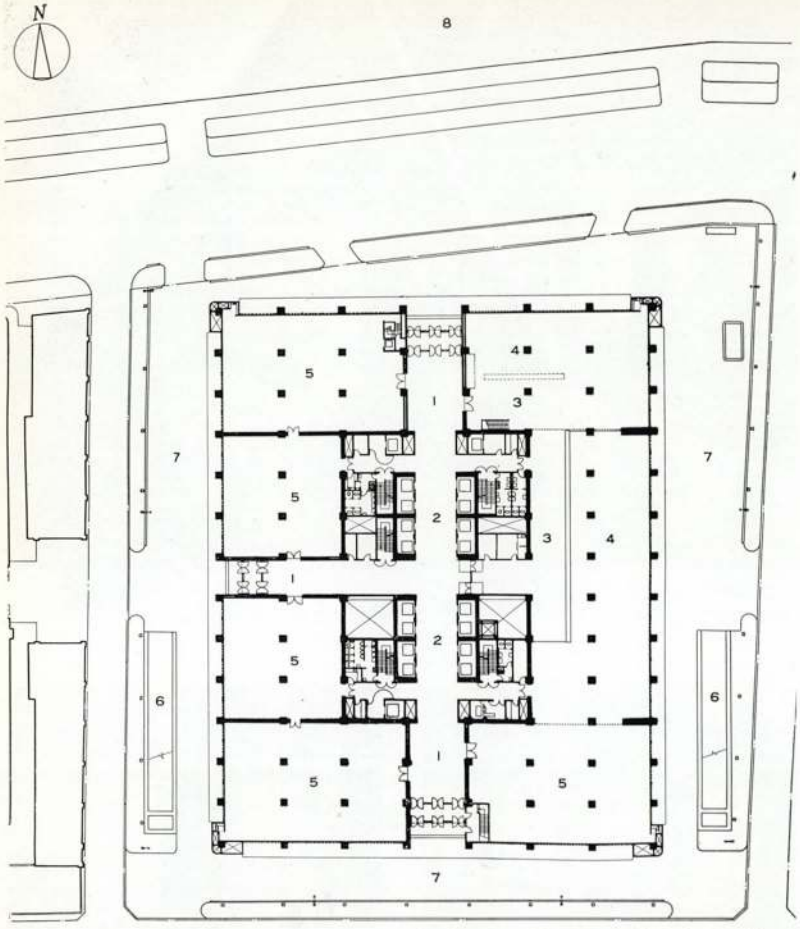
8.　可動間仕切

軸部：63Sアルミ
ガラス：ソフトペーン6㎜
ドア：ハードボードオイルペンキ

9.　会議室（11階）

床：リノタイル
壁：羽目ならびに可動ルーバー
ニューギニアウォールナット練付
天井：桟練付ならびにアクリル照明板

新住友ビル



1 階　1. 玄関ホール　2. エレベータホール　3. 吹 抜　4. 営業室　5. 事務室　6. ランプウェイ
7. 駐車場　8. 土佐堀川

施工者のことば

畠山隆三郎

西日本最大のマンモスビルのことですから話題も多いことですが，三，四に限定してお話し申します。

第一に工期でありまして，この大スケールのビルの工期として2年10ケ月というのは先ず考えられ得る最短のものでありましょう。それだけに少なからぬ苦心と工夫を要しました。

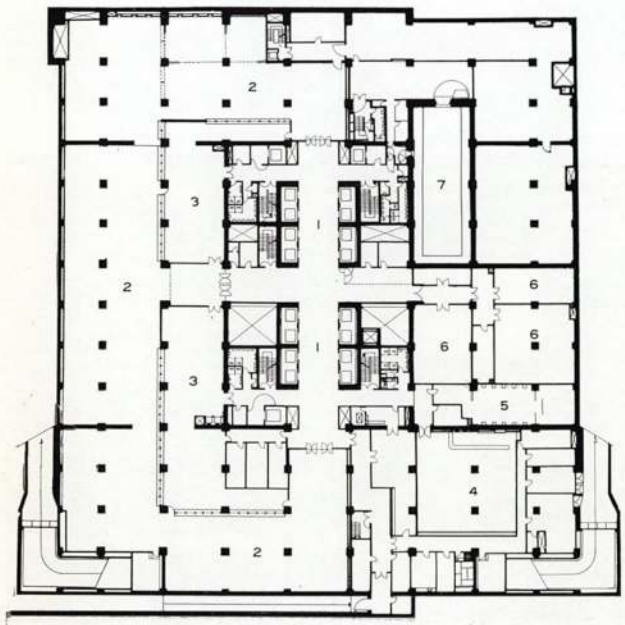
次に基礎工法でありまして，当工事では土質，経済性，安全性，工期等を勘案して二重アイランド工法を採用，東・南・西の三つの側は鉄矢板を打ち，北側は電車通り一筋を隔てて土佐堀川に面していること，この側は柱基礎が地下4階まで伸びることとされていたのでニューマチックケーソンを沈設しました。そして鉄矢板の内側にI型鋼を親柱とした鉄筋コンクリートの土留擁壁を設けて掘削工を実施しました。掘削深度は標準地盤面から18メートル，掘削平面積約9,000平方メートル，掘削土量19万3千トンであります。

掘削工は昭和35年7月最地中央の敷に達し，鉄骨工事に着手，昭和36年7月これを終ったのであります。工期に余裕がないので，躯体のコンクリートは上・中・下三段に分けて同時打設を実施し工期の短縮に大きな成果を挙げました。昨年9月中旬，第二室戸台風に襲われた時はコンクリート工事の最盛期で12階では型枠組立終了直後でしたが，万全の対策を樹てておかげで，いささかの損傷もなく工程を進めることができました。

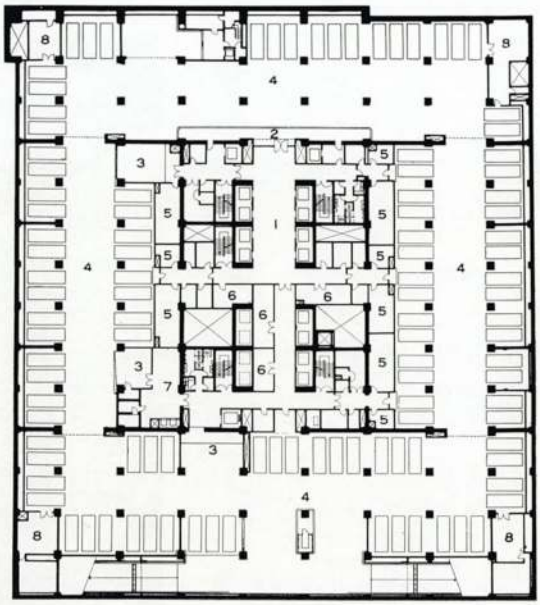
たまたま工事中全国的に発生した労務員の不足，資材の不足，納入品の納期遅延等数多くの困難があり，また，交通規制によって生コンクリートをはじめ資材の搬入が滞りがちとなり，夜間搬入の非常策をとったのでありますが，これらの困難をよく克服できたことは，ひとえに関係各位の懇篤なご指導ご支援の賜と深く感謝申し上げる次第であります。また，下請諸君の熱烈なご協力に対しても深く感謝の意を捧げたいと思います。

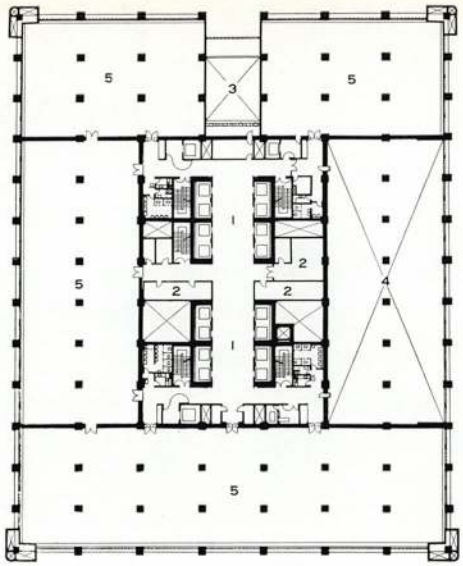
（筆者　大林組新住友ビル工事々務所・総主任）

地下1階　1. エレベータホール　2. 食 堂　3. 厨 房　4. 喫茶室
5. 理髪室　6. 会議室　7. 保護金庫

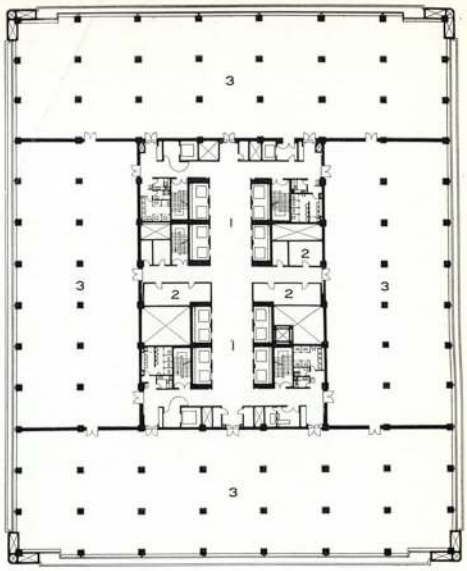


地下2階　1. エレベータホール　2. 乗車場　3. 荷捌場　4. 自動車庫
5. 運転手控室　6. 倉庫　7. 仕込室　8. 機械室

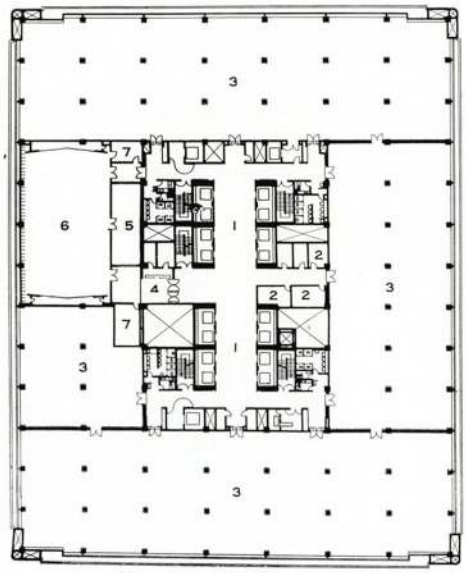




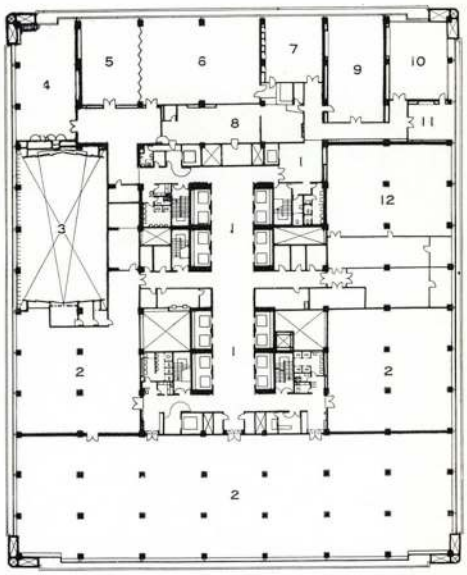
2 階　1. エレベータホール　2. 倉庫　3. 玄関ホール吹抜　4. 営業室吹抜　5. 事務室



3～10階　1. エレベータホール　2. 倉庫　3. 事務室



11 階　1. エレベータホール　2. 倉庫　3. 事務室　4. エントランスホール　5. ホワイエ　6. 大会議室　7. 控室



12 階　1. エレベータホール　2. 事務室　3. 大会議室吹抜　4. 中会議室　5. 小会議室　6. 来客食堂　7. 役員食堂　8. 厨房　9. 特別食堂　10. 特別室　11. 控室　12. 電話交換室



10. 来客食堂



11. 社員食堂



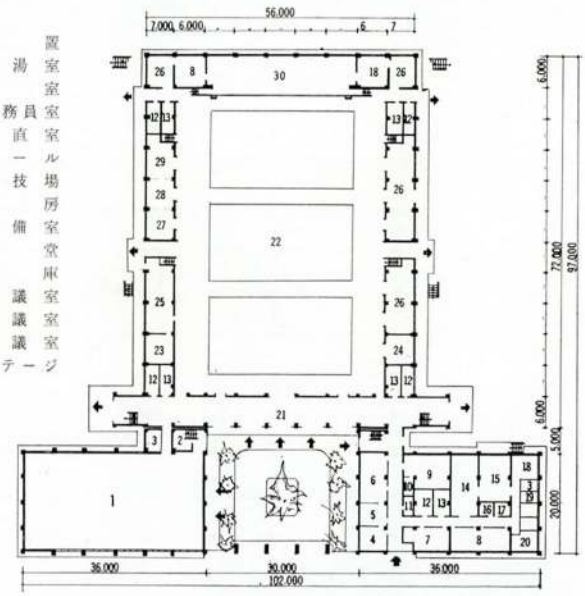
全　景　　左側：補助競技場　中央：本館　右側：管理棟

広島県立体育館

設　計　　KK 横山建築構造設計事務所
　　広島県土木建築部営繕課
監　理　　広島県土木建築部営繕課
施　工　　株式会社 藤田組広島支店

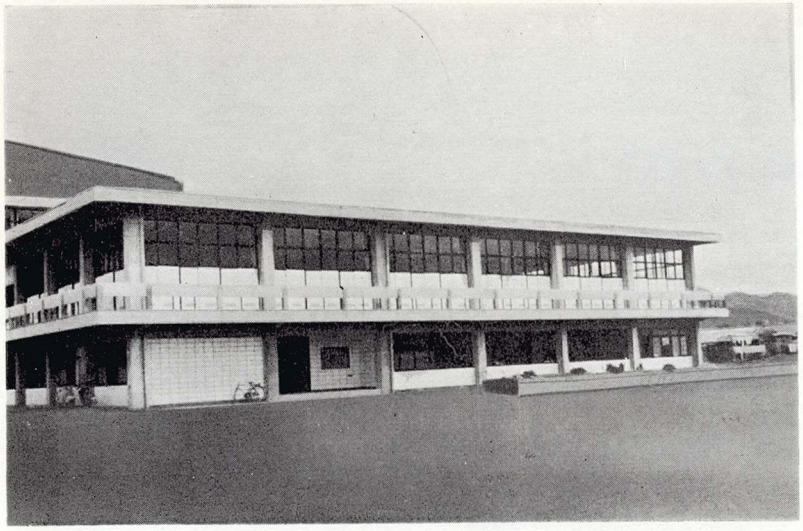
1　　階

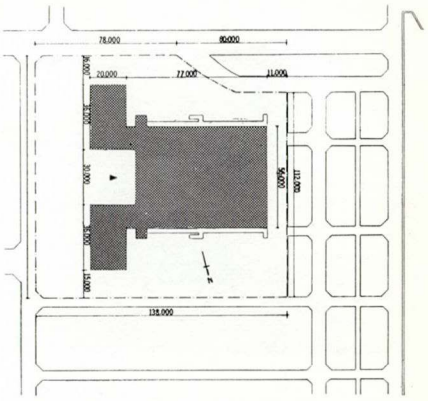
1. 補助競技場
2. 便　　所
3. 倉　　庫
4. 応　接　室
5. 館　長　室
6. 総　務　課
7. 医　務　室
8. 事　業　課
9. 電　気　室
10. 電　池　室
11. ロッカー室
12. 男子便所
13. 女子便所
14. 機　械　室
15. 倉　　庫
16. 物　　置
17. 給　湯　室
18. 控　　室
19. 用務員室
20. 宿　直　室
21. ホ　ー　ル
22. 競　技　場
23. 厨　　房
24. 準　備　室
25. 食　　堂
26. 倉　　庫
27. 会　議　室
28. 会　議　室
29. 会　議　室
30. ステージ



左側：補助競技場　　中央：本館入口　　右側：管 理 棟



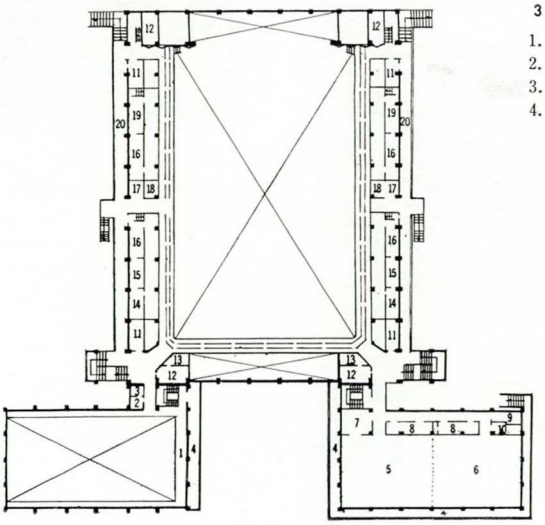




配 置 図

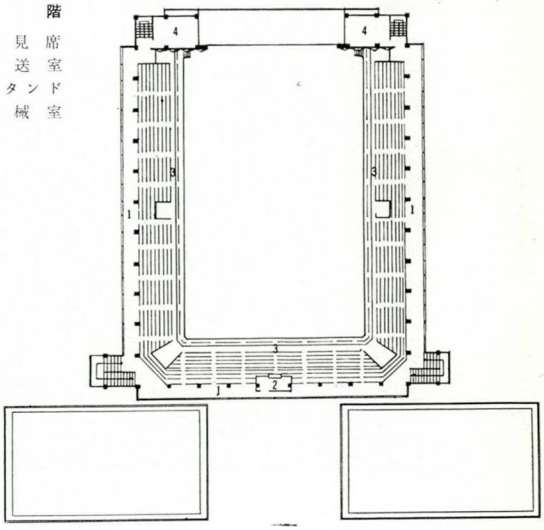
2 階

1. ギャラリー
2. 更 衣 室
3. シャワー室
4. バルコニー
5. 剣 道 場
6. 柔 道 場
7. 控 室
8. 更 衣 室
9. 便 所
10. シャワー室
11. 男子便所
12. 女子便所
13. 物 置
14. 浴 室
15. シャワー室
16. 更 衣 室
17. 買 店
18. 物 置

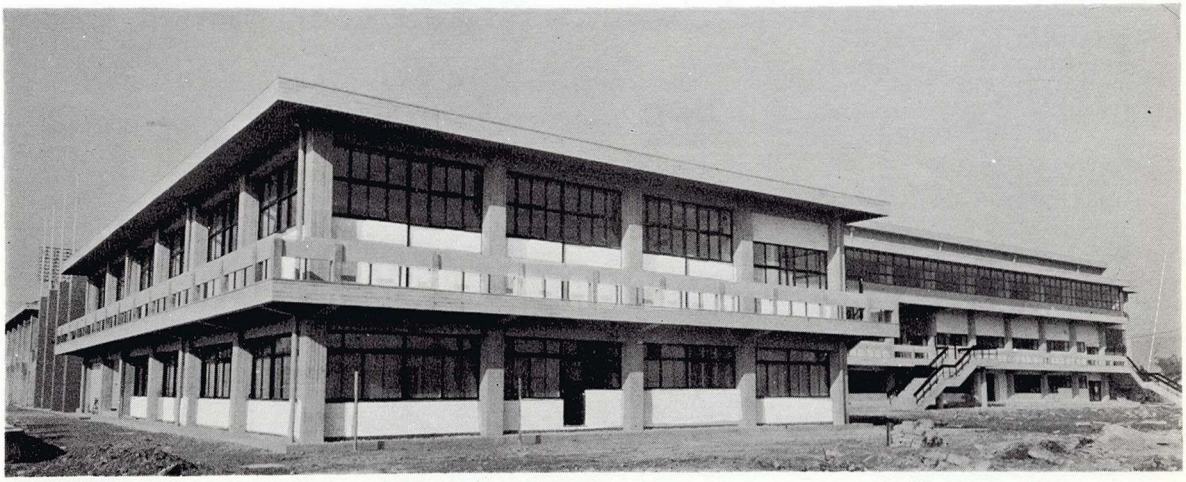


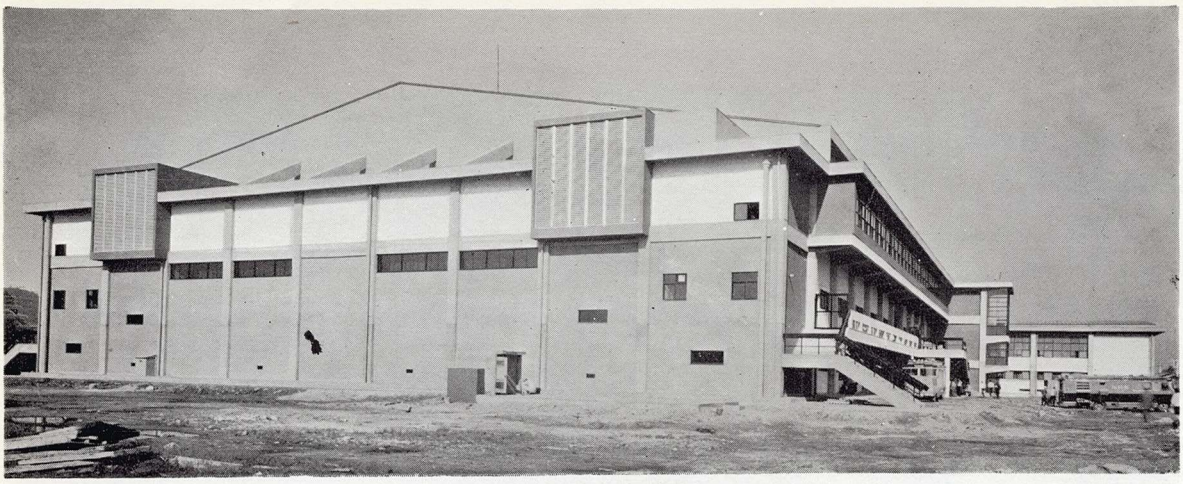
3 階

1. 立 見 席
2. 放 送 室
3. スタンド
4. 機 械 室

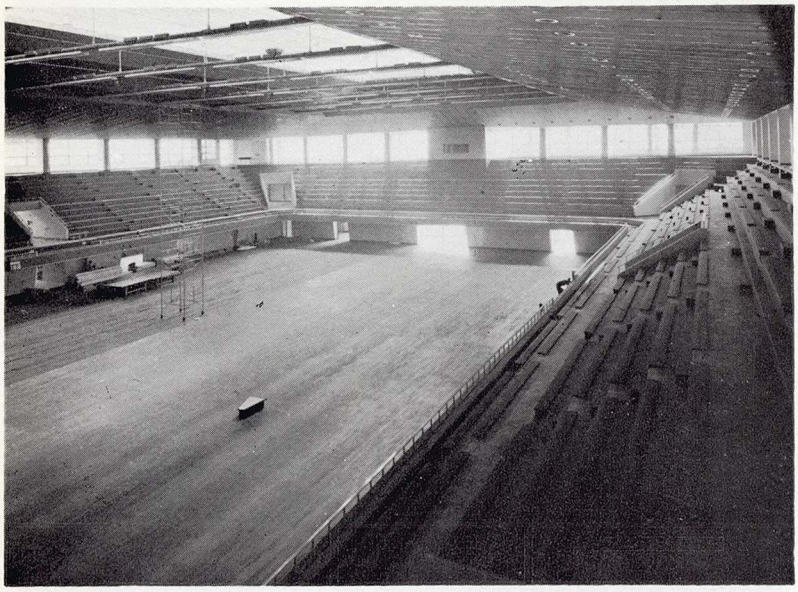


管理棟と本館側面

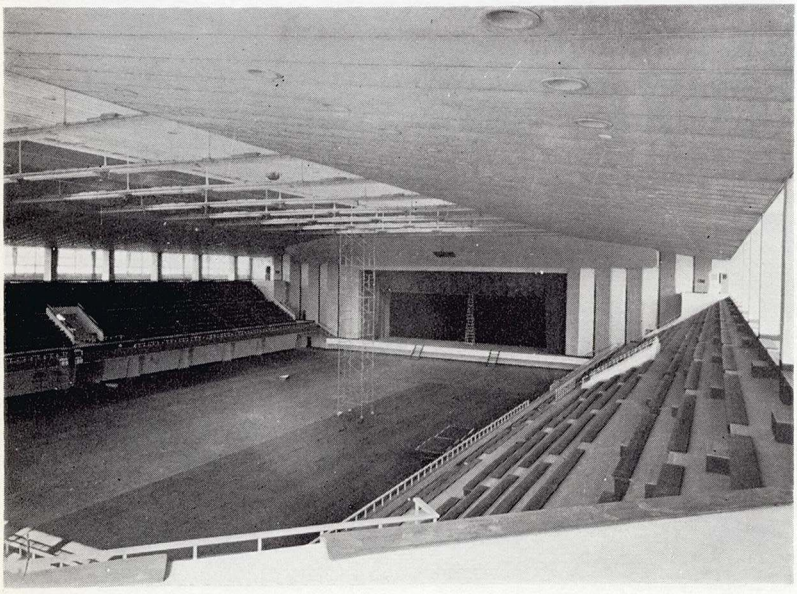




本館背面



本館競技場内部
床：サクラフローリング二重貼

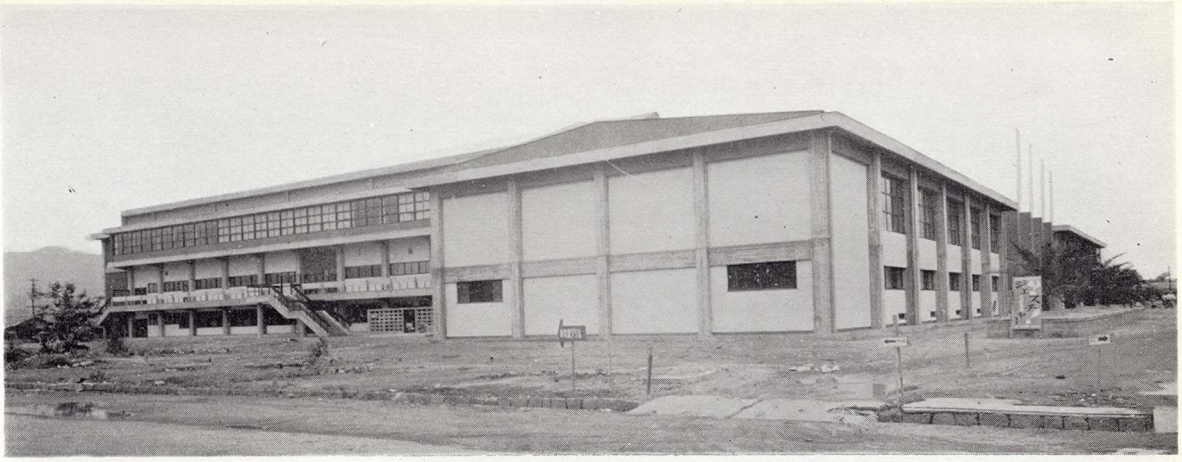


本館競技場内部

広島県立体育館

設　計　KK 横山建築構造設計事務所
　　広島県土木建築部営繕課
監　理　広島県土木建築部営繕課

建築位置	広島市基町	
敷地面積	17,186m²	
構造規模		
・本　館	RC造3階建，屋根鉄骨，長尺鉄板瓦棒葺，梁間56m，桁行72m	
・管理棟	RC造2階建，陸屋根，梁間20m桁行36m	
・補助競技場	RC造2階，屋根鉄骨造，長尺鉄板瓦棒葺，梁間20m，桁行36m	
建築面積		
・本　館	4,688.78m²	延7,697.55m²
・管理棟	737.20m²	延1,632.81m²
・補助競技場	756,66m²	延1,008.03m²
計	6,178.64m²	延10,338.39m²
工　期	昭和36年3月23日～37年3月31日	



補助競技場と本館

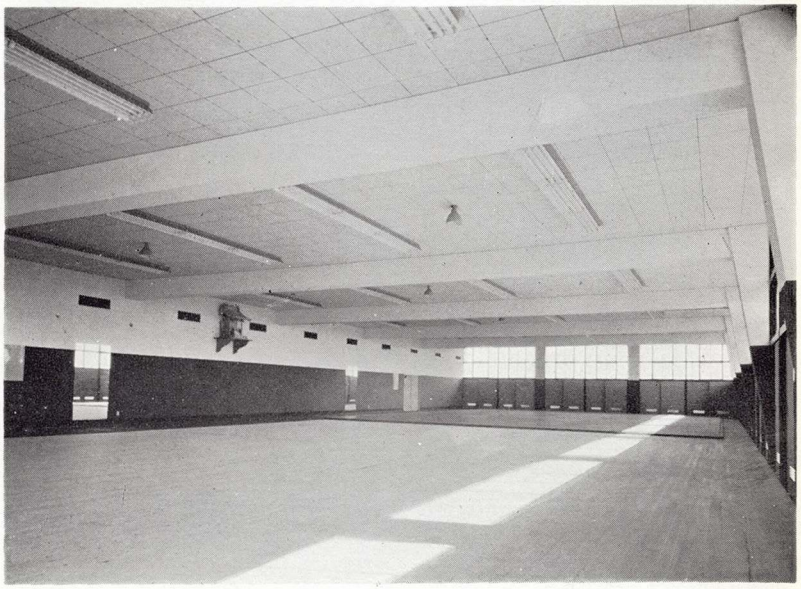
広島県立体育館

建築工事　KK 藤田組広島支店
電気工事　中国電気工事株式会社
空調衛生工事　中国工業株式会社



補助競技場内部

管理棟2階
手前：剣道場
向側：柔道場



難かしいことはわかりませんが……

建築の設計にたずさわる人々の中にも，それぞれの立場に課せられた使命によって建築に対する見方にずい分違いがあるように思う。

一円でも無駄と考えられるものは排してその分だけは教室を増加させるべきでデザインは二の次だと叫ぶ悲壮な官庁建築家と，外装や室内の壁面を飾りたてることに力を注ぐばかりで，肝心の空間のドラマには無関心な老大家との間の心境の落差を考えると暗然とせざるを得ない。

一方は公共建築の中でも，とくに苛酷な条件の中にある学校であり，一方は個人の施主の建てるデラックス商業ホテルであると言っても，同じ人間の使う建築である以上その内外を往来する人々の喜びや悲しみのすべてをうたい上げる目標については同じはずが，一方ではぜいたくとして攻撃され，他方では遊びに終り勝ちである。

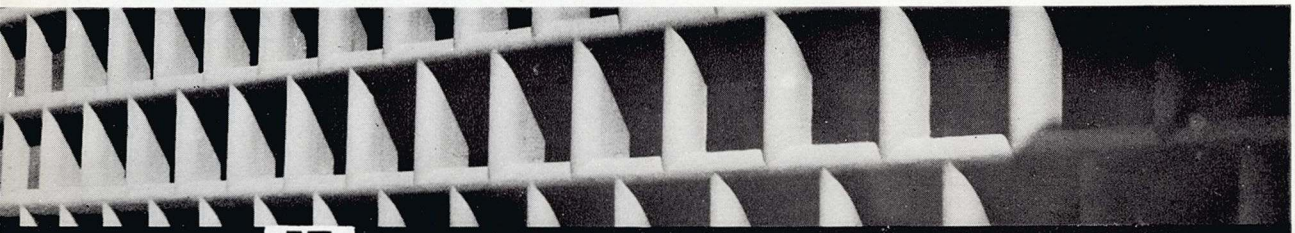
「難かしいことはわかりませんが，とにかく立派な建築にしてもらいたいのです。」……長く苦しい建築創造の旅はこの言葉から始まりこの言葉につきる。依頼者から与えられる種々の条件の厳しさの陰に隠れて，ともすれば自己を甘やかしがちな我々にとって，決して忘れてならない金言ではなかろうか。 (NM)

政　治　と　建　築

いわゆる経済の成長がわれわれの周辺にマンモスビルから小住宅に至るまで種々さまざまの建物を残して行った。

いかなる建物がたてられるにしろ，この建物の林立こそたしかに経済の成長を反映するものであろう。そしてこれらの建物をつくることによって，われわれはすぐれた技術と新しい知恵を獲得し一歩も二歩も前進した。しかし，われわれの歴史がしめすように国家の繁栄を映して建築の花が百花繚漫と咲きほころび，生活を豊かにした事実を思うとき，われわれも建築を通して市民に豊かな生活をもたらすよう努力することこそ真の使命ではなかろうか。そのためには民間の力が伸びると同時に，政府が国家事業として積極的に公共事業にのりだし，われわれはそれに惜みない努力をはらってこそ建築の真の黎明がおとづれて来るのでなかろうか。それには政治・経済の確固たる基盤が必要だが，われわれの生活に結びつきわれわれの生活を豊かにする建築群こそ，政治と結びついた建築であり，国の発展を反映するものである。

(YI)



けんちくの眼　担当50音順：足立英雄・中道正照・山下暢雄・吉岡　厳

（次号は新しい執筆者に担当してもらいます）

手を繋いで歩こう

もし設備関係業者が昔の赤穂城主なら，と思われる場面に，よくわれわれは現場において直面する。建築関係者「総ての」と何ら遜色のない，否むしろそれを上廻る高度の技術の持主である設備業者が，ただ建築業者の施工後に施工しなければならないという宿命だけで，こうまで虐待されて良いものであろうか？　なるほど一部には丁寧な施工をぶち壊すような後始末をする場合もあるが——。優秀なる建築であるためのひとつの条件，それは完備された設備である。これを考えるとき，建築業者も設備業者にもっと温い手を差しのべるべきである。

同時に学校においても「建築設備科」という科も独立して設置されることが望ましいと思うのだが……。

現在では金銭的に解決されているが，建築関係業者の理解と，自己を知る眼を持たない限り，優秀なる建築は生れることなく，何時までも建築界は原始産業の名に甘んじなければならないであろう。 (AH)

住　居　を　豊　か　に

東京タワーの上から都心の方を見ると，幾百のビルの群が重なり合って正しく東洋一の大都会としての偉容を表わしている。

ところで一転して反対側を見ると，これは又いかに殆んど平家建の木造住宅が目の続く限り続いて貧寒としたものを感じさせるが，現代日本の生活，ひいては建築の縮図を見るようで，まことに興味深いものがある。

毎度外国の例を引合いに出して恐縮だが，外国では（消費生活はわが国に劣っているような国でも），このような断層は生じていないようである。

レジャーブームに狂奔するのもほどほどにして，ねぐらをがっちり造るような風潮が起ってこないものか。

これは決して商売熱心からの提案ではない。

(YN)

特別広告掲載業者目次

（順不同）

昭和37年8月号

◀新住友ビル関係

KK大林組……作品頁
日本板硝子KK…… I
不二サッシ工業KK…… II
KK田島順三製作所…… III
小野田セメントKK…… III
東洋リノリユームKK…… IV
KK平田タイル…… V
住友ベークライトKK…… VI
高砂ゴム工業KK…… VII
内外木材工業KK…… VII
東和織物KK…… VIII
大阪三越…… IX
東洋キヤリア工業KK…… IX
新日本電気KK…… X
KK鈴木シヤタア商会…… X
亀井KK…… XI
日本ドアーチェック製造KK…… XI
三菱電機KK…… XII
KK満点製作所…… XIII
石産商事KK…… XIII
KK矢橋大理石商店……XIV
KK高島屋……XIV
住江織物KK…… XV
KK阪神百貨店…… XV
KKそごう大阪店家具装飾部…… XV
KK熊取谷石材店…… XV
竹林塗装工業KK…… XV
KK川島織物…… XV
KK関城化学工業所…… XV
KK大阪熊平金庫店
KK熊平製作所 ……XVI
KK平川鉄工所…… XVII
KK三晃商会……XVIII
KK奥村重兵衛商店……XVIII
KK建設工業社……XVIII
KK三和商会……XVIII
KK駒井鉄工所
KK春本鉄工所
松尾橋梁KK ……XIX
能美防災工業KK……XIX
KK鷲尾工作所……XIX
高砂熱学工業KK…… XX
須賀工業KK…… XX
昭和鋼機KK……XXI
大阪電気商会大阪暖房商会……XXI

玄関
事務所
間仕切に.

GOAL

近代建築には
ゴール
ユニロック



部品はプレス製品で
堅牢.永遠の耐久力

新製品
ゴールのホープ
ユニ-P
簡単な取付
手頃な価格

扉錠の専門メーカー
株式会社 谷山製作所

本社工場 大阪市東淀川区三津屋北通四丁目四四
電話 代表大阪(301) 5 2 3 1
東京営業所 東京都港区芝浜松町四丁目五
電話 東京 (431) 8708. (581) 6709

新住友ビル



建築技術の進歩は建築物の開口部を荷重支持の役割から開放しました。
その開口部に輝くガラスの豊かな拡がりは現代建築のシンボルといえましょう。



⊙ 日本板硝子

新住友ビル



不二サッシ

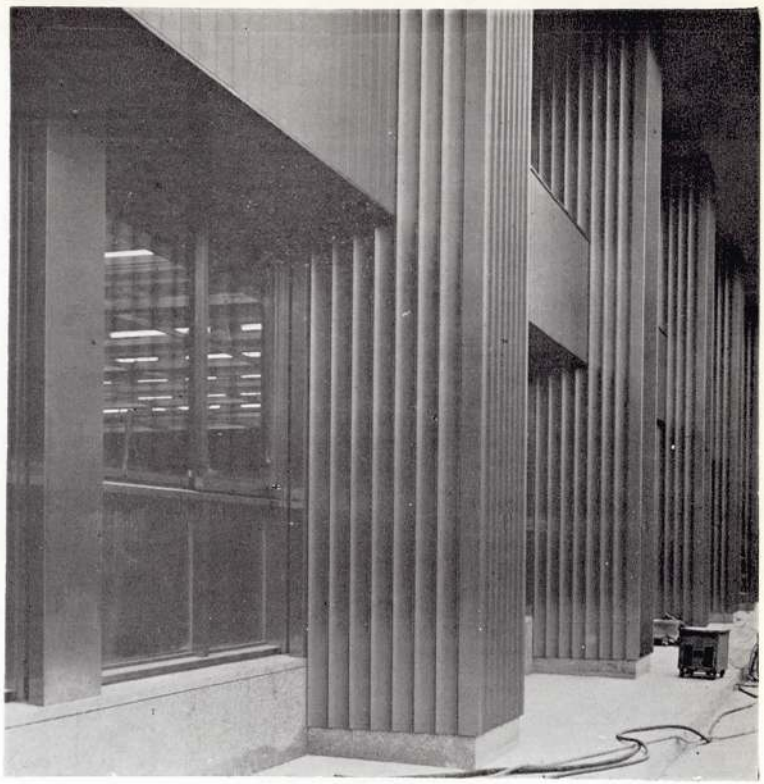






不二サッシ工業株式會社

新　住　友　ビ　ル



ステンレス工事
サッシ・ドア
柱　型・金　物

株式会社

田島順三製作所
大阪出張所

小野田セメント使用

小野田セメント株式会社





新　住　友　ビ　ル

11階大会議室　特別マーブル使用

東洋リノリユーム株式会社

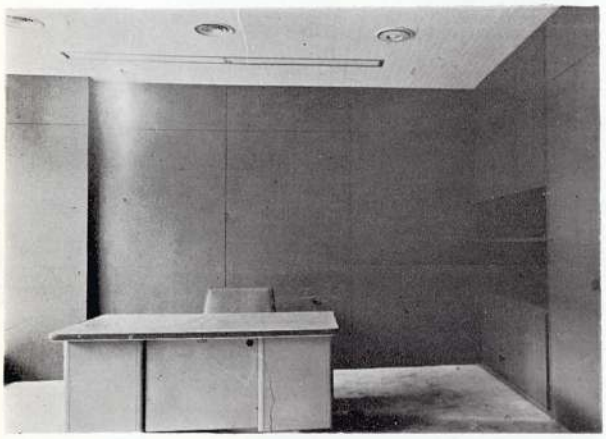
新　住　友　ビ　ル

地下１階エレベータホール・タイル工事　　株式会社　平　田　タ　イ　ル



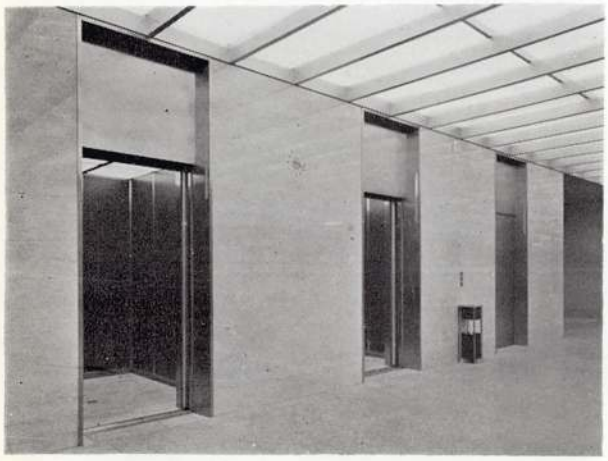


地１階社員大食堂
壁　　面　デコラ D―1761S
テーブル　デコラ D―7160S



役員室内壁面　デコラ D―1761S
デコラ D―2960S

新　住　友　ビ　ル



エレベーター内装　デコラ D―3860S

住友ベークライト　デコラ　この表面がデコラです　DECOLA

住友ベークライト株式会社

新　住　友　ビ　ル



1 階 客 溜



各階エレベータホール

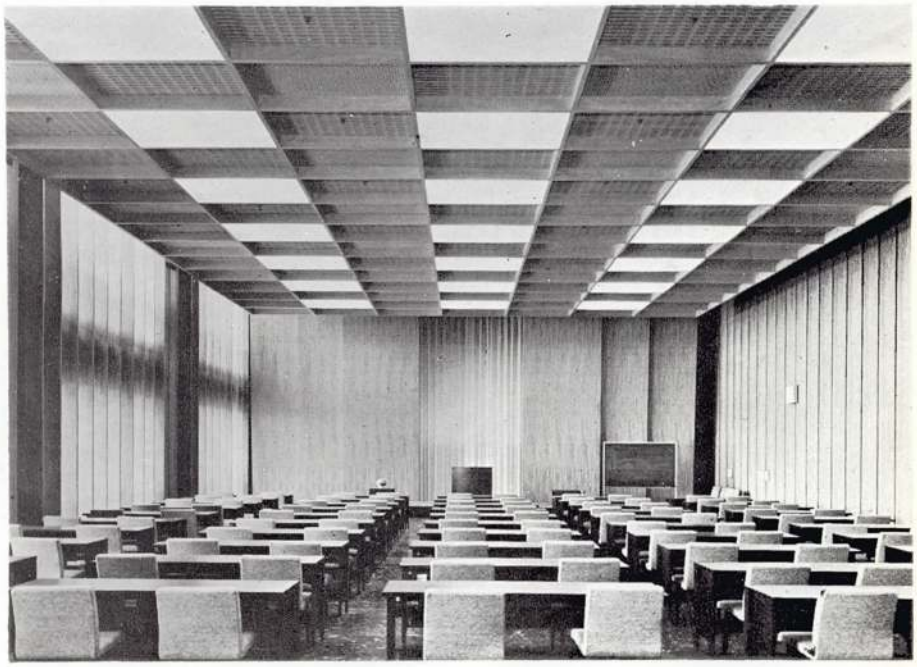
高砂ゴムタイル O－121 使用

高　砂　ゴ　ム　工　業　株　式　会　社

東 京・大 阪・福 岡

集 会 室　家具および造作

内　外　木　材　工　業　株　式　会　社



新　住　友　ビ　ル



5階中央廊下
エクスラン・英国羊毛混紡
梳毛　7粍カーペット

東　和　織　物　株　式　会　社

5階役員室
エクスラン・英国羊毛混紡梳毛カーペット
毛足12.5粍



5階役員会議室
エクスラン・英国羊毛混紡梳毛カーペット
毛足12.5粍





特別応接室

家具制作　大阪三越

一般事務室　ファンコイル　東洋キヤリア工業株式会社



新　住　友　ビ　ル



1階営業室光天井

データ・照度　平均 600ルクス
・ランプ数　FLR−40W　1252本
　　FLR−20W　　48本
・ルミナスパネル　1460㎜×1460㎜×2㎜
　　アクリライト　♯432　片面ツヤ消
・電源電圧　254V　60%



一般事務室

データ・照度　平均 400ルクス
・照明器具　40W 2 灯用
　　埋込開放型器具　6367台
　20W 2 灯用　埋込開放型器具　266台
・電源電圧　254V　60%

NEC　新　日　本　電　気　株　式　会　社

シャタア工事　　株式会社 鈴　木　シ　ヤ　タ　ア　商　会

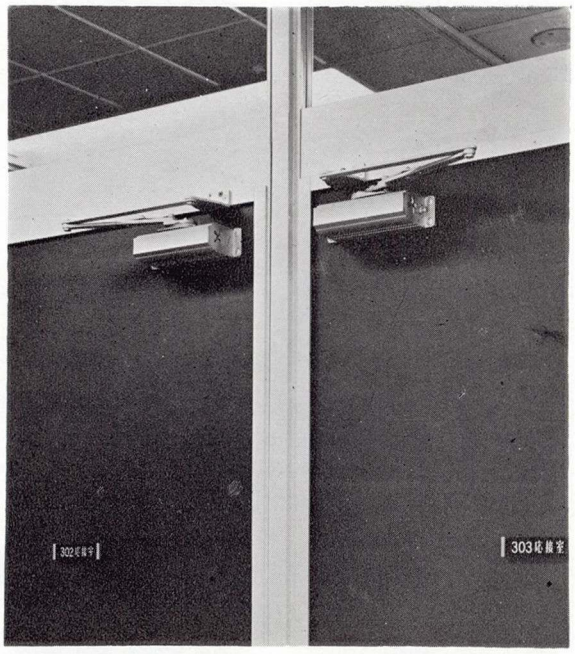


新住友ビル

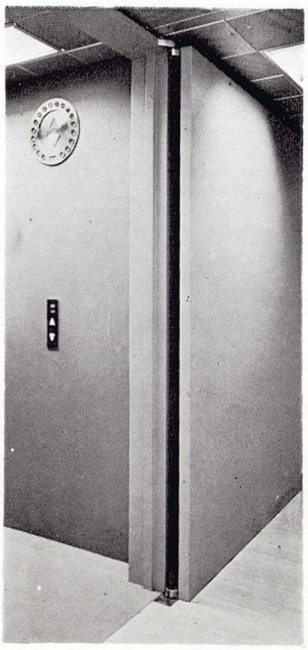


各階エレベータホール床：ゴムタイル貼
床：リノタイル，ビニラードタイル貼
各階後員室廻り壁・天井：布張

亀井株式会社



ドアーチェック



ピボットヒンジ

NEW★STAR

製造品目
ドアーチェック・フロアーヒンジ
ピボットヒンジ・ラバトリーヒンジ

日本ドアーチェック製造株式会社



▲ エレベータ１階ホール

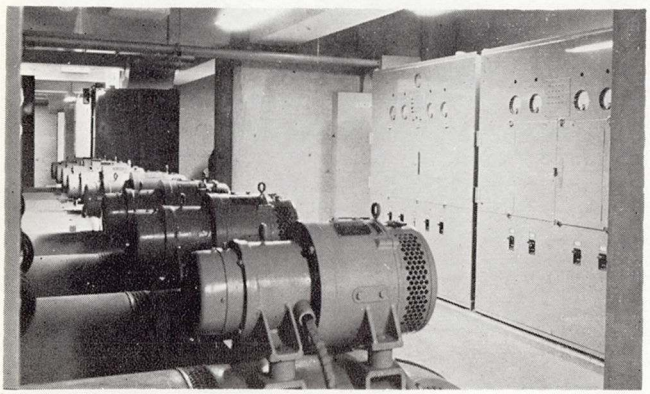
新 住 友 ビ ル

機械室リレー盤 ▶

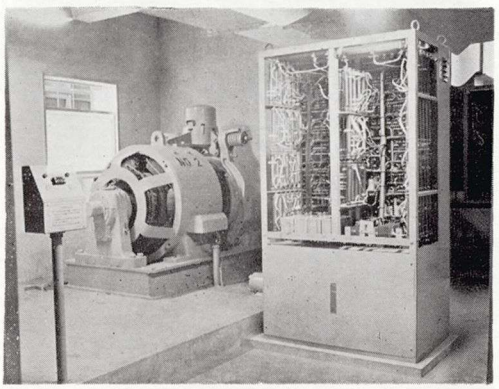


三 菱 電 機 株 式 会 社

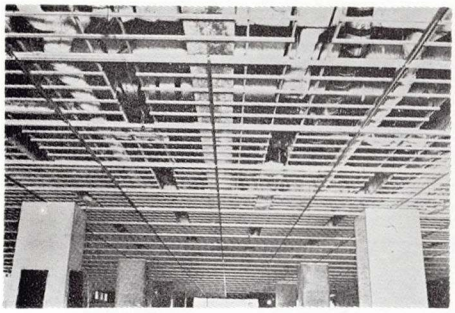
▼ 機械室受電盤および電動発電機



▼ 機械室巻上機および制御器



新　住　友　ビ　ル



SK式軽量鉄骨下地
ネールロック®



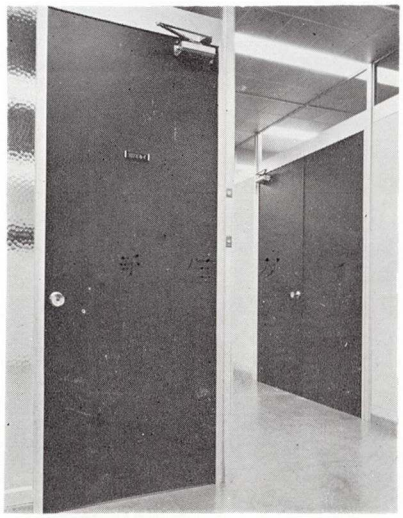
高級アルミ可動間仕切　シフトール®

株式会社　満　点　製　作　所

各階一般事務室
壁・柱
間仕切扉

スプレッドサテン
スプレッドラスター
使用

発売元　石　産　商　事　株　式　会　社





新住友ビル



玄関ホール

大理石工事　　株式会社　矢橋大理石商店

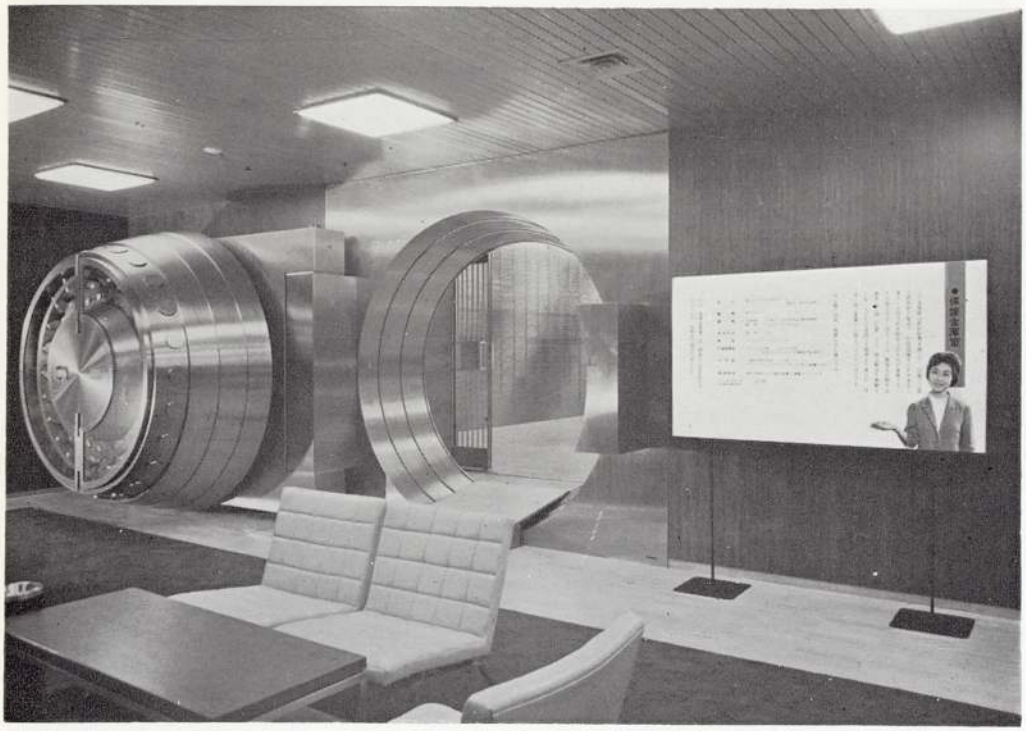
家具　　株式会社　高島屋



特別応接室

新住友ビル

敷物納入	住江織物株式会社
家具装飾	株式会社 阪神百貨店
家具什器一式 地下1階 喫茶室 〃 理髪室 〃 売店 〃 来客食堂 〃 一般食堂 12階 特別理髪室 〃 診療所	株式会社 そごう大阪店家具装飾部
敷石工事	株式会社 熊取谷石材店
塗装工事	竹林塗装工業株式会社
カーテン・椅子張 その他美術工芸織物	株式会社 川島織物
ロースタ防水工事 責任施工	株式会社 関城化学工業所

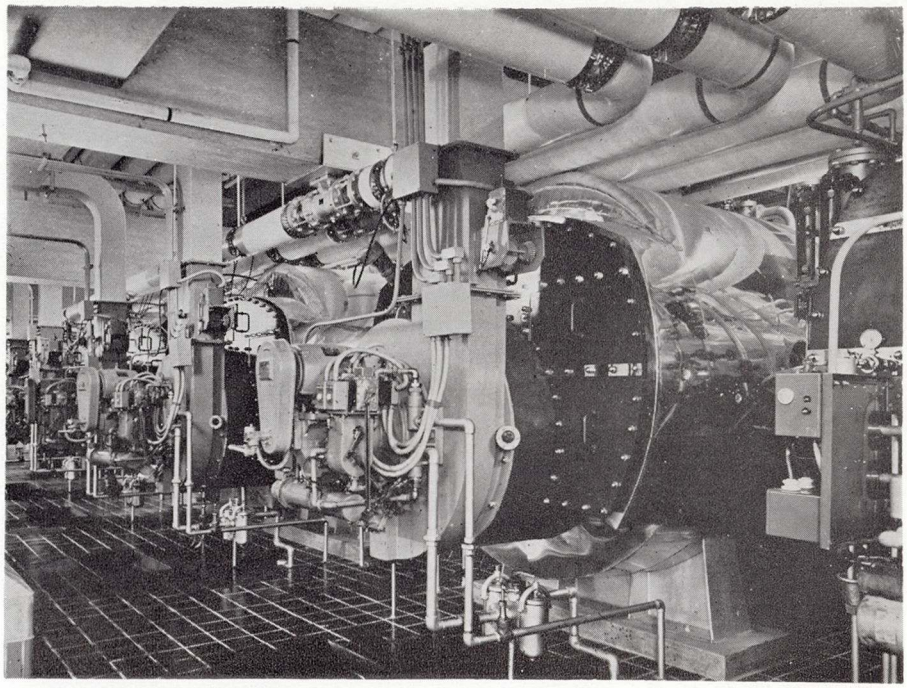


E5600d 丸 型 大 金 庫

金庫設備工事　株式会社 大 阪 熊 平 金 庫 店
株式会社 熊 平 製 作 所

促 護 貸 金 庫



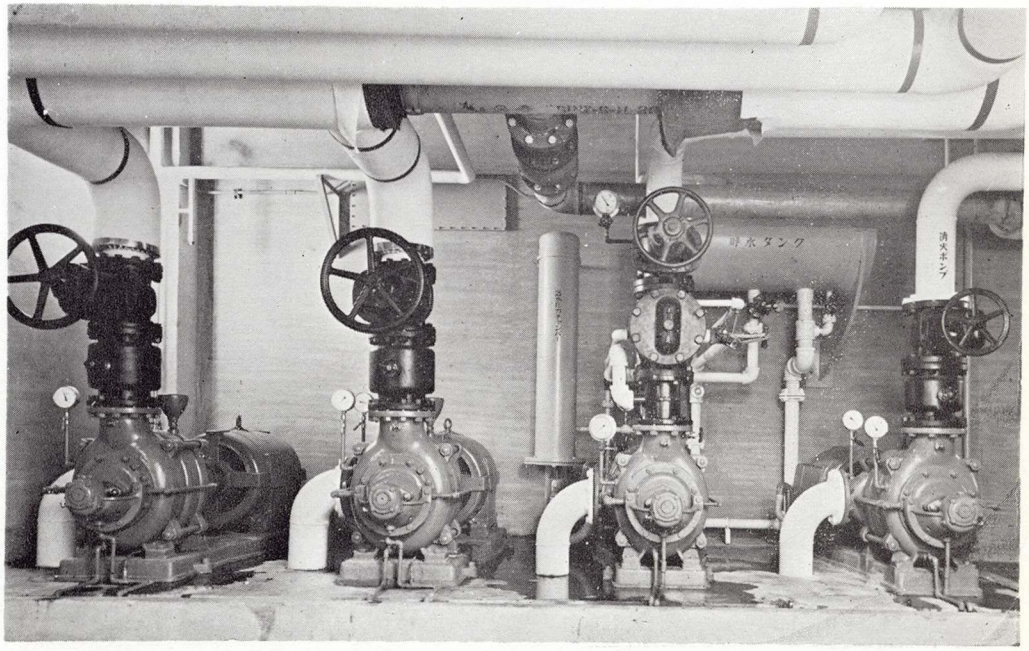


特許 平川MPボイラー505号 6基納入

株式会社 平 川 鉄 工 所

新 住 友 ビ ル

衛生設備工事 株式会社 三 晃 商 会





日進式アルミニウム工事
日進式ボード下地
日進式軽量鉄骨

株式会社　奥村重兵衛商店

新住友ビル

屋内消火栓（CEC式）

株式会社　建設工業社

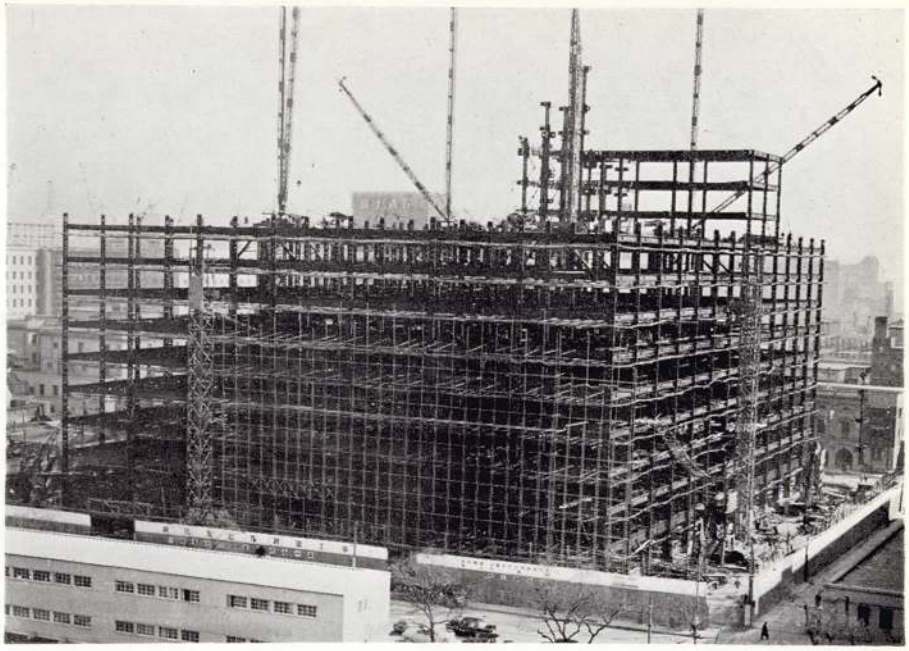
東京都港区芝下高輪町57
電（441）9171



鉄筋工事

株式会社　三和商会





鉄骨工事　株式会社　駒井鉄工所

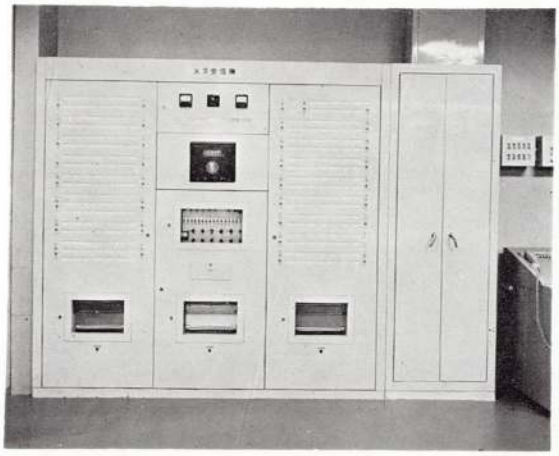
株式会社　春本鉄工所

松尾橋梁株式会社

新住友ビル

自動火災警報装置受信盤

能美防災工業株式会社

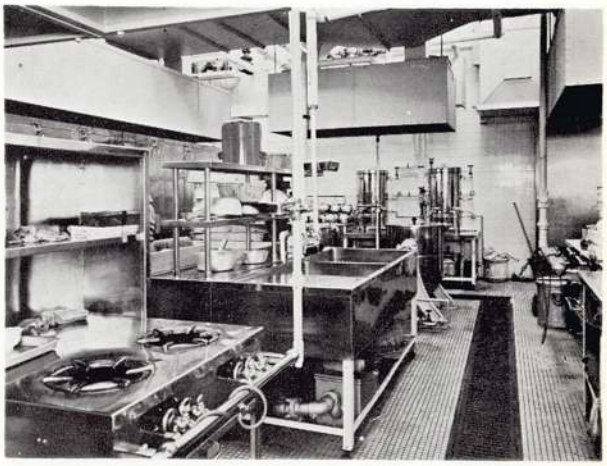


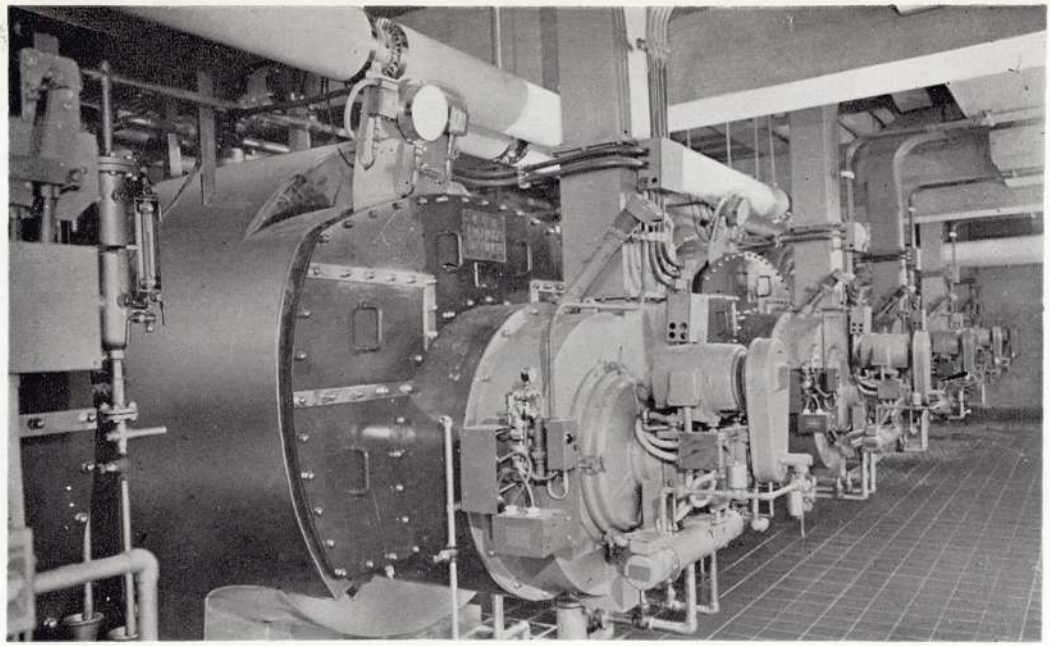
厨房総合設備

株式会社　鷲尾工作所

大阪・東京

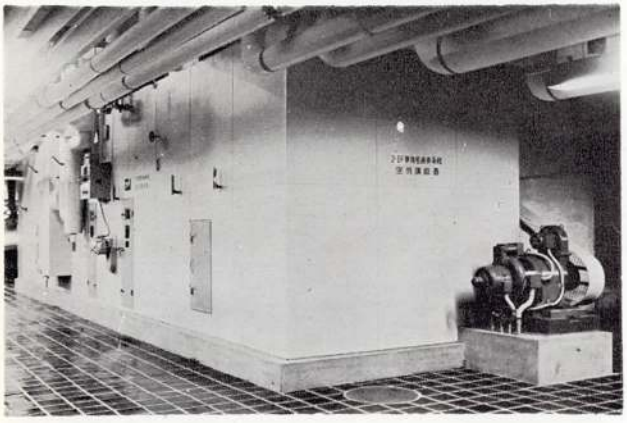
地下1階厨房



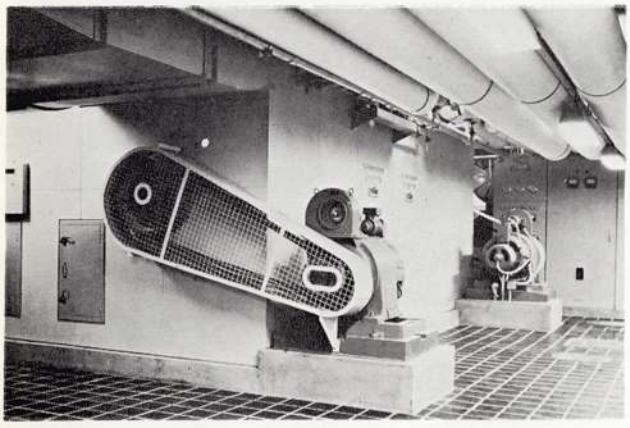


地下4階　ボイラー　　高　砂　熱　学　工　業　株　式　会　社

新　住　友　ビ　ル

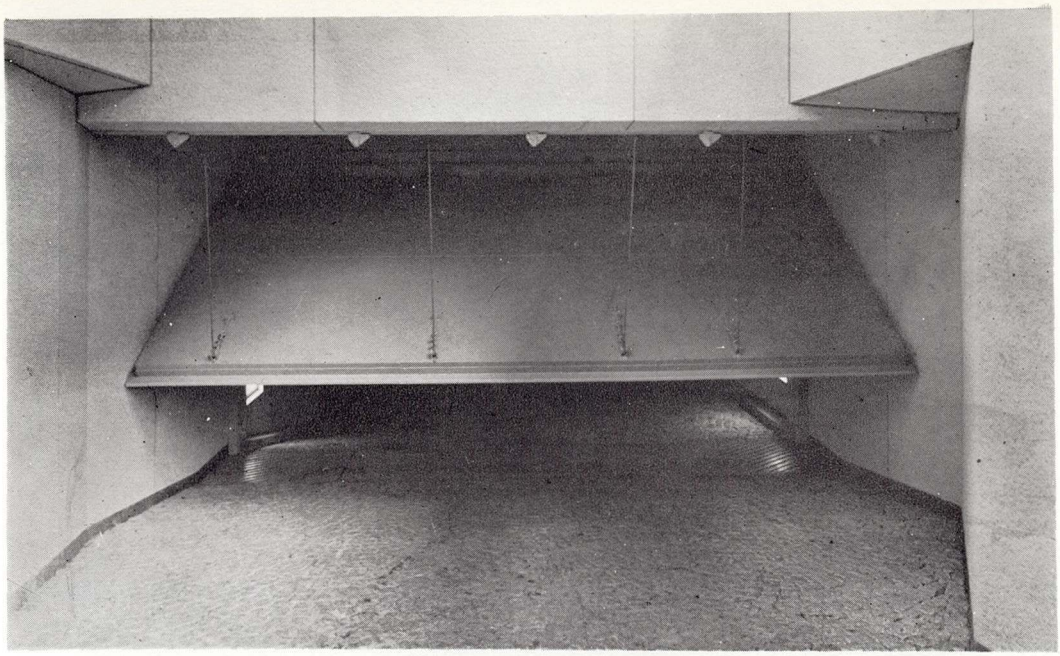


機械室（地下4階）
東系統2階～6階用空調機



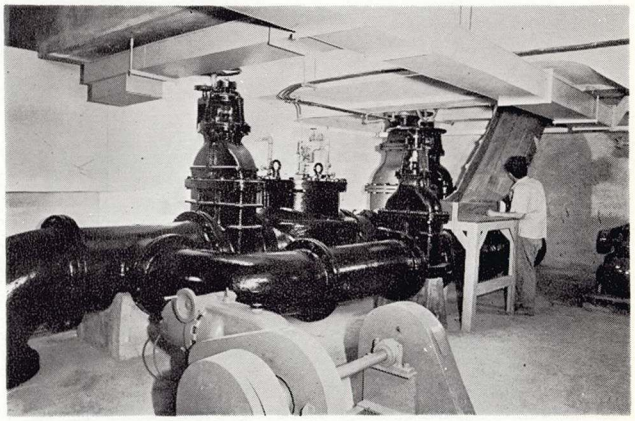
機械室（地下4階）
南西系統2階～6階用空調機

須　賀　工　業　株　式　会　社

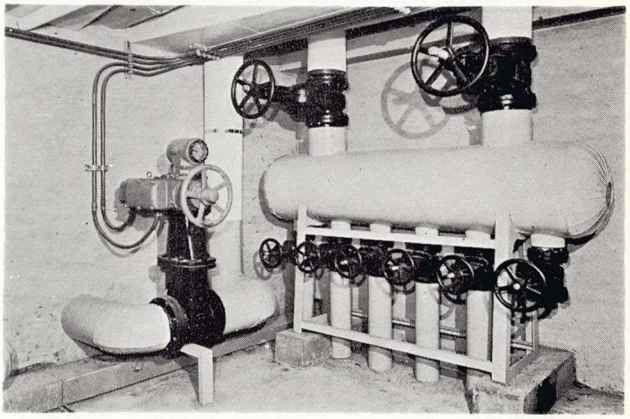


ランプウェイ　電動式防潮扉　　昭　和　鋼　機　株　式　会　社

新　住　友　ビ　ル



河水導入装置



中間給水ヘッダー

株　式　会　社

大阪電気商会　大阪暖房商会

特集　阪神高速道路と近畿の開発

■ 阪神高速道路を中心とした大阪の道路網計画

■ 阪神高速道路と業務地域との結びつき

■ 随想二点：中沢誠一郎・粂川義男

■ 近畿（兵庫）の開発例

1. 明石海峡のかけ橋
2. 神戸市背山総合開発計画
3. 兵庫県総合開発マップ

阪神高速道路を中心とした大阪の道路網計画

大阪府土木部幹線課
毎　度　好　数

Ⅰ都市交通処理の基本方針

20世紀の注目すべき現象は，都市に対する限りなき人口集中による都市化と輸送機関の手段的変化による自動車化である。これは近代国家における経済機構のもたらす必然的な結果であり，とくに最近のように，政治と経済の結びつきが密接な都市ではマンモス化した現象がみえ，東京や大阪が急激な膨張を続けた結果公共施設の整備がこれと歩調をあわすことができず，跛行的な発展をとげあらゆる矛盾が露呈されるようになった。

現在の都市はこうした新しい波に対応して古い形態（在来都市の道路は近代化された自動車交通万能を考慮した道路形態をもっていない）から脱皮すべく，都市計画的手段でもってその改革を加えつつあるが，激増する自動車に対しては完全な解決策を見い出していない現状にある。東京や大阪ではいろいろの対策を講じ，その対策に苦心をしているものの，自動車交通の激しさは増加する一方で，道路交通は日々に悪化し，いたるところの交さ点で延々長蛇の自動車がならび，道路上は車で埋った感がある。

本来交通の目的とするものは，迅速，安全，正確，低廉，大量，快的などを満足するものでなければならないのに，阪神地区の自動車交通は速度の低下—時速20粁以下，交通渋滞— 500m 以上かつ30分以上の停滞が1ヵ月77路線，170時間，事故の続発—大阪の死傷者は1日約80人と，まったく逆比例の傾向でもって交通輸送を減退させており，都市機能を抑制する結果となっている。このままの姿を放置するならば，ここ数ヵ年をたたずして交通は完全にマヒをおこし大阪市都心部では昭和42年頃にまったくお手上げの状態となって，産業経済に与える打撃ははかり知れないものがあると憂慮されている。

自動車対策については，都市交通の一環として，その全体的な視野に立って土地利用との関連のもとに検討されねばならない。しかし，混乱しきった大阪の交通事情を抜本的に解決する方策は，強力な交通規制，平面道路の積極的な築造などが緊急対策として考えられるけれども，それ以前の問題で，かつ結果的に熟考を要するものとして，都心地区の土地利用形態を近代的なものにする必要がある。都市における土地利用の状態は一応高度に利用されているようだが，大阪の業務地と目される船場・島之内の利用状態はかならずしも当をえたものとはいい難いものがあり，その企業の営業制度に疑問をもつ。このような問屋商業による物資の搬出入が依然として続けられる限り，輸送手段の便利さからくる自動車交通はますます激しくなり，今以上の混乱が予想される。また，高層ビルには当然付随すべき駐車場施設がなく，その不備から路上駐車が余儀なくされ，車道に車の氾濫がみられるようではなおさらのことである。都心にビルが立ち，業務施設が集まれば自動車はますます集中し，ために尨大な道路面積，あるいは駐車場施設を必要とする結果を生じるが，都市化と自動車化は土地利用の上で根本的な矛盾を含んでいる。単に交通混乱の原因が道路整備の不充分さからくるものとして道路面積さえ増やせばすべて解決するかに考えられがちであるが，道路を増やせば今以上の自動車交通量をみるであろうし，道路面積を無限に増やすことがいつまでもできるものでもないしそこにはおのずから限界がある。

道路を考えない建物の存在はありえないし，沿道利用と交通をもたない道路の存在も無価値に等しい。ここにおいて当然のこととして考えられることは，さきにもふれた都市化と自動化の調和であり，今後の都市計画のもつ重要なポイントとしてクローズアップされるわけである。また，他方では道路利用の需要者側の調整も当然必要なこととなり，野放図な政策であってはならない。

交通問題をこのように考える場合道路・建築・自動車の需供給の三者は三身一体であり，お互いを忘れることはできない。

現在，東京や大阪でとり上げられている交通緩和の対策は，道路を主としてみた場合，警察による強力な交通規制，都市計画街路の整備，路面電車の撤去による自動車交通の円滑化などがあるが，これとても激増する交通量には追いつけないようであり，すべての点で利便のある都市高速自動車道路の建設に着手することとなった。これとても現在計画のみでもって将来の交通需要を充分満足して処理できるものでもないと考えられるし，当然その延伸計画が起ってくるであろうと思われる。またこれと呼応して駐車場施設の建設がおこなわなければ本当の交通問題の解決にはならない。都心部の道路は容量的に限界がきており，路上駐車が許されるべき状態ではないのであるから，高速自動車道路を都心深く引き入れ，そのままで駐車場施設を整備しないやり方は非常に危険な交通対策である。都市における高速自動車道路と駐車場施設は切り離せない問題であり，ビルの建設についても発生し集中するであろう交通量を考慮した駐車施設をもった建設計画とすべきである。

以上，道路を中心とした都市交通の処理について概要を記したが，これには大方の批判もあることと思う。これから紹介する阪神地区の都市高速自動車道路計画も，こうした問題をすべて解決した上で誕生したわけではない。また，そう一朝一夕に解決できるわけでもない。少くとも都市計画にたずさわる人間が，今後慎重に検討を加えて解決すべきものであると考える。

しかしながら，阪神地区の交通混乱が極限にきた現在，なによりもまず交通問題を解決しなければならない。解決の一方策としての高速自動車通路の建設が急務であることに異論をはさむ余地はないであろう。

5月1日に発足した「阪神高速道路公団」のもつ使命もここにあるわけで重大な意義があると思われる。

以下，阪神高速道路を中心とした道路計画の概要について紹介することとする。

Ⅱ　阪神高速道路公団成立までの経過

阪神地区の交通混乱を抜本的に解決するためには総合的な面からの検討が必要なことはすでに記したとおりである。一貫した整備計画のもとに都市内交通を処理する機関でもって恒久対策をたてる必要があることが話題となり，種々協議の結果，阪神に独立した公団を作り，高速道路の建設を促進するのが最上の策として考えられたわけである。

以下こうした問題を提起するにいたった阪神地区の交通事情と，公団成立までの経過を述べることとする。

1．阪神地区の交通事情

阪神地区の交通混乱の主な原因は

(イ)　限りなき人口集中

阪神地区は全国総人口の8％，約770万人が集中し，その住居地は郊外に，職場が都心にあってその間の動きが激しくなっている。

(ロ)　建築容積の激増

都心部のビルラッシュが続き，大阪市では年々約15万坪のビルが建築され，交通の発生，集中に拍車をかけている。

(ハ)　ぼう大な自動車登録台数

自動車登録台数はぐんぐん増加し阪神地区は全国の約41万台（36年3月末）約12％が集中している。とくに貨物自動車類が多く，交通流はトラックの混合率が非常に高く，6割位を占めている。また，1,000人当りの登録台数は大阪は東京の66台を超え，77台を示している。

(ニ)　道路整備の立遅れ

阪神地区の道路は質量ともにおとっている。大阪の都心部では自動車時代以前の狭い道路でその上路上駐

第1表　　自動車保有台数

区分	自動車保有台数				
	保有台数（台）	増加率（％）	1,000人当りの保有台数（台）	単位面積当りの台数（台/方粁）	全国比（％）
阪神間都市	38,544	—	40.6	267.7	1.1
神戸市	58,197	17.4	51.3	256.8	1.6
大阪市	234,682	20.2	76.6	1,313.1	6.6
大阪府	317,139	20.5	56.7	276.2	9.0
阪神都市圏	413,880	18.4	52.9	272.5	11.6
東京都	△ 298,834	△17.4	△36.2	△ 516.4	△17.0
	654,264	18.9	66.1	1,130.7	18.4

註　1．東京都の上段△印は首都高速道路公団設立時の調査資料による。
　　2．増加率は昭和30年からの年平均増加率である。
　　3．資料は昭和36年3月末，ただし東京都は36年6月とする。

第2表　交さ点の車種混合の割合

	交さ点名	乗用車	貨物車	低速車
大阪	本町四丁目	32.5％	59.5％	8.0％
	梅田新道	37.0	50.2	12.8
	末吉橋	16.2	68.1	15.7
	阪神前	47.2	49.3	3.5
	日本橋一丁目	36.1	47.8	16.1
	北浜二丁目	45.5	44.6	9.9
東京	祝田橋	61.7	30.4	7.9
	日比谷	61.9	29.1	9.0
	新橋一丁目	35.0	51.3	13.7
	銀座四丁目	53.1	28.6	18.3
	日本橋	57.6	27.0	15.4
	上野広小路	43.8	31.8	24.4

第3表　阪神地区の自動車登録台数

区分	昭和25年3	26 3	27 3	28 3	29 3	30 3	31 3	32 3
大阪市	24,600	25,337	34,193	46,275	65,935	84,708	95,221	112,344
大阪府	26,989	33,338	46,840	60,888	86,756	111,458	126,962	149,792
阪神間都市	—	—	—	—	—	—	14,006	20,215
神戸市	5,200	7,867	11,044	16,541	21,395	22,271	25,767	31,083
阪神地区合計	—	—	—	—	—	—	166,735	201,090
東京都	53,378	68,353	91,757	134,644	194,105	217,841	247,771	298,834
全国	324,117	413,732	531,570	759,757	1,094,784	1,338,313	1,501,740	1,775,120

区分	33 3	34 3	35 3	36 3	40 3	45 3	50 3	55 3
大阪市	122,383	139,885	181,766	234,682	—	—	—	—
大阪府	169,976	197,021	252,453	317,139	388,000	577,000	855,000	1,365,000
阪神間都市	23,643	27,879	32,451	38,544	138,000	214,000	322,000	486,000
神戸市	36,105	44,001	50,921	58,197	78,000	126,000	183,000	280,000
阪神地区合計	229,724	268,901	335,825	413,880	604,000	917,000	1,360,000	2,131,000
東京都	353,691	419,137	516,352	622,924	800,000	—	1,500,000	—
全国	2,069,143	2,404,118	2,898,479	3,543,101		—	—	—

第4表　道路の密度

区分	面積	人口	人口密度	道路現況		道路網を構成する数値		
				延長	面積	平均巾員	平均路線間隔	道路面積率
	km²	人	人/km²	km	km²	m	m	%
大阪市 都心区部	19.73	292,000	14,800	290	3.803	13.0	136.0	19.3
大阪市 周辺区部	182.59	2,769,000	15,165	2,532.6	20.127	7.9	144.0	11.0
大阪市 計	202.32	3,061,000	15,129	2,822.6	23.930	8.5	143.0	11.8
阪神間都市	160.45	735,432	4,600	1,616.0	10.528	6.5	208.0	6.5
神戸市	30.71	665,103	21,650	477.6	4.970	10.2	168.0	15.2
東京都心部	31.15	604,119	19,860	610	7.040	12.0	107.0	22.8

註　東京都の数字は，昭和31年4月1日現在のもので，首都高速道路公団設立時の調査資料による。ここにいう阪神間都市は尼崎，西宮，芦屋の3市とする。

第5表　都市計画街路の整備状況

区分	計画		完成街路	進捗状況（計画巾員に対する割合）					計画面積に対する出来高面積の割合
	延長	面積	面積	100%	80%以上	50%以上	50%未満	0%	
	m	m²	m²						
大阪市 都心部	61,550	2,185,860	1,748,800	46,540	1,500	3,130	1,180	9,200	80.0%
大阪市 周辺部	298,790	8,318,420	4,926,180	135,790	4,370	47,590	7,090	103,950	59.2
大阪市 計	360,340	10,504,280	6,674,980	182,330	5,870	50,720	8,270	113,150	63.5
阪神間都市	399,808	7,036,157	3,574,768	104,842	20,062	64,125	63,863	146,916	50.8
神戸市	158,705	3,476,960	2,594,182	73,488	11,613	22,856	39,750	10,998	74.6

車で道路を余計に狭くしている。都市面積に対する道路面積は，諸外国に比してはるかに少く，大阪市では12％で世界各国とは比較にならない。

(ホ)　交さ点による制約

交さ点交通量は非常な勢で伸びており，大阪市内主要38交さ点のうち12時間交通量が3万台を超えたものが35箇所もあり，そのうち限界の6万台を超えたものが12箇所もある。

(ヘ)　交通事故と停滞

阪神地区の交通停滞は，大阪都心部から北大阪を中心としておこっている。大阪市では交通停滞が1ヵ月77路線にも及び，交通事故は1ヵ月5.4万件，1件当りの死傷者は0.5人（東京0.4人）にも達しており，阪神地区の交通がどうにもならないぎりぎりの線にきている。

2.　昭和42年にはマヒをおこす阪神地区の交通

阪神地区の交通は自動車の激増によって年々走行速度が低下し，現在では時速20kmがやっとというありさまで，このままでいくと昭和42年頃には大阪の梅田新道，本町4丁目，神戸の新開地などはマヒをおこし，他の交さ点でも自動車の走行速度は歩行者の速度程度まで低下すると心配されている。

大阪市内では現在でも12交さ点が限界にきており，このままで進むと昭和42年には33交さ点がマヒし，整備計画によって改良を加えても昭和40年には18交さ点，昭和42年には29交さ点がマヒすることも予想されている。神戸市内もまた同様である。

3.　道路交通に対する対策

このように，あと数年後に到来するであろう道路交通の危機に対処するためには総合的な交通対策でのぞむ必要がある。

道路の交通容量を増加させる応急的方法としてはつぎのことが考えられる。

①　交通整理方式の改良

②　路面電車の停留所移転，安全

地帯の撤去

③ 軌道面の改良，軌道の整理

④ 交さ点改良による立体化

これらはいずれも慎重に検討して実施されねばならないが，根本的な解決方法ではない。恒久的対策としては，

① 道路の新設，拡巾

② 路外駐車場の整備

がある。しかし，大都市においては建物が密集し，地価が高価で容易に道路の建設が進まない。これにはできるだけ少ない土地で，できるだけ能率のよい道路を作る以外に方法はない。こうして考えられたのが早期に建設が可能で，しかも効果の大きい阪神高速道路である。

第6表　主要交さ点の12時間交通量

	25年	30年	35年	倍率
大阪				
阪神前	8,660	40,790	72,564	8.5
梅田新道	16,650	58,916	94,723	5.7
本町四丁目	15,489	61,938	99,262	6.5
難波新道	7,135	42,525	52,354	7.4
阿倍野橋	6,589	30,055	67,875	10.4
末吉橋	7,008	42,783	77,115	11.0
神戸				
東尻池		19,960	37,968	1.9
新開地		27,597	41,726	1.9
三宮		38,346	52,023	1.4

註 1. 神戸分30年交通量は31年の値
2. 神戸分の倍率は31年を基準とした値

第7表　主要交さ点の交通容量限界年度

地区名	交さ点名	限界年度 街路整備を行わない場合 A	街路整備し実施した場合 B	Bの外に軌道なども撤去
大阪市	阪急前	39年	39年	40年
	梅田新道	35	40	41
	肥後橋	39	41	46
	本町四丁目	36	37	40
	末吉橋	35	35	37
	難波新地	35以前	41	47
	上六	35以前	44	47
	阿倍野橋	42	42	46
	杭全	45	46	46
	浜口町	46	46	46
神戸市	三宮駅前	35	35	38
	新開地	37	37	41
	西出町	39	39	42
	東尻池	37	37	42
	春日野道	40	40	42
	大橋九丁目	39	39	45

4. 公団成立までの経過

阪神地区の交通問題の究明と，その抜本的対策を立てるため，地元の関係公共団体で各種の予備調査とその打開策を講じてきたが，交通問題のひっ迫した昭和34年には「阪神地区高速道路協議会」がもうけられ，危機にある阪神地区の交通処理対策を立案することとなった。

(イ) 協議会参加の地元公共団体は
大阪府，大阪市，兵庫県，神戸市
近畿地方建設局，日本道路公団大阪支社，第2阪神国道事務所

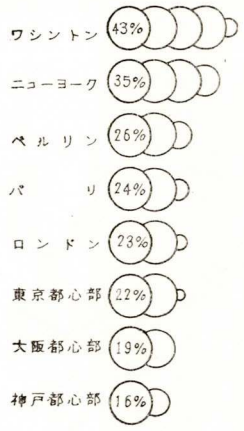
(ロ) 予定路線…9路線…延長142.3km
大阪環状線……26.83km
大阪小環状線…15.71km
大阪中央線…… 2.01km
御堂筋線…… 7.19km
大阪茨木線……14.17km
大阪南池田線…16.95km
第2阪和線……14.59km
阪姫線……26.42km
神戸臨港線……18.40km

以上が協議会の計画案であったがこうした技術的な面の検討が進むのと平行して，これが計画の早期実現を期するために，昭和36年6月「阪神地区高速道路建設促進連盟」を発足させ，政府，国会，その他関係各機関に対する請願，陳情をおこなうこととなった。昭和36年4月には〝高速道路の建設は新公団で〟ということを決定し，その後随時，建設省大蔵省，国会議員などに公団新設を陳情した。

5. 公団新設の理由

(イ) 計画対象地域は大阪府，大阪市兵庫県，神戸市が含まれ，相互に有機的なつながりのある地域であるから，交通問題解決の道路整備計画も当然密接な連けいを保つ必要があり，特定の公共団体で整備

世界主要都の道路面積率



をおこなうことが不可能であり新らしい団体（公団）が必要である

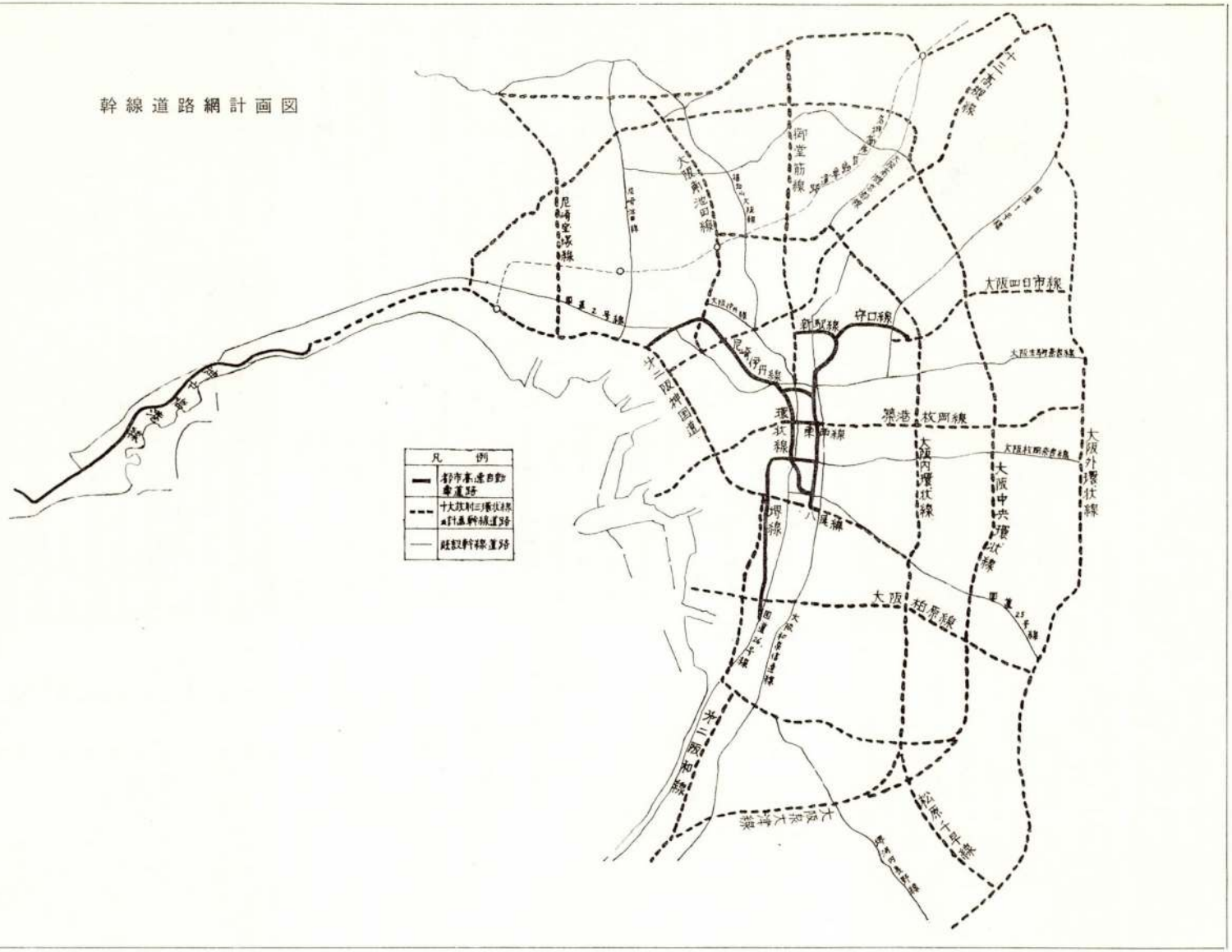
(ロ) 阪神地区の交通問題を一挙に解決するためには建設費の集中的投資が必要である。したがって阪神地区に独立の公団を作って政府資金，関係府県市の出資の他に関西財界の民間資本を投入して短期間に高速道路の建設を促進するのが最善の方策である。

(ハ) 新らしい公団は関係府県市と表裏一体の関係におかれるから，計画定施に当って地元民の意志が反映されるし，工事施行の円滑化が期待できる。

以上のように，高速道路の建設計画を促進するため，着々と手は打ってきたが，なお一層強力な体制を作り，一日も早く実現させるため，昭和36年6月「大阪府高速道路建設調査室」を発足させ，基礎的な調査を実施し，資料をとりまとめることとなった。従って公団発足までの高速道路網計画は調査室を中心にして動くこととなり，高速道路の必要性についてのPRも，調査室員の苦労の結晶である数多くの資料によっておこなわれた。同年8月には建設省から非公式に「高速道路に関する基本方針」なるものが示されたのでこれによって地がためをおこない，各路線の予備測量や環状線のボーリングを実施した。

また，10月には大阪地方計画審議

幹線道路網計画図


凡例
都市高速自動車道路
十大放射三環状線及計画幹線道路
既設幹線道路
尼崎堺線
大阪堺池田線
御堂筋線
大阪四日市線
守口線
都島線
環状線
東西線
堺線
八尾線
大阪内環状線
大阪中央環状線
大阪外環状線
大阪柏原線
大阪枚岡線
湾岸線
第二阪神国道
第二阪和国道

第8表　　計画路線起終点経過地

路線名称	起点	終点	主な経過地	巾員	延長
				m	m
環状線	北区梅田町	北区中之島3丁目	堂島堀川～西横堀川～難波～恵美須町～高津入堀川～東横堀川～堂島川	16.0	11,960
新駅線	北区樋之上町	大淀区豊崎西通5丁目	天満入堀川～樋之上町～長柄浜通～中津運河	17.6	5,190
守口線	大淀区長柄浜通3丁目	旭区大宮町4丁目	城北運河	17.6	2,680
八尾線	浪速区南日東町	東住吉区桑津町6丁目	動物園前～阿倍野橋	17.6	3,640
堺線	南区高津町2番丁	住吉区西住江町3丁目	日本橋一丁目～戎橋～湊町～汐見橋～十三間堀川	17.6	10,070
尼崎伊丹線	北区梅田町	尼崎市	鶯洲上通1丁目～柏里町～歌島運河～阪北運河	17.6	6,070
東西線	西区阿波座上通2丁目	東区両替町2丁目	唐物町	12.8×2	1,770
神戸臨港線	東灘区魚崎町	須磨区月見山町	摩耶埠頭，神戸税関前，西出町，東尻池	16.0	16,650
合計					58,030

会に「高速道路技術委員会」を設置し，高速道路網計画の調査付託をおこない，学識経験者による慎重審議をおこなった結果，37年5月25日，同委員会から答申がなされた。

これより先，昭和36年12月には大阪において一日建設省が開催され，地元関係各機関から新公団設立についての強い要望がおこなわれた結果建設省は新公団設立の計画推進を確約した。また同12月，昭和37年度政府予算獲得対策本部を東京赤坂プリンスホテルに設置し「阪神高速道路公団設立対策本部」として猛烈な陳情を開始し，ついに12月27日，政府は「臨時交通関係閣僚懇談会」において公団設置を決定した。明けて37年3月23日，公団法案が国会を通過し，その後公団発足のための諸準備がおこなわれた結果，5月1日をもって「阪神高速道路公団」が誕生することとなったわけである。

Ⅲ　高速道路網の計画

都市交通のもつ隘路の根本的な解決策はさきにもふれたように総合的な交通施策による必要がある。

とくに問題を道路交通にしぼった場合，交通本来の目的を充分満足すべき条件を具備した都市内高速道路のはたす役割りは非常に大きいものがある。

1.　高速道路網の計画

阪神地区の高速道路は，その地域の性格上，阪神を一体とした網構成を計画することによって交通機能の有機性を高めることとした。これはあくまでも都市交通施設の一環として検討されたわけである。

計画の対象地域としては，現段階においてはとくに交通量が多く，かつ交通障害のいちじるしい地域で，早期に都市高速道路の建設を必要とする地域を考え，路線の選定については交通性格の分析にもとづいて都心部内交通，および周辺部から都心部を指向する自動車交通を処理する路線を選定することとした。その経過地については主要な国鉄，私鉄駅ならびに駐車場の建設計画との連絡を充分に勘案するとともに市街地の土地利用を考慮し，原則として家屋の密集地を避け，つとめて治水・利水上支障のないように河川または運河を利用するものとし，やむをえざる場合は広巾員（40m以上）の道路上に設置するものとした。以下各路線の性格について説明する。

環状線

東横堀川，西横堀川など市内河川を利用した環状路線で，都心部地区内の南北交通の処理，放射状路線と有機的連けいをはかることによって各路線の機能を高め，一方通行型式による自動車交通の走行処理を円滑にするように計画されたもので，現在時点においては一番早く着工する必要のある路線である。

尼崎伊丹線

大阪国際空港，名神高速豊中インターチェンヂと大阪市都心部を結ぶと同時に，混乱しきった国道2号線の交通をスムースにさばくために必要欠くことのできない路線である。

守口線

国道1号線から集中する尨大な自動車の群れをさばき，名神高速の茨木インターチェンヂ，国鉄新幹線の三島貨物駅，中央環状線などと連絡する重要な路線である。

新駅線

千里丘陵ニュータウン（人口15万人），新大阪駅などと都心部をむすぶもので今後の交通需要には欠かせ

ない路線である。

八　尾　線

国道25号線によって大阪市東南部奈良方面から都心部に流入する自動車をさばくもので，これらの地区の開発が進展している現在，将来交通の需要を考えあわせると欠かすことのできない路線である。

堺　　線

国道26号線の交通量は容量的に限界に達し，加えて大阪南港，堺，泉州海岸などの埋立による臨海工業地帯の造成が急ピッチではじまっており，今後はますます交通量が激増するものと予想されるので，大阪南部と連絡する重要路線として選定されたものである。

東　西　線

大阪都心部の都市計画街路上に設け，環状線とむすんでその機能を高めようとする路線である。

神戸臨港線

神戸市内の東西交通を円滑に処理し，国際港と連絡することによって陸上輸送の確立をはかり，将来の交通需要に対処しようとする路線である。

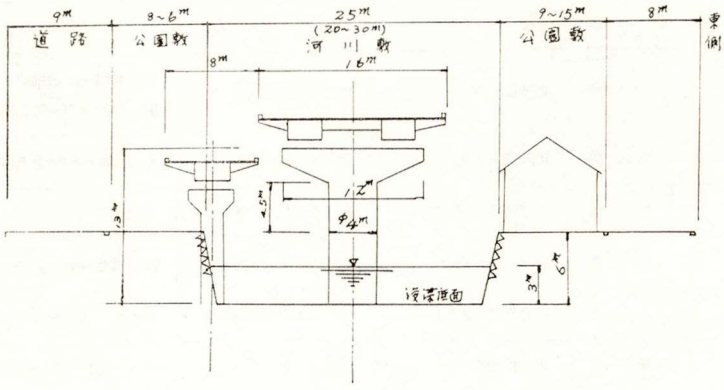
以上の高速道路網は8路線，延長58km，総事業約912億円となっている。

2．高速道路の構造

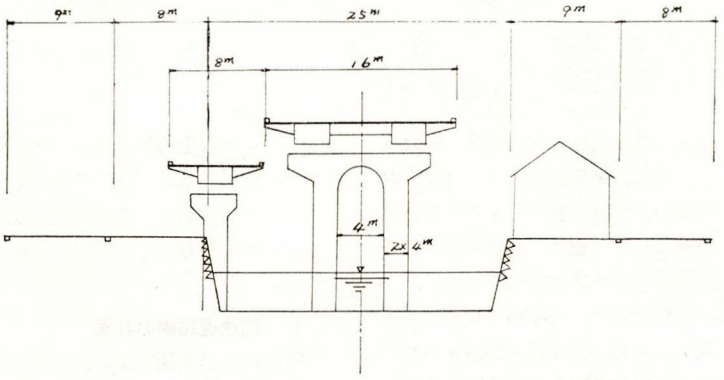
大阪市内における高速道路の構造は路下の土地利用上から考えてすべて高架式を採用している。

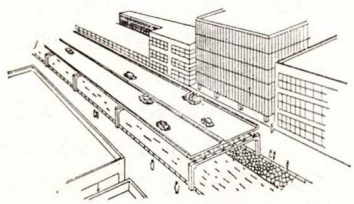
タイプの選定は常識的にいって，市街地に高架構造物を築造するものであるから附近地との調和を考え，都市美を確保し，より以上の美観を添えるものであること，技術的には型式，構造ともに耐久性に富み，耐需性のもので経済的に有利，かつ外観の簡素化した構造物であるような設計方針でもって望む必要がある。ただ大阪の地盤は衆知のように非常に悪く絶えず地盤沈下になやまされているから，上部構造の軽量化が必要となり，下部構造も地盤支持からいって井筒基礎などが有利と思われる。脚柱は場所によって単柱，二柱などを採用することとなろう。

標準構造物（単柱）

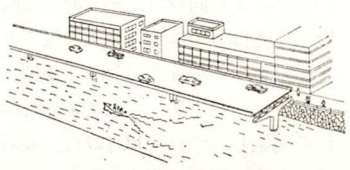


標準構造物（二本柱）





狭い河川の河川敷を利用する場合



広い河川の河川敷を利用する場合

3．建設事業費とその資金

高速道路を完成するための建設事業費は約912億円となっている。このうち道路整備5ヵ年計画の一部として昭和40年までに緊急整備を必要とする大阪市内の環状線，尼崎伊丹線，神戸臨港線などの各一部については188億円（延長約13km）でもって建設するように予定されている。

しかし，現在の交通事情からすれば各路線の部分的完成でもってお茶をにごすようなこと，あるいは912億円を9ヵ年もかかって施行することは許されないだろう。当然繰り上げ施行が要求されるものと思われるし，最近の新聞が報ずるところでは5ヵ年計画の改訂がおこなわれるようであり，計画の延伸も必要なのでこれとあわせて事業費がさらに増額されるものと思われる。昭和37年度の施

行については15億円が予算として認められたが，うち建設費は約10億円で，大阪市内の交通需要の一番大きい南北交通を緩和する目的で，西横堀川に建設する事業費で，延長約2.5km が予定されている。

建設資金としては，国と地元がそれぞれ半額づつ出資する資本金の他地元公共団体関係からの交付金，借入金，道路の使用料などを充当する予定である。

4．建設にともなう経済効果

高速道路の建設にともなう経済効果は，有形，無形のものが相当多く考えられるが，その主な便益をひろってみると，交さ点での長い信号待ちがなくなり，走行時間がうんと短縮されて輸送能力が向上し，輸送費が節減されることとなる。また交通事故もうんと減少する。

このようないろいろの利益を金額に換算してみると，自動車1台当りの便益は 1km 当り10円と仮定され，阪神地区の高速道路利用台数から推定すると，昭和40年に年間 8 億円，昭和55年には 113 億円の直接便益があり，高速道路によって積み重ねていく利益は想像できないほど大きいものがあり，産業経済の進展に大きな寄与をするものである。

Ⅳ　十大放射三環状線計画

大阪市内の交通対策として都市高速道路を計画し，その周辺部については十大放射三環状線が計画されている。都市圏の交通が都市内交通，都市間交通，遠距離交通の三つによって考えられるわけであるが，大阪市内に流入する交通処理のためには府下の幹線道路の整備が急がれるわけである。現在は昭和初年から14年頃にかけて都市計画事業として実施された十大放射によって交通が流れているが，これとても飽和の状態にあり，府下人口も戦前は，大阪市内330万人，府下150万人，69：31であったものが昭和35年の国勢調査では大阪市内300万人，府下250万人で比率は55：45となり周辺都市の急激な膨張が顕著に認められ，府下の幹線道路の整備が緊急性をおびてきているわけである。このために高速道路と連けいを保ちながら放射状あるいは環状の道路体系を確立し，道路交通の危機を救出するために慎重な検討を加えた結果，ここに紹介する十大放射三環状線計画を立案し，その建設に着手したわけである。

以下，新十大放射三環状路線の概要を示すとつぎのようである。

放射路線

第2阪神国道

阪神工業地帯を連結する浜手幹線道路として兵庫県に直結し，国道2号線の負担を軽減することはもちろん，大阪中心部の交通緩和のため早急に整備を要する路線である。

大阪南池田線

2級国道福知山大阪線と平行して走り，名神高速道路の豊中インターチェンヂ，大阪国際空港の整備により，大阪港，大阪市中心部と直結するものである。

御堂筋線

現在の御堂筋線を延長するもので新大阪駅，千里丘陵ニュータウン，あるいは服部緑地，箕面公園などと都心部を直結するもので，2級国道福知山大阪線の交通緩和に役立つとともに，観光道路もかねた幹線道路である。

十三高槻線

府道大阪高槻京都線の交通を緩和し，名神高速道路の茨木インターチェンヂ，国鉄新幹線三島貨物駅，吹田〜高槻間の工場適地などと大阪市を連絡する道路である。

大阪四日市線

名四工業地帯と商都大阪を直結するもので，国道1号線の交通を緩和

第9表の1　　全体計画建設費　　（単位百万円）

路線名	延長 (m)	事業費			予備費	総事業費
		高速道路	関連街路負担金	計		
環状線	11,960	19,280	—	19,280		
新駅線	5,190	6,905	—	6,905		
守口線	2,680	4,162	—	4,162		
八尾線	3,640	5,202	2,415	7,617		
堺線	10,070	15,547	2,539	18,086		
尼崎伊丹線	6,070	9,547	—	9,547		
東西線	1,770	3,053	3,379	6,432		
神戸臨港線	16,650	13,456	—	13,456		
計	58,030	77,152	8,333	85,485	5,755	91,240

第9表の2
5カ年計画建設費　（単位百万円）

路線名	延長 (m)	事業費
環状線	6,960	11,459
尼崎伊丹線	3,060	5,281
神戸臨港線	2,820	2,060
計	12,840	18,800

第10表　　資金計画　（単位百万円）

区分		前期5カ年	全体計画
収入	出資金	2,000	9,700
	交付金	1,505	14,639
	借入金	17,345	61,986
	使用料	1,450	27,019
	雑収入	54	255
	計	22,354	113,599
支出	事業費	18,800	91,240
	管理費その他	1,695	6,431
	利子	1,859	15,928
	計	22,354	113,599

するとともに沿道の開発を促進し，国定公園金剛生駒の縦走道路との連絡もかねた道路である。

築港枚岡線

主要地方道大阪枚岡奈良線の副道で，中央環状線により茨木インターチェンヂと大阪都心部をむすび，東部山麓の住宅適地および第2寝屋川の改修による東部工業開発適地と，大阪中心業務地あるいは大阪港と直結する道路である。

大阪柏原線

国道25号線のバイパスで，阪神工業地帯と東部背後地をむすび，また大阪市と観光地奈良，国定公園金剛生駒に通じ，大阪四日市線とともに金剛生駒の縦走道路とつながる重要な道路である。

松原千早線

大阪の東南に伸びる新設道路で羽曳山丘陵一帯の住宅適地，金剛生駒の縦走道路と大阪市を直結する道路で比較的開発の遅れている河南地区の開発道路として重要である。

大阪泉大津線

大阪東部地区と堺市東部の住宅地および泉州工業地帯を直結するもので，国道26号線，大阪和泉信達線の交通を緩和するために必要な道路である。

第2阪和線

国道26号線と大阪和泉信達線の間を走り，堺・泉州海岸の埋立工業地帯を経て和歌山に通じ，第2阪神国道とともに大阪湾の重要な臨海道路として早急に整備を必要とする道路である。

環状路線

大阪内環状線

名神高速道路豊中インターチェンヂ，大阪市内東部の工業地区ならびに大阪南港埋立地を連絡する道路で大阪市周辺を整備して中心部交通の緩和をはかるとともに，周辺部相互間の交通を円滑にするために必要な路線である。

大阪中央環状線

大阪市中心部の通過交通の減少と周辺都市間の交通を円滑にし，将来の市街地膨張に対して中央環状線となるもので，沿道には副都心，集団緑地または大公園を適宜配置し，とくに東大阪においては 120m の巾員を構成する。また，名神高速道路茨木インターチェンヂと各放射路線とをむすぶ役目をはたす道路であり，大阪国際空港，千里丘陵ニュータウンを東西に新貨物駅，東部工業地帯を南北に走って堺臨海工業地帯にいたる重要道路である。

大阪外環状線

大阪外周の山麓地帯を走り，外周都市間の連絡を密にするとともに，山麓住宅適地の開発を促進して外周都市の発展に必要な道路である。

建設事業費

新十大放射三環状線の建設事業費は別表のとおりであるが，総延長365kmに対して約1,927億円となっている。このうちすでに着工している路線は第2阪神国道他9路線におよんでいる。

第11表　新十大放射三環状路線別事業費内訳表

路線名		経過地	巾員	延長	全体計画事業費
			m	m	百万円
放射路線	第2阪神国道	西成区～西淀川区	40～50	9,800	15,400
	大阪南池田線	西淀川区～池田市	25～46	13,800	5,475
	御堂筋線	北区～箕面市	35～55	15,600	23,838
	十三高槻線	西淀川区～高槻市	20～25	23,100	6,162
	大阪四日市線	城東区～四条畷町	15～25	12,700	2,460
	築港枚岡線	港区～枚岡市	20～80	19,500	29,128
	大阪柏原線	西成区～柏原市	27～30	14,400	4,010
	松原千早線	松原市～千早赤阪村	16	16,000	2,560
	大阪泉大津線	東住吉区～泉大津市	22	18,300	6,990
	第2阪和線	西成区～田尻町	25～50	36,600	21,360
	小計			179,800	117,383
環状路線	大阪内環状線	豊中市～住吉区	20～25	33,500	12,030
	大阪中央環状線	池田市～堺市	30～120	51,000	33,494
	大阪外環状線	池田市～泉佐野市	16～20	101,000	29,780
	小計			185,500	75,304
合計				365,300	192,687

V　おわりに

以上，躍進を続ける阪神地区，とくに大阪を中心とする交通事情やその道路対策の概要を記したが，これらはすべて緊急を要する問題ばかりである。

阪神地区が一体となって高度の産業活動を続け，われわれの日常生活を快的にするためには道路の建設を一日も早く急がねばならない。しかし交通の本質をみた場合の対策が，道路だけにシワ寄せされてはならない。交通の発生，集中を促す土地利用のあり方についても充分な検討がなされなければならないことはいうまでもない。都市計画に従事する人々，企業に従事する人々，交通を利用する人々等々，あらゆる人々の協力でもって交通危機が一日も早く解決され，住みよい阪神が実現されることを夢みて最後のむすびとする。

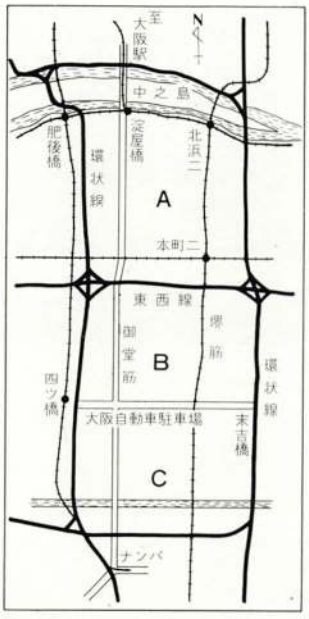
（37年6月15日）

阪神高速道路と業務地域との結びつき

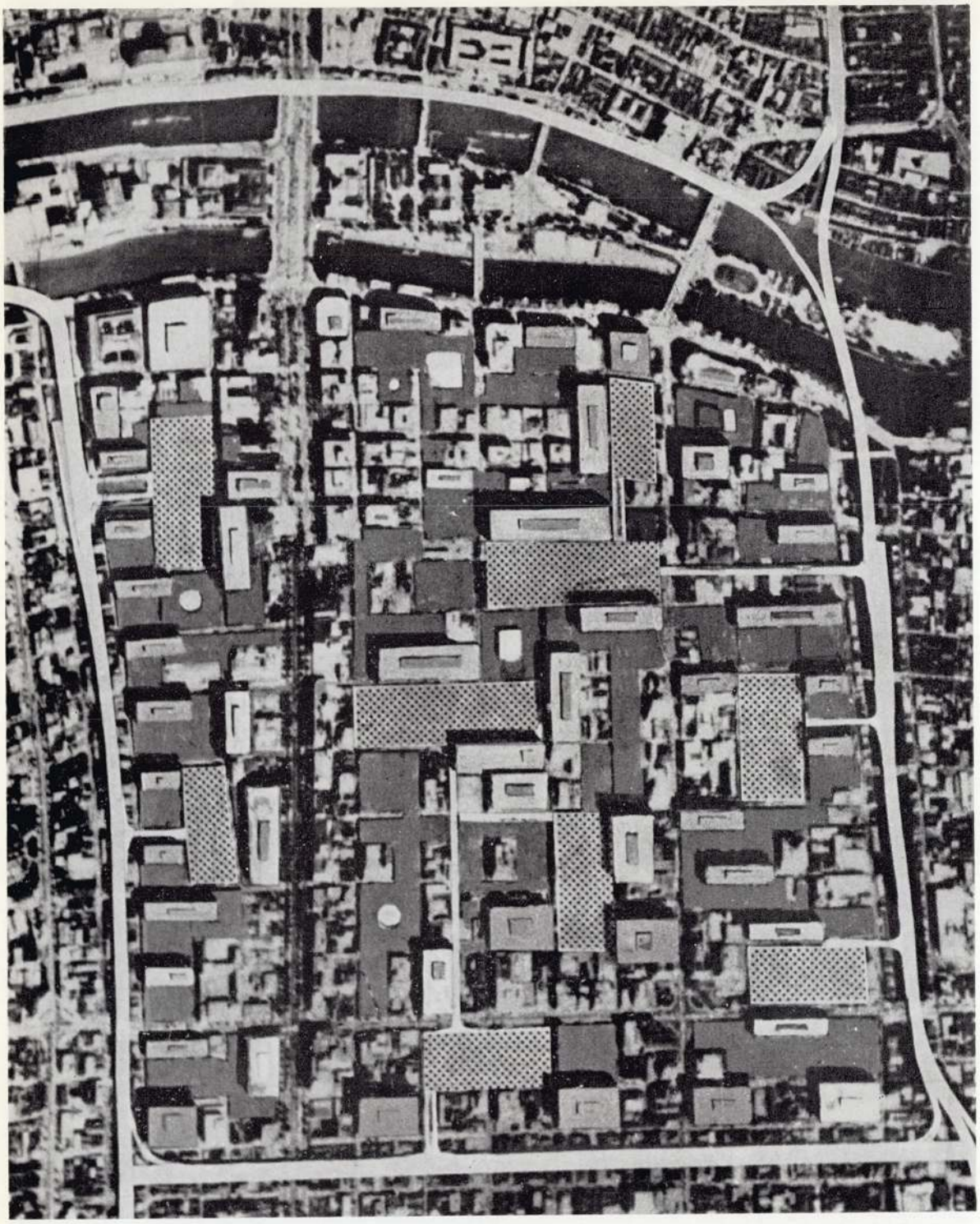
1案　秀島　乾
2案　竹中工務店
3案　共同設計
4案　RIA
5案　住宅公団

大阪市内を走る予定の阪神高速道路よりいかにして市街地とくに業務地域に車を入れるか、その形態について、自由な想定のもとに自由なイメージを図面化してもらった。

編集委員会より上記の人に依頼して、5案をいただいたので、ここに集録する。



1. 想定する業務地域は，A，B，Cの地区のうち自由にブロックを選定して下さい。（いくつかのブロックに分ち，その1ブロックをとりあげてもよい。）
2. 高速道路よりのランプウェイのとり方も自由に考えて下さい。ただし，高速道路の高さは7m500となっております。
3. 西長堀橋より末吉橋の間は「大阪自動車駐車場」（900台収容予定）となります。必要に応じて駐車施設を考えて下さい。
4. とりあげるべき地区（ブロック）の再開発の形態も簡単でよいから一諸に図面化して下さい。



A 地区

1

案：秀島　乾　　Aブロック再開発の構想スケッチ

1. 都市は時間的生命を持つ有機体であり，つねに呼吸を続けながら既存の殻を脱皮し発展を続ける。パリーもマンハッタンも2～3階建煉瓦造体質の都心から現在のそれにみる成長があり，しかも現に車交通に対してその対策にあえいでいる。カニやエビが成長のために脱皮するごとく，いかに現在の殻(建築)が資産高く愛着があっても将来えの適応え，その除去と再編成が必然である。

2. 既存都心区の欠陥は大量車交通に対する街路容量の過少および駐車スペースの僅少。ブロックの任意的分割と林立する建築群のでたらめな乱立。不健康な日照条件や日蔭の谷間の連続。プライバシー性の欠除や騒音，煤煙等の公害の山積等，人間の活動や生活の場としてその環境不快が成長する。

3. スーパーブロック方式とは，これら在来のブロック単位に建設成長して来た都市造りの欠陥を排除し，土地の綜合的共有と利用，都市空間の合理的活用と人工緑地，各種機能別交通動線の分離と統合，供給動脈施設の綜合配管線と維持管理等，市街区構造の再編成を都市計画的規模で計画することである。

4. 再開発対象地区内の一般木造建築及び古い小規模の耐久建築はすべてバラックと考え，区内の建築群は業務建築，居住建築，店舗建築および集会建築に分類大別し，その用途別機能に応じて統合し，各建築の適正規模と立地条件に応じて再配置し建設する。

5. 新設の業務建築は高速道路ループにフインガーでアプローチするモータープラザに直結して配置し，3階エレベーターロビーより出入し，旧業務建築もこのフインガーより連絡する。

6. 集会建築および店舗建築は地下鉄駅およびバスターミナル等の大量交通機関に直結した立地位置に地下および2階専用人道で連絡され，階段とエスカレーターで自由に結ばれるそれら屋上の人工緑地はフォイヤーを囲んで地下階まで通ずる太陽の光と花壇，樹木に恵まれた立体的レクレーションの公園となる。

7. 居住建築（ホテルを含む）群は職住分離の原則で店舗建築屋上ゾーンの上に人工緑地に囲まれて適切な日照条件の窓と通風，プライバシーに恵まれて高層アパートとして建設される。

8. 地区内の交通秩序は既存の平面街路（人車混合）の上に高速道路から引込まれたフインガー（高架車路）に連絡したモータープラザで駐車。貨物トラック類は地下車道で目的建築に達し，それは高速道路下の貨物専用ループにアプローチする。

9. 専用人道は車路フインガーの下，2階のレベルで鉄道駅，バスターミナル，駐車広場から人工緑地に連絡し，車を絶縁した散策，遊歩広場からショッピングストリート，オフイスビル，ホテルからアパートまでノンクロスで通ずる。

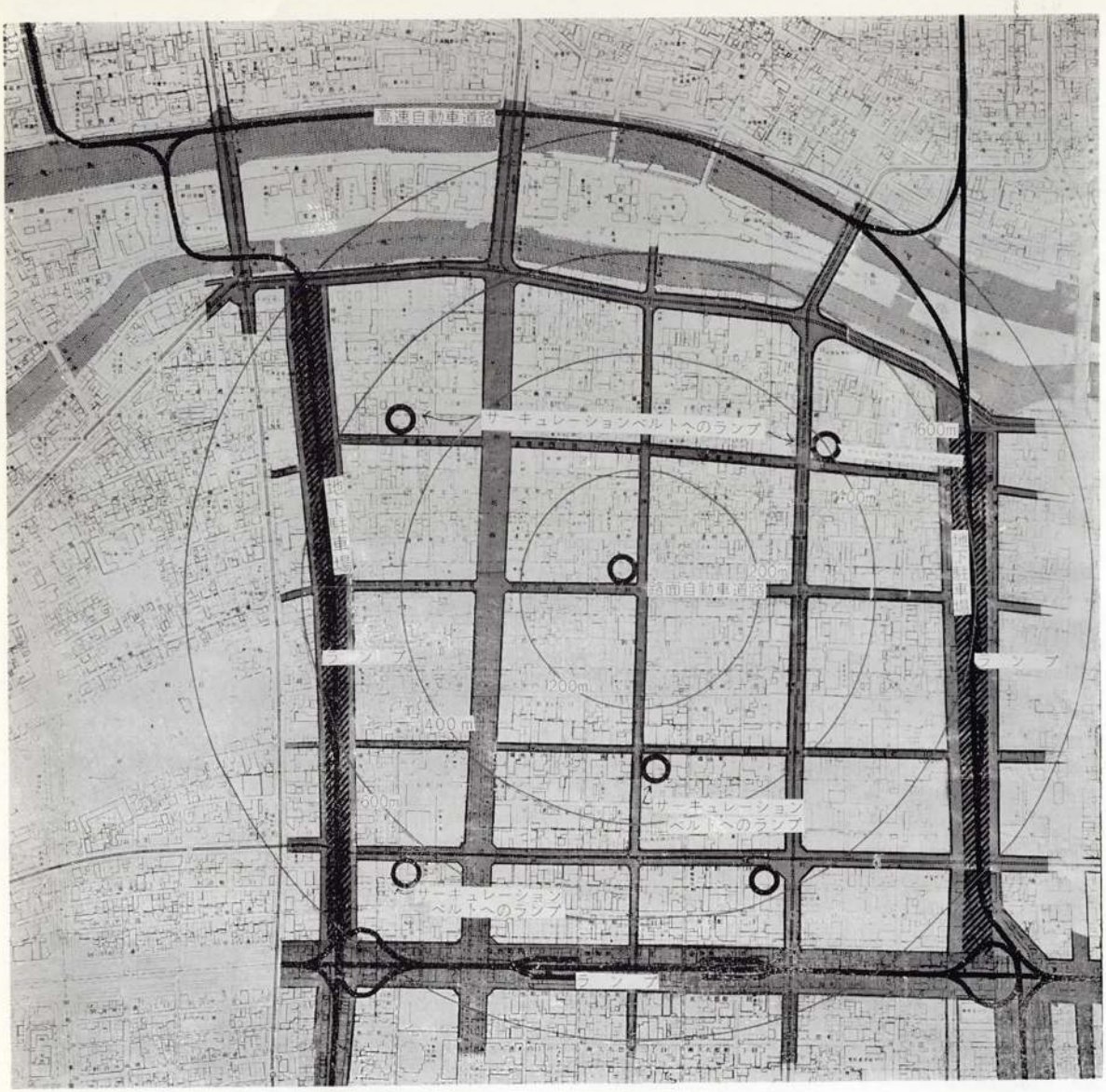
10. ワンウェイの高速道路ループ内側線はモータープラザ出入へのサービス車線，都心区に出入する車は原則的に平面街路に降さずモータープラザにプールし，その誘致建築物容量に応じてその上に必要収納台数のオートマチックガレーヂを増築するシステムとする。

11. 要は既存の都心区に高速道路網をループすることをテコとして一般平面街路に被せて各種交通動線の立体的分離と各種建築群の機能別有効立地および連続する屋上人工緑地の造成により人と車のノンクロスと都心レクレーション空間の総合配分を計画するのである。

12. 従って対象地区の都市計画としての質量，位置，運動のマスタープランは，現存の市街に成長する有機体として技術革新に対応しながら1個の合理的な建築のごとく設計されるわけである。

スーパーブロック方式による都心区再開発の要点

都市計画家 秀島 乾



1. 高速自動車道路と路面自動車道路

この街区が一つ一つ再開発の対象となる

A 地 区

2

案：竹中工務店設計部　市 街 地 と 高 速 道 路

市街地と高速道路

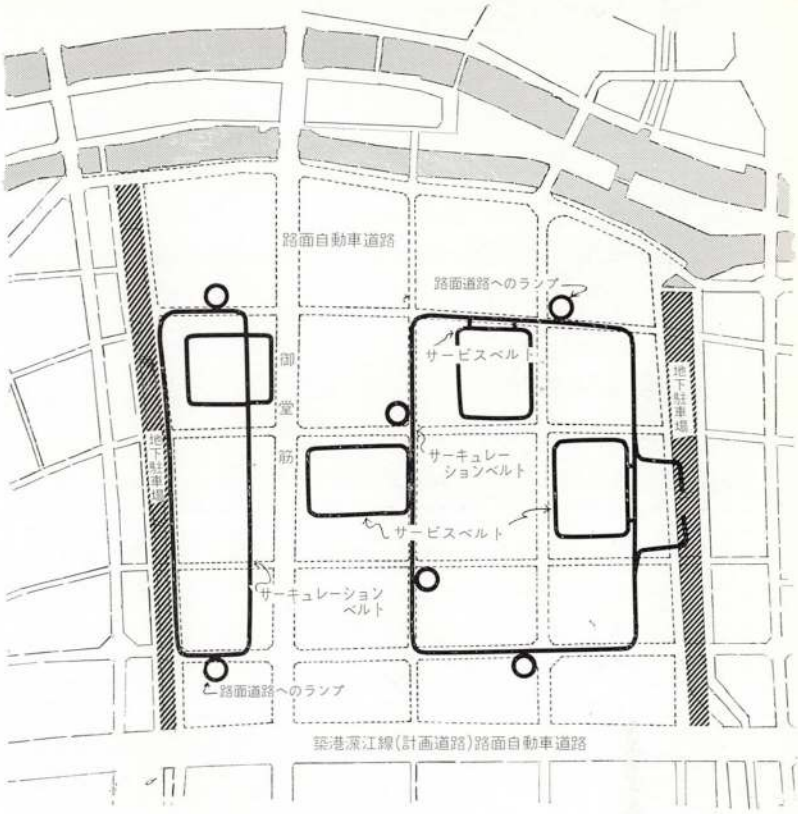
われわれは与えられた課題である〝高速道路と業務地域の結びつき〟について考える前に，まづ高速道路をも含めた都心の市街地の在り方そのものについて考える必要がある。なぜなら高速道路が完成して都市周辺や郊外から都心への自動車乗入が容易となったとしても，都心そのものが現在のごとくただ単に単体の建物の集合体であり，街路と道路の区別さえつきかねる状態であるならば，かえって混乱に拍車をかける結果になりかねない。都市の再開発が一つの理念というか，あるシステムによって行なわれてはじめて高速道路も最大限にその価値を発揮するわけである。それにはどのような方法が存在するだろうか。

都心にせよ市街地にせよ，われわれはこの中にパブリックな性格のものとプライベートな性格のものがあるのに気がつく，あるいはコンスタントなものとフリーなものといい得るかも知れない。高速道路，地下鉄，路面自動車道路など前者であり，街区や個々の建物は後者に属する。

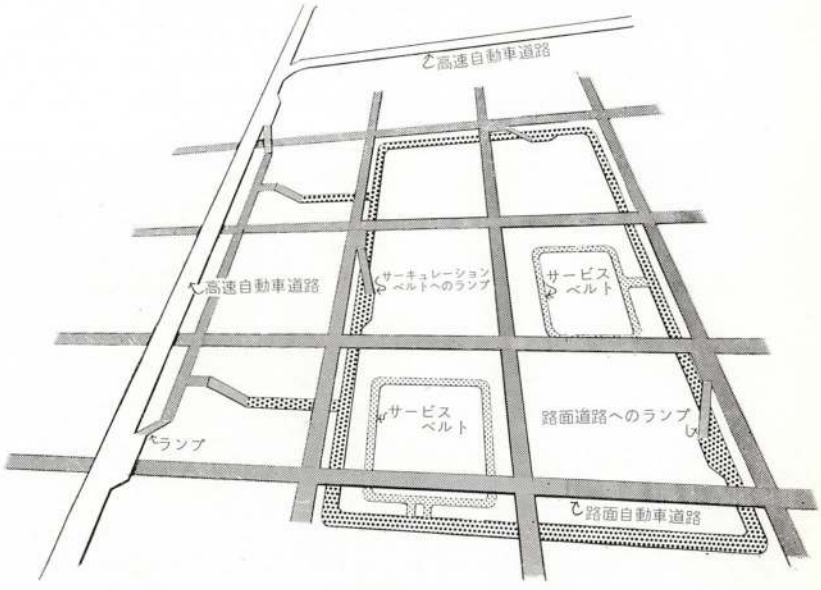
われわれはこのパブリックな性格のものに一つのシステムを与える必要があるのではないかと考える。

ブロックの再開発にしても，あるいは個々の建物にしてもこのシステムの中でなら，それら自体どんな構想で行なわれようと自由である。しかし都市全体として，このシステムの確立が一つの都市的イメージを画かせる可能性を有しているのではないかと考えられるのである。

このような観点から，われわれは想定地区をA地区と仮定し，この中に次の四項目からなる一つの



2. サーキュレーションベルトとサービスベルト
高速道路の下に駐車場ができる



3. 交通系統図

システムを考えることにする。

(1) 地区周辺駐車場
(2) 路面自動車道路
(3) サーキュレーションベルト
(4) サービスベルト

(1) 地区周辺駐車場

われわれはまずこの地区の周辺について流入自動車を駐車せしめる施設を設定する。当地区の流入自動車の台数，駐車台数およびその回転率などの算定は極めて困難であるが，われわれは周囲の路面自動車道路および高速道路などの最大断面交通量を求め，その駐車率および回転率を仮定して（紙面の都合上算定式および計算は省略する）1日約4,000台の駐車施設の必要性を推定した。これだけの広さの敷地を当地区内に求めることは容易なことではないが，そもそもこの高速道路計画が土地買収費の切つめから殆んど金のかからない川の上を選んだという主旨を尊重し，われわれもこの東西両横堀川（殆んど水運として利用されていない）の水を抜き，ここに一大地下駐車場を計画した。今この両横堀川を埋めて駐車場とすれば一車当り40m²として実に5,000台の駐車が可能である。従って地下二層とすれば隣接地区のも兼ねて立派に必要量を満す周辺駐車場となることがわかる。

なおこの両横堀川の上を走る高速道路と地上との連絡は東西とも1カ所づつ平野町筋当りでランプが設けられており，従って高速道路よりアプローチする自動車も，能率的にこの地下駐車場を利用できるし，後に述べるサーキュレーションベルトの出入口もこのランプと連絡するように計画されている。

(2) 路面自動車道路

当地区内の既存道路を整理して自動車道路を限定し，それに方向性を与える。それ以外の道路はすべて歩行者のための街路とする。路上駐車は一切禁止する。従ってこの路面自動車道路は都心部相互の通過交通，タクシーおよび自家駐車場所有者のみに利用されることになる。この路面自動車道路によって区切られる20コのブロックはそれぞれスーパーブロック的に再開発されるべき規模を有している。

(3) ミサーキュレーションベルトミ

路面自動車道路によって区切られたブロックのいずれにも連絡でき，かつ循環する自動車専用道路を地下に設ける。われわれは，これをミサーキュレーションベルトミと呼ぶ，これは単に地下自動車道路であるばかりでなく，ガス，電気，水道，下水などの都市設備を含む立体構築物である。このベルトは特定の場所において路面道路とランプによって連絡し，高速道路とも容易に連絡するよう計画されている。このサーキュレーションベルトの設定はこの地区内における各ブロックに至る主要サービス道路として決定的な性格を持つばかりでなく，後述するブロック内サービスベルトと結ぶことによって再開発を促進する媒体ともなると考えられる。

(4) サービスベルト

現在大阪市当局の考え方の中に大ブロック制ということがある。都市を再開発する場合に大ブロックごとに行い，これにいたる交通は市で考えるが，ブロック内の交通についてはそれぞれブロック内でお互に解決して行く方向へ向うことを望んでいる。前述のサーキュレーションベルトは，この意味においても当然パブリックな性格を持つものであり，市当局として考えるべきものである。われわれはブロック単位の再開発を考え，また市の考え方にのせるという意味で，ここにサービスベルト方式を提案する。これはブロック内におけるプライベートな自動車道路である。各ブロックはこのベルトを持つことにより，ブロック内の各建物のコアを連結し，さらにこのベルトとサーキュレーションベルトを結ぶことによってあらゆる都市設備の導入，サービス用自動車の出入，自己ブロック内の駐車場の設置などを極めて円滑に行なうことができるのである。

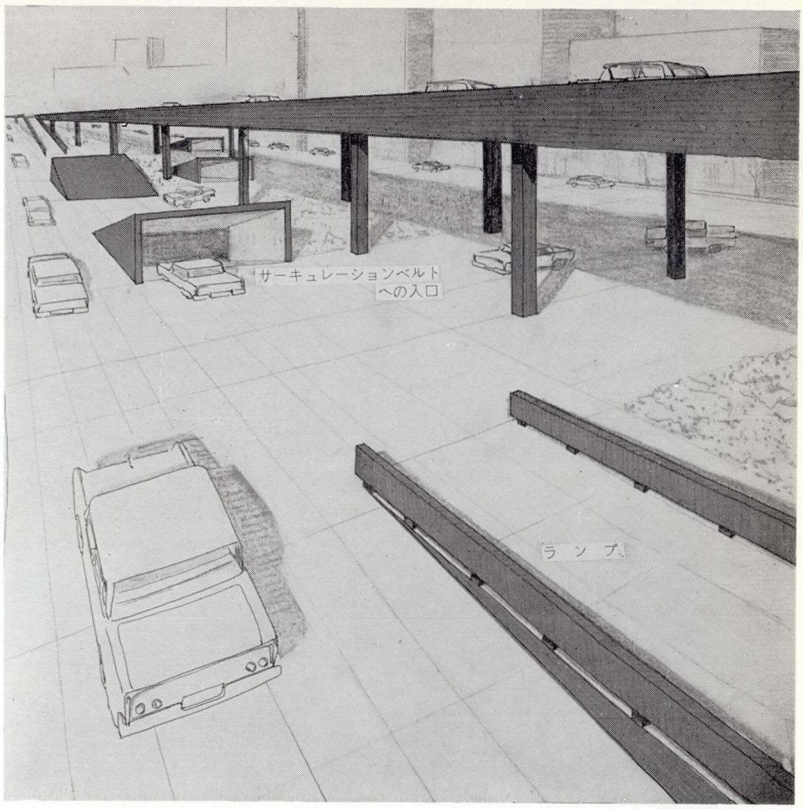
われわれは以上の項目よりなるシステムを市街地にまず確立することにより，都心の再開発がおのずから促進されるような一つの可能性の基盤が造られるものと考える次第である。

この計画案は美しい夢を持つ理想的な提案ではなく，また飛躍的な解決案でもない。むしろ極めて現実的であり建設費も少なく，今からでも始められる性格と内容を持つものであると信ずるしだいである。

A 地 区

2

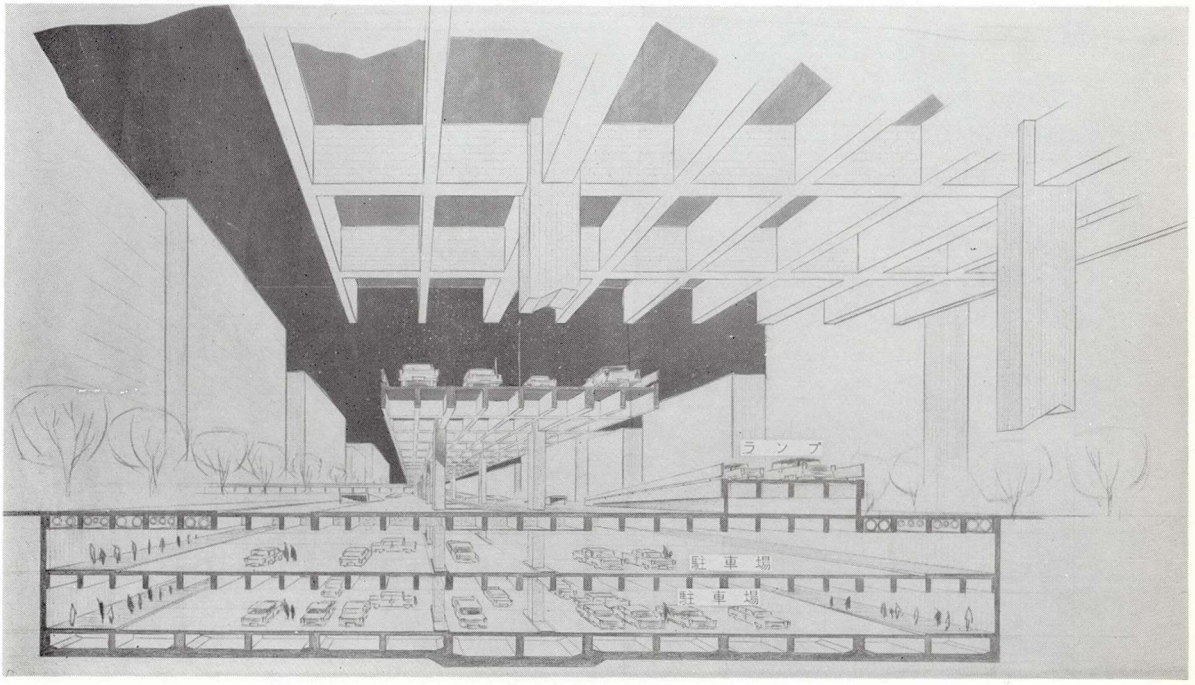
案：竹中工務店



4. 平野町筋付近の高速道路

地上へ連絡するランプや地下連絡口が見える

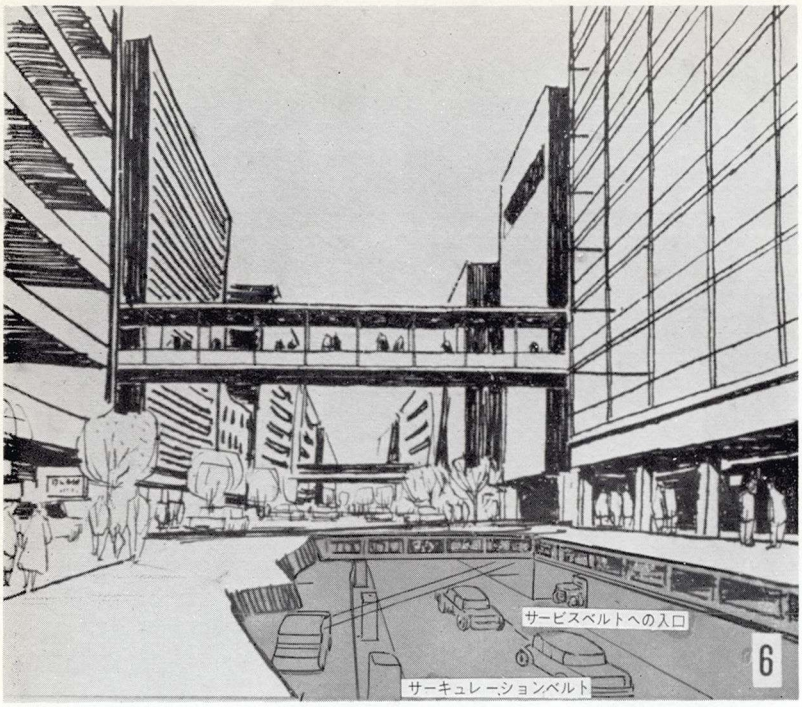
5. 地下駐車場と高速道路



A 地 区

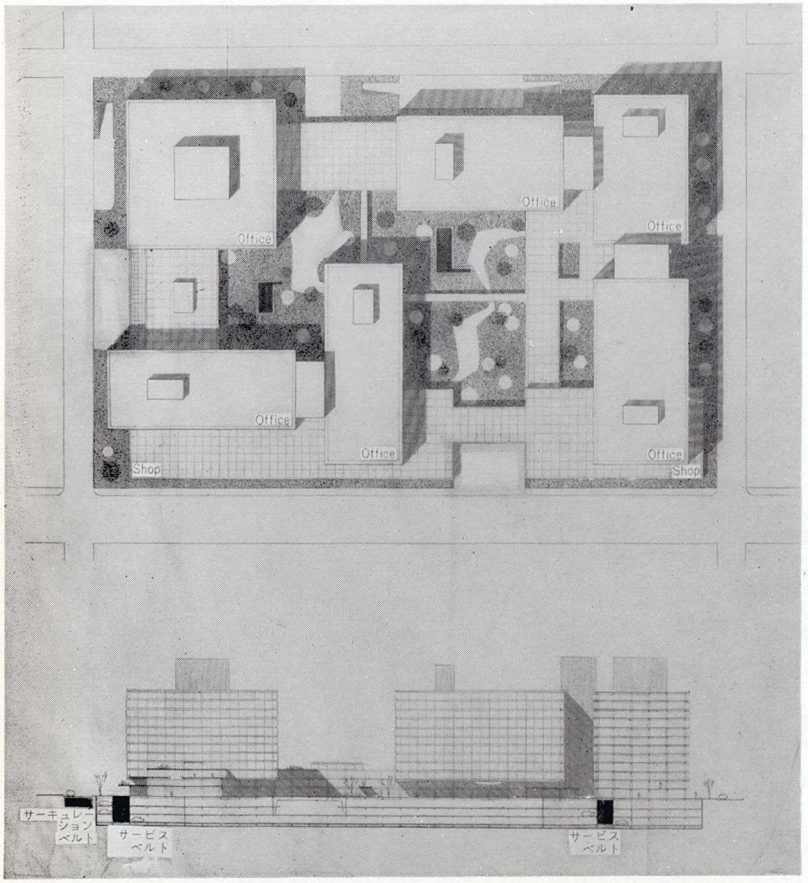
2

案：竹中工務店



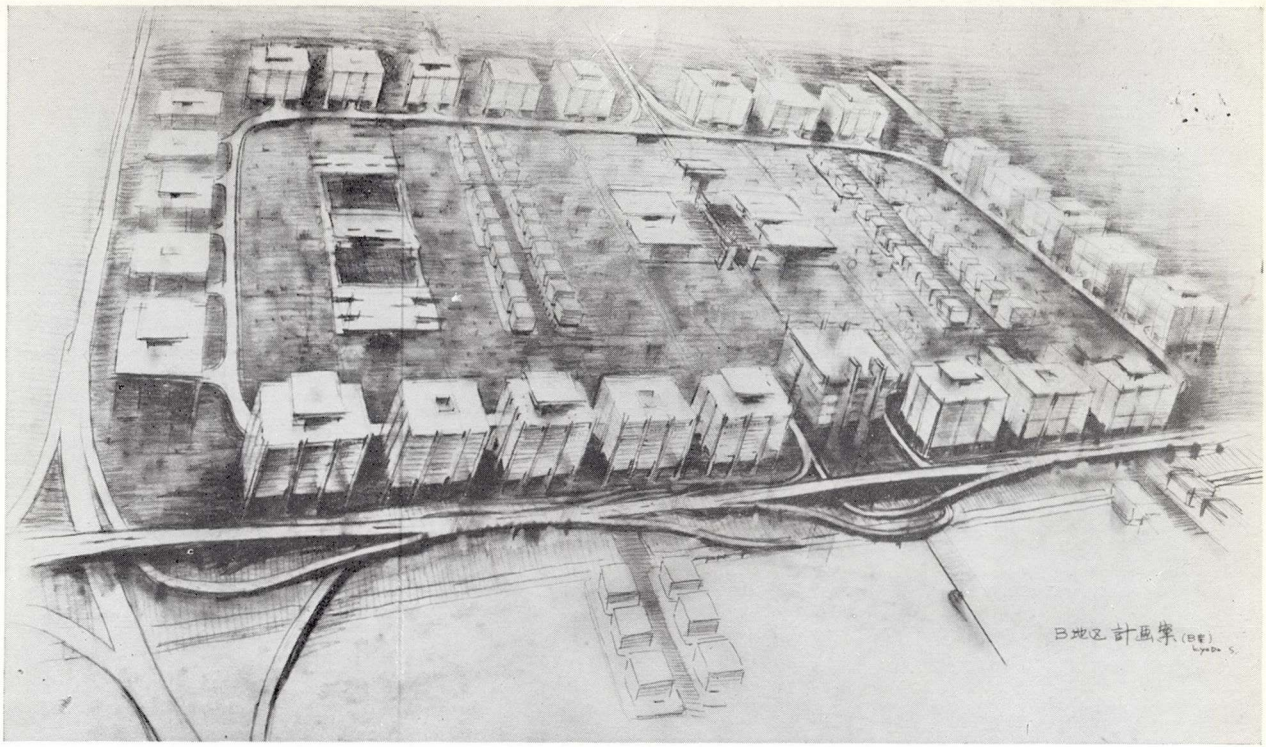
6. 路面自動車道路とサーキュレーションベルト

ブロック的に再開発が進んで来れば 路面自動車道路と交さくしない 人間のみの道路が可能になる。 サーキュレーションベルトからサービスベルトへの 連絡口が見える。



7. ブロック再開発の一例

サービスベルトが地下を巡回し その周辺に地下駐車場がとれる。 地上は広い共通の中庭を囲んでビルや店舗が 一つの群を構成する。



大阪市内ハイウェイと業務地域の改造計画

共同設計株式会社

B 地 区

3

案： 共同設計ＫＫ

1

大阪市内に計画されているハイウェイは２つの目的を持っていると想像される。すなわち，

1. 大阪市外から大阪中心部の業務地域へ出入する交通がスムースにゆくように。
2. 大阪市外から市外へ市内を素通りする交通がスムースにゆくように。

の２目的がある。

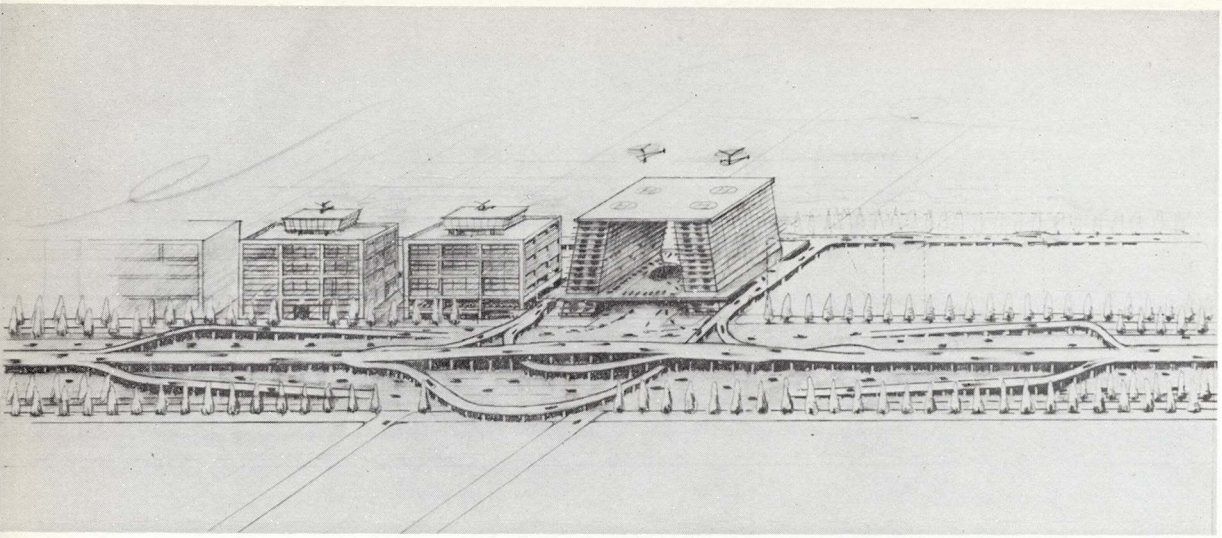
そして市外に結ぶ線としては神戸方面，京都方面，八尾方面，堺方面の４線と新国鉄駅を結ぶ線が計画されており，業務地域と結ぶ線としては東西線の両端がそれである。いずれも高架式の自動車専用道路ではあるが，交叉点にていくらかのインターセクションがあるので中程度の高速が可能であろう。

以前に日本建築家協会関西支部内問屋街改造委員会が提案した案は，南北線より問屋街区へ車を導入しょうとするものであったが，本案ではハイウェイの性質上それよりも東西線を業務地域へのアプローチとすべきだという立場をとった。

これら高速道路ができあがる頃になれば，おそらく自動車の台数が増えて，市内の交通麻痺と交通事故はひどいものになっているであろう。ニューヨークやパリの例を見ても明らかなごとく，自動車台数の増加は道路の拡幅や新設よりはるかに容易でもあり，かつ大きいのであるからである。われわれは何の心配もなく街が歩けるような楽園を都市の中に奪回することを考えたい。

この案は共同設計ＫＫの研究グループ（佐江木了治，畑中成雄，藤本裕美，林美秀，服部卓爾，材野博司，河村昭子，塩田征夫，宮川厳など）の共同製作である。

（飯田精次郎）



2

われわれが研究の対象にとりあげたのは，ハイウェイ東西線以南で東西横堀上のハイウェイに挟まれた長堀川北の地域で，いわゆるB地区である。

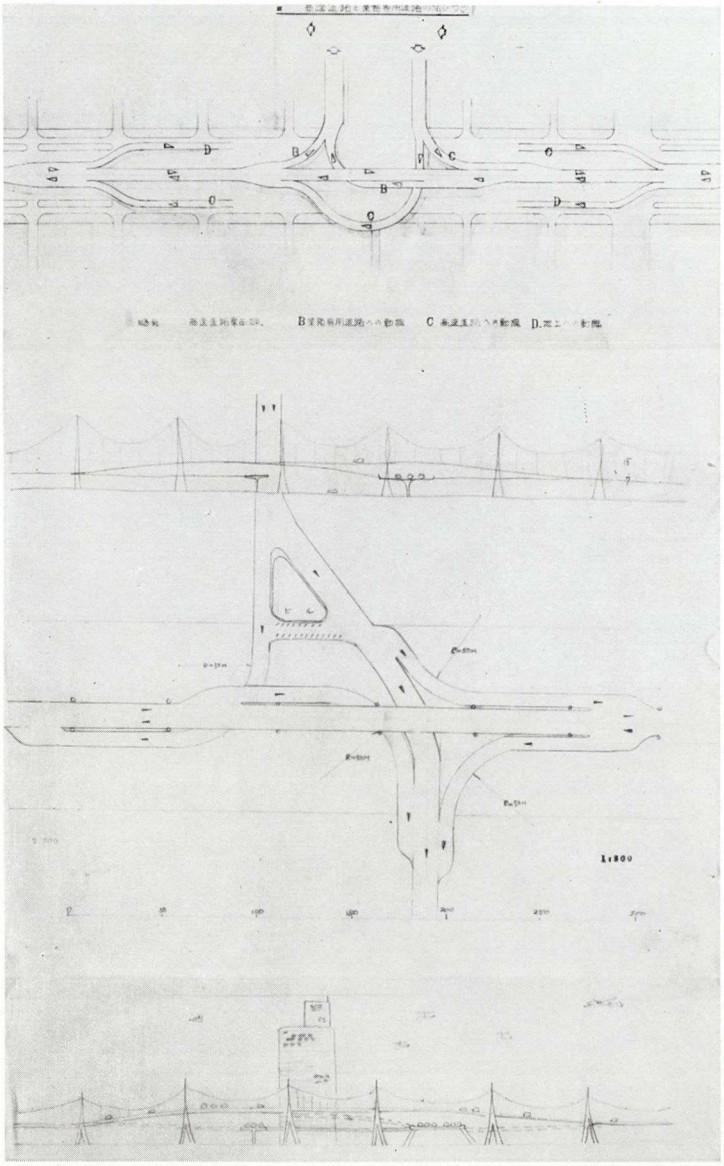
この地域は井池筋，松屋町筋，心斉橋筋を含む南船場といわれる土地で商都大阪の中心地として長い歴史を持っている。封建時代において武士をも凌いだ町人根性がいまだに続き，商人特有の生活環境がいまなお残っているのである。

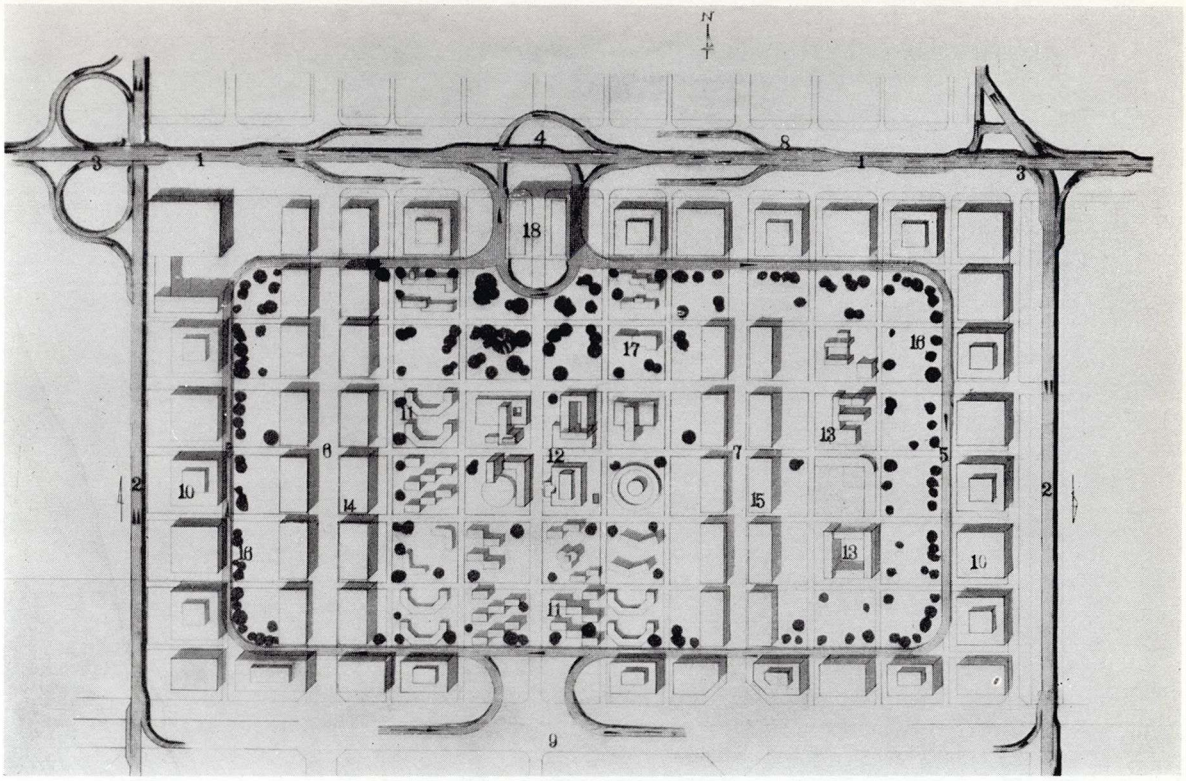
この地域のなかには，御堂筋，堺筋，本町線のごとく道路としてみても，かなり整備されており，また沿道の建物もかなり近代化されているものも含むが，その他の地域は道路上での荷捌きあるいは路上駐車で道路はほとんど機能を失いかけており，両側の建物も低層木造建物が処狭しとばかり建込んでいて，混雑，不衛生，不健康，不便，不安全，都市醜に悩されている。

これを改造する案を作成するに当り，次の2つの目標を持った。

1．計画されているハイウェイと業務地とを結び，一方に業務上の輸送をスムースにするとともに，交通難，交通地獄を緩和しょうとする。

2．地域内を改造して働きよき住みよき街として地上の楽園とする。





1. 高速道路東西線 2方通行
2. 高速道路環状線 1方通行
3. インターチエンジ
4. 高速道路と業務専用道路のインターチエンジ
5. 業務専用道路（高架中速）h.45
6. 御堂筋
7. 堺筋
8. 100m 道路
9. 長堀駐車場
10. 業務用ビル
11. 住宅
12. コミュニティーセンター
13. 学校
14. 御堂筋オフィスビル街
15. 堺筋商店街
16. グリーンベルト
17. 保育所
18. ヘリポート

3

B 地区

3

案：共同設計ＫＫ

計画の骨子は次の通りである。

1．ハイウェイとの結び付き

ハイウェイの性質上東西線の中央附近より業務用中速道路サブウェイを2階レベル（4.5m）で側線により取付け，このサブウェイを2階のレベルで業務地域内を環状に走らせた。

これに面する業務用ビルは共同荷捌場をとり，将来の理想としては業務用自動車を地上へ下ろさない。倉庫は地階にとるが，これは2階からリフトで直結させる。

2．集荷センターの保留

遠隔地輸送のため運送業者の集荷センターをこの地域の4階に配置して大型長距離用トラックに直結させる。

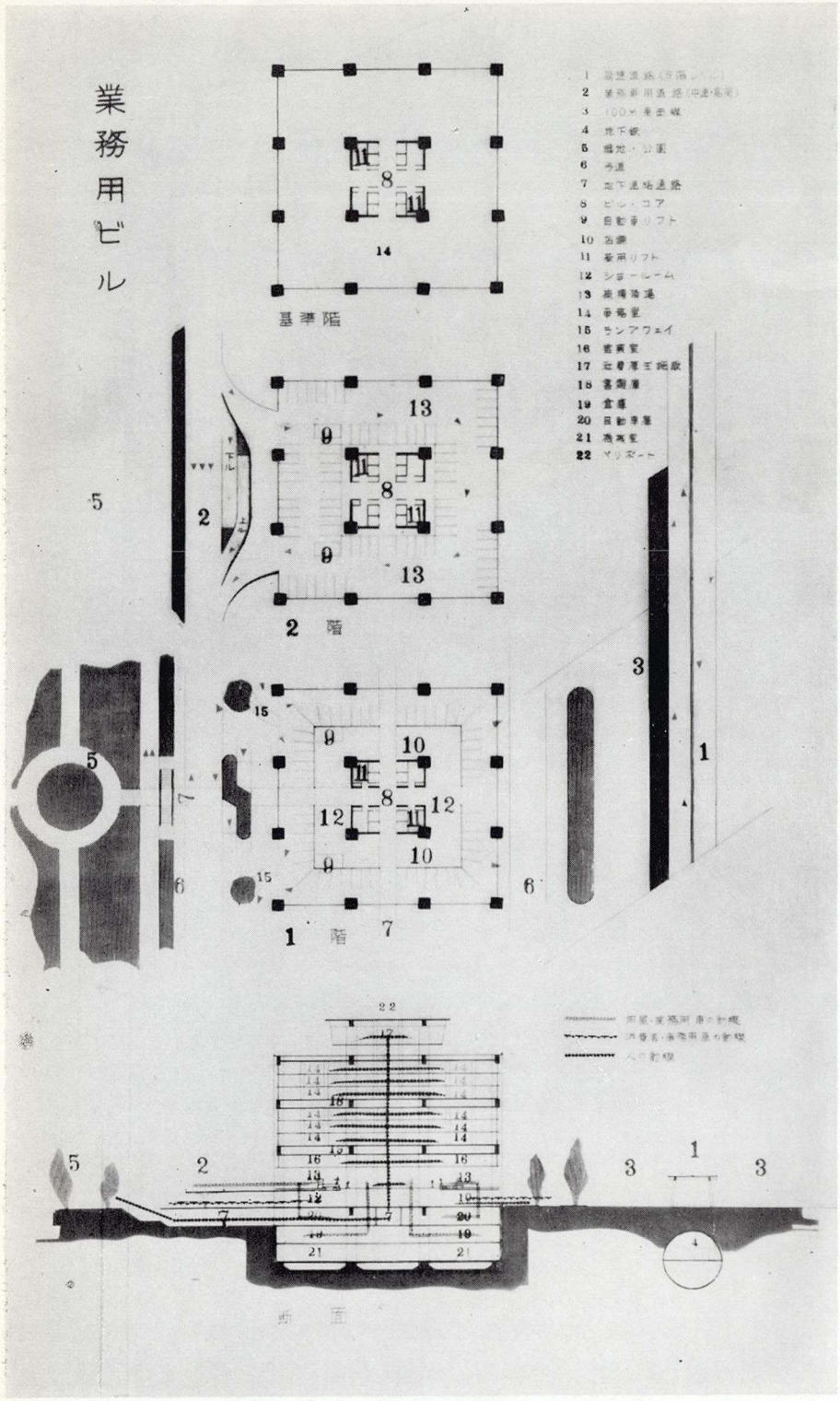
3．建築物の高層不燃化

建物は地上に緑地帯をとるため出来得る限り高層化し，建蔽率を低くしかつ耐震耐火の構造とする。

4．業務用地域と住宅地域との分離

業務用サブウェイを境とし，商業圏と住宅圏とを分離させ，住宅は緑地の中に配置し，コアーにコミュニティーセンターを設け，官公庁関係建物，教育施設をつくる。

5．将来の交通の立体化に備え，ヘリポート，モノレールなどの建設，土地の立体的利用，輸送力強化ができるよう，各建物の屋上にしかるべき必要施設をつくる。



4

「ハイウェイが出来たならば街がよくなる」と考えられているが，実はそれだけでは少しも理想は現出しない。それを足場としてさらに高い段階の計画が必要である。

こんにち都市計画の課題は山積みされている。自動車の駆音，交通事故，交通難，排気ガスの有毒性，地上残るくまなく建詰った市街地，憩の場所の僅少，業務上の無秩序による混乱不便，美観上の問題——考えてみれば数限りがない。

都市計画は国の仕事であるとか，役人の仕事であるとかいわず，大阪に住む者，とりわけ建築家はこの改造に真剣に取組み，本当に働きよい，住みよい街をつくるため，お互に手をとりあって研究しようではないか。

B 地区

3

案：共同設計ＫＫ

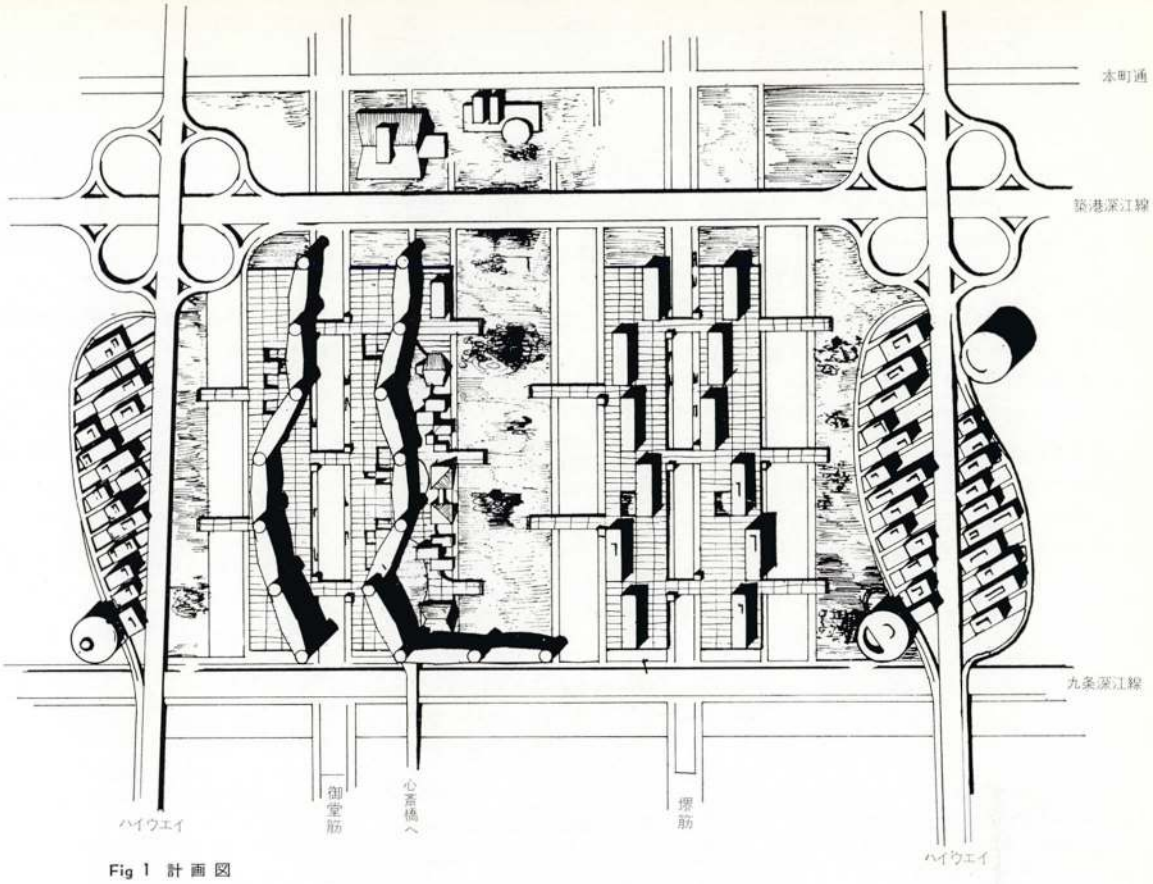


Fig 1 計画図

B 地区

4

案：RIA

商業地区計画

RIA 建築綜合研究所大阪分室

§1 地区選定

北を本町通り，南を長堀川パーキング，東西を東および西横堀川の高速道路に囲まれた1,074.856m²を計画地区として選定した。

選定の理由は，本町通り以北のブロックは現在ビジネスセンターとしての性格を次第に明確にしつつあるので，大阪市の性格を考える場合，やや単調にすぎ，長堀川以南の地区は，心斉橋筋・道頓堀・千日前など，これも高速道路との関係を考えるには地区の性格が特殊すぎるということにある。

選定地区は，御堂筋・堺筋という性格を異にする南北線と，高速道路化される築港・深江線が通過していること，現況での25.6%の店舗併用住宅，8.2%の卸問屋に対して，銀行，事務所などの土地利用率が33.7%であることも，中小企業と大企業の混合地区としてきわめて大阪的であると考えられた。

現在の選定地区は，人口54,000人，容積比106%，建築面積1,070,000m²自動車2,750台である。

§2 現行法規下における発展の予想

この地区が今後どのように発展するかを占うために，とりあえず現行の建築法規でチェックしてみると，本町・築港・深江・西長堀の東西線と，御堂筋・堺筋の南北線に面する地区はもちろん9階可能，その他の道路でもすべて8階と7階で，トータルでは600という容積まで建築物は増加できる。この数字は現在の容

積比106と比べると6倍近いが，はたしてこれが現在計画されている高速道路によって誘発される地区の発展のイメージに，そのまま結びつくかどうかという疑問がでてくる。容積比600の場合，昼間人口30〜40万人，パーキングを必要とする自動車台数だけでも6〜8万台となり，その必要面積は2〜4ha，つまり現在の建築面積の2〜3倍となる。これは，根本的な市街地改造を行わないかぎり，自動車は地区全体を3層に重ってかぶさったまま身動きできない状態になることを意味する。

(Fig 2・List 1)

§3　専用地区の設定

この計画では，容積比を300と抑え，用途地区を厳密に指定している。

指定される人口　15〜20万人
（現在の増加率から考えると5〜6年後にはこの数字に達する）
建築面積　3,200,000m²
商業地区　132%
住商混合地区　60%
緑地面積　40%
道路　20%
その他　48%
パーキング　1,000,000m²（2.5〜3万台）

(List 1)

幹線道路は，他の地区とを結ぶ動線として，現在のまま使用することを原則とし，商業地区は，御堂筋・堺筋の現在の地区をそのまま存続させ，この地区の特色を示す中小企業に代表せられる住商混合地区を2本の高速道路にそった地区に集中している。また，現況で4%を示す専用住宅，5.3%の文教施設は，他のブロックに移動させ，寺院・公共施設は，築港・深江線の両側に設定された緑地帯の中に入れる。(Fig 3)

§4　計画についての説明

①地区外とのつながり

計画地区は，北はオフィス街，東西は専用化されつつある住商混合の問屋街，南は心斎橋・千日前・ナンバの消費センターとそれぞれ性格が違う地区に囲まれているから，四周への接触の方法はそれぞれ異っている。

北へのつながりは，二本の高速道路，御堂筋・堺筋の自動車交通によるものの他に，堺筋に地下鉄新設を考慮している。これは，通勤用のためと，堺筋が自動車交通量の激増のために，在来の通り形式の市街地構成が変質してしまうため，それに代るペデストリアンの通路を地下鉄のコンコースとして地下1階商店街を形成させ，この地区と南とをつなぐ動線として残したためである。御堂筋側の歩行者のためには，同じようにオフィス街の単調な性格を補うため，心斎橋筋を北に延長した路線にビル街のコミュニティを兼ねて路線状にショッピング・食堂・ホテルその他を配置している。これは，この地区が他の地区から質的に独立したものではなく，相互貫流を行なうことによって人間のすむ街として十分の魅力をもたせるための必要な配慮である。(Fig 4・Fig 5)

②自動車のための計画

自動車産業の発展は，大阪市でも年々驚くべき保有台数の増加をみている。36年の15人に1台に対し，5年先では7〜8人に1台，10年では4〜5人に1台という増加率では，むしろ危険側の予測であるとさえいえる。※1 したがって，現在の大阪市内の交通停滞からみて，高速道路の新設だけではこの悪条件は少しも解決されないことは明らかであるから，予測されるこの地区の自動車の通過量，パーキング面積，その配置は，その限度を越えない範囲で計画されないかぎり，その意味を失ってしまう。

そこで，入口15〜20万人，最大5人に1台の駐車施設を一応のメドとしてみたが，機能別にパーキングを考えると次のようになる※2 (Fig 6)

a1　business park
a2　waiting park
a3　shopping park
a4　amusement park
b　loading park
c1　walker's park
c2　establishment car-park

この地区でb系列のパーキングがそのまま一つの用途地域となって独立しているが，貨物自動車の混合率が極めて高いため，適切な処置が必要と考えられたからである。

※1，※2，大阪都心部の路外有料駐車場について　大阪市立大学　川名吉エ門外　日本建築学会論文集　34.2

③御堂筋と堺筋（商業地区）

大阪の代表的な二つの道路は，商業センターという点では同じ性格をもった地区として計画されている。歩行者の動線は2階の床にとられているため，bussiness park 道路から直接行える。どちらも，地区割をされた区画の中で，容積比800，建築物の位置の規制をうける。walker's parkは，オフィスビル地区の裏側に2層とられ，東西低速用サブウエイからアプローチする。パーキングビルディングを高層化しなかったのは，あまりにも人間のためのサービスが失われてしまうためで，ここでも開放された空間としてガレージが計画されている。ガレージからの階段は，そのまま商業地区のコミュニティとなる食堂・ロビー・ショップをもつ屋上庭園につながって，中央の緑をみることができる。

(Fig 7)

商業地区の敷地区画は，80m×90mをユニットとして，その間に通路ともなるクリヤランスをとっているが，御堂筋側のオフィス街では，各企業がコンビナートを形成して，ビル建設および経営を行ない，クリヤランス部分に垂直の動線部分をあらかじめ設けるという面的な構成を図っている。

④高速ビルディング

この計画の特色は，住商混合地区をはっきりと用途地区として独立させたことだろう。

高速道路にそったこの地区は，ブランチされた1段ないし2段の中速・低速の道路をそのまま各企業の門口に導入している。荷さばき，倉庫，パーキング，事務所および宿舎が高層のビルディングを形成するだろうが，ここでは階毎に同じ機能を集め，それらをランプ・専用道路で連結している。各企業の力の差のでるところでもあるので，道路に面して一定の間口と建物のクリヤランス規制にとどめ，建設方法では各々独立できるように計画されている。

運送業パーキングエリヤ，その他中小企業群の共同施設となるものも，この地区に集中している。

住居は，原則として，単身者だけを考えている。(Fig 8・Fig 9)

なお，交通関係の資料については大阪市立大学都市計画研究室のご好意によるところが多い。

(植田一豊記)

A 地 区

4

案：RIA

List 1

○現在人口の再配分の場合

人　　口	54,000人
容 積 率	100%……（20m²/人）
建築延面積	110万m²
中小企業	22万m²……（20%）
大 企 業	48.4万m²……（44%）
自動車数	2,750台……（400m²/台）
駐車施設	82,000m²……（30m²/台）

○容積比 300%の場合の配分

人　　口	162,000人
注：一年20%の増加率とすれば6年後の人口	
建築延面積	320万m²
中小企業	64万m²……（20%）
大 企 業	141万m² ……（44%）
自動車数	33,000台 ……（5人/台）
駐車施設	100万m² ……（30m²/台）

○容積比 600%の場合

人　　口	33.5万人 ……（20m²/人）
注：一年20%の人口増加率とすれば10年後の人口	
建築延面積	640万m²
中小企業	128万m² ……（20%）
大 企 業	282万m² ……（44%）
自動車数	66,000台 ……（5人/台）
駐車施設	200万m² ……（30m²/台）

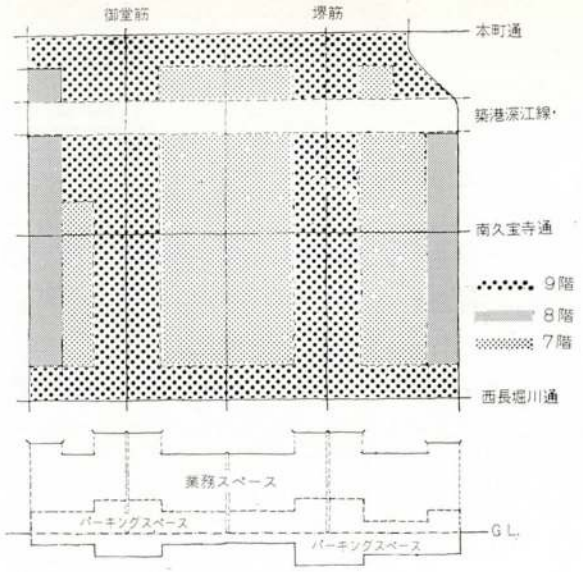


Fig 2　高 さ 制 限

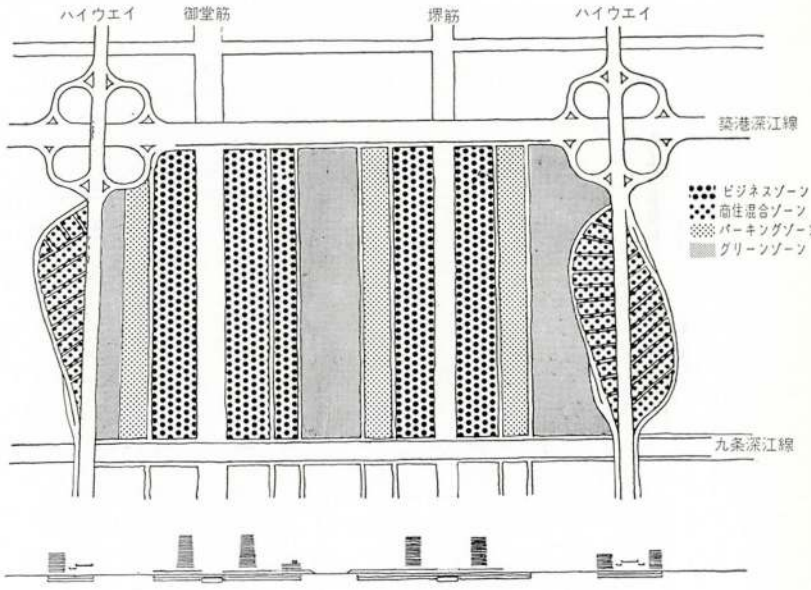


Fig 3　機 能 図

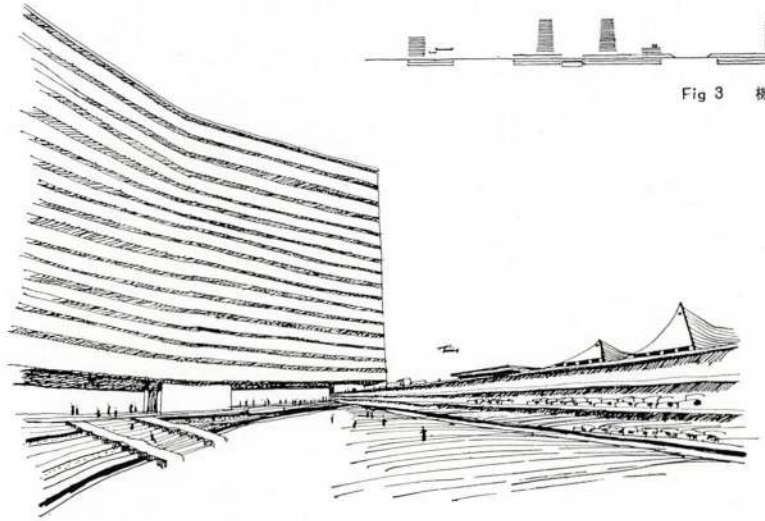


Fig 4 ビジネスセンターのためのサービス施設（レストラン・ショッピング・ホテルなど）は低層で，オフィスにプラッツでコネクトする。このサービス施設は南へのびて心斎橋筋へつながる。

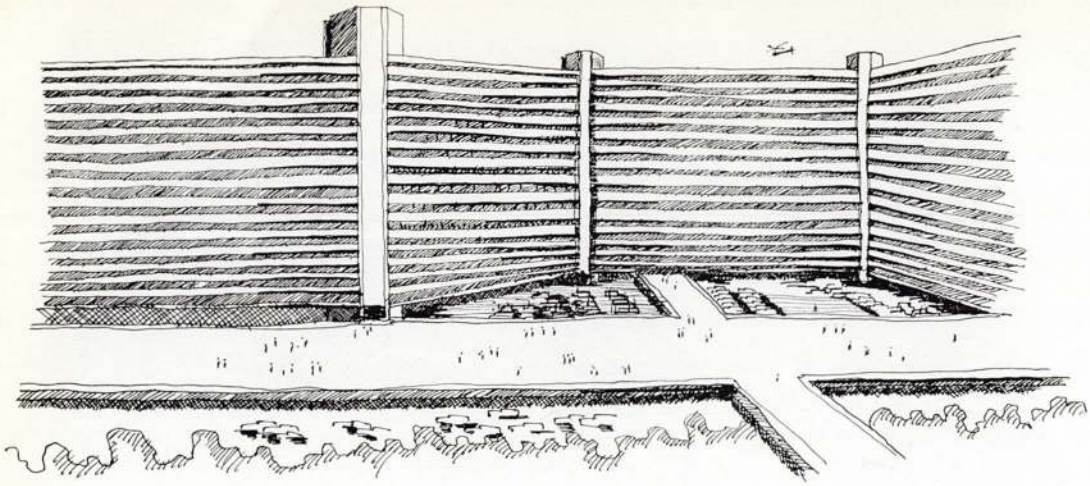


Fig 5 御堂筋：Bussiness Parking, Establishments Car Parking は1階，人間は2階を歩く。2階までは原則として吹抜空間を指定して，中央グリーンベルトと空間との相互貫入を行なう。

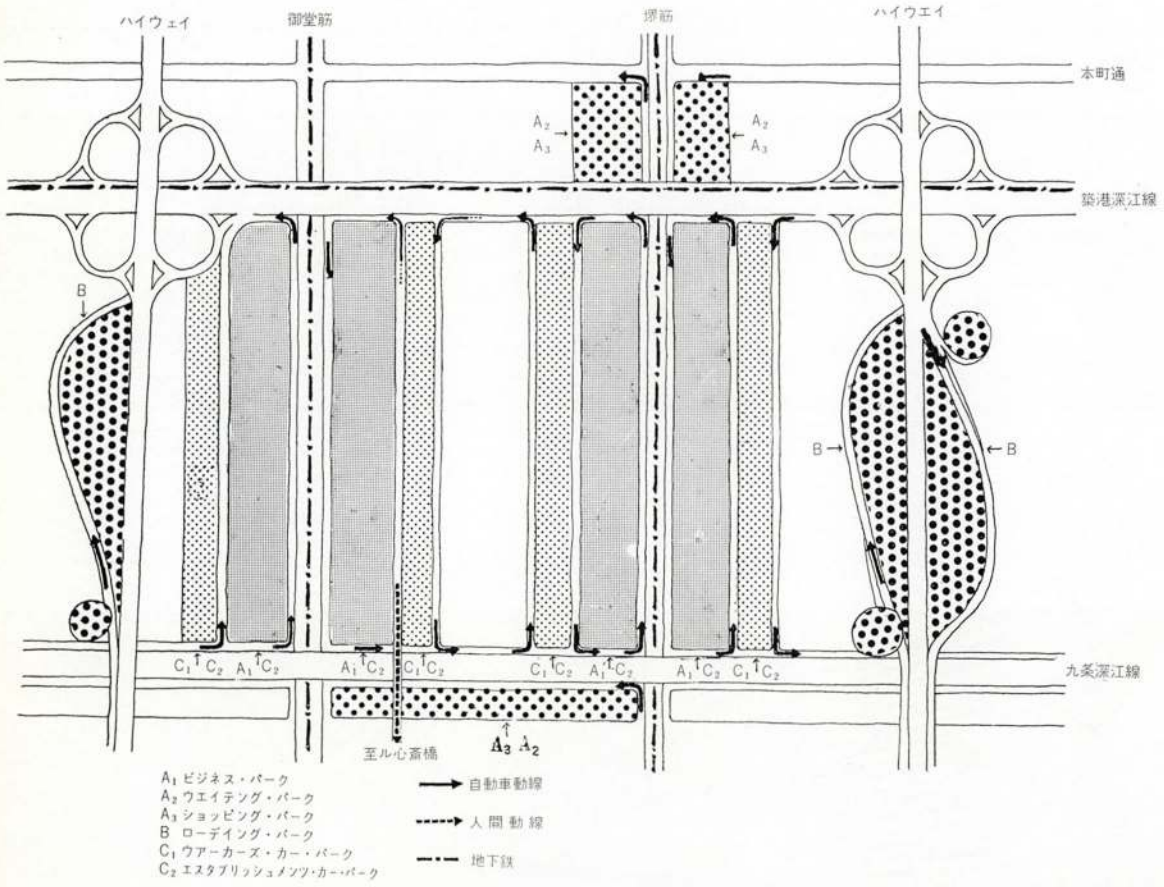


Fig 6 動　線　図

A 地区

4

案：RIA

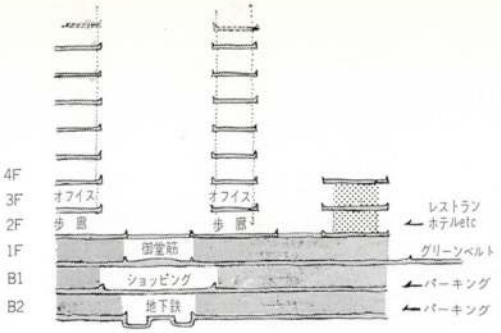


Fig 7 人と自動車の関係

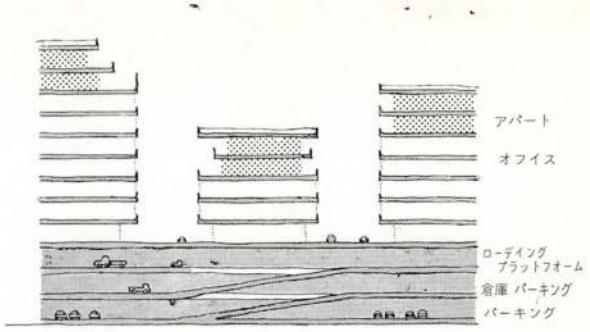


Fig 8 商住混合地区ではフロァーの共有化と道路の立体化をオーバーラップさせて，その上に各企業のビルディグはのっている。

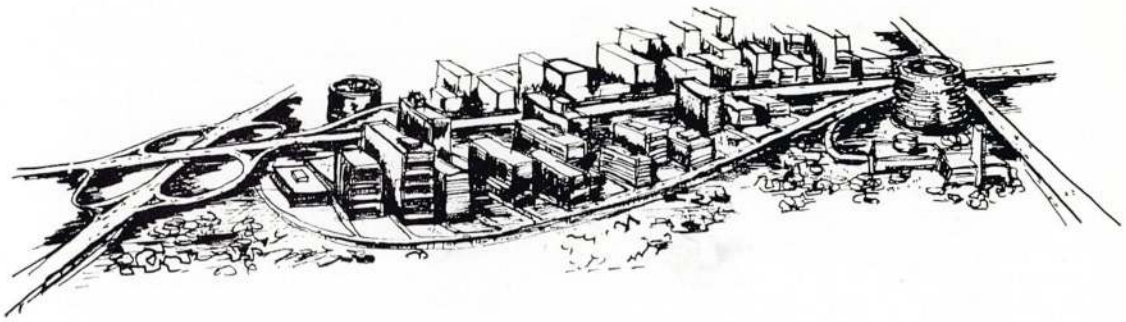


Fig 9 商住混合地区とハイウェイ

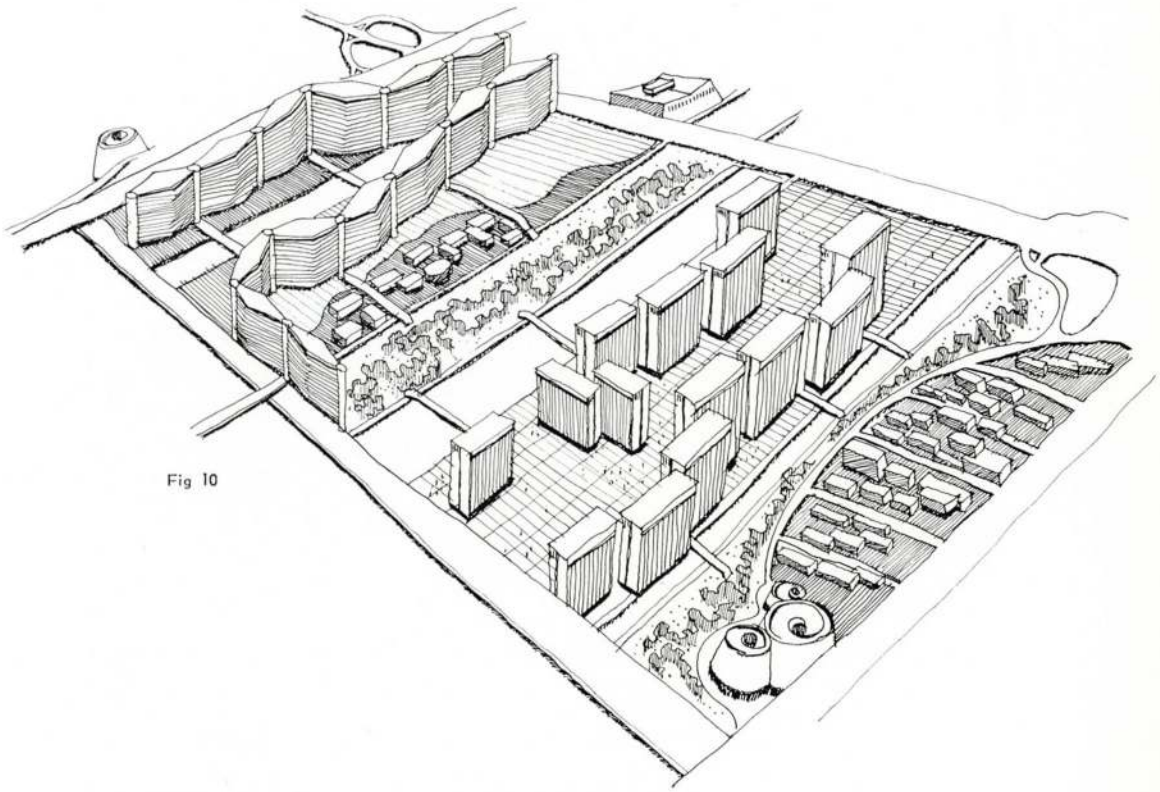
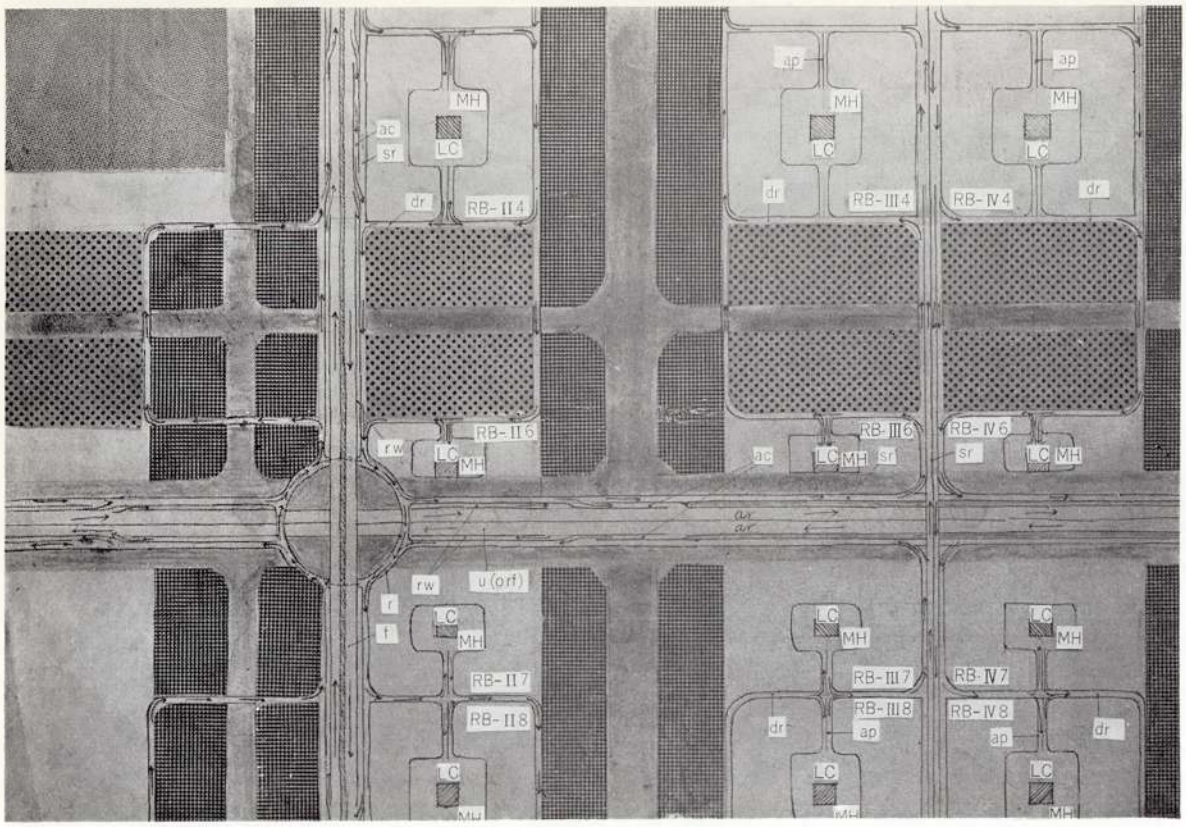


Fig 10



大阪都心再開発地区空間構成

既存高層ビルベルト

既存大公園

既存ならびに計画決定メインロード

高速道路体系

アーテリー　60km/h～…… ar
減加速車線…… ac
サービス・ロード　40km/h…… sr
デリバリイ・ロード　20km/h… dr

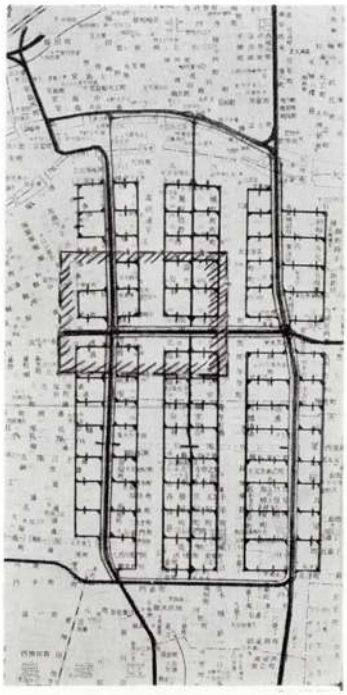
再開発スーパーブロックRB

アプローチ…… ap
モーター・ハーバー…… MH
荷卸・バース
乗降・バース
給油・バース
パーキング・バース
他モーター・サービス
リフト・コア…… LC
人・荷物
ロータリー…… r
ランプウエイ…… rw
フライオーバー…… f
アンダースルー…… u

AB地区

5

簸内幸雄
案：湯川利男



高速道路網：アーテリー＋サービス・ロード＋デリバリーロード＋7.5Mレベル

このパッチをつけた地区を拡大したものは上図の「大阪都心再開発地区空間構成」である。

阪神高速道路の建設にともなう大阪業務センターの改造について

阪神都市圏の中核としての大阪業務センターの占める位置は大きい。それが都市の流通センターとしての役割が重大であればある程，現在の道路交通の混乱から危惧される麻痺状態――それはすでに始まっている――を解決すべき根本的な救済策が考えられなければならない。

阪神高速道路の建設は，その意味において非常に有効なものであるが，同時にこれを契機として大阪神都市圏の商業核としての機能を十分発揮せしめるよう，業務センターの性格，土地利用，形態，交通網等を再検討し，根本的な改造計画を樹立することが必要であろう。

ここで，現在もっとも混乱の著しい業務センターすなわち阪神高速道路環状線の内部とその周辺地区の卸売業地区について，環状高速道路への結びつきを主体として再開発の技術的提案をしてみたい。

1．卸売業を都市周辺に分散

環状高速道路の内部およびその周辺では，薬，紙，雑貨，既製服，銘木等の種々の卸売業が集り街区を構成しているが，昔ながらの狭い道路に囲まれた，小さいブロックに混在し，そこで wholesale shopping と同時に膨大な貨物の搬入，搬出が行なわれ，交通混乱の主要な因をなしている。

これを根本的に解決するためには，すべての卸売業を都市周辺へ出してしまうか，または都心部には shopping 業務（卸売り super market の形態で）を残して，都心部に存在する必要のない倉庫とそれにともなう運送業務を都市周辺に分散さすことである。

こうすることによって，膨大な交通量の発生源は都心をはずれることになり，都心空間に相当の余裕を生ずる。

2．スーパー・ブロックによる再開発

高速環状道路に囲まれた内部地区は，業務専用地区として準世帯のみを残して，一般世帯の住居およびそれにともなうような施設はすべて郊外に移すという主旨で再開発を行なう。

既存主要道路すなわち御堂筋，堺筋の南北線，北浜一淀屋橋および本町2―4丁目の東西線に沿うブロックはすでに商業ビルで高層化され再開発の余地は無いので，そのまま，残すことにし，その内側の地区を，4～6ブロックをひとまとめにしてスーパー・ブロックを構成し，ブロック単位に前述の wholesale shopping（super market）とその従業員の住宅およびそれに必要な施設――食堂，診療所，娯楽施設――を容れ，同時に十分なパーキングで，ガレージそして一部倉庫等を建築的に上・下に分離しながら，業務が能率的に行なわれ，準世帯の生活が豊かに営まれるようにする。

3．錯綜した交通の整理

業務センターにおける業務と生活が，能率的に，迅速にかつ安全に行なはれるために，交通計画として次のような提案をしたい。

(イ) delivery road の建設

業務専用地区内部と外部との自動車専用道路として，前述のスーパー・ブロックの周辺をめぐり，直接高速道路と結ぶもので，在来の道路に積み重ねて設け，現在の道路と区分して能率，迅速，安全を確保する。

スーパー・ブロックとは2ケ所 ramp で motor harbor と接続する。また高速道路にのらない都心内部の交通は，現在の道路を生かし，スーパー・ブロックとは，同様に motor harbor で接続する。

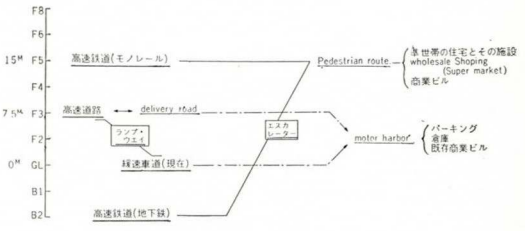
(ロ) pedestrian route の設置

業務専用地区内の歩行は pedestrian route ――現在の道路および delivery road と上下に分離された pedestrian deck および bridge――により，これに沿って whole sale shopping（super market）を開くようにする。高速鉄道との結びつきは，エスカレーターを利用するようにする。

(ハ) モノレールの建設

このように再開発を行なうことによって，業務センターの容積率を高め，商業スペースを増加さすことができるが，これに従って増加する通勤者のための高速鉄道は，容量，歩行距離，現高速鉄道(地下鉄)および計画線等から考えて，東横堀川に高速道路と並行して一本新設したいところである。このような位置，建設の難易，pedestrian route との結びつきから考えてモノレールが望ましい。

高速道路を主体とした交通系統をわかり易く示せば，次の通りである。



以上，非常に rough な提案であるが，考え方の方向を示すものとして，幾らかでも参考となれば幸である。

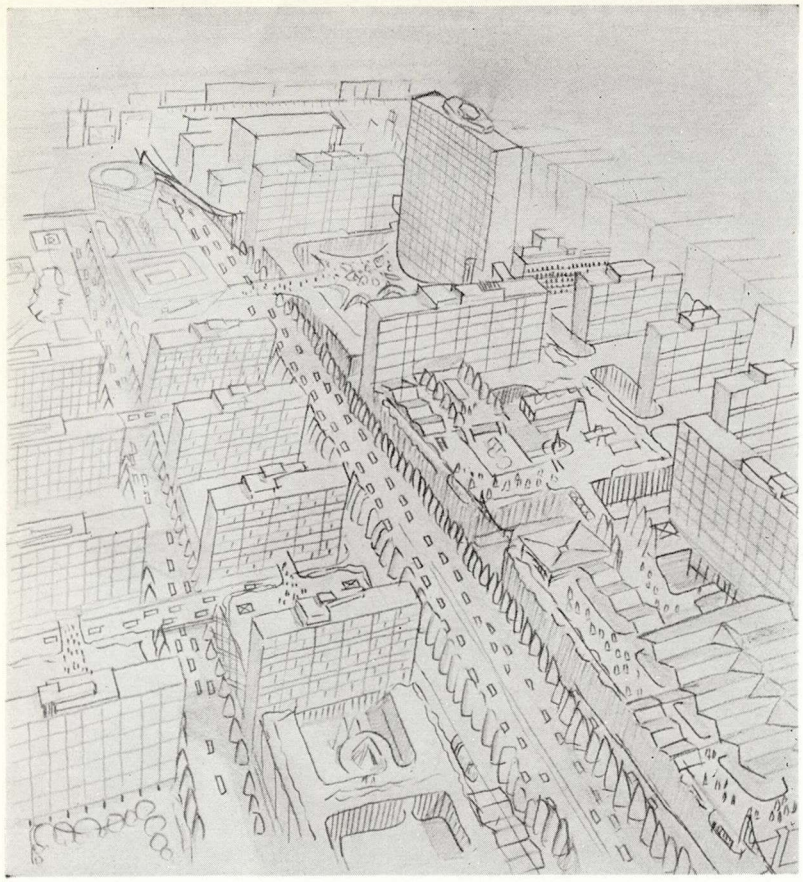
簸内幸雄
湯川利和
（日本住宅公団大阪支所）

AB地区

5

籔内幸雄

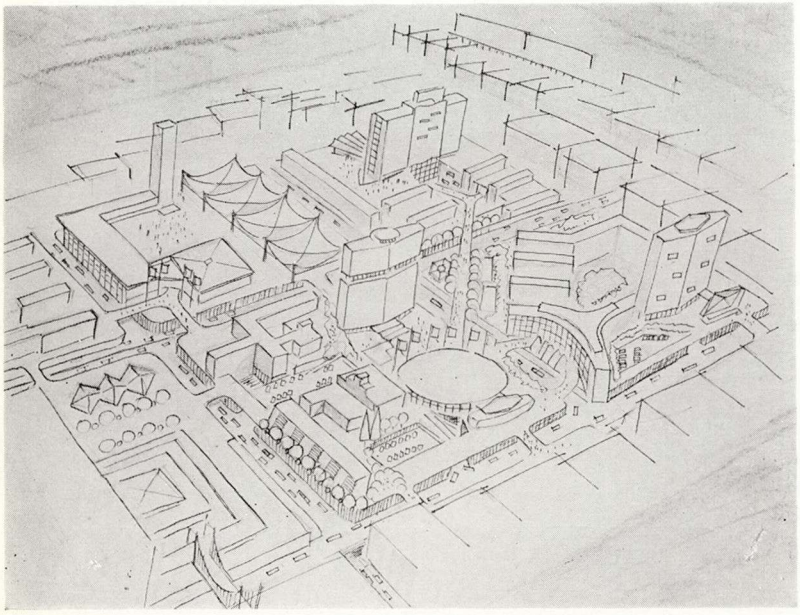
案：湯川利和



再開発例1.　RBⅠ1～3，Ⅱ1～3

肥後橋附近を南から望む。

＋7.5Mレベルのデリバリーロードと＋15Mレベルのフット・ブリッジが既存GLロードに制約をうけずに連続的な大スーパーブロックを構成してゆく。



再開発例2.　RBⅢ1～3，Ⅳ1～3

道修町附近を東南から望む。

高速鉄道淀屋橋駅を降りた客は、高速エスカレータでフットレベル（＋15M）へ運びあげられてくる。ここで彼らはまったく自動車交通とは分離された、いわば「国際見本市」がつくられているような空間に自分が今いることを発見するにちがいない。

随　想　1

阪　神　高　速　道　路　に　思　う

中　沢　誠　一　郎

阪神道路公団がさる5月1日発足した。これまで長い間阪神メトロポリスというような近代的言葉が方々に流れておりながら，実態は昔とあまり変りばえのしない大阪，神戸であったのである。公団ができ，ここ数年の間には欧米都市なみの大都市ができそうに感じられて，いろいろのイメージが浮び上るのは単に筆者のみではなかろう。本号では多分その道の専門家によって阪神高速道路そのものの解説がなされるであろうから，私はそれにはふれないで，編集者から求められるままに，これに関連した感想だけを述べたいと思う。

1.　あっという間の公団成立

法案が国会に出されてから，通過するまでに，もたつく例は相当に多い。また法案になる前に長い間，新聞紙上にたな上げされ，晒しものになる場合も多い。今国会をやっとのことで通過した新産業都市建設促進法などはその適例である。このことは各省の縄張りで主張がくいちがったり，民間人のうける利害の得失があってまとまりにくかったりすることが原因である。ところが阪神高速道路公団の場合は，まことに目のさめるような早さであった。私の記憶がまちがっていなければ，行政管理庁が交通閣僚懇談会を大阪で開いたのが去年の秋であったと思うが，その新聞記事で，阪神間の府県，市，商工会議所などが高速道路公団の必要性を強調していたと思う。やがて中央へ陳情団がいったと報ぜられた。国会の幕があくと法案が提出されてすぐに通過し，6月発足の予定が5月にくり上ったというスピードぶりである。これはとりもなおさず世論の力である。衆目の一致するところであり，機運が熟していたことを裏書きするものである。

これをみるにつけ，それにはそうなるまでのいろいろの原因があったと思う。機運が熟するには遠因があったと思うのであって，これを少しくほりさげてみることは都市計画を進めるための参考になるのではないかと思う。

遠因として三つあげようと思う。一つは国連調査団の来日によって都市計画への関心が高まったこと。二つは現実に，大阪が交通マヒに見舞われている事実。第三はこれを私はもっとも重視したいのであるが，市民の実践運動であると思うのである。以下これを少し説明してみたい。

1960年夏以来，国連の調査団が来日して日本側の学者団と共同で阪神都市圏調査第1次報告を出した。本年さらに来日して第2次調査を目下進めているが，これはわが国の朝野に対して都市計画（広い意味の）に関心をもたせることに役立ったことは非常に大きい。とくに中央官庁が重要課題としてとり上げるようになった効果は，ここ数年来に出たいろいろの法律や計画にあらわれている。たとえば，低開発地区工業開発促進法，新産業都市建設促進法，防災建築街区造成法，市街地改造法，また最近，新聞紙上に出ている経済企画庁の国土総合開発計画，自治省案と称せられる広域都市法などをみても，その熱意がうかがえる。これらの法律や計画は所得倍増計画，地域格差の是正，大都市への人口集中の抑止などの目的で作られたものであるが，これが刺戟剤として国連来日をあげることは不当でないと思う。

国連来日をさらにさかのぼれば，大阪市を中心として数年前に結成された阪神都市協議会，大阪市隣接都市協議会がたえまなく調査を進めていたことを記憶せねばならない。また1958年東京で催されたエカフェのリージョナルプラン会議に，阪神におけるこの二つの協議会の活動が報告され，国連がそれに興味をもったことに端を発したこともその遠因なのである。

第二は現実の交通マヒである。これは一昨年秋のことだったと記憶するのであるが，ある日ちょっとした交通事故をきっかけにして，十三橋から肥後橋にかけて，10時間にわたる交通マヒがおこり，市民をおどろかせたのである。ところがそれに似たマヒが方々におこり，またその頻度がはげしくなった。第1次交通規則，第2次交通規則がはじまり，右折禁止，一方交通，駐車禁止がひろがっていった。これは市民に強く印象づけていった。

第三は極めて卑近な，そして迂遠な市民運動である。「道路を広くつかう運動」をとり上げたいのである。「みんなの道路，みんなで広く」といったような標語をみて，実は最初は私はばかにしていたのである。そんなことで交通マヒがなくなる筈がないと思っていた。そして事実はそうだと私は今も信じている。だが今にして思

えば，これが相当キイていると思うのである。

大阪市はかって「町を静かにする運動」をおこし，「注意と徐行」で大いに町を静かにし，全国に普及していってほめられたのである。道路を広くつかう運動も，その味を忘れかねての運動であろうが，そうは柳の下にどじょうはいないと思っていた。片足駐車などをやり出したのである。問屋街ではどうしたら道路を広くつかえるかを実地で研究した。これは市民に自分のこととして考えさせたにちがいない。この市民の実践は結局，道路自体を広ろげなければどうにもしょうがないと考えさせたであろう。また，道路を広ろげるだけでは，そこで荷積，荷卸をやる限り交通難は解決しないと考えさせたであろう。さらに用事もない大きい車が，無暗に通ることが交通マヒの原因だというふうに考えるようになったであろう。是非直通する高速道路が必要だとも考えたであろう。これは多分に私の推移がはいっているが，このような実践が交通に関する知識を啓発したことは否めないと思うのである。そして，こういうやり方が都市計画一般についても必要だと思うのである。セッカチな設備だけでは納得させられるものでなく，市民の実践を通じ，自分で納得するような方法を案出することが賢明なやり方であるように思うようになった私である。

2. 高速道路だけで交通マヒは解消するか

高速道路は有料であるから，ゲートでは車は停滞するが，これは仕方がないとする。猛スピードで走ってきたところで，地上に降りたとたんに走れなくてはなんにもならぬ。つぎからつぎから車が地上に降りるのであるから，その先が思いやられる。その点，国鉄の幹線とはちがう。国鉄はそれだけで終りなのである。高速道路は人間の体でいえば大動脈ではあるが，それが毛細管にまでつながっている。そのつながりがうまくいかぬと脳溢血をおこしたり，脳軟化症をおこす。

ゴーストップがないことは確かである。立体交差の連続した形ともいわれる。それにつづく道路が市街地の中にうまく浸透するように考えられねばならぬ。ところで高速道路は公団でやる。市内道路は市当局がやるのであるから，今後この二つの密接な連絡を願いたいものである。

3. 都市際交通と市内交通

高速道路の使命には都市間の交通と市内交通との二つがある。どちらをさきにするかということも一つの問題であろうが，きくところによると，市内環状線がさきに手をつけられるようである。

その市内環状線であるが，東横堀川，西横堀川との間は約1キロあまりしかないので，こんなに密に必要かどうかという問題もありそうだが，私は，これは将来都市内の再開発に役立てることができるならはなはだ結構だと思う。大阪市内の問屋卸売街は早晩，改造，再配置が考えられねばならぬと思うからである。

阪神国道が第1，第2とも今や行き詰まろうとしているのであるから，これに代るものを早急に作る必要があろう。また，大阪市内を通過しなくてもよいバイパス道路がもっと早くできないものかと思われる。

4. 土地買収をやらない高速道路

今日土地の買収は困難な仕事の一つである。公団ができるだけ用地を買収しないように，幅の広い幹線道路や河川敷を利用することを考えているのは賢明であると思う。大阪市内では，東横堀川，西横堀川，堂島川，出入橋の入堀が利用され，また，朝日新聞社と新大阪ホテルの間の大阪市有地を利用している。

しかし，この大阪市有地というのが，西横堀川と南北に直通しない位置にあるため，線型がはなはだまがりくねったものになったことは残念である。スピードが何キロにきまるかはわからないが，相当ここでスピードダウンを余儀なくされ，全体としてのスピードを抑制するネックになりはしないかと心配されるのである。

5. 新らしい都市美

高速道路が西横堀川，東横堀川，堂島川の上に高架にあった偉観を想像してみることは愉快なことである。ある人は，その景観はあまりいいものではなかろうといいまた，大阪市の誇っている中之島の美観をいちじるしく損ずるのではないかと心配している人がある。私は昔の景観は変るかもしれないが，新らしい美観が生れるものと期待している。これまでみられなかった高速という機能をもった力強い美が生れるであろう。

そういえば今日林立する高層ビルの景観は30年前には想像しなかったものである。これら高層ビルの垂直の線と，直角にまじわる高速道路の横の線，そこにスピード感をもり上げるであろう。構法もまた，それにふさわしいものにしてほしい。ただ前にも述べた西横堀から堂島に出る妙な線形がこの機能美に不自然さを残しはしないかと多少不安に思うのである。（1962.6.11）

（筆者　中沢建築事務所所長）

杭
株式会社　武智工務所
取締役社長　福留並喜
大阪市東区瓦町3ノ11（井池筋）旭洋ビル3階
電話（202）3233・3234

随　想　2

〝住　民　の　た　め　の　計　画〟

毎日新聞論説委員
粂　川　義　男

先達ての国連の阪神都市圏調査団の報告で一番感銘をうけたのは，いわれてみれば至極当然のことながら，住民の生活を住みよくするための都市計画ということであった。

都市計画というのは都市そのもののための都合や，産業開発や，交通緩和とかいったそのことのためにあるのではなくて，その根底には住民の生活を住みよくするため，という大命題があることをズバリ指摘されたことであった。言葉を換えていえば，都市計画や，産業開発や交通緩和ということはいわば手段であって目的ではないということであった。

いわれてみれば当然すぎるほど当然なことなのだが，残念ながらわが国のこれまでの都市計画や地域産業の開発計画などは，ともすれば計画のための計画や，それから生じてくる地域の利害などのみが議せられていて，そこに住む住民の生活ということがほとんどまったく等閑視されていたことは今から考えてみると不思議なほどであるが，しかもそれは事実であった。

この「住民」を根本に置き直していろんな計画を考え直してみた場合，それは現在議論せられている地域産業開発計画や都市計画などとはよほど違った姿になるであろうことが予想される。その意味で国連の調査団は個々の報告内容もさることながら，いいみやげを残してくれたものと感謝せざるをえない。

最近ようやく国や地方においても計画が総合的に考えられるようになったがそれでもまだ個々の問題に囚われることが多くて本当の意味で総合的といえるかどうか疑問のものが多い。

交通問題なら交通問題だけ，水利計画なら水利計画だけ，住宅問題なら住宅計画だけがてんでんばらばらに採り上げられている傾向が強い。ことに産業開発などになると，それぞれの府県や市町村が，自己の財源確保だけの見地から，他都市や他町村との関連を考慮することなく，狭い行政区画の縄張りを堅く守りながら，その中へおのがじし埋立てをやり，工場誘致をやり，工業用水を導入しようとしている。

大阪市の経営する大阪南港の埋立てや，大阪府が実施中の堺港の埋立などはそのいい例である。大和川を一本はさんで狭い海面を片や大阪市が，片や大阪府が，連絡も連繋もなくそれぞれに埋立てをやり工場の誘致を競合する状態にある。最近ようやく，港湾行政についてのみ一部に歩みよりがみられたが，どこに総合的な見地からの計画があり，どこに住民の生活をよくするための目標があるというのか。なるほど堺市には堺市自体の都市計画や，大阪府には大阪府なりの計画はあるであろう。しかし，それが大阪市の都市計画や，隣接市町村の諸計画と，どこでどういうふうに繋っているというのであろう。それぞれが自己の権限のおよぶ範囲内だけで，好き勝手な計画をたて実施する結果，大阪府下だけをみてもあちらに工場地帯ができ，こちらに住宅地帯が生れる。しかもそのまた住宅地帯に隣接して他市町村の工場地帯がひょっこりでき上るといった具合で，どこに住民の生活環境の向上が考慮されているのかまったく理解に苦しむ。

これはなにも大阪府だけの問題ではない。阪神間についてもいえることだ。だから調査団の報告も広域行政を強く打ち出しているのだが，さて，現状からみた場合，その実現性はどんなものであろうか。近畿は一つとか，阪神都市圏の整備とか，なるほどお題目を唱える声は最近とみに高くなった。しかしそのお題目の唱え合い自体からしてすでに競合状態にあって，一方が唱えれば片方は冷眼視する。片方がイニシアチブをとれば一方がそっぽを向く。たまたま「近発」の音頭とりで国連から調査団を招けば「中央」がちゃちゃを入れるといった具合である。

ムードや机上プランを幾ら作り上げてみたところで，それは要するに問題をポイント・アウト（摘出）するというだけで，現実の解決は一歩も進まない。それが無駄な努力だとは決していわないが，それ以上に，現実に具体的問題を解決するといった強い政治的意志と強力な実行機関の設置が必要である。火事だ火事だと騒いでいるだけでは火事はいっこうに消えない。火事を消すためには，なんとしてもこの火事を消しとめようとする強い意

志と，消防力の行使が必要なのである。

だからといって私はなにも拙速を主張しているのではない。だが現実の進み方は予想外に速いのである。ほっておいたら，今に，これまで同様の工場地帯や住宅区域やらの区別もつかないような乱雑にして無計画な都市が自然発生的にでき上ってしまうであろう。でき上ってしまってからではどうしようもない。

もっとも本来なれば池田内閣が所得倍増計画や高度成長政策を打出すときに，同時に国土全般の開発計画と密接にリンクした地方の産業開発構想を明らかにし，これをコントロールする強力な機関を設置しておくべきはずのものであった。たまたま続いた好景気と，それに油を注ぐような結果になった高度成長政策のおかげで，ここ2，3年の間の大阪市周辺や京阪，阪神間の工場設置はまったく目をみはるばかりのものがある。しかも，その余波は山陽線沿線にもおよび明石以西姫路，飾磨あたりにかけて，そこここに勝手気儘な工場の設置がみられる。素人目にも，一体これで将来どうなるだろうかと心配である。あの狭い山陽道一本では，近い将来，これらの工場の原材料や製品の搬出入さえ困難になるのではないかと思われる。茨木，吹田，高槻あたりの京阪道路沿いの交通マヒはもっと早くおこるのではないかという気がする。

しかし，と企業家はいうであろう。道路ができるのを待っていたのではわれわれは手をこまぬいて他人の後塵を拝することになる。早晩交通が困難になろうとも，現在少しでも便利な土地で，しかも敷地が比較的安く手にはいるところなら，われわれは否でも応でも工場を設置せざるをえない。それがいけないというのであれば，国なり地方自治体なりが逸早く道路をつけるなり，拡張するなりすればいいのだし，また，ここへは工場は設置をしてはいけない，あすこならいいということをハッキリすればいいのだ。ただしそのときは，工場設置指定地域で所要の敷地が確保できるようにしてもらうのはもちろん，足下をみて地価が無闇に暴騰しないような措置も講じてもらわねばならぬ。そうでなくてただ困る，困るといわれるだけではわれわれの方も困ると。正にその通りであろう。産業自由の建前からして現状のままではわれわれとしても企業の勝手な進出を抑止することはできない。それをそうさせないためには国なり，地方自治体なりにちゃんとした計画と，その計画を施行する機関がなくてはならぬ。

ところで，ここで問題は土地の問題である。道路交通計画にしても，産業立地計画にしても，住宅建設計画にしても，いずれもその計画の実施の前面に立ちふさがるものは土地の取得と地価の問題である。土地の問題さえ解決すれば計画は七分がたでき上ったも同じだとは当事者からしばしば聞かされる言葉である。確かにそのとおりであろう。土地の適正な取得は戦争中の強権時代を除き昔から難かしい問題であったが，それでも今日ほど難かしい時代はなかったろう。憲法の私有財産保護の規定を楯に，いわゆるゴネ得を慣習づけてしまった。そのために都市計画なども遅れっ放しに遅れてしまっている。立退きの問題も土地に劣らず厄介な問題ではある。

この土地と立退きの問題が片づかない限り，都市圏の整備や都市計画などといっても所詮は絵に描いた餅だとなげく当事者もいる。こういった慨きが憲法改正論議のなかにもでてきている。憲法に規定する私有財産の保護と個人の権利に制限を加えようとする改正論である。だが，私はこの問題を憲法の改正論にまでもってゆくのはどうかと思う。現在の憲法の下でも真に公共の福祉の用に供するためのものとなれば個人の権利の行使も，財産権の在り方も，当然制限をうけざるをえないと考えている。問題はこれまでの法文解釈や裁判のやり方にあるのであって憲法を素直に読めば，当然公共の福祉のためには個人の権利も財産権もある程度の制約をうけざるをえないし，さらにいえば，こういった精神は憲法の規定のあるなしにかかわらず，人間社会におけるいわば自然法ともいうべきものであると私などは考えている。事実憲法にもその第12条，13条，29条等の規定をみれば，その解釈と運用の方法如何では，現在でも十分に公共用地の取得や立退きをゴネ得論者に迫り得るはずであると思うのだが，これは素人考えだろうか。

ただ，ここで問題なのは，それが果して本当に公共の用に供するものかどうかということについて疑う余地のないまでに土地，家屋の所有権者やその使用者を納得させ得るものであったかどうかというところに問題はあったであろう。それは結局，計画がてんでんばらばらにおこなわれたことや，府県，市町村あるいは国なりとの間に広い地域にわたっての統一した確乎たる方針や計画がなかったことに原因があったと思われる。なぜ俺の土地をとおらねばならぬ。なぜわれわれの区域だけが立退かねばならぬ。といった不満な反感が，それならできるだけ高い値段で，というゴネ得心理を生みだしたのではなかろうか。

もしその計画が国連調査団のいったような住民の生活をよくするためのものであるということがはっきりしていた場合，果して今日のようなゴネ得風習を生んだかどうか。結局「住民のため」を忘れていたところにいろんな問題なり当事者の自信のなさもあったのだろうと思われる。それにしても国連調査団は良いみやげを残していってくれたものだ。

明石海峡のかけ橋

神戸市調査室主幹
仲野真夢

アミーバから脊椎動物へ

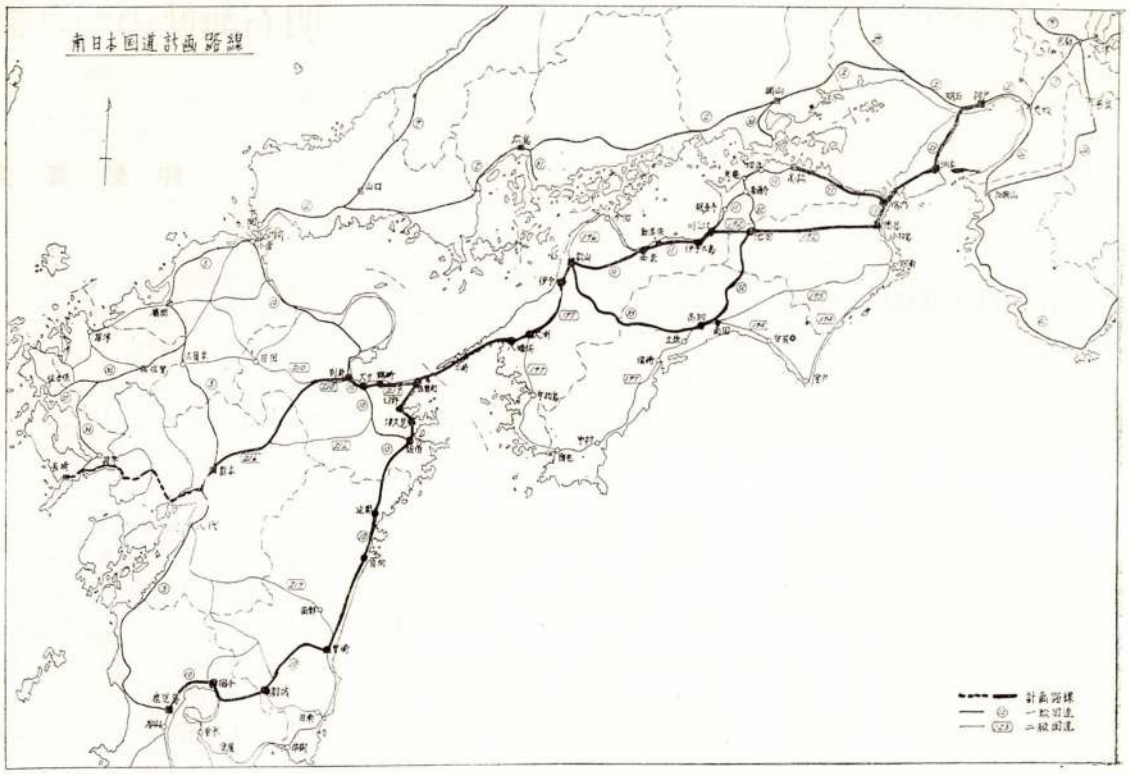
最近，東京，大阪をはじめ，日本の大都市の過大化について，いろいろの角度と，さまざまの人びとからその改革案が出されている。その中で，東京大学の丹下教授の「東京計画1960——その構造改革の提案」は都市の発展を生態学的な立場からとらえている点で，これからの都市圏の機能的な動向を見きわめる上に，一つのヒントを与えるものであろう。

丹下教授によれば，今日の東京の混乱の原因は，都市を中心とした求心型の「閉じた系」を基軸にしていることにあるというのである。つまりこのような求心型，放射型の構造は，アミーバやヒトデなど，原生動物のそれであり，この生命機能が分化し，総合機能を果すようになると，求心型パターンではもはや耐えられなくなり，脊椎と動脈を軸とする線型平行射状に進化していく，生物の進化が，点から線へ，そのシステムを変えていくならば，都市もまたそれが生物であるという基本理念に立つ限り，当然，求心型から線型へつまり「閉じた系」から「開いた系」へと発展していかねばならないはずだというのが，同教授の主張の要旨である。

問題を西日本に限定しよう。わが国の経済において，阪神都市圏の果す役割は，東の京浜地域とともに，極めて特徴的である。両者は，その地域内にぼう大な人口を抱かえて一大市場を形成するとともに，取引経済の機関と工業が集中し，日本経済を二分して，それぞれ経済機能の中枢としての役割を果している。従って，西日本の発展を考えるに当っては，このことを念頭に，産業の適正配置と社会的分業をとりあげていかねばならない。

日本の経済規模が，10年後に倍増するという成長見通しに立つならば阪神地域がそこで担当すべき役割は土地と水という自然的条件からくる制約によって，なによりもまず西日本の経済センターとしての流通機能を十分に果していくことにあると考えられる。とするならば，西日本の今後の産業配置の動向は，基幹産業の瀬戸内海沿岸への分散と，その高次の加工段階を受け持つ産業の阪神都市圏周辺部への立地という過程をたどるであろう。そして西日本の交通体系は，当然この産業配置に対応するまったく新しいパターンに再編成しなければならない。それは，具体的には阪神を中心として近畿—中国—北九州と，近畿—四国—南九州との2つの大動脈を主軸とする形態をとる。丹下教授の発想をかりるならば，阪神経済圏は，従来の点としての在り方から，線型放射状に拡大し発展していく傾向をひめているのである。





明石海峡の架橋と南日本国道計画

「よい道路は，よい道具と同じように生産的だ」とは，J・Sミルの有名な言葉である。今後，西日本の工業が，阪神を中心に線型放射状に拡散していくとするならば，市場と生産拠点との経済距離を短縮し，産業の分散配置の決め手となる「よい道路」の整備は，きわめて重要な先行投資であるといわねばならない。その意味で明石海峡の架橋は，単に2点間を結ぶためのものではなく名神高速道路の西への延長とともに，阪神地域の発展に欠くことのできない要件なのである。

ここに示した地図から明らかなように，阪神と四国を結ぶ線上に，淡路島が，ちょうど渡り廊下のように横たわり，また，阪神と大分，熊本以南の南九州とを結ぶ線上に，四国が，ほぼ東西に，帯状にのびている。

この地理的条件に立って明石，鳴門海峡の架橋を考えると，それは四国と阪神とを，もっと短距離に連絡するルートであり，さらに四国の佐田岬と九州佐賀関を結ぶフェリーボートの開設によって，阪神と四国，南九州を結ぶ合理的な交通体系の確立をも意味するのである。神戸市の提唱のもとに，淡路，四国，南九州の市町村がその実現を促進しようとしている「南日本国道」は，上掲図のように明石，鳴門両海峡の架橋と豊後水道のフェリーボートに結びつく四国，南九州の幹線道路を，全線一級国道として，統一された道路網につくりあげようという構想によるもので，まさに阪神経済の今後の発展動向に即応する計画にほかならない。

かけ橋の青写真

それでは明石海峡に，どのようなルートで，どのようなタイプの橋がかけられるであろうか。

架橋ルートの選定は，技術的には

1）橋脚位置の水深ができるだけ浅いこと。

2）中央径間（橋脚と橋脚との間）をできるだけ短くすること。

という二つの条件にまとめられる。この二つの条件は，一般には相対立するものである。（たとえば橋脚位置の水深を浅くすれば，中央径間は長くなり，中央径間を短くすると，橋脚位置の水深が深くなる。）1）の条件は，橋脚の基礎工事の可能性からみて，水深50mが限界と考えられ，また2）の条件は，中央径間をもっとも長くすることができる「つり橋」タイプをとった場合，理論的には，1,500mが限界である。

明石海峡の橋は，通行船舶の多いこと，水深が深いことなどからみてつり橋をかけるのが最適であると考えられる。一般につり橋は，

1）径間の長い橋がかけられる。
2）他のタイプの橋に比べ，建設費が安く，工事が容易である。
3）船舶の航行に必要な径間の長い，ケタ下の高い橋ができる。
4）風圧や地震の影響が小さい。

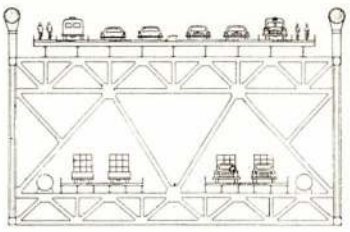
というような，いろいろのすぐれた点がある。

そこで，上のような条件を，明石海峡にあてはめると，図のように神戸の垂水と淡路の岩屋を結ぶルートで，全長4,900m中央径間1,300mとその両端に中央径間550mの，それぞれ三つのつり橋をかけるのが妥当だということになる。

この橋幅は，本来，交通量によって決められるのであるが，つり橋の場合には，橋の剛性，ねじれ，振動などに対する安定性を確保することも，あわせて考えねばならない。現在，神戸市では図のように橋幅は一応30mとし，上段は歩道，自転車道のほかに6車線，下段は将来の発展のために，4車線を設けるよう設計している。

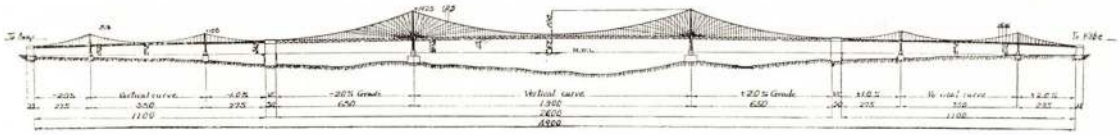
以上のような径間と断面に基づいて計算すると，主ケーブルの直径1.4m，これを支えるタワーの高さ（水面上）192.5m，橋全体に要するコンクリート量は160万m^3，使用鋼材は26万トンとなる。

明石海峡は，内航船以外に，大洋を航行する大型船舶の航路にもあたっているため，ここにかける橋のケ

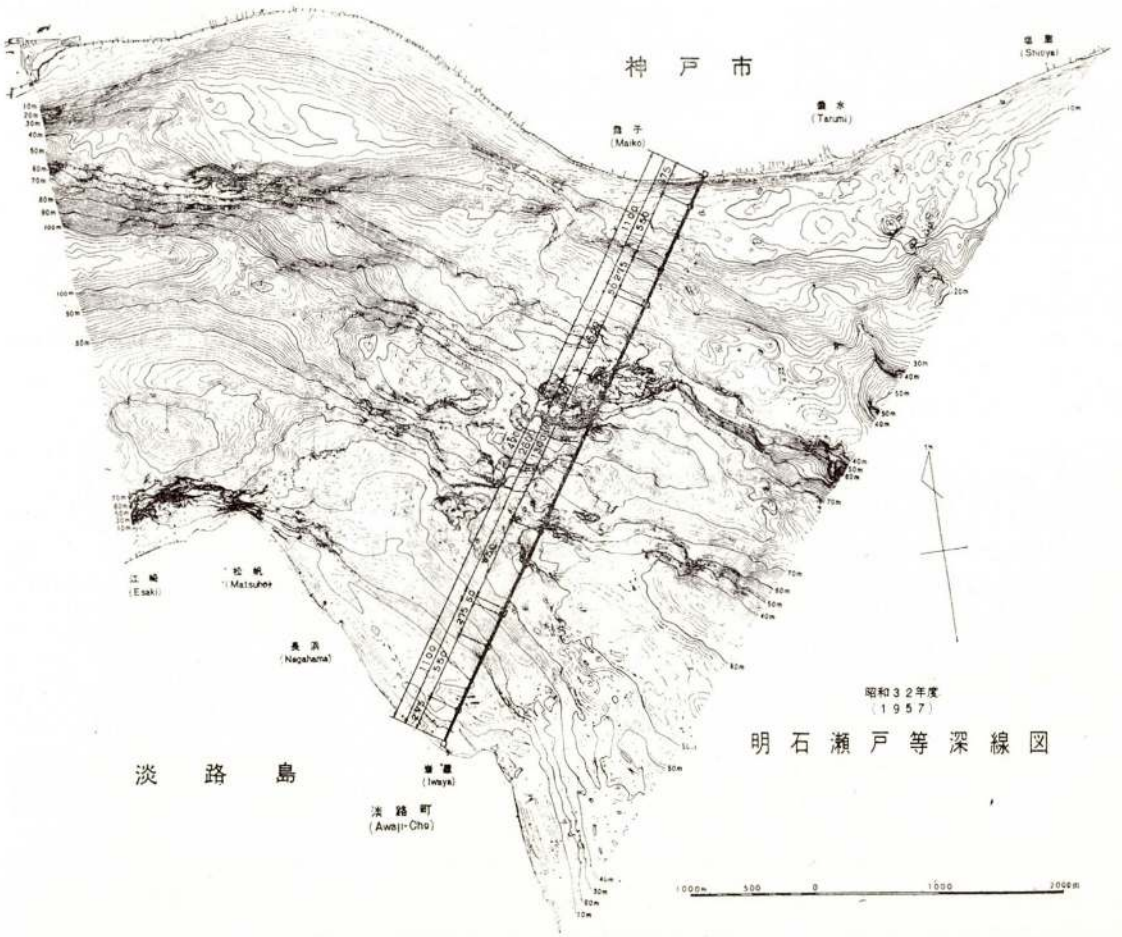


断面利用図

2階式
- 上路
  - 高速車道4車線
  - 低速車道2車線
  - 自転車道
- 下路
  - トラック4車線
  - 送電線　その他



明石海峡連絡吊橋　B案



国民経済的にみたこの計画の経済効果（直接効果45年以降20カ年の平均値）

区分		金額	備考
		億円	
A 投下資本額		716	建設期間中の利息115億円
B 便益額		172	
輸送費軽減額		4	フエリー航送料と計画通行料との差額
通行料金収入		94	
輸送貨物の鮮度向上		3	野菜920万貫，鮮魚890万貫の価額の10%相当額の60%
在庫節約		12	輸送速度の向上に伴なう節約額の60%
観光客の消費増加		59	誘発観光客990万人＋1,000円の60%
C 年支出額		45	
利子		26	6%　20年間の平均支払利子
維持管理費		3	うち人件費1億円
償却年額		16	耐用年数40年残存価格10%
D 超過便益額	B—C	127	純便益額を示す
E 国民所得増加額	D＋利子＋人件費	154	国民経済的な付加価値額
F 投資回転率	B/A×100	24%	
G 費用便益比率	B/C	3.8	国民経済的にみた事業の採算性の判定，採算限界 B/C≧1
H 投資所得比率	E/A×100	22%	事業の所得効果

神戸，四国間路線別距離比較

	宇高経由	淡路経由	距離差	短縮率
	km	km	km	%
神戸—徳島	268	103	165	61.2
—高松	194	155	39	20.1
—高知	352	263	89	25.1
—松山	388	314	74	18.9

神戸，九州間路線別距離比較

	山陽道経由	南国道経由	日本経由	距離差	短縮率
	km	km		km	%
神戸—福岡	599.5	678.5		—	—
—佐賀	658.5	664.0		—	—
—長崎	785.0	790.5		—	—
—熊本	715.0	635.5		79.5	11.1
—大分	650.0	497.0		153.0	23.5
—宮崎	866.0	701.0		165.0	18.9
—鹿児島	925.5	819.0		106.0	11.5

タ下高は，これら大型船舶が自由に航行できるという条件を満たさねばならない。アメリカのゴールデン・ゲイト橋をはじめ，いろいろの橋のケタ下高と，世界の代表的船舶のマスト高などの調査結果から判断してゴールデン・ゲイト橋のケタ下高67mは，大洋を航行するいかなる巨船にも支障をきたす恐れはない。このような理由から神戸市では，明石海峡の橋のケタ下高を，橋の中央部で67mとしたのである。

かけ橋の経済効果

明石海峡の架橋は，前半でふれたように，四国，南九州の幹線道路網に結びついてはじめて，真の効果を発揮する。そこで，この橋の経済効果を考えるさいには，鳴門海峡の架橋と豊後水道のフェリーボートの実現を前提に話を進めねばならない。

さて，この架橋によって，まず四国，南九州と本土との距離は，次表のように大きく短縮される。たとえば近畿—九州間では神戸—熊本間が山陽道経由で715kmが635kmで済み，神戸—鹿児島間では同じく山陽道回わりに比べ106km短かい819kmで連絡することができる。また本土—四国間の場合も，神戸—徳島間は，宇野高松経由なら268kmが103kmに短縮され，距離節約は6割にもなり，神戸—松山間でも，宇高経由の388kmに対して74kmの短縮が可能となる。

このような四国，南九州の阪神への接近と交通体系の整備は，豊富な工業用水と，広大な工場適地をもつこれらの地域に，近代産業の興隆をもたらし，これを柱にして，阪神経済圏と一体となって，西日本経済圏の発展に大きく寄与するであろう。

明石海峡の架橋がもたらす経済効果について，金額に評価しえる直接的な効果を試算すると，ここに掲げた表のようになる。

建設期間中の資金費用を含めて，この架橋に要する投資額716億円に対し，それが年々生み出す効果は172億円，つまり工費の約4分の1に達する。その内容は，輸送費の軽減額4億円，有料橋による運営を前提とする通行料収入94億円（つまり少くとも料金額だけの便益がこの橋によって生み出されるということ。）輸送速度の向上に伴なう鮮度向上効果3億円と在庫投資の節約額12億円誘発観光客の観光消費増59億円などである。

このかけ橋が国民経済的に採算性があるかは，維持費と便益額の比3.8という数値が，これに答えるものである。採算の限界は，この値が1の線にあるから，明石海峡の架橋が，国民経済的にひじょうに高い採算性をもつものといえるのである。

むすび

ニューヨークが，今日なお世界でもっとも繁栄する都市として，その地位を維持してきた最大の理由に，1825年，760万ドルの巨費と10年の歳月とを要して完成したイリー運河の在存をあげる人が多い。ハドソン河と五大湖の一つイリー湖とを結ぶこの運河は，ニューヨークとアメリカ重工業の集積する五大湖岸一帯との交通をいちじるしく改善し，1830年代のいわゆるアメリカの運河時代のさきがけとなったのである。

西日本，いな日本の外貿センターとしての神戸港の今後の発展もまた今日の神戸にとっての「イリー運河」——つまり四国，南九州への輸送網の整備，明石海峡の架橋の実現に待つところが大きいのである。

このかけ橋の実現が，一日も早いことを念願して筆をおく次第である。

神戸市背山総合開発計画

神戸市調査室主査
諸岡博熊

神戸の市街地背後に立ちならぶ六甲山系の山なみは，古くから，天然の良港と市街地を保護する屏風のような役割りを果し，加えて，市民のよきレクリェーションの場として親しまれ，利用されてきたのである。この六甲山系の山々は〝ミナト〟とともに神戸のシンボルとして海抜900余mにおよぶ最高峰を中心に東は市域をこえて，芦屋市，西宮市，宝塚市に接し，西は須磨，鉢伏山に連なっている。

さて，ときの流れは必然的にこれらの山々をそのままの姿ではおこうとしないのである。宅地造成に，学校建設に，ゴルル場敷地に……と，実に千差万別の目的と多種多様の事業主体が狭い市街地から，この山々のふところへ，山腹へ，そして山上へと開発の手を延ばして行ったのである。しかも，それらの開発は有機的かつ統一的なものではなく，無秩序，無統制な方法で行なわれており，市全体の立場からみた開発でもなく，また，将来の見通しを極めたものでもない開発である。

地形的に神戸市は，市街地と農村を南北にふりわける〝背山〟（六甲山系）をかかえているのが特長[1]である。このような地形のもとにおける背山地域の総合開発こそ神戸市発展のため，ぜひとも乗りこえ解決しなければならない重要課題である。この問題を解決する目的をもって市長の諮問機関「神戸市背山総合開発審議会（会長米田正文氏）」を設置し，35年10月第1回総会を開催，引きつづき，専門委員，学識経験者その他幹事などの方々による審議をおこなってきた。このたび，37年5月10日第4回総会を開催，神戸市背山総合開発計画の最終答申を市長に提出した。以下，順次計画書を説明する。

＜計画の意味＞　背山は〝文化の分水嶺〟といわれる。この意味は，市街地と農村地域とが屏風のような六甲山系によって，その連絡がたちきられ，社会，経済，文化，その他あらゆる市民生活において，較差がありすぎるということである。行政の窮局の目的は市民生活の向上と安定にあるので，神戸市全域の有機的統一的な開発は必然的にまず背山地域の総合開発にまたなければならないものである。すなわち，神戸市全体の発展は一にかかってこの背山をいかに合理的に開発し，市街地と農村地域との連絡を保ちかつ図るかということにつきる。

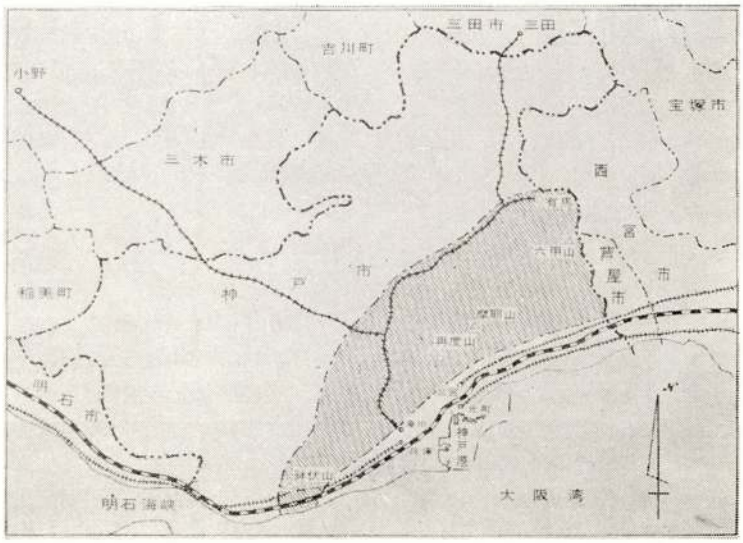
＜問題点と必要性＞

（i）**宅地開発の問題**　現在市街地における宅地開発はすでに飽和点に達しており，いま，市が実施している海面埋立地は，もっぱら工業用地にあてられる関係上，平坦部においてはほとんど宅地開発を考える余地は存しない。しいて求めるならば，北西神地区か，あるいはこの背山地域に求めざるをえない状態である。一方，神戸市の居住人口をみると，理想的な都市計画人口（人口密度の市街地標準を1人当り67m²とする。）[2]は，市街地平坦部面積（除旧垂水区）54km²であるから，その適正人口は約80万人となるにもかか

1）神戸市全面積は約530km²，そのうち，第1図にみるように，市街地部分約54km²背山区域約163km²，農村地域約313km²となつている。

2）石川栄耀著〝新都市計画〟による人口密度の標準より算定。

第1図　神戸市背山区域図



わらず，現在の居住人口（除旧垂水区）は，市街地で98万人となっており，かなり多くの過剰人口をようしていることになっている。加えるに年々，約2.5万人の人口増がみられるから，昭和57年ごろには，約40万人の増加が想定され，きわめて密度の高い結果をまねくことになる。これらの人口を可能な限り，市街地に近いしかも便利で住みよいところに居住させるためには，どのようにするかなどという問題から背山総合開発の必要性が一つ生れてくる。

（ii）**観光開発の問題**　背山一帯は，大都市神戸の市街地から20～30分で行ける手ごろな距離にあり，しかも，東海道本線からみる六甲連峰の山容は，全国的に知られている。背山東部の六甲山，摩耶山一帯は，瀬戸内海国立公園[3]の一部に指定されており，古典観光の名で知られている奈良，京都の文化とは対称的に明るい，近代的なフン囲気を備えている。さらに，古典観光の基調をなしている社寺，仏閣のような歴史的由緒，旧蹟のほとんどなく，きわめてバター臭い，エキゾチックなムードがある。一方，内外観光客の急増は，レジャーブームに乗って急増しているので，日本の代表的な観光地――日光，箱根，奈良，京都，雲仏別府など――に匹敵するような観光施設を設け，一連の観光ルートに乗せられるような観光開発計画を樹立することはいまや急務となってきた感さえある。京阪神を中心とした近畿圏内の観光人口はもとより，中国，中京，関東，四国などをヒンターランドとして広範な観光人口を誘致することが考えられ，背山の観光開発はきわめて有望な事業となってくる。ここに，背山開発の問題点と必要性の一つがある。

（iii）**レクリェーションの問題**　青少年を都市の社会悪から守ろうとする運動は，近時，青少年の諸犯罪の増加傾向にともなって，強調されるようになったが，市街地における青少年に健全な遊び場を与えずしてただ青少年善導の呼び声だけを張りあげてみても，その効果は期待できない。このため，背山の随所において，教養に勉学の補助に，スポーツに，娯楽にと，それぞれの持ち味の異なったレクリェーションの場を設け，神戸的な味わいのあるいこいの場とし，市民の利用に供するように開発計画を樹立することも重要なポイントの一つでなる。

（iv）**道路・交通の問題**　さきに述べたように，市街地と農村地域はこの背山によって分断されている。この両者をいかにうまく連絡し，統一ある有機的な結合を図るかは，この道路・交通網の合理的な確立以外にはない。また，背山の地域内において，諸開発計画をうまく有機的に結びつけるためには，諸施設相互間を結ぶ道路交通体系の能率的な確立を図る必要がある。たとえば六甲山を貫通するトンネルを設けて，北神地区との関連を密にし，同地区の開発に大きく貢献させるとか，背山の地域内にバイパスを設けて，市内交通の激増にともなう緩和策にするとか，ロープウエー，モノレールを建設することによって，観光コースを設定するとか，観光縦走路線を計画することによって，背山地域内の諸施設を結ぶとかいうように，いわゆる有機的な面からの開発計画は当然必要である。背山開発の成否を市全体の発展の鍵としている以上，この道路・交通の問題はもっとも重要な問題として算定されなければならない。

（v）**治山・治水[4]の問題**　山を削り，谷を埋めての積極的な開発計画は，国土狭小なわが国では当然であり，ひとり神戸市のみでなく，一般的におこなわれているところであるが，反面，山自身を自然の姿のままで保存し，美観風致の維持につとめることも必要である。この両者の調和をいかに保つかということが，背山総合開発に課せられた一つの重要な課題である。背山はそれ自身，風化されやすい花崗岩でできており山崩れ，土砂流出などによる災害の危険性を充分にかかえている。これらの災害を事前に防止する対策が必要であり，砂防ダムの建設，造林の実施などは，総合開発計画実現のためには，なおざりにできない問題である。近時，降雨のあるたびに，土砂崩れ箇所が増加し，治山・治水面における対策が強調されていることからも，この問題に対する計画は背山総合開発の必要性を物語っている。

＜開発の基本方針＞　開発計画の基本方針にもとづいて，つぎの12項目にその計画はわけられている。

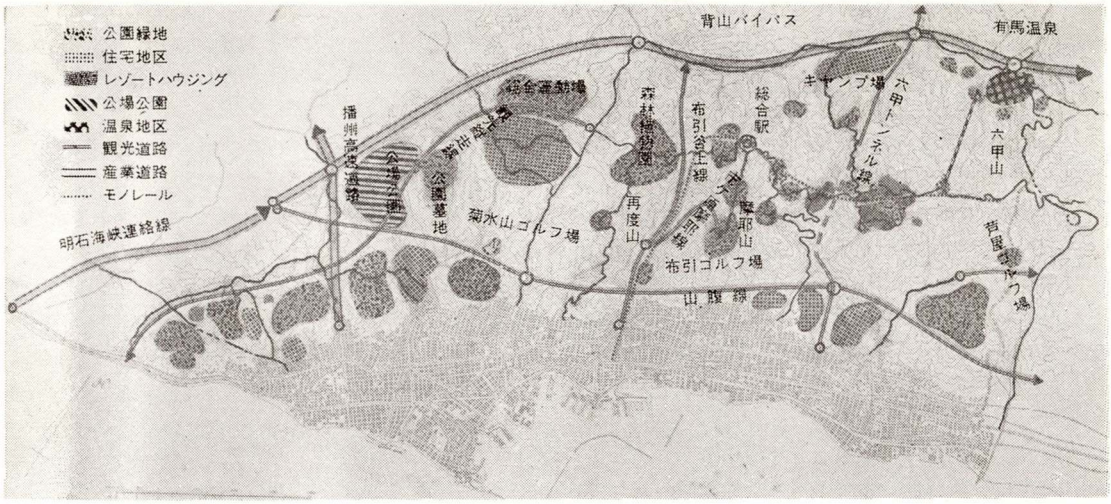
①土地利用計画
②基本計画
③道路計画
④宅地開発計画
⑤産業開発計画
⑥総合運動場計画
⑦観光開発計画
⑧公園・緑地計画
⑨造林・施業計画
⑩治山・治水計画
⑪利水・水道計画
⑫事業計画

この開発計画の基本方針は，神戸市が将来発展するかどうかという必要な地域としての背山を自然的条件を考慮し，社会，経済および文化などの総合的見地から合理的かつ有機的利用計画を策定し，その計画を推進することにより，近代的，文化的都市建設をはかり，市民生活の恒久的安定と向上に資することを目的とし，つぎの10項目を骨子としている。

①神戸市の市街地，農村地域ならびに周辺市町村との関連および阪神

3）瀬戸内海国立公園六甲山地区として，昭和32年10月指定をうけた。

4）昭和13年7月連続降雨により，神戸市は山崩れによる大災害をうけている。



第2図　六甲背山総合開発基本計画図

工業地帯，播州工業地帯整備計画との関係を十分考慮し，かつ神戸市の各種将来計画と調和したものとすること。

②背山地域全体を市街地外周のグリーンベルトと考え，風致的考慮を払いつつ，開発計画を策定すること。

③市街地からみる背山のスカイラインを維持し，山容の保持につとめること。

④土地利用計画は，現在の利用実態が周辺との関連において，さほど矛盾しない限り，現状を伸張するようつとめる。

⑤背山地域全体を，市街地と充分関連づけるようにするとともに，背山の地域内においても相互に連絡を保つよう開発すること。

⑥六甲連山の南麓における宅地開発は一定の標高までにおさえ，原則として，それ以上の開発を防ぐこと。

⑦背山地域は一般に緑化を推進することが肝要であって，とくに，保存地域は森林の造成につとめ，治山，治水に留意するとともに，市街地保護のため，適切な措置を講ずること。

⑧観光開発は近代的なものとし，日本の代表的観光地としてふさわしいものとすること。

⑨計画の目標年次は，原則として20年後の昭和57年までとすること。

⑩計画は実現性のあるものを見極めて策定すること。

＜土地利用計画＞

以上述べた，開発基本方針の趣旨にもとづいて，委員全員にアンケートをおこない，土地利用計画をつぎのように樹立した。

①保存地域は，可能な限り広く計画し，自然の保持につとめる。従って，市街地保護の見地から，南麓はできるだけ保存地域とする。

②将来予想される住宅地域の周辺は保存地域とする。

③レクリェーション地域については市街地に都市公園が少くない現状から，手軽な市民レクリェーションの地になるような立地条件のもとに想定して計画する。

④運動施策としては，あらゆるスポーツ種目が総合的に実施できるよう，かなり広範囲の面積を確保するとともに，空気，環境，交通など有利な地点に計画する。

⑤住宅地域は，可能な限り背山地域内において見いだし，市街地住宅の不足解消をできるだけ推進するよう計画する。

⑥レゾートハウジング地域は静かなしかも風光明美な地に立地させ，その趣旨にそうようにする。

⑦産業公園地域[5]は，市街地に比較的近く，しかも空気のよい地域において計画し，将来，交通の要衝となるような地点を検討して選定する。

⑧温泉地域については，現温泉のほかに大衆的利用が可能なように土地利用の計画をたてる。

⑨公園墓地としての利用地域は，市内各所に散在する墓地を「墓地公園」として一ヵ所にとりまとめて静かな地域を選定する。

＜基本計画＞

開発基本方針にもとづき，土地利用計画が策定せられ，この利用目的に沿うようにするため機能的統一性と，合理的調整を考慮しつつ，第2図にみるような基本計画を樹立したそのあらましは，つぎのとおりである。

①背山全地域を大きく東西にわけて東部地域を主として観光開発，西部地域を主として，市民レクリェーションの用に供する。

②背山全域を有機的に連絡するため

5）産業公園とは一種のインダストリアルパークをいう。

六甲縦走路を小部峠からさらに西に延長し，鉢伏山にいたる一連の観光コースを設置する。このコースは，東から，六甲最高峰，ゴルフ，六甲記念碑，六甲山牧場，石楠花山，森林植物園，総合運動場公園墓地，産業公園，高取山，鉢伏山，須磨浦におよぶ観光諸施設を結ぶ自動車道で，背山の中心路線とする。

③有馬地区と六甲山，摩耶山地区，および市街地との連絡を図るためロープウエー，モノレールなどを設け，近代観光施設を織り込んだ計画とする。

④南麓における宅地開発は，一定の標高までにとどめる。無定量の宅地開発はできないが，住宅難の解消を図るため可能な限り，宅地開発を計画する。この標高制限の趣旨に沿うため，山腹線を開発の限界線として策定する。

⑤道路，交通面については，北神地区との交通路として六甲トンネル線，布引谷上線を，東西交通路として山腹線，背山バイパス線を計画し，その他の交通路は，都市計画路線の整備促進をまつこととする。

⑥保存地域については，造林を極力おこない，市街地の保護ならびに水源の保護涵養などに万全を期するとともに，背山全域の美観を保つよう広域な地域を計画する。

＜施設計画＞

開発の基本方針の項で述べたように，道路，宅地開発，産業開発，総合運動場，観光開発，公園・緑地，造林・施業，治山・治水，利水・水道各計画は，いわゆる〝施設計画〟と呼ばれるものである。

各施設計画の概要を説明するとつぎのとおりである。

①道路計画　観光開発道路として〝観光縦走線〟ほか5路線を計画し，産業開発道路として〝背山バイパス線〟ほか4路線を計画した。

②宅地開発計画〝鴨子ケ原地区〟ほか7地区（開発面積1,265.4ha）を計画した。なお，このほか〝レゾートハウジング地区〟2ヵ所160haを計画した。

③産業開発計画　白川附近に約580haの〝産業公園〟を計画し，ここに，軽工業を誘致することとする。

④総合運動場計画　市街地から近距離で，自然環境もよく，合宿施設をかねだものを，鈴蘭台附近に計画した。

⑤観光開発計画　奈良，京都の古典観光に対する背山を近代観光の場となるよう各種施設を計画した

⑥公園・緑地計画　背山を市街地のグリーンベルトとするため，東部は自然公園，西部は都市公園とする。

⑦造林・施業計画　南麓は治山・治水をかね，海抜300mから上は風致地区とし，頂上附近は高山的景観を出し，北麓を経済林とした

⑧治山・治水計画　市街地を災害から守るため，治山をおこなう箇所を500ヵ所，面積1,075.3ha，治水は9,100,000m²の計画貯砂量をもつ，ダムを230ヵ所計画した。

⑨利水・水道計画　南幹線は，阪神上水を利用し，北幹線は，千刈貯水池より給水を計画し，各河川より約9万トンの取水を計画した。

以上，施設計画の概略を述べたが，これが資金計画ならびに事業計画一覧表は，第3図，第4図のとおりである。

第3図　資金計画一覧表　（単位100万円）

計画	期間	国または公団資金	地元公共団体資金	公社資金	民間資金	計
道路計画	第1期	1,800	590			35,380
	第2期	19,340	3,240			
	第3期	9,510	900			
宅地開発計画	第1期			2,340	400	22,100
	第2期			8,760	1,000	
	第3期			8,800	800	
産業開発計画	第1期					3,200
	第2期		1,200			
	第3期		2,000			
観光開発計画	第1期		135		1,860	7,870
	第2期		325		1,860	
	第3期		330		3,360	
総合運動場計画	第1期		5			2,405
	第2期	102	498			
	第3期	298	1,502			
公園・緑地計画	第1期	36	334			3,010
	第2期	224	2,016			
	第3期	40	360			
造林・施業計画	第1期	70	30			1,000
	第2期	280	120			
	第3期	350	150			
治山・治水計画	第1期	280	120			4,000
	第2期	1,120	480			
	第3期	1,400	600			
水道・利水計画	第1期	182	385			3,940
	第2期	728	1,544			
	第3期	350	750			
計	第1期	2,368	1,600	2,340	2,260	8,568
	第2期	21,794	9,423	8,760	2,860	42,837
	第3期	11,948	6,592	8,800	4,160	31,500
合計		36,110	17,615	19,900	9,280	82,905

第4図（1） 事業計画一覧表（1）

（事業単位 100万円）

事業	種別	事業名	地行地 起点	地行地 終点	事業量	事業費	事業主体	期 昭38・39	第1期 昭40 41 42 43 44 45 46 47	第2期 昭48 49 50 51 52 53 54 55 56 57	第3期	事業効果
道路計画	道路	山麓線	垂水区名谷町	戸屋市界	市道延長 7.5m 234.7km	8,910	国				8,910	広域交通路を確保することができる。
		背山バイパス線	垂水区名谷町	西宮市界	市道延長 15.0m 23.6km	9,840	〃			9,840		
		六甲トンネル線	灘区水車新田	兵庫区有野町	市道延長 7.5m 10.8km	3,500	〃		1,400	2,100		市街地を北神地区を直結してもってインターランドの開発に資することができる。広域交通路を確保することができる。
		（明石海峡連絡線）	垂水区名谷町	垂水区西垂水町	市道延長 15.0m 6.6km	3,300	〃			3,300		
		神姫線	須磨区神戸市界	垂水区垂水町	市道延長 15.0m 5.0km	2,000	〃			2,000		
		観光道路線	兵庫区山田町小部峠	垂水区塩屋町	市道延長 7.5m 14.4km	2,850	地元公共団体		800	2,000		
		市ケ原摩耶線	兵庫区真野合町	兵庫区山田町	市道延長 7.5m 4.7km	1,000	〃			1,000		
		布引谷上線	兵庫区鈴蘭台町	兵庫区山田町	市道延長 7.5m 11.7km	2,400	〃			1,200	1,200	観光資源を有機的に結合し効果的な利用を図り、需要の増大に対処できる。
		鳥原摩耶連絡線	灘区篠原	兵庫区山田町	市道延長 7.5m 2.0km	300	〃				300	
		五助線	東灘区住吉町	戸屋市界	市道延長 7.5m 3.7km	740	〃			740		
		鳥摩耶連絡線	兵庫区山田町	兵庫区山田町	市道延長 7.5m 0.7km	90	〃		90			
	道路整備	既設道路整備	主として駐車場			500	〃		100	400		
		計				35,380			2,390	22,580	10,410	
宅地開発計画	一般住宅	鴨子ケ原地区	東灘区住吉鴨子ケ原町		110.0ha（全面積 135ha）	3,000	公社		400	1,600	1,000	
		本鵯甲山地区	灘区高羽		58.0ha（全面積58.0ha）	6,485	神戸市		2,160	4,325		
		篠原地区	灘区篠原北町		30.0ha（全面積30.0ha）	900	公社		300	600		市街地の宅地不足を解消しあわせて人口を計画的に分散し、明るい住みよい、住宅地を造成することができる。
		神鋼台地区	兵庫区 山田町		480.0ha（全面積630.0ha）	14,400	〃		1,440	5,760	7,200	
		丸山地区	長田区丸山町		48.0ha（全面積48.0ha）	1,500	民間		200	800	500	
		東高旭山地区	須磨区 東須磨、上畑沢町 木野町		26.4ha（全面積26.4ha）	2,380	神戸市	2,380				
		東多井畑地区	須磨区 多井畑町		36.0ha（全面積36.0ha）	4,000	〃		1,000	3,000		
		唐櫃地区	兵庫区 有野町		110.0ha（全面積150.0ha）	1,600	公社		200	800	600	
	ハウジングレジデント	山頂地区	東灘区住吉町、灘区篠原及び兵庫区有野町		（全面積 115.0ha）	200	民間		200			市民の健康休養地として健康で明るい宅地を提供できる
		旗振地区	須磨区西須磨		15.0ha	200	〃			200		
		多井畑地区	須磨区多井畑町		30.0ha	300					300	
		計				34,960			5,280	17,080	9,600	
		産業公園	須磨区白川		580.0ha	3,200	地元公共団体			1,200	2,000	産業の開発とグリーンの維持に効果がある。
		計				3,200	〃			1,200	2,000	

第4図（2） 事業計画一覧表（2）

（事業単位 100万円）

計画	種別	事業名	地行地	事業量	事業費	事業主体	期 昭38・39	第1期 昭40 41 42 43 44 45 46 47	第2期 昭48 49 50 51 52 53 54 55 56 57	第3期	事業効果
交通施設		モノレール	北区有馬町～東灘区住吉町	延長 18.0km	4,200	民間		840		3,360	観光開発の根幹交通路を確保することにより近代観光を楽しむことができる。
		山上ロープウェイ	兵庫区山田町	延長 1.45km	200	〃			200		
		山上有馬ロープウェイ	兵庫区山田町～北区有馬町	延長 2.0km	260			260			
観光開発計画	観光施設	大浴場	兵庫区 有馬町	延 1,350m²	100	民間			100		観光資源を整備することにより、4季を通じて、利用の増進を図る。
		温泉会館	兵庫区 有馬町	延 1,800m²	130	地元公共団体			130		
		物産館	灘区篠原	延 400m²	28	民間			28		
		スケート場	兵庫区 山田町	延 4,750m²	300	〃			300		
		スキー場	兵庫区 有野町	延 70,000m²	300	〃			300		
		総合駅	兵庫区 山田町	延 750m²	42	〃			42		
		のりもの博物館	長田区 菅山町	敷地面積 100ha	300	地元公共団体				300	
		レストハウス	有馬(3)(集荷茶館1)六甲山頂(2) 石槌花山(1)高取山(1)	8ヶ所 延 3,570m²	210	〃		60	120	30	
	宿泊施設	国民宿舎	兵庫区有馬町、兵庫区有野町	収容人員 1,000人 延 4,400m²	150	〃		75	75		大衆的な宿舎等の建設により、観光需要を増大せしめうる。
		ホテル	兵庫区 山田町	収容人員 300人 延 7,500m²	500	民間		500			
		旅館	兵庫区有馬町、兵庫区山田町	延 15,000m²	1,000	〃		200	800		
		ユースホステル	兵庫区 山田町	食用単位 50食 延 1,800m²	150	〃		60	90		
		計			7,870			1,995	2,185	3,690	
総合運動場計画		総合運動場	兵庫区 山田町	敷地面積 230.0ha	2,400	地元公共団体			600	1,800	合宿を兼ねた総合運動施設を提供することにより健全な野外活動の場となりうる
		キャンプ場	兵庫区 山田町	30.0ha	5	〃		5			
		計			2,405			5	600	1,800	
公園緑地計画		単公園緑地	兵庫区 山田町	300.0ha	50	地元公共団体		24	26		市街地外周のグリーンベルトを確保して、あわせて利用の増進を図りうる。
		公園緑地新設	本山町由板、石槌花山、鳥原	640.0ha	1,200	〃			800	400	
		公園緑地整備	六甲山一帯、布引谷、森林教育植物園、県営摩耶、県営鵯宮	約 790.0ha	1,800	〃		360	1,440		
		ハイキングコース整備	（背山全域）		10	〃		10			
		計			3,060			394	2,266	400	
造林計画		造林及び施業計画	（背山全域）		1,000	国		100	400	500	治山、治水ならびに山林経営の合理化等の効果をあげる。
		計			1,000			100	400	500	
治山計画		治山計画			1,000	国		100	400	500	
治水計画		治水計画		計画貯砂量 約 9,000,000m³	3,000	〃		300	1,200	1,500	国土を保全し、市街地には、ほぼ被害を防ぎもって民生の安定を図りうる宅地その他の公共地に対し計画的に給水し土地の利用を図ることができる。
		計			4,000			400	1,600	2,000	
水道計画		利水計画	住吉川、六甲川、生田川、天王谷川、石井川、有馬川の各河川	給水計画取水量 72 m³/d	640	地元公共団体		128	512		
		水道計画		給水給水量 51,177 m³/d	3,300			440	1,760	1,100	
		計			3,940			568	2,272	1,100	

（註：※印は別途神戸市において、建2中のものである。）

＜事業計画＞

計画の推進時期は，第1期（昭和38年から39年まで），第2期（40年から47年まで），第3期（48年から57年）までにわけ，国，地方公共団体，民間企業が協力しておこなうこととする。このうち広域圏にかかわるものおよび国土の保全にかかわるものは，国がその事業主体となり，公益性を確保すべきものは，地方公共団体が当り，その他は，民間企業の助成振興を考慮する。

総事業費は829億円である。その期別内訳は第1期815億円余，第2期428億円余，第3期315億円余であり、事業主体別にみると，国が361億円地方公共団体が176億円，地方公社

が199億円，民間企業が92億円となっている。

この事業を強力に推進するための組織づくりとして，市の内部組織として，背山開発部を設ける．出先として背山事務所を設ける。諮問機関として背山開発審議会を併設することをし，このほか，庁外組織として関係者による背山開発協力会，背山開発公社，モノレール株式会社の設立などが考えられている。これらに要する資金は，国，地方公共団体，地方公社，民間資金などの出資をもってあてることをしているが，とくに，特異な制度として，公益信託制度があげられる。すなわち，背山開発信託基金制度（Trust Fund System）を創設して，アメリカなど諸外国でみられるように開発に要する長期的な投資資金の確保を図ったことである。

＜むすび＞

背山は，以上述べたように，その現状の問題よりも，神戸市将来の発展のために開発の必要性に迫まられているのであって，現在の開発はその諸事業相互間において，なんの関連性もなく，実施されているところに問題がある。思うに，民間事業，公営事業，国営事業などの諸計画の実施が一定の〝総合開発計画〟という一つのマスタープランの一環として，実施され形成されてゆくように総合的に開発することが肝要であって，個々バラバラな，しかも，無秩序無統制な開発はやがて，神戸市に混乱と行き詰まりを生じ，将来の発展を大きく阻害する結果となることはいなめない。

問題は今後に残されている。本計画は市民の協力なくしては実現不可能である。市は，PRを強力に推進して，実現のため一歩一歩と近づけたい意慾に燃えている。

インド建築家就職申込

国際建築連絡協議会より インド建築家の就職の件について 周知方連絡がありましたのでお知らせします。

× × ×

下記のインドの建築家から 日本で2カ年間就職の希望がありましたから，受入れて下さる場合は，直接問合せを願います。

1. 氏　名　MR. HARBANS SINGH GROVER
2. 職　業　建築家（内装）
3. 年　令　36才
4. 住　所　138 CONNAUGHT CIRCUS NEW DELHI
5. 学　歴　英国バーミンガム大学建築学科卒業
6. 職　歴　R.I.A.A（英国王室建築学会）よりセントフイリツプスバーミンガム大会堂の設計で銀メダル受賞，ヨーロツパ，スカンデイナビア等で約8年実地勉学。
7. 業　歴　看護婦宿舎，学校，工場，住宅，バンガロウ　1961年より自営，同年R.I.B.Aの準会員。

国際建築連絡協議会

エマルション壁塗料
日本ペイント
ビニレックス
5000級スーパー
外部用・内部用
ビニール壁塗料
ビニレックス5000
大阪・東京・名古屋
福岡・小倉・広島・神戸
金沢・新潟・浜松・静岡
藤沢・群馬・仙台・札幌

特許 防火シャッター全般
小俣式
電動式～箱型・ウオーム・スパー
手動式～自動・鎖・オートマチック
ステンレス・アルミニウム・シャッター
株式会社小俣製作所大阪支店
大阪市北区若松町30
電話(341)9004・9016・4825
本社及工場・埼玉県与野町
東京事務所及工場・東京都北区田端町

兵庫県総合開発マップ
—加古川河水統制を中心として—

関西電力黒部事業室　松　宮　　勝
日本住宅公団　大　久　保　昌　一

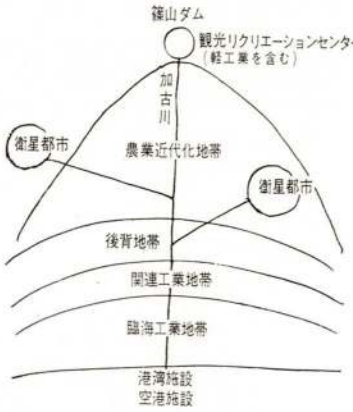
工業立地の条件には，土地，輸送，消費市場や労働市場および関連産業との関係等々があげられるが，なかでも工業用水の問題が極めて重要である。既存工業地帯にブレーキをかけているのも，この工業用水にほかならない。

兵庫県が今後臨海工業を育成してゆくためには，水を他に依存するやり方では，その大を期待することができないであろう。従って当然独自の水源開発を余儀なくされるであろうし，そのためには加古川をはじめ市川，揖保川，千種川など，それらの河川のもつ効果をあますところなく利用し尽さねばならないであろう。

ここでは，とくに加古川についてその河水統制がもたらすであろう効用について概観してみたいと思う。

土地利用のパターン

南から順を追っていえば，港湾施設をもつ臨海工業ベルト—関連工業ベルト—グリーンベルト—後背ベルト—農業ベルトとなり，臨海工業ベルトは東から加古川高砂地区，姫路地区，赤穂地区よりなり拠点はそれぞれ，加古川と高砂，および姫路と赤穂であり，明石には加古川高砂地区につらなって空港と国際見本市場をもつ。（空港の位置については内陸部たとえば美嚢台地に適地を見出すことが容易であるが，ゼット機の発着が周囲をディスターブすることをきらい，臨海の埋立地に立地を求めて，国際見本市場を関係ずけ，さらに播磨工業地帯と阪神工業地帯の中間点である明石の工業用地計画のなかで，埋立可能な範囲3.5km×2.5kmの用地を選んだ。）



図—1　開発様式図

拠点は今後工業が飽和点に達するときの人口を予測して計画的に市街形成範囲をおさえて，その範囲内の土地利用を高度化し，都心部を600人/h程度とし，都心を公園環で囲んで都市の機能を明確にしておく。また，これらの拠点都市は相互に結ばれ，さらに阪神，岡山とも直結されねばならないが，これらの直結路は都心部に直接貫入せず公園環内の環状線にのせるようにし，直接的には臨海路によって直結する。その他の東西高速路も都心を貫通しないことを原則とする。これと臨海部，とくに港との連絡については原材料製品の出入にあわせて集中的に南北線を通じて連絡する。また拠点と衛星都市群との連繋も同様に環状線を介して結ばれる。姫路地区の衛星都市としては市川筋の福崎，揖保川筋の山崎が考えられるが，山崎は地形的にあまり発展が期待されないであろう。加古川高砂地区に対しては加古川筋の三木，山野，西脇および武庫川筋の三田がある。姫路地区は鉄鋼電力，製鉄化学，石油精製などの集団，加古川高砂地区は鉄鋼，非鉄金属，石油コンビナート群，赤穂地区

図—2　計画概要図



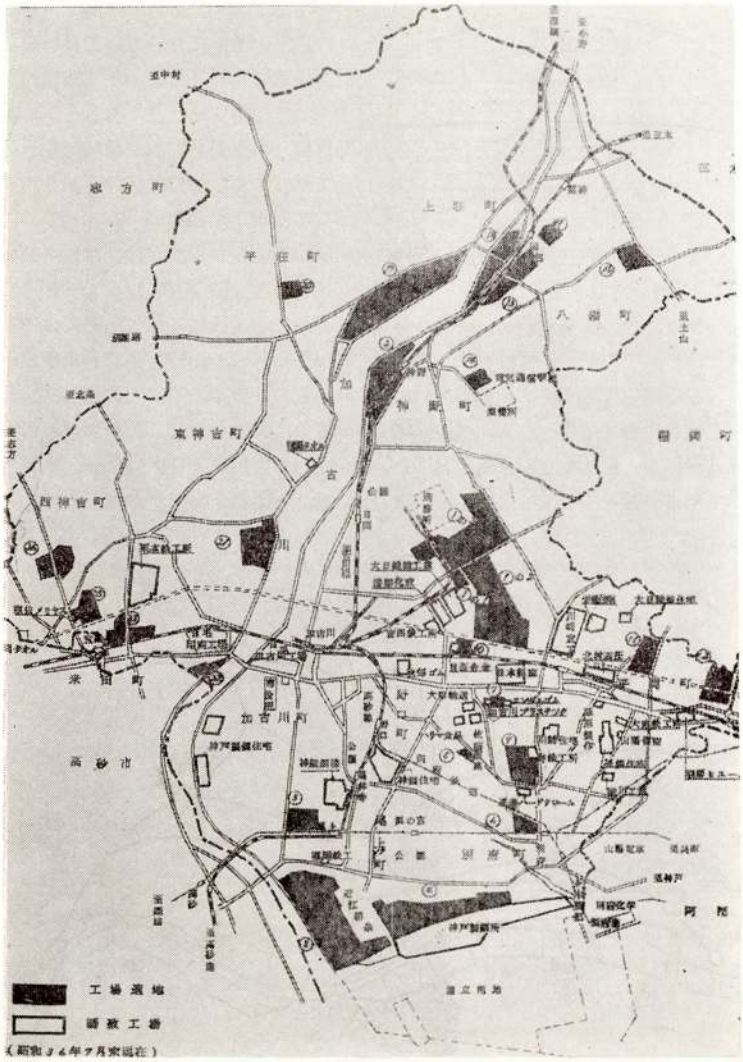
は化学工業集団が考えられるであろう。

これらがフルに働くためには現在の輸送パターンを極端に更新しなければならないであろう。

後背地としては神戸地区とは反対に奥が深いので，住宅立地にはことかかないが，神戸が六甲山系からなる天然のグリーンをもっているに反し，ここでは逆に予想される膨張を強力抑制しなければならないから，明確なゾーニングをかぶせておく必要があろう。図式的には各臨海拠点はすべて巾の広いグリーンで覆い，このグリーン内部にそれぞれ数ヵ所のベッドタンを散在させて各拠点に結合するパターンが望ましいが，現実には内陸部に相当数の工業がすでに入ってきているので，臨海工業—内陸工業—後背地といった図柄は相当ゆがめられる可能性が大きい。ただ姫路平野，印南平野はこうしたパターンをうけいれる可能性が残されている。

ちなみに瀬戸内総合開発促進協議会が10年後の工業地域面積として東播 2,287ha，西播 724ha をあげている（36.12.13.朝日）し，また，日大教授鈴木雅次氏は昭和50年の姿として阪神地区 240 万人，加古川高砂地区60万人，姫路地区65万人，赤穂地区15万人を考え，現在と昭和50年における阪神，播磨の工業生産高の比率をそれぞれ69%：25%と34%：49%に見込んでいる。

図—3　加古川市工場進出概況図



加古川の河水統制

さて，加古川の河水統制がもたらす効果を列記すれば

a) 臨海工業地帯，関連産業地帯への工業用水の供給
b) 印南平野の農業近代化と住宅地造成の可能性賦与
c) 青野ケ原台地，美嚢台地の利水による農業近代化
d) ダム地点の観光レクリェーションソースの呈供
e) 柏原地区の農業近代化

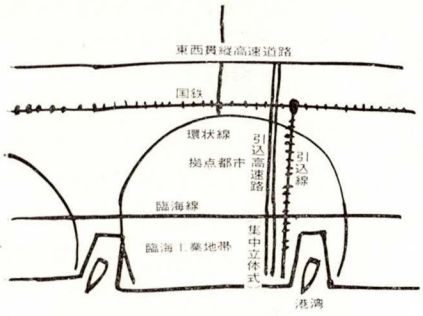
をあげることができるであろう。もちろんこれらは，個々に生みだされる効果の集積をねらうよりは，用水については，用水公団のごとき機関による大規模な開発によって，さきにふれた全体的マップの上で臨海工業地帯の開発，内陸工業地帯の開発衛星都市の育成などとかみあわせてあるいはまた，阪神地区や岡山地区との関連のもとに進められることが望ましいし，レクリェーションにしても，山陰海岸，若狭湾国定（国立）公園と広範囲に直結した姿を描写しなければならないであろう。

ここでの河水統制の考え方を上流から追ってゆくことにする。

篠山ダム

集水面積　260km²
年平均日流量　5m³/s/d
ダム高さ　約25m
満水面積　1.5km²
満水面標高　+195m
総貯水量　1,350万m³
有効貯水量　1,100万m³
調整放流量
冬期平均5m³/s（最少3.2m³/s）
その他平均11m³/s(最大15.2m³/s)

この多面効果を発揮するため，調制放流量の分割を差当って本流系へ3分の2，美嚢台地開発関係へ3分の1を分流するとすれば



図—4

	本流系	分流系
冬　期		
平均	5×2/3=3.3m³/s	1.7m³/s
最少	3.2m³/s	0
その他		
平均	11×2/3=7.3m³/s	3.7m³/s
最大	15.5×2/3=10.3m³/s	5.2m³/s

これらの下流での効果を追ってみると，

イ）上流部

石戸調整池に送水して，柏原地区の1毛作を2毛作可能となし，農業近代化を促進する糸口を与える。これによって，氷上郡中心部としての柏原を，この地域の行政上のセンターにふさわしく，あわせて，産業構造の改新をも推進させる。用水の解決は福知山線に沿うこの地区に産業立地の可能性を与えることになろう。ただし，この場合石戸調整池に至る導水トンネルの延長が長くなるので建設時における投資額は大きくなるが，得られる投資効果の過大なることを思えば，大局的な見地から是非断行せねばならぬことであろう

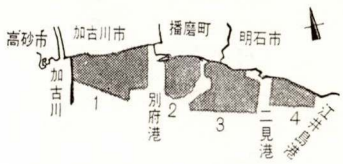
名　称	構　造	規　模
篠山ダム	フイルタイプ or コンクリート	H25m×L15m
石戸調整ダム	ロツクヒル	30m×150m
導水トンネル	圧力式	11km
発電設費	最大水量 10m³/s 最大出力 1万kw	

篠山ダムは当然観光ソースを提供することになるから，ここを大阪，神戸，京都から2時間余で到達する有利な地点のゆえにこれらの大都市圏および播州工業地帯の日帰りないし1泊圏のレクリエーション地点として開発することが望ましい。ここには，各種観光施設の外にスポーツセンター，国際会議場などを設ける。また時計，精密機械などいわゆる綺麗な軽工業を誘致して，これらの工場をも観光の対象とすることや丹波篠山の伝統的な工芸をも振興することが望ましいであろう。

ロ）中流部

北条町が姫路，加古川両市から15kmの近接地点にあって，青野ケ原への8,000haの段丘地に臨んでいる地勢は東播，西播臨海工業地帯の後背地として，美嚢台地が神戸市を立体とする明石，加古川などとの補完関係にあるのと同様，多くの将来性を孕んでいるかにみうけられる。先述のごとく，この台地に利水することによって，農耕可能地域として，酪農などを導入して近代化をはかり，食品加工工業をはじめ，電子工業などをもつ，姫路の衛星都市として育成する。用水は加古川本流から鶴池地点につくられる青野ケ原貯水池に揚水されて開発の用水源とする。これの揚水に必要な電力は佐治川，杉原川の多少の統制と，篠山ダムの逆調整をかねて，西脇市附近の河谷部に調整池を設け，斗竜滝の落差をとりいれた低落差発電による。（下表）

この池ももちろん観光景勝地として公園化することが必要であり，地区のレクリエーションゾーンとして利用することが望ましい。（満水面積1.0km²）。また，この池を姫路周



図—5　加古川地区臨海埋立予定

辺の火力発電所に対する揚水電に使うとすれば，15m³/sを揚水して25,000kwの6時間尖頭出力がえられる。

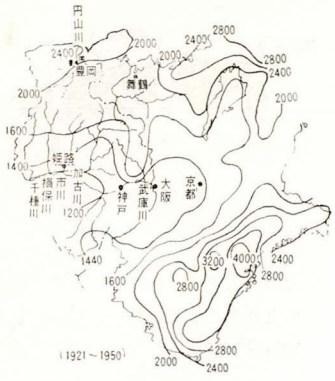
つぎに西脇市（繊維工業を中心とする衛星都市とする。）に造る調整池の水面高は＋58m以上となるので社町から小野市への14kmに開水路を設けて，農業用水を確保するとともに平野部を伝統的な地域産業のセンターとする。

名　称	容　量
滝野発電所	3,000kw
青野ケ原貯水池	300万m³

ハ）下流部

加古川，美嚢，明石3郡にまたがる数千の溜池は，この地区の農業が加古川の水を利用しえず，依存として江戸時代以来の農業経営に依存していることを物語っている。1/100の総傾斜で海にいたる8kmの巾の平野が，臨海工業地帯に直結した後背地として果さねばならぬ役割りは極めて大きい。もしここに標高＋80mのところに貯水池を設けるとすれば開田，開拓による少くとも1,000haにわたる農業対策地が生まれ，標高＋80m以上の台地は住宅地，関連軽工業の誘致が可能となる。ここから美嚢台地一円にかけての開発につらなり，播州，阪神工業地帯の広大なヒンターを与えることになる。

発　電		揚水による貯水池	
位　置	滝野町鳴尾山	位　置	青野ケ原鶴池を拡張
堰堤高	8m	土堰堤高	3~7m(平均5m) 満水面高＋90m
有効落差	11m	貯水量	300万m³
最大使用水量	35m³/s	揚水量	2m³/s
最大出力	3,000kw	揚程	60m
		所要電力	1,500kw



図—6　年間降雨量分布図

宗佐調整池及び発電所

位置	加古川市宗佐
堰堤高	20m(可動堰)
満水面標高	+20m
調整容量	約500万m³
発電有効落差	10m
最大使用水量	40m³/s
最大出力	3,300kw

古垣内貯水池

位置	稲美町古垣内
堰堤高	25m(土堰堤)
満水面標高	+80m
貯水量	500万m³

揚水設備と貯水池

位置	同左
揚水量	5m³/s
揚程	60m
所要電力	3,300kw

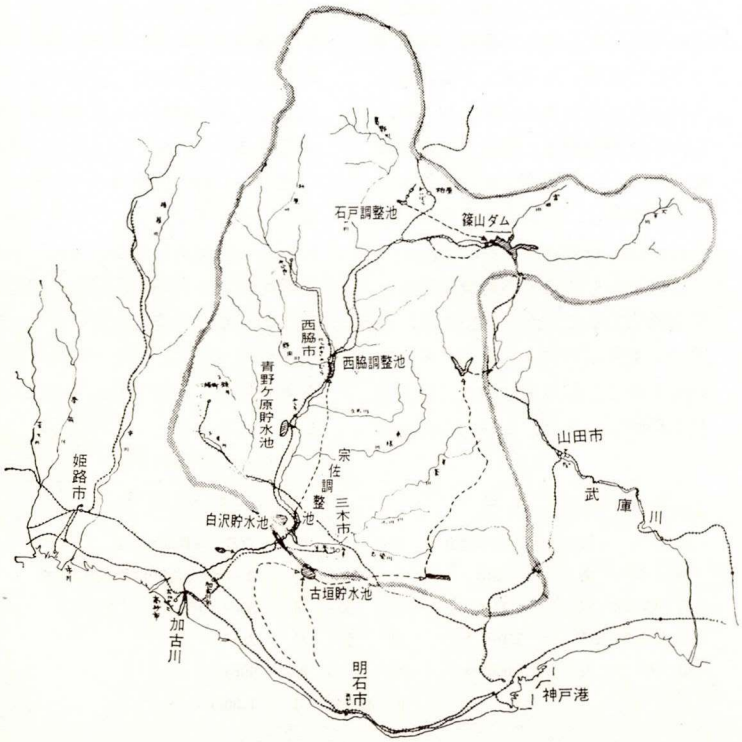
なお，美嚢川との合流点宗佐地区で可動堰により調整池を設け，発電をして，この電力で加古郡稲美町古垣内の貯水池へ揚水する。この貯水池からは数条の幹線水路により印南野全般に灌漑すると同時に，工業用水その他にあてるものとする。またこの水路は貯水と温水の効果をかねたものとすることも一案であろう。

また，宗佐調整池の右岸白沢の谷を上部の池として揚水発電を計画すれば，左岸への揚水 5m³/s を差引いた3m³/sの揚水で45,000kwの 6時間尖頭出力がえられるばかりでなく，この上部の池面（標高 +80m）の水は現在県で施行中の又平新田の揚水計画と重複する一面もあるが，その供給範囲ははるかに広く，また将来この地方の各川は縦の利水開発と，隣接河川との横の連繋により総合効果の増大をはからねばならないが，この池は印南一円において，おそらくは市川との間に，これをはたすことが期待されるであろう。

以上加古川河水の統制がもたらす直接的効果を概観してみたが，最初にふれたごとく，市川，揖保川，千種川など，地域内のすべての河川についても，その潜在効果をあますところなく，抽出されねばならないし交通パターンも思いきった新規軸を打出さない限り，既存工業地域のもつ不健全な状態に陥ることが明らかである。

加古川水系の統制を中心とした兵庫県総合開発のスケッチを試みたが，今後面密な実態調査にもとづく，土地利用の方向性と開発の経済効果などについての研究が短い位相においてではなく，また狭い地域的な立場ではなく，チェックされる必要があろう。もちろん開発がもたらすものはプラス面ばかりとは限らないし，それらについても積分値としては少なくとも，開発が地域住民のコムミュニティーリレーションズを尊重しない限り，健全とはいえないことを考え，充分慎重にしかも積極的になされることを願いたい。

図—7　加古川河水統制計画図



大　阪　帝　国　座

北浜5町目，新住友ビルの南向いに，石造・煉瓦造のバロック風ファサードをもつ古い建物が残っている。現在，大阪カトリック会館となっているが，これが，かって壮士芝居から出て，妻貞奴と渡欧，帰朝後新派劇団を組織し，劇壇改革ののろしを揚げた，川上音二郎が設立した帝国座の名残である。

明治43年2月27日，当時日本一と称された帝国座の開場式が，華々しく開かれた。しかし開会の辞における川上のあいさつは重かった。「新築には成功したが，経済には失敗しそうだ……」と。式辞が終り，1万2千円のビロードの幕が開くと天鈿女命（貞奴）の舞，手力男命（川上）の「岩戸開き」があって，続いて「ボンドマン」二幕が演ぜられ，この日は幕となった。（3.1付東朝）かくして初日より11日まで大入満員にもかかわらず，八方から詰めかけた債主たちが毎日の上りを一文残さず引上げ，大部屋連中は毎日焼芋ばかりを喰って命をつないでいた。このことが知れると，さしもの人気もがた落ちとなり，川上はようやく京都の明治座を担保にこの替りを開けたというありさまだった。（4.3付都新聞）

この劇場は，岩下清周翁が川上のために建てようとし，大林芳五郎氏に相談をし，自ら工費20万円中の5万円を負担したのであるが，残金はついに大林組には入らなかったようである（大林芳五郎伝）。こうして経営難から川上は神経衰弱となり，楽屋で卒倒したまま明治44年1月11日（この日，舞台にしとねを敷き，貞奴や家族の人々に見守られる内）48才を最後に永眠した。

その後大正初期までは劇場として存在していたらしいが，のちに住友銀行が特に舞台と客席（オーデトリウム）を大改造してしまい，3階を2階にし，内部に8本のタスカンオーダをつけ，鉄筋コンクリート造とし，まったく銀行建築として一新されてしまった。従って今日もはや，昔日の川上夫妻の活躍した姿を想像することすら困難である。しかし幸いにも外壁の大部分と，ホール2階の応接室（？）は良く残されており，その上，銀行改造前の劇場平面図と一部断面図が日建設計工※KKに保存されていたので，塚本委員のご好意



写真1　外　観

面図　1. 玄　関　2. 観覧席　3. 桟　敷　4. 舞　台　5. 非常道路　6. 浴　室　7. 俳優便所　8. 化粧室　9. 男子便所　10. 男子小便所　11. 婦人便所　12. 下足預所　13. ドライエリア　14. 参階への階段　15. 切付売場

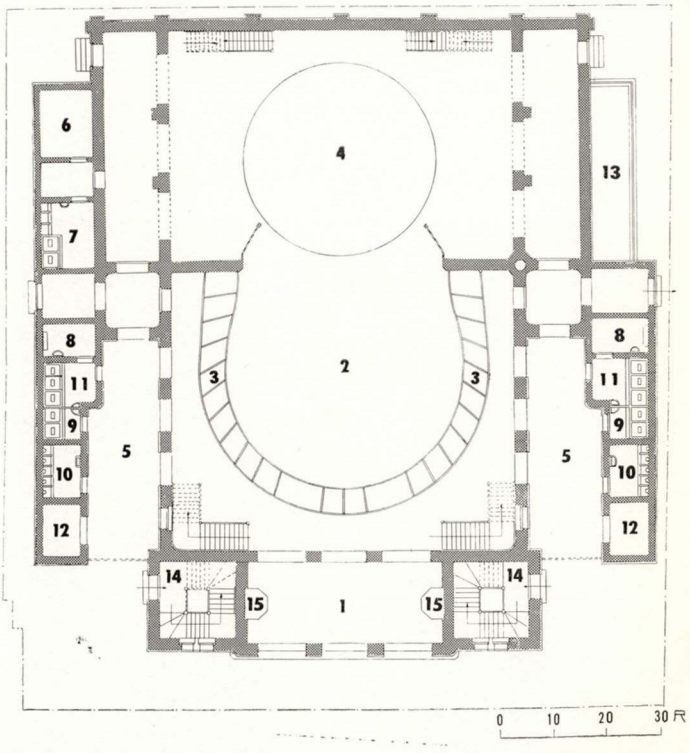




写真2　内部の現状。全く改造されている

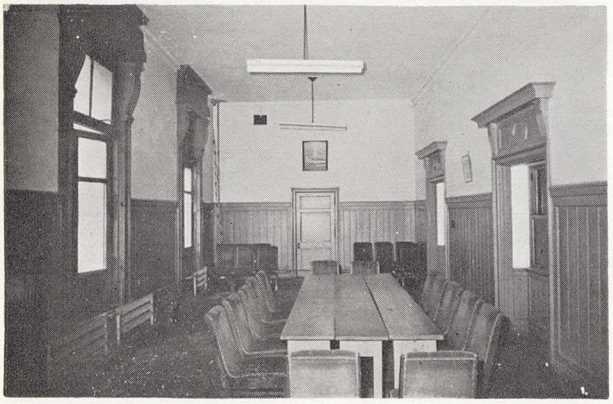


写真3　ホール上部の室。正面に見える扉は後補

により，ここに掲載させていただくことにした。

もとの建物は建坪は約260坪，シンメトリーな平面で，廻り舞台を有し，オーデトリウムはオペラ座を思わすごときもので客席は小さく分割されており，マス席といす席と両方あった。構造は煉瓦五枚積の壁式構造で，舞台上の小屋組は木造対束小屋組，オーデトリウムの中央上と，ファサード両翼の塔屋の上に変形ドームがのっていたが，現在はもちろんない。

この建物は増改築がはなはだしいが，明治末年としては，実に秀れた舞台機構をもった最新式劇場であって，その後44年に東京帝国座が建つまでは，名実とも日本一であった。明治時代の洋風劇場で，とも角も残っているものはこの他に佐賀劇場があるのみと思われるが，佐賀劇場は例えば，天保6年の香川県の金丸座の系統を引くもので外観のみ洋風であり，完全な欧風劇場としては，東西の帝国劇場の他ないようである。東京のものも，関東震災で相当破壊されて後改築されており，目下のところ明治劇場史の存在はまことにわびしいものがある。この意味からも，旧規のわかる実測図を有する大阪帝国座の存在は貴重なものであろう。　（林野全孝記）



伊奈の衛生陶器

伊奈製陶株式會社

本社・工場　愛知県常滑市扇面新田　電 常滑 700(代)
東京事務所　東京都中央区西八丁堀2－8　電 (551)6371(代)
大阪事務所　大阪市西区新町南通1－23　電 (541)5484(代)

カタログ送呈

コーキングパテ

ウヅラED

柏原瀝青株式会社

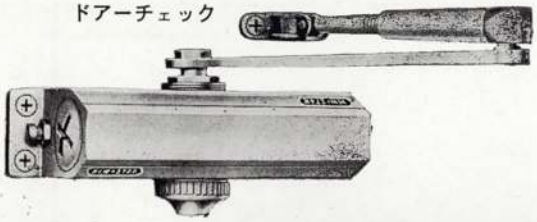
本社工場　大阪市西淀川区御幣島東２ノ５　電話大阪(471)1494～４
第二工場　大阪市西淀川区御幣島西３ノ99　電話大阪(471)０４２６

パテタイル

NEW★STAR

創業大正八年

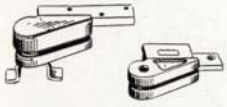
ドアーチェック



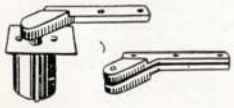
ラバトリーヒンヂ



ピボットヒンヂ



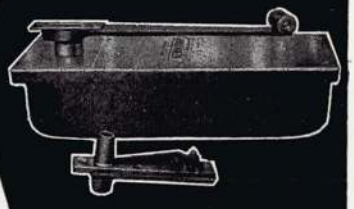
ピボットヒンヂ



ドアーチエック



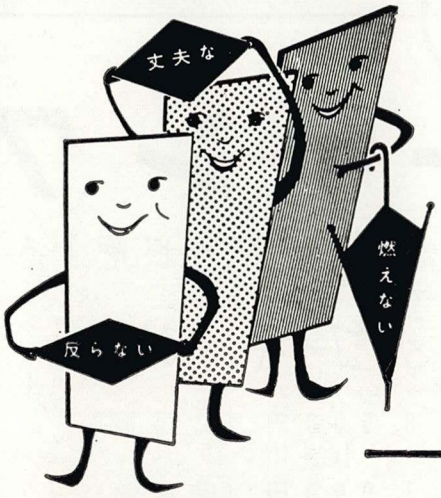
フロアーヒンヂ



日本ドアーチエック製造株式会社

取締役社長　出向井啓蔵

本社工場　大阪市生野区巽矢柄町222　電話大阪(716)2231(代)
東京支店　東京都千代田区神田錦町1丁目23　電話東京(291)1920・4920
福岡出張所　福岡市舟津町1番地　電話福岡(74)2372・3312
名古屋出張所　名古屋市東区高丘町1丁目11番地



最大の規模 最高の品質!!

三菱

石膏ボード
石膏ラスボード
石膏吸音ボード

デラックスボード
ニュースノートーン
カラードボード
エスロンボード

SSS サンエス石膏株式会社
製造元 日東石膏株式会社
日本耐火ボード株式会社

総代理店 三菱商事株式会社
東京都千代田区丸ノ内2—20 TEL (211)代表0211

世界に誇る驚異的建材!

ガスにも熱にもビクともしない!

40年の厂史と最新技術の産物

特許……耐酸，耐アルカリひふく鉄板
オリエンタルメタル

永久建材・超ひふく鉄板
スーパーオリエンタルメタル

新時代にマッチした色つきのひふく鉄板
オリエンタル カラーメタル

美しいアルミ箔 ひふく鉄板
オリエンタル アルシート

型録送呈

責任施工

オリエンタルメタル製造株式会社

本社並工場 尼崎市大物北口 電話(481)4947～9
東京支店並工場 埼玉県蕨市大字塚越1620 電話 蕨 3252～4
名古屋支店 名古屋市中村区黄金通8丁目6 電話(54) 1023
支店、出張所 八幡・郡山・敦賀・徳島・三原・徳山・延岡・岩国・宇部・川崎

ABCの建材

ABCコーキング

凡ゆる間隙から永久に漏水の心配を根絶する
永久に気密を保持する
廉価で耐久性のある コーキング剤

18リッター罐		8,500円（現場渡）
1cm×1cm×1m	材料費	48円
コーキングガン		3,000円（現場渡）

カラクリート

美しく，磨耗せず，滑らず，かつ耐水性に富んだ床材床，廊下，階段，ロビー，バルコニー，ガソリンスタンド等美しい色彩と耐磨耗性を必要とする場所や，防水力があるので戸外にも使用出来る。

価格　42kg 袋入（6坪分）　現場渡　緑　7,080円（坪当り¥1,180）／その他　5,880円（〃　¥980）

フェロコン

工場，倉庫用コンクリート床仕上材
コンクリート床の金属性硬化材で，フェロコンの施工によって床は恰も鋼板を張ったような効果をあげる。

価格　49kg 袋入（7坪分）　現場渡　色物　6,200円／ナチュラル　5,400円

コルキート

近代人の部屋には疲れをいやし，いらいらを取る壁材
合成ゴムとコルクから製造されたコルクシートで落着いた上品な感覚で，老化せず水洗出来る

価格　坪当り　東京渡　2,200円　　寸法　3尺×6尺×0.7mm

ロビンスコンダクティブタイル

麻酔ガスの爆発を防止する手術室用電導ビニールタイル

- 常に一定の電導性を保証出来る
- 施工翌日から使用出来る
- 掃除、補修が容易である

K.K. ABC商会
東京都千代田区永田町2～77
TEL（581）1411（代表）～7
大阪出張所
大阪市西区京町堀通1～18（京町会館ビル）
TEL（441）3915・0500・9303

会　　報　（6 月 分）

通 常 総 会

27日　1時半——2時半　　於会館集会室
出席者　中原理事，竹内監事外12名
会長，副会長欠席のため中原理事議長となり開会
議　事　(1)　昭和36年度事業報告承認の件
(2)　昭和36年度決算報告承認の件
(3)　昭和37年度収支予算承認の件

定時評議員会

27日　1時——1時半　　於会館集会室
出席者　評議員　益尾副議長外17名　委任状
出席29名　計47名
理事　中原理事外3名　竹内監事
議　事　(1)　昭和36年度事業報告承認の件
(2)　昭和36年度決算報告承認の件
(3)　理事1名補欠選任の件

評議員懇談会（技術部門）

21日　正午——1時半　　於会館会議室
出席者　益尾副議長外4評議員
技術部門選出の補選理事候補者の推薦に関して懇談

理　事　会

13日　3時半——5時　　於会館会議室
出席者　尾崎会長，塚本副会長 外7理事
議　事　(1)　通常総会開催の件
(2)　定時評議員会開催の件
(3)　理事１名補欠選任の件
(4)　委員委嘱変更の件
(5)　運営審議会（仮称）新設の件
(6)　各種催しの共催，後援，協賛の件
（イ）「H形鋼デザインマニュアル講習会」共催
（ロ）「都市住宅夏期研修会」共催
（ハ）日本音響材料協会関西支部講演会後援
（ニ）「工高生の建築デザイン展」後援
（ホ）訪日ソ連建築家の視察協賛
(7)　支部の事業報告，決算報告，予算承認の件
（イ）中国支部
（ロ）和歌山支部
(8)　事務局職員上期賞与支給の件
(9)　入退会者承認の件
(10)　報告事項

編 集 委 員 会

幹　事　会

7 日　3時——5時　　於会館会議室
出席者　大辻幹事 外7幹事
9月「工場建築特集」号企画(第2回目)について協議

委　員　会

8 日　4時——6時　　於会館会議室
出席者　片山委員 外8委員
議　事　(1)・委員長転任に伴う後任委員長選任の件
(2)　経過報告
（イ）7月「第9回青年建築家特集」号
（ロ）8月「阪神高速道路と建築特集」号
（ハ）9月「工場特集」号

冷蔵庫防熱工事
耐酸モルタル工事
アスファルト専門工事
アスファルト防水工事
アスファルトタイル工事
各　種　床　工　事
大阪耐酸工業所
大阪市北区浮田町82番地　　電話大阪(371)1333番

(3) 作品作風掲載候補の件
(4) 10月「公害特集」号幹事会の件
(5) 11月号企画に関する件

幹 事 会
22日 3時——5時半 於会館会議室
出席者 坂内幹事外 3幹事
10月「公害特集」号の企画について協議

事業委員会

小委員会（若い会員の集い）
5 日 6時——8時 於会館会議室
出席者 滝本主査 外3委員
37年度の予定事業計画の作成

25日 6時——7時半 於会館会議室
出席者 紙野，広瀬両委員
37年度の予定事業計画の再検討

小委員会（写真コンクール）
9 日 12時半——2時 於会館会議室
出席者 井上主査，白井委員
写真コンクールの企画について協議

22日 正午——1時半 於会館会議室
出席者 井上主査
写真コンクールの募集要項案を作成

小委員会（展示会）
11日 正午——1時半 於会館会議室
出席者 三品主査，松下駒両委員
展示会の企画について協議

委 員 会
13日 5時半——7時 於会館集会室
出席者 岩崎委員長，岡本，原田両副委員長
外14委員
議 事 (1) 7月，8月の事業企画について
(2) 各小委員会の事業企画に関する審議
(3) 委員交替の件

住宅委員会

幹 事 会
11日 3時——5時 於会館会議室
出席者 海上，津村正副委員長 外2幹事
住宅相談所設置計画について協議

委 員 会
12日 3時——5時半 於会館会議室
出席者 海上，津村正副委員長 外5委員
議 事 (1) 住宅相談所設置に関する件
(2) 都市住宅夏期研修会共催に関する件

教育委員会

12日 3時半——5時 於会館集会室
出席者 中原委員長 外6委員
議 事 (1) 委員長，幹事の選任
(2) 前年度委員会より申し送り事項の件
(イ) 講習会について
(ロ) 工高の施工教育について
(ハ) 工高生デザインコンクールについて
(3) 小委員会の設置と委員の分担決定

左官工事講習会打合会
15日 5時半——7時 於会館会議室
出席者 山田，谷口両講師
左官工事講習会の実施要項を協議決定



小委員会（工高生デザインコンクール）

19日　正午——2時　於会館会議室

出席者　増田委員 外3委員

デザインコンクールの課題，審査員などについて協議

工高生デザインコングール打合会

26日　3時——6時　於会館集会室

出席者　教育委員　杉本主査 外3委員

審査員　清水委員長 外7審査員

審査委員長の選任，募集要項などの審議決定

近代建築調査委員会

15日　3時半——5時　於会館会議室

出席者　滝沢委員長 外7委員

議　事　(1)　福岡県庁舎外調査に関する件

(2)　金沢市尾山神社資料整理の件

(3)　9月以降発表予定建物の件

(4)　調査予定建物のリスト作成の件

(5)　桐敷真次郎氏に原稿依頼に関する件

記念事業委員会

出版委員会

小委員会

4日　4時半——10時　於大日本印刷K.K.

出席者　浅野委員 外4委員

11日　4時半——9時半　於大日本印刷K.K.

出席者　浅野委員 外4委員

18日　4時半——9時半　於大日本印刷K.K.

出席者　浅野委員 外4委員

21日　5時——8時　於大日本印刷K.K.

出席者　浅野委員 外3委員

25日　4時半——10時半　於大日本印刷K.K.

出席者　浅野委員 外4委員

レイアウト，平面図インキングの校正ならびに出版案内書の編集

住宅講演会委員会

打合会

8日　正午——2時　於会館会議室

出席者　事務局，会場阪急ホール係員

後援毎日新聞社係員

講演会場設備，宣伝方法などにつき協議

委員会

12日　6時——8時　於会館会議室

出席者塚本，海上正副委員長 外5委員

住宅講演会の委員分担その他実施につき協議

打合会

27日　正午——2時　於阪急ホール

出席者　木原実行委員外

講演会当日の準備，手配などにつき打合せ

記念講演会委員会

30日　正午——1時半　於会館会議室

出席者　鷲尾委員長 外4委員

経過報告の後，会場，時期，講師ならびに演題，映画，宣伝，予算，委員追加委嘱などについて再検討ならびに協議

懇談会

訪日ソ連建築家歓迎と懇談の会

21日　5時半——8時　於大阪建設会館

モスクワ建築大学教授，ソビエト建築アカデミ会員

ニコライ・エル・ビリンキン氏

合成樹脂塗料

トルギノール

トルギスキン

Toriginol トルギノール 継目のない床材

合成樹脂塗床材

壁材内装・外装用

torgiskin

トルギノールは合成樹脂の塗装式（コテ仕上）の床材で継目がなく衛生的で，圧力，摩耗に耐えて永もちのする理想的床材で保温防音にも富み踏む感じのよい適度の弾力をもっています。

★ 不変色　色調自在 ★　誌名記入カタログ御請求下さい

トルギスキンとは特殊合成樹脂を主体とした高分子粒状塗料であります。

特徴　通気性があるため，施工下地に案外早く塗装ができ，しかも剝離することがありません。　その上乾燥も極めて早く，従って工期の短縮ができます。

大元工業株式会社

本社工場　大阪市東淀川区三津屋北通り1の38　TEL大阪(301)2734～5

営業所　東京　TEL (561) 4678　名古屋　TEL (24) 4491

ソビエト文化省設計研究所理事
エミリヤン・イエ・ホモトフ氏
以上の2氏を迎えてソビエト建築の実状，日本建築見学についての感想などを聞いた後，出席者との間にソビエト建設界の事情について種々質疑応答が重ねられ，大変盛会であった。日本建築学会支部との共催。出席会員53名

見　学　会

新住友ビル見学会

設計監理　日建設計工務K.K.
施　工　大　林　組
19日　3時——5時
大阪府建築士会と共催。参加者300名

創立45年記念事業

物故会員職員慰霊祭

2日　1時——3時　於大阪中央公会堂3階集会堂
出席者　遺族85名　会員41名
東畑副会長祭主となり，御霊神社宮司の斎主で執行閉式後遺族の記念撮影をおこない，地下室食堂で茶菓を供して懇談した。

住宅講演会

29日　12時半——4時　於阪急ホール
入場者　約300名

1．開会の辞　副会長　東畑謙三氏
1．千里山ニュータウン　大阪府企業局宅地開発部長　深尾　実郎氏
1．各国の住宅政策　東大社会科学研究所教授　建設省住宅審議会委員　有泉　享氏
1．フランスのサラリーマン生活　評論家　角田　房子氏
1．映　画
千里山ニュータウン，日本のスラム
1．閉会の辞　副会長　塚本　猛次氏
1．後　援　毎日新聞社

後援した会

日本音響材料協会関西支部特別講演会

1.主　催　日本音響材料協会関西支部
1.時　日　6月15日　10時——4時
1.会　場　関西電力ホール
1.講　師　大阪大学教授　竹内　竜一氏
日建設計工務東京支社長　船越　義房氏
神戸大学助教授　前川　純一氏
1．協会創立10周年，関西支部開設記念の特別講演会

明るく，楽しく，美しく　きようの住宅展

1．主　催　毎日新聞社
1．会　期　6月26日——7月1日
1．会　場　阪急百貨店 8階催場

編　集　後　記

「進展する阪神高速道路計画」という面をひとつ積極的に扱ってみようということ，ならびに，そういった市内高速道路と市街地との結びつきをどうとらえるかが重要な問題になっているおり，これを建築家側からイメージを提案してもらうこと，この二つが本号の主要なねらいであった。しかし，近畿にはこのほかにユニークな開発例が多々ある。そういった意味で「夢のかけ橋」，「六甲背山計画」，「加古川開発」をとりだした。阪神ポートオーソリテイ，びわ湖の総合開発，姫路駅前道路開発計画も予定したが，事情で実現できなかった。また近畿の開発リストや一覧地図なども間にあわなかった。担当幹事は，毎度好数，寺内信大久保昌一，白砂剛二，堀照男の各氏。執筆者，幹事に厚くお礼を申しあげる。次号は「工場建築特集」の予定。

内外式電動ベンチレーター
電気扇付　屋上強制換気装置
内外建材株式会社
旧名（株）内外土木建材社
大阪市西区土佐堀船町23（大阪商工ビル）TEL（441)3983
工場　大阪市城東区天王田町1の141　TEL（981)1149
建築基準法にフリーパスのガラス屋根
内外式スカイライト
工場・プラットホーム・体育館・アーケードに最適
内外式
コンチニアスベンチレーター
筒型各種ベンチレーター
設計　施工

屋根浪板
谷樋には **大島化学のひふくてっぱんを**

固定式通風器 連続式換気装置にも

耐酸スタンダードメタル

カラースタンダードメタル

PATENT Standard

大島応用化学工業株式会社

本 社 大阪市城東区野江東之町4の104 (931) 7071—3
支店新居浜・名古屋・四日市・広島

田中式 スカイライト・ベンチレーター
スチールサッシュ・ドアー
スチールシャッター・オペレーター

TNK **田中工業株式会社大阪出張所**

大阪出張所 兵庫県尼崎市南竹谷町2～89

本社 東京第一工場 東京都墨田区錦糸町1～25
東京第二工場 東京都墨田区吾嬬町東4～122
小倉工場 福岡県小倉市赤坂上の宿37
川崎工場 神奈川県川崎市東渡田3～43
札幌出張所 北海道札幌市北大通東4丁目4
盛岡代理店 岩手県盛岡市木伏49・東北建設（株）
名古屋代理店 愛知県名古屋市西区西菊井町2—12・岡田建材KK
米子代理店 鳥取県米子市祇園町2～93・吉田工務店

TEL 大阪 (401) 6341 (代表)・(401) 6342
TEL 東京 (623) 代表0106～0108・(622) 0790
TEL 東京 (611) 2118～9
TEL 小倉 (52) 0653・2833
TEL 川崎 ② 7594～5
TEL 札幌 ③ 6762・0515
TEL 盛岡 7642
TEL 名古屋 (53) 0121・2057
TEL 米子 4683

信用ある技術と伝統の

アスファルト工事

専業大店

株式会社 久保商店

大阪市北区真砂町5番地 電話大阪 (341) 207～8・4836～7

暖・冷房・空気温湿度調整装置

設　計　施　工

高砂熱学工業株式会社大阪支店

大阪市北区梅田8番地（新阪急ビル8階）
電話大阪（312）4521（代表）
本社　東京都千代田区神田駿河台4丁目2番地

空気調和装置、各種冷凍機
設計・製作・施工

東洋キヤリア工業株式会社
大阪支店

大阪市北区堂島船大工町五三番地（毎日大阪会館内）
電話大阪㊵局8356（代表）
本社　東京都中央区日本橋兜町三丁目二四番地
支店　東京・名古屋　出張所　九州
工場　東京都足立区下沼田町360番地

給排水・衛生
暖冷房・換気　設計施工

株式会社 **大阪城口研究所**

代表取締役　城口庸平

大阪市北区高垣町一・電話大阪㉑7575(代表)
京都市東山区大和大路正面上ル電話京都⑥4945(代表)
神戸市生田区下山手通六ノ一・電話 神戸④5892

電気・暖冷房・水道・衛生設備
設　計　施　工

株式会社 **大阪電気商会**
株式会社 **大阪暖房商会**

取締役社長　菅谷三郎

本店　大阪市西区江戸堀一丁目60番地
電話大阪㊵大代表8231番
支店　東京・名古屋・福岡
出張所　京都・神戸・岡山・高松・広島・熊本
札幌・仙台・新潟・金沢・福井

水道・衛生・暖冷房・其他管工事
設計並施工
特許YM式ルーフドレイン製造販売
（旧斎藤久孝事務所）

斎久工業株式会社大阪支店

大阪市南区順慶町通一丁目四四番地
電話大阪㉘代表4496～8・4993～4番
本店　東京都千代田区丸ノ内2ノ8仲12号館5号
電話(281)局6505～8番

金沢営業所　金沢市高岡町三五　電話金沢②2074
福井出張所　福井市城之橋下町一〇　電話福井②2436
高松出張所　高松市二番丁九　電話高松②5195
岡山出張所　岡山市大供松ノ木三八〇ノ一　電話岡山③7047

創業　暖冷房・換気・空気調和
大正二年　病院諸機械・給排水・衛生

株式会社 **斎藤省三商店**

東京店　東京駅前丸ビル6階676区
電話東京(201)3761・3762・3763・3764
大阪店　大阪市西区土佐堀通　大同ビル714号
電話大阪㊵1568・1569・2594
札幌店　札幌市北四条西16丁目1番地　高田屋ビル二階
電話札幌②0010・0956・③4661
名古屋店　名古屋市中区南大津通一丁目千代田ビル522号
電話中局㉔1766

建築設備・金属製建具
荷役運搬機械・環境衛生施設
化学・鉱山機械

三機工業大阪支店

取締役社長　山田熊男
取締役支店長　池田英太郎

大阪市東区高麗橋3丁目1番地　電話大阪(202)代表3071
本店　東京都千代田区有楽町1丁目10番地
支店・出張所　名古屋・福岡・札幌・広島・仙台・富山・金沢・高松
工場　鶴見・六郷・中山・高規

空気調和・衛生設備
設　計　施　工

須賀工業株式会社

大阪市西区土佐堀通1丁目14番地
電話㊵代表5171番

東京支店　東京都港区芝田村町6丁目　電話(431)代表7121
名古屋支店　名古屋市中区材木町1丁目　電話㉓代表7856
京都支店　京都市下京区烏丸通松原下ル　電話㉟9153番
神戸支店　神戸市生田区北長狭通2丁目　電話③代表5101
福岡支店　福岡市千代栄町　電話㊺代表4731

給・排水・衛生・消火・暖冷房設備

株式会社 **西原衛生工業所大阪店**

大阪市大淀区中津南通4丁目44　**電話大阪㊽3531番**

空気調和装置・熱風乾燥装置
設計施工

株式会社 **建材社**
大阪支店

大阪市北区中ノ島二丁目（新朝日ビル5階）
電話大阪㉑6041・⑳7046(代)
本社及東京支店　東京都中央区八重洲三丁目七
営業所　名古屋市中区西万町二丁目一
連絡所　広島市基町一（朝日ビル）

冷暖房・温湿度調整・水道
衛生・環境衛生施設
設計施工

山田工業株式会社

本社 大阪市西区京町堀1丁目62 電話(441)代表2613・代表9431
出張所 東京都北区上十条1丁目10 電話 (911) 3941
名古屋市中村区牧野町1の6 電話 (54) 0966
神戸市生田区北長狭通7丁目1の1 電話(4)1778・4386
広島市中町2番地の4 電話 (2)7575・7588

暖房・冷房・水道・衛生設備
設計施工

株式会社 **三晃商会**

本社 大阪市北区富田町一六 代表㊾7031
支店 東京都中央区宝町二・六(村幸ビル2階) (561)5441
出張所 名古屋市中区新栄町二丁目一 ⑨1820
福井市宝永上町一〇五 1596
松江市東本町四丁目一四九 5098
広島市紙屋町八 ②1938
福岡市養巴町二二 ④1158

暖冷房・水道衛生工事
設計施工

株式会社 **栄興商会**

取締役社長 中山敏正

本店 大阪市福島区上福島北二丁目一番地
電話大阪 ㊾3391～5番
支店 東京都新宿区荒木町一九番地
電話 (351) 2177～8番
神戸出張所 神戸市生田区下山手通八丁目三三 電話元町④3035番
仙台出張所 仙台市東四番丁四五 電話②5136番

暖房・冷房・水道・衛生
温湿度調整装置
設計施工

株式会社 **朝日工業社**

大阪市北区中之島4—39 電㊹6671～5

東京支店 東京都港区芝浜松町2—7 電(431)7341～5
北海道支店 札幌市北四条西15丁目 電②2203・③5374・5969
仙台支店 仙台市元寺小路(五城ビル) 電②8061・③9261
名古屋支店 名古屋市中区東陽町6—5 電㉔1270・1484
広島支店 広島市大手町8—155 電③7949
福岡支店 福岡市薬研町3 電㊼0788・㊽0296

温湿度調整装置、暖房
冷房、水道、搬送機設備
設計並ニ施工

第一工業株式会社大阪支店

大阪市北区富田町30 電話大阪㊾ {(代表)0977 /0978～9・0970
本社 東京都千代田区丸ノ内2—10
電話 (281) 2631—5
仙台支店 仙台市新伝馬町60
電話 7332
名古屋出張所 名古屋市東区東門前町3—6
電話 ⑨2893

温湿度調整・暖冷房・換気給排水・衛生設備
設計並施工

日本管工業株式会社

代表取締役 市川繁雄

本社 京都市中京区両替町通り姉小路上ル
電話㉒(代表)7975・(夜間専用)5532
大阪営業所 大阪市北区天満橋筋1-37(天満橋北詰)
電話㉟8829
四日市営業所 四日市市浜田西末広町 電話7503・3665
津営業所 津市栄町2—111 電話3610

暖冷房・空気調和・環境衛生工事一切
設計施工

日本熱学工業株式会社

社長 牛田正郎

大阪市北区万才町50 北大阪ビル
電話 大阪㊿代 8675～9・4953～5
東京支店 東京都千代田区神田和泉町1
電話 (866) 5156～8・2594・0408
名古屋支店 名古屋市中区城代町7
電話㉓4690・3520
営業所・出張所 下関・金沢・藤沢・新潟・八幡・京都

暖房・冷房・温湿度調整・衛生設備
設計施工

大嘉熱工業株式会社

取締役社長 嘉幡政四郎

大阪 大阪市北区万才町四三 浪速ビル六階
電話大阪㊿直通2085・5725
(代) 9851～9・9951～9
東京 東京都千代田区西神田町一ノ八
電話東京 (291) 8002～3
出張所 愛媛県川之江市・九州福岡市

冷房・暖房・温湿度調整装置
換気・給排水・衛生設備
設計施工

第一企業株式会社大阪支店

大阪市北区天満橋筋4—71
電話㉟2808・2809・2800・2134
本社 東京都文京区元町2丁目17番地
電話 (811) (代表) 6294
支店出張所 名古屋・福岡・札幌・仙台・高松・広島

冷暖房・温湿度調整装置・換気装置
ファン・ヒーター・クーラー
スチール・アルミ・サッシ・ドア・シャッター
設計・製作・施工

理研鋼機株式会社

大阪営業所 大阪市北区宗是町1(大ビル)
電 大阪代(441)8621番
本社・工場 東京都北区神谷3の10の3
電 東京代(901)3191番
本社・分室 東京都港区芝佐久間町1の46(大同ビル)
電 東京代(501)3156番
営業所 名古屋・仙台 連絡所 福岡

電気工事設計施工

工藤電気株式会社

大阪市北区野崎町六九
電話・大阪㊾2891—5番
東京支店 東京都中央区西八丁堀二丁目十二
電話(551)8330・8303
営業所 名古屋・神戸・岡山・広島・福岡

各種電気工事設計施工

浅海電気株式会社

取締役社長 浅海正雄
本社 大阪市東区北浜二丁目六九
電話大阪㉑5273—5・5451—2
東京支社 東京都港区赤坂溜池町1
電話(481)8621～4・3573
営業所 名古屋・札幌・旭川・福岡

電気工事設計施工

栗原工業株式会社

取締役社長 栗原信英
大阪市北区永楽町8番地（日産生命館）
電話 大阪㊾ 代表 1234～9
支社 東京・名古屋
出張所 舞鶴・広島・八幡・福岡・富山

電気工事全般設計施工

中央電気工業株式会社

取締役社長 今村騰
本社 大阪市北区梅ケ枝町二五番地
電話 大阪代表㊾ 8131～7
東京支店 東京都港区芝金杉町二丁目十三番地
営業所 名古屋・神戸・新宮・御坊・松山・草津

電動機自動操作用配電盤・分電盤・受電盤
自動遠方操作盤・電動機単逆相運転防止装置
温湿度自動装置監視盤・遠方監視自動装置
各種フロントスイッチ・スペースヒーター及び
ウォータヒーター・其の他特殊電気機器設計製作

森井電業株式会社

東京本社 東京都港区芝三田綱町一番地
電話 東京(451) 9611～5番
工場 東京都港区麻布新広尾町一丁目一三四番地
電話 東京(451) 0535番
大阪支店 大阪市北区常安町十六番地
電話大阪(441)9516～8番夜間専用(441)502番
名古屋出張所 名古屋市中村区長戸井町三丁目四十一番地
電話 笹島(54) 6865・9495番
福岡出張所 福岡市東職人町二七番地
電話(4) 7813番 (5) 3516番
広島出張所 広島市三川町二六番地 電話(4) 2449番

各種電気工事設計施工

株式会社 **ヤマト電気商会**

取締役社長 山本龍太郎
本社 大阪市北区西堀川町15番地
電話大阪(341)代3056
東京営業所 東京都中央区銀座東8丁目4番地
全国燃料会館607号室 電話東京(541)7464
出張所 大阪南 北海道・名古屋・四日市・福山・福岡

電気工事設計施工

三宝電機株式会社

取締役社長 嘉納伝三
本社 大阪市北区絹笠町五〇（堂ビル三階）
電話 (312) 1471(代)
支店 東京都中央区西八丁堀四丁目十（後閑ビル三階）
電話 (551) 5590～2
営業所 名古屋市北区城見通二丁目二〇番地
電話 (98) 236～7
〃 小松市符津町才四四ノ三
電話 (粟津) 237
〃 堺市三宝町七丁目三六九

電気工事
設計・施工

朝陽電気株式会社

取締役社長 山本博三
本社 大阪市北区中之島三丁目三 朝日ビル6階
電話大阪局㊾ 9531（大代表）
営業所 大阪市西区土佐堀通り四丁目八番地
電話大阪局㊾ 5201番(代表)～3
出張所 京都市右京区西院今田町六番地
電話 京都局㊽ 3481番

電気工事設計施工

江東電気株式会社

取締役社長 猪飼幸次郎
本社 大阪市生野区勝山通9丁目72
電話 (716)4035(代)～8
支社 東京都新宿区淀橋533
電話 東京(371)6203
出張所 金沢・名古屋・高知・広島

電気工事・設計・施工

中本電気株式会社

取締役社長 中本正明
本社 大阪市城東区野江東之町三丁目一五
電話 大阪 (931) 代表 7341～5
機器工場 大阪市城東区野江西之町三丁目一一三
資材倉庫 電話 (931) 2193

電気工事設計施工
並架線金具製作販売
（日本工業規格表示工場）
八千代電設工業株式会社
取締役社長 梶本秀尾
大阪市東区森之宮東之町
電話大阪 ㊾ 6531（代）～5
支店 名古屋
出張所 東京・岡山・門司

電気工事設計施工
株式会社 三興社
取締役社長 坪井 大
本社 大阪市北区絹笠町50（堂ビル7階）
電話 ㊽ 2138（代）～9
支店 東京都中央区日本橋箱崎町3丁目2番地
電話 ㊼ 1478（代）～9
出張所 堺・下関

電気設備工事設計施工
東光電気工事株式会社
大阪支社
支社長 姉川正男
大阪市東区高麗橋五丁目二八番地
電話 大阪（202）0325～9番

エレベータ・コンベヤー・リフト
エスカレータ・ホイスト・クレーン
N・T・E型オートパーキングステーション
設計 製作
日本エレベータ工業株式會社
本社 大阪市大淀区天神橋筋6（天六阪急ビル）
電話（351）4927代表7071交換
東京営業所 東京都台東区長者町2－7（豊富ビル）
電話（831）7949直通（866）5276交換
東淀川工場 大阪市東淀川区小松中通5－6－2
電話（381）0363・4588

社寺数寄屋用瓦…大佛瓦
耐風雨緩勾配用瓦…大和瓦
美術建築内外装用タイル…大佛タイル
大佛組
本店 京都市東山区今熊野池田町（6）3555
大阪営業所 大阪市東区内淡路町1～13（941）0975
名古屋営業所 名古屋市瑞穂区堀田通1丁目（88）2703



陶管・練瓦・ヒューム管
ベンチレーター・アンホール
株式会社
三幸商會
大阪市北区曽根崎上一ノ四一
電話 大阪 ㊾ 3145

PAINTING CONTRACTOR
塗装工事請負
株式会社 林塗装店
TEL. 大阪 ㉕ 1756—7・東京 ㉔ 1335

青写真とマイクロフイルム
株式会社 内外写真
製図・トレース・複写写真
大阪市北区堂島北町16 TEL ㊽ 9055（代表）

特許植物性 型枠離剝塗料
サンヒット
メタルフォーム用特号
関西代理店 株式会社 金剛商会
大阪市西淀川区野里町1231 阪神国道 野里電停前
製造元 東京サンヒット商会 電 大阪㊼0417・4091

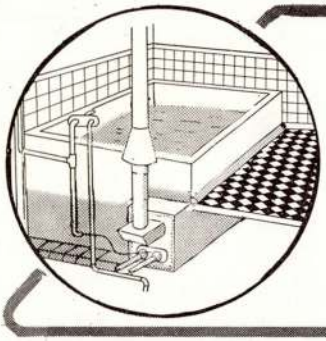
奉仕感謝の店
タイル 衛生陶器
㊿ 株式会社 川岸窯業商店
大阪市西区靱南通2丁目21 市電靱南通り電停前
電話大阪・㊾ 2435・2788・8597番

鈴木式防火シヤッター

株式会社 **鈴木シヤッター商会**

大阪市北区茶屋町33　電話 ㉑ 0098・5837・8729・6810

北陸営業所　金沢市長田町119　電話 ② 2287



田中のガス風呂

各種銅鉄風呂釜一式
箱風呂・ボイラー・
ガス風呂

大阪ガス会社指定

田中風呂鞴作所

大阪市浪速区元町1丁目742　但シ賑橋電停前　(641)5313・8128

シヤッター

重量シヤッター
電動シヤッター
軽量シヤッター

レディメイド サッシ

アルミサッシ
スチールサッシ
ドアー

HEIWA KOGYO

平和工業株式会社

ナンバスケート場前

施工迅速
親切丁寧
在庫豊富
信用を誇る
(乞御照会)

TEL(641)5750・8836

耐酸ツボ各種
天窓瓦福林産地直売

建築陶器の百貨店



株式会社 吉田芳雄商店

大阪市北区南森町交叉点
電話 大阪(341)2403・3904

諸官庁御指定
吹付及び掻落ソリジットスタイン
床材（合同リグノイド）マグネシート
外壁シリコン防水
製造。販売。責任施工

合同特許建材工業株式会社

取締役社長　山下謙治

本社　大阪市東住吉区田辺東之町3－109　電大阪 ㊸ 9086
営業所　大阪市東住吉区駒川町3－54　電大阪 ㊸ 4370・7660
出張所　広島市比治山本町1180　電広島 ④ 4967
出張所　東京都新宿区花園通46　電東京(351)5298・5264

リグノイド床・床材料

製造・販売・施工

福屋工業株式会社

本店　大阪市西区南堀江上通一丁目三一
電話 大阪 ㊱ 3426～7

軽量鉄骨
設計・施工

新鋼建設工業株式会社

取締役社長　吉田信武

本社　大阪市西区立売堀北通1－76（立売堀ビル）
電話 ㊱ 0609・6575
工場　神戸市東灘区本庄青木古堂町53
電話　神戸 ⑧ 616
広島県御調郡向島町立花3010
電話　尾道2868　向島西19

広告目次 (50音順)

建築と社会 昭和37年 Vol. 43・No. 8

ア アサヒカラコン……17
アスファルト同業会……12
アルケン工業kk……10
浅海電気kk……4
kk 朝日工業社……3
旭化工板……前付
伊奈製陶kk……中挟
井田商事kk……17
泉石綿工業……16
岩元工業kk……14
岩住鉄工所……20
kk 栄興商会……3
栄進鋼業kk……15
オリエンタルメタル製造KK……中挟
小俣製作所……本文
大阪機工kk……8
大阪建材工業kk……20
kk 大阪城口研究所……2
kk 大阪電気暖房商会……2
大阪耐酸工業所……本文
大阪石綿スレート協会……15
大島応用化工業kk……1
kk 奥村重兵衛商店……本文
奥山化工業kk……19
織本建築事務所……17
カ kk 川岸窯業……5
川口ゴム工業kk……前付
関西暖房工業kk……16
関西三星タイル会……前付
工藤電気kk……4
kk 久保商店……1
クマガイ工業kk……前付
栗原工業kk……4
黒川金物……16
kk 建材社……12
建材信和会……11
工英社……表2
江東電気kk……4
小西儀助商店……前付
合同特許建材工業kk……6
kk 金剛商会……5
サ 斎久工業kk……2
kk 斎藤省三商店……2
三栄建材工業kk……18
三機工業kk……2
kk 三幸商会……5
kk 三晃商会……3
kk 三興社……5
三宝電機kk……4
三和シヤッターkk……前付
敷島金物kk……前付
新鋼建設工業kk……6
kk 新興建材工業所……19
須賀工業kk……2
鈴木シヤタア商会……6
住友金属工業kk……前付
タ 田島応用化工kk……表4
田中工業kk……1
kk 田中風呂製作所……6
田辺工業kk……本文
谷山製作所……本文
第一企業kk……3
第一工業kk……3
大嘉熱工業kk……3
大日本硝子工業kk……14
大仏組……5
大丸……前付
耐酸化学工業……15
高砂熱学工業kk……2
kk 武智工務所……本文
中央電気工業kk……4
朝陽電気kk……4
つねなり・すたじお……13
東光電気……5
東京鋼板工業kk……16
東洋キヤリア工業kk……3
東洋陶器kk……前付
東洋リノリュームkk……前付
東洋レーヨンkk……前付
東邦商会……13
ナ ナニワ瓦kk……17
内外工業kk……14
内外建材kk……本文
中本電気kk……4
浪速合板……13
浪速建材工業kk……18
日本アスファルト防水工業会関西事務所……前付
日本エレベータ工業kk……5
日本管工業kk……13
kk 日本金具製作所……前付
日本サッシ協会関西支部……前付
kk 日本シヤッター製作所……表3
日本セメント防水剤製造所……表3
日本スピンドル製造kk……前付
日本綜合防水kk……前付
日本ドアーチエック製造KK……中挟
日本熱学工業kk……3
日本ペイント……本文
日瀝化学工業kk……前付
日米ブラインド……本文
西日本アスファルト事業協同組合……9
kk 西原衛生工業所……2
ハ kk 林塗装店……5
日立……表4
kk 平川鉄工所……前付
平田タイル……13
フタバ黒板……13
福屋工業kk……6
平和工業kk……6
マ kk 三高製作所……前付
三菱商事……中挟
美素工業所……本文
水谷ペイントkk……本文
kk 室谷商店……13
森井電業kk……4
ヤ 山田工業kk……2
八幡製鉄……前付
kk ヤマト電気商会……4
八千代電設工業kk……5
kk 山本建材社……前付
kk 油脂化工社……表3
kk 吉田芳雄商店……6
吉野石膏kk……8
kk 寄木商会……14
ラ 理研鋼機kk……3



TIGER BRAND

■待望の世界の建材
ニュータイガーボード

■新時代の壁材
YNプラスター

■60年の歴史・最大の生産
吉野の耐火ボード

燃えない建築資材！
■準不燃材料・難燃材料

■特性
長手の方向を表面の厚紙でへり折り被覆した強靱で美麗な新しい耐火ボード

カタログ進呈

石膏ラスボードを下地にすれば和洋壁が3—7日で出来る

石膏ラスボード
タイガートーン
アートボード
秋田杉耐火ボード

吉野石膏株式会社大阪支店
大阪市西区土佐堀1の1（大同ビル）
電話（441）8912～4
本社　東京都千代田区丸ノ内2の6
営業所　東京・名古屋・福岡・仙台・札幌・広島
工場　東京・福岡・四日市
（菱化吉野石膏）秋田・高砂

何よりも安心できる　**年限仕様**

Ⓐ アスタイト防水

地区	組合員名	住所	電話
近畿（順不同）	(株) 久保商店	大阪市北区真砂町5	大阪(341)0207～8・4836～7
	(株) 木下謹三商店	大阪市西区江戸堀南通5ノ35	大阪 (441)5408・5486
	(株) 井上浄夫商店	大阪市西区江戸堀下通1ノ7	大阪 (441)8531～5
	(株) 大和商会	大阪市南区高津町4番丁73	大阪 (631)6221～4
	(株) 石田建材店	大阪市東淀川区元今里北通り1ノ31	大阪 (301)3340・3505
	内外工業株式会社	大阪市阿倍野区旭町1ノ51	大阪 (631)3434～6
	旭化建工業株式会社	大阪市北区茶屋町38	大阪 (371)6555～7
	日本瀝青工業(株)大阪支店	大阪市北区富田町40	大阪 (341)1804
	石井建材有限会社	神戸市兵庫区荒田町1丁目	神戸 ⑤2140・2697
	(株) 中出商会	神戸市兵庫区上沢通6ノ9	神戸 ⑤4630
	タテバヤシ商店	京都市下京区四条大宮南入学校前	京都 ㉞4468
	田島応用化工(株)大阪出張所	大阪市西区京町堀1ノ74	大阪 (441)5951代表
東海	岡田建材株式会社	名古屋市西区西菊井町2ノ12	名古屋㊸2057・0121
	(株) 名建商会	名古屋市中区宮出町41ノ2	名古屋㉔1329・2817・2106
	高橋建材店	名古屋市中区材木町1ノ12	名古屋㉓3295
北陸	北川工業株式会社	金沢市西側町8	金沢②4552～3
	北川工業(株)富山営業所	富山市奥田新町23	富山②2218 ③1014
	北川工業(株)福井営業所	福井市大和中町70	福井②4532
	(株) 小島工務店	高岡市大坪旭町2丁目32ノ1	高岡 2463
	(株) 小島工務店富山営業所	富山市神通町3区1003	富山②8221
中国・四国	青盛建材株式会社	広島市鉄砲町108	中 ②2281～4
	青盛建材(株)岡山営業所	岡山市東田町3	岡山②7911・8169
	(有) 小野甚商店	岡山市内山下30ノ10	岡山②4272
	(株) 浜原豊商店	尾道市吉和町新浜	尾道 2760
	(株) 浜原豊商店防府支店	防府市大林寺	防府②3611～2
	古市断熱工業株式会社	高松市宮脇町960	高松③5034
	正和商事株式会社	松山市1番町21	松山②8161～5
九州	青盛建材(株)福岡営業所	福岡市万行寺前町14	東 ③1225～6
	高稲工業株式会社	長崎市大橋町138	長崎④1726
	高稲工業(株)小倉営業所	小倉市西本町2	小倉㊺6177

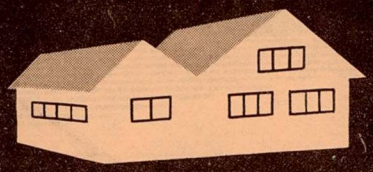
建設省阪建22号認可　　出資金600万円

三星 西日本アスファルト事業協同組合

大阪市西区京町堀1--74　TEL ㊶ 代表 5951
東京連絡所　東京都千代田区神田岩本町13（田島応用内）　TEL(866)代表 6101
北陸・東海・近畿・中国・四国・九州

住友の アルミサッシ・ドア

押出し型材使用



アルミサッシ使用率
米国 70%
西独 26%
日本 6.5%

雨の多い日本には……
雨仕舞の良い気密な窓を
錆びない・軽るい・精度が高い

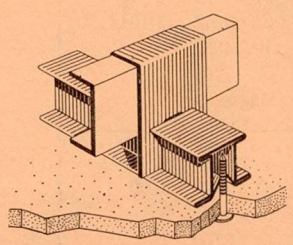


製造 取付

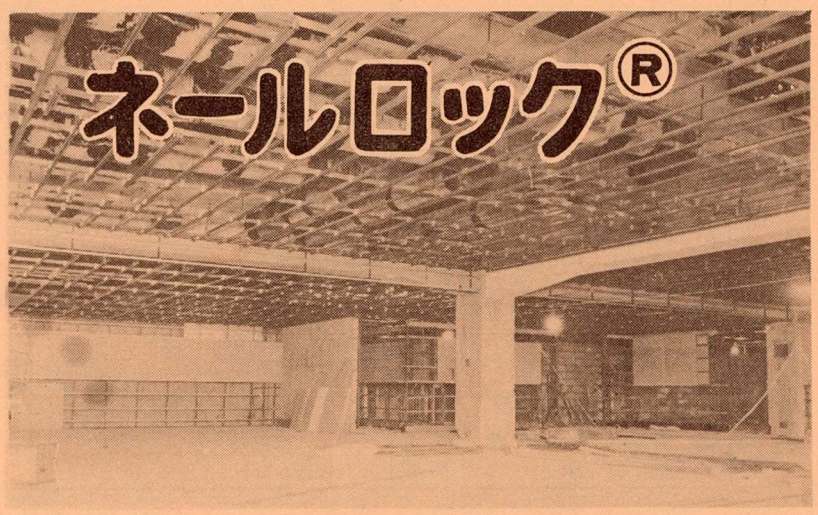
アルケン工業株式会社

大阪市西区新町通4－39 電話（541）0865 2905

マンテンの SK式軽量鉄骨天井下地



燃えない
狂わない
取りつけ易い



MANTEN

発売元 住友商事株式会社
製造元 株式会社 満点製作所
大阪市南区日本橋筋3丁目2番地 電話 大阪（641）1156～8

東京出張所 東京都江東区亀戸町2丁目114（新協和ビル内）電話東京（681）8425

暑中御見舞

昔からの建材店ゆるがぬ信用　　建材信和会　（いろは順）

岩元式スカイライト
岩元式通風装置（ベンチレーター）
その他建築材料

岩元工業株式会社
社長 岩元熊雄

大阪市東成区東今里町四丁目40
電話 (981) 0616 代

Ⓢ印ルーフイング・フエルト
Ⓢ印砂付ルーフイング
Ⓢ印石綿ウエルドルーフイング
陸屋根・地下室防水及耐酸工事　責任施工

日新工材株式会社
社長 井場績

大阪市西区新町北通一丁目17
電話 (541) 3785 代

衛生陶器・同附属器具
製造販売

東洋陶器株式会社大阪営業所
所長 伊藤和美

大阪市東区高麗橋5－32
電話 (231) 4518代・1424

東洋フレンチ瓦・S型瓦
東洋スパニッシュ瓦
東洋日本型瓦・陶器瓦
製造販売・責任施工

東洋洋瓦株式会社
社長 青木トシ

大阪市天王寺区大道三丁目125
電話 (771) 3076 代

暖冷房・給排水・換気・衛生
汚水浄化装置・大正便所
設計・施工

株式会社大阪城口研究所
社長 城口庸平

大阪市北区高垣町1
電話 (371) 7575 代

ガス圧接
建築金物

株式会社小野弥商店
社長 小野甚蔵

大阪市西区立売堀北通一丁目24
(541) 6721 代
電話 (531) 1212・1667

日進式軽量鉄骨
日進式リブラス
日進式メタルラス
日進式クリップ

株式会社奥村重兵衛商店
社長 奥村重兵衛

大阪市北区木幡町56
電話 (341) 4131 代

室内装飾設計施工
窓掛・リノリューム・アスタイル
オリエンタルクロス・ニッポンクロス
カラークロス　製造発売元

河津装飾株式会社
社長 河津喜之助

大阪市北区堂島上一丁目24
電話 (341) 1351～4

プラスチック防水耐酸工事
各種レヂンライニング
ペブコグリップデック
ダウラテックス560

耐酸化学工業株式会社
社長 松井邦彦

大阪市北区高垣町80
(341) 4957 代
電話 (361) 0178代・4161

石灰・セメント・壁材料
大阪窯業セメント(株)　代理店
大阪生コンクリート(株)
コガネライト（蛭石）　製造販売

玉置産業株式会社
社長 玉置孝太郎

大阪市南区鰻谷仲之町25
電話 (271) 5674 代

一般塗装工事
請負業

竹林塗装工業株式会社
社長 竹林昭二

大阪市北区茶屋町78
電話 (341) 6431 代

各種ベニヤ板丸徳製品
ヤマハボード・ハードボード
ホモゲンホルツ
オーツカクロース総代理店

浪速合板株式会社
社長 村石秋吉

大阪市浪速区幸町通三丁目20
電話 (561) 2201 代

フローリング（ブナ・ナラ・サクラ）
吸音板，ボード，販売並施工
内装材各種

株式会社室谷商店
社長 室谷山水

大阪市北区絹笠町50（堂ビル）
電話 (312) 2031 代

各種板硝子・鏡販売・施工
各務クリスタルKK代理店
ガラスブロック・プリズム
製造・販売・設計・施工

村田硝子株式会社
建材特殊硝子部
社長 村田経政

大阪市南区北炭屋町7
電話 (271) 4580・3367

艶出ケントク（白木・家具・塗物用）
液体ケントク（フローリング・アスタイル・リノリューム用）
フロアオイルケントク
床清掃請負・掃除器具販売

株式会社ケントク
社長 鈴木清市

大阪市東淀川区新高南通一丁目14
電話 (391) 0864代・1416・1658

建築金物・建具金物
サッシ金物
製造販売

株式会社日垣本社
社長 日垣太市郎

大阪市南区安堂寺橋通二丁目3
電話 (261) 5091 代

タイル工事一式

株式会社平田タイル
社長 平田伊三郎

大阪市西区阿波座中一丁目5
電話 (531) 1003 代
(541) 8731 代

アスファルト防水の材料と工事は

（アイウエオ順）

◀製造業社

協和建材工業 k.k.	大阪市東淀川区田川通5丁目91	(301) 6437・6438
k.k. 工英社	大阪市西成区橘通9丁目24	(661) 8861～2
k.k. 工盛社	大阪市城東区西鴫野6丁目43	(971) 4460・8288
田島応用化工 k.k. 大阪出張所	大阪市西区京町堀1丁目74	(441) 5951
大恵工業 k.k.	大阪市西淀川区姫島町1690	(471) 3131～2
東亜工業 k.k.	八尾市字太子堂629	八尾（2）2308・3039
日瀝化学工業 k.k. 大阪営業所	大阪市東淀川区堀上通3丁目39	(391) 0924～5・2045
日新工業 k.k. 大阪支店	大阪市西区新町北通1丁目18	(531) 5281～3

◀販売業社

東京通商 k.k. 大阪支店	大阪市東区大川町1（勧銀ビル）	(202) 2291代
池田商事 k.k.	大阪市福島区鷺州本通1丁目48ノ3	(451) 7601～5
内田商会	大阪市北区万才町47	(312) 0871～8
梅本石油 k.k.	大阪市東淀川区新高南通1丁目28	(391) 2080・2207・0238
枝松商事 k.k.	大阪市北区道本町41	(361) 5858・5850
朝日瀝青 k.k.	大阪市西区南堀江一番町14	(531) 4520・8401
三友アスファルト k.k.	大阪市東住吉区矢田住道町913	(791) 4427
川崎物産 k.k. 大阪営業所	大阪市北区絹笠町50（堂ビル二階）	(361) 0774
中西瀝青 k.k. 大阪営業所	大阪市北区老松町2丁目7	(341) 4305
k.k. 長野商店	大阪市西区京町堀上通3丁目40	(441) 5195～6
日本建設興業 k.k.	大阪市東区北浜4丁目19	(231) 2771～2
前田商店	大阪市西区江戸堀北通5丁目36	(441) 5223～4
村井工業所	大阪市生野区生野田島町94	(731) 2514
山文商事 k.k.	大阪市西区土佐堀通1丁目13	(441) 0255代・5392代

◀工事業社

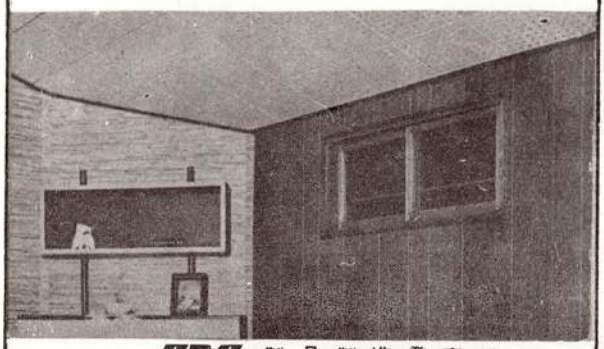
旭化建工業 k.k.	大阪市北区茶屋町38	(371) 6301・8024
k.k. 井上浄夫商店	大阪市西区江戸堀下通1丁目7	(441) 8531
k.k. 石田建材店	大阪市東淀川区元今里北通1丁目31	(301) 3505
大阪耐酸工業所	大阪市北区浮田町82	(371) 1333
大島応用化学工業 k.k.	大阪市城東区野江東之町4丁目104	(931) 7071～3
k.k. カナヱ商会	大阪市北区空心町1丁目30	(351) 2922
共栄瀝青工業 k.k.	大阪市東区船越町2丁目34	(941) 5561～2
k.k. 木下謹三商店	大阪市西区江戸堀南通5丁目35	(441) 5408・5486
k.k. 久保商店	大阪市北区真砂町5	(341) 0207～8・4836～7
坂口興業 k.k.	大阪市北区木幡町18	(341) 1105・8640
清水興業 k.k.	大阪市北区鶴野町34	(371) 0251～3
k.k. 新光商店	大阪市南区塩町2丁目13	(261) 7195代
関本建材 k.k.	高槻市大字高槻146	高槻（5）1646～7
k.k. 大和商会	大阪市南区高津四番丁73	(631) 6221～4
谷中建材工業 k.k.	京都市下京区西七条比輪田町28	京都（5）9954
友田工業株式会社	大阪市都島区都島中通6丁目41	(921) 0971・0531
内外工業 k.k.	大阪市阿倍野区旭町1丁目51	(641) 3434・0810・7390
日新工材 k.k.	大阪市西区新町北通1丁目52	(541) 3785～6
日本瀝青工業 k.k. 大阪支店	大阪市北区富田町40	(361) 5496
フタバ興業 k.k.	大阪市福島区上福島北4丁目24	(451) 6089
k.k. 双葉商会	大阪市東淀川区木川西ノ町2丁目6	(301) 3855
松本瀝青工業 k.k. 大阪支店	大阪市城東区茨田町横堤917	(931) 2397
マルヱス工業 k.k.	大阪市福島区上福島南通1丁目152	(451) 2360・2030
丸藤商店	大阪市北区天神橋筋2—1	(351) 2150・6595
石井建材有限会社	神戸市兵庫区荒田町1丁目	神戸（5）2697
k.k. 中出商会	神戸市兵庫区上沢通6丁目9	神戸（5）4630
三信工業所	神戸市兵庫区神田町439	神戸（4）6930
中村瀝青工業株式会社	神戸市生田区北長狭通6神繊共栄ビル	神戸（4）5884
日建瀝青工業 k.k.	神戸市兵庫区水木町8丁目5	神戸（6）0505
有限会社 小野甚商店	岡山市内山下30ノ10	岡山（2）4272
k.k. 浜原豊商店	尾道市吉和町新浜	尾道 2760
青盛建材 k.k.	広島市鉄砲町108	広島（2）2881～2
古市断熱工業 k.k.	高松市宮脇町960	高松（3）5034
正和商事 k.k.	松山市一番町	松山 0525・1159・2159
k.k. 山本商会	松山市萱町2丁目95	松山 2717

◀賛助会員

丸善石油 k.k.	大阪市南区長堀橋筋3丁目	(271) 1251(代)

ノトク の新建材

プリント合板
ビニオン
九徳天井板
美装パネル
リズム ウッド
スーパーショイナー



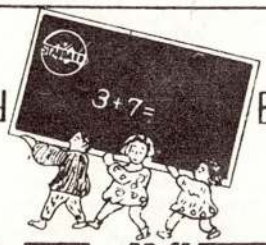
ノトク 製品製造発売元

浪速合板株式会社
大阪市浪速区幸町通の3の20
TEL (561)2201(代)

木毛セメント板



東邦商会
本社 大阪市東住吉区桑津町3丁目59
電話大阪(741)1296～7
出張所 和歌山市新堀6丁目13
電話和歌山(2)0298・9435



フタバ黒板
大阪市東住吉区桑津町三丁目101番地電話大阪(741)4692番

Acoustic Tex
吸音テックス



株式会社 室谷商店
本社 神戸市生田区長狭通四ノ一英和ビル
TEL神戸 ③ 0881～3
支店 大阪市北区絹笠町五〇 堂ビル5階
TEL大阪(312) 2031～4
出張所 岡山市内田京町158
TEL 岡山 ② 5189

タイル
衛生陶器
エスロンタイル
サンウェーブ
流し台・調理台

株式会社 平田タイル
大阪市西区阿波座中通1
電話 (531)1003～5 (541)8731～3

つねなりすたじお
建築写真
大阪市東区北浜・電㉑0141

網入光り波型ガラス（スレート小波／スレート大波）長サ 965㍉ 1818㍉

ダイニチ・アーモライト 波板・平板

（硝子繊維強化ポリエステル板）各種波，寸法（長尺物有）

製造販売 大日本硝子工業株式会社

大阪支店 大阪市北区玉江町2ノ4（三菱倉庫ビル）電㊿1389・3389
本 社 神奈川県相模原市小山字久保224 電⑦3101～4

責任施工
アスファルト防水工事
セメント防水工事
アスファルトモルタル床舗装工事
耐酸アスファルト
モルタル工事

N．G．インシュライト断熱材製造発売元

N.G.C式

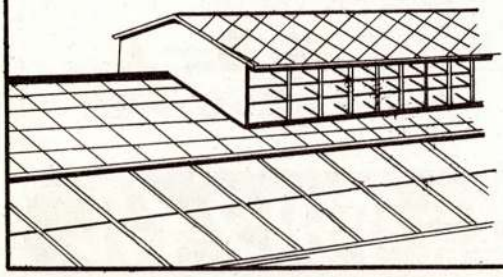
N.G.インシュライト工事責任施工
メタリヤンメッシュD.M38番責任施工
米国パブコ．コンパウンドアスファルト販売

内外工業株式会社

脇 山 静 夫

本社 大阪市阿倍野区旭町一ノ五一 電話(641)3434～6
工場 大阪市阿倍野区旭町二ノ六六

岩元式 スカイライト 並 固定筒型 コンチニアス ベンチレーター



サッシュ、ドアー、シャッター
伸縮扉、オペレーター、門扉鉄柵
其他金物一式製作施工

カタログ進呈



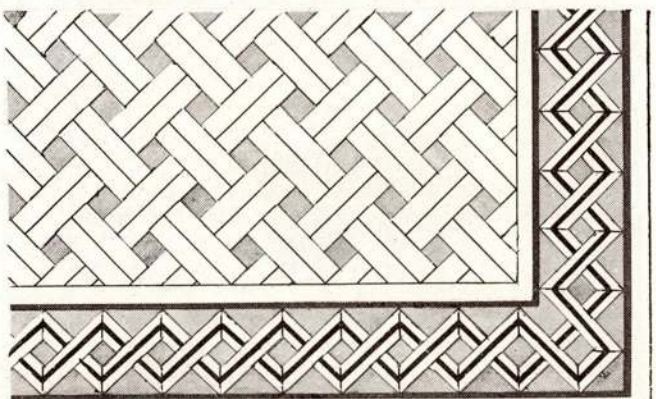
岩元工業株式会社

本社 大阪市東成区東今里町4の40
電話(981)0616～0618

寄木貼床板
フローリング施工請負
ブロック
ベニヤフラッシュドアー造作取付
グラインダー床削

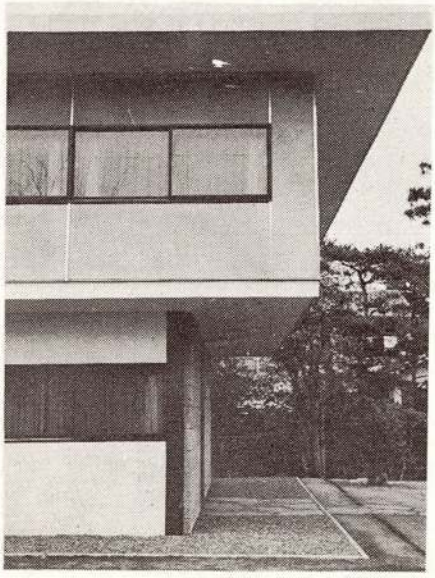
株式会社 寄木商会

営業所 大阪市東区横堀6－49
電話(251)3731・3960
工 場 大阪市浪速区勘助町1



燃えない家で明るい暮し！

通商産業省認定工場 不燃 No.



健築基準法定不燃材料

石綿スレート

フレシキブル板
平　板・軟質板
パーライト板
孔あき板
サンドイッチパネル
小波板・大波板
（着色・化粧板他各種加工品あり）

美しいカタログお送りします

石綿セメントボード協会
波形石綿スレート協会

東京都中央区銀座7—3朝日石綿ビル
電話（571）1359・6914

鋼製建具
製作・販売

栄進鋼業株式会社

大阪市城東区野江西之町2—2　電話（931）8261-3・9586
支店・福岡　営業所・広島・長崎

防水に耐酸に…

レオパノール耐酸層

ドイツと技術提携による国産化完成
製造元　タキロン化学株式会社

耐酸化学工業株式会社

大阪市北区高垣町80
電話大阪㊱178（代表）4161 ㊶4957～8

レオパノールORG

- 各種の酸、アルカリに対して強い
- −30°C＋100°Cに耐える
- 伸長性に富み老化せない
- 化学工場床、排水溝、電解槽、耐酸防護を必要とする構築物に最適

レオパノールBA

- 陸屋根、地下室の防水、伸縮継手、簡単な耐酸用として使用され冷工法で施工容易

T
K K

アルミニウム

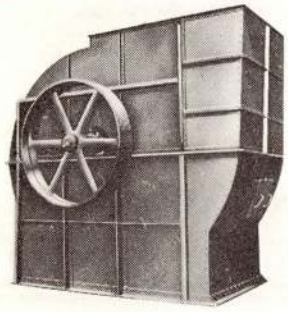
ステンレス　　カーテンウオール

ブロンズ

東京鋼板工業株式会社

本社及工場　東京都荒川区尾久町5ノ1000
電話　(891) 8131～8
大阪支店　大阪市北区絹笠町18番地（聚喜ビル3階）
電話　㊿ 9154～7
名古屋支店　名古屋市東区久屋町5の9（住商ビル）④ 2578～9
福岡出張所　福岡市橋口町15番地の1（サンビル3階）　㊻8825

KANDAN



煖冷房温湿度調整

設計　施工

各種送排風機

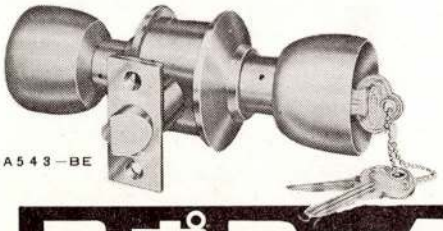
設計　製作

関西煖房工業株式会社

本社　大阪市住吉区万代東6丁目3番地
電話大阪 671−6751(代表)～4 ·1570·1590
堺工場　堺市浜寺石津町中2丁目200番地
電話　堺 ② 1213 ③ 1322
出張所　名古屋・福岡・徳島

KUROKAWA

円筒形トビラ錠の決定版!!



エポロック

デラックス　（カタログ贈呈）

1品種　住宅玄関・事務所用、間仕切用、廊下通路用、連接せる間仕切用、倉庫用、学校・病院用、出口専用、ビル玄関通路用、浴室・トイレット用
2材質　ステンレス、砲金、真鍮、硬質アルミニューム
3形状　広角型、円垂型、円筒型、丸型

スタンダード

1品種　住宅玄関・事務所用、間仕切用、廊下通路用
2材質　硬質アルミニューム
3形状　広角型

高級扉錠・専門製作

黒川金物株式会社

本社　大阪市南区高津町10番丁19番地　TEL代表㊼7483～4·8050
営業所　東京都江東区深川清澄町2丁目9番地　TEL（641）7250
工場　奈良県北葛城郡香芝町別所1054番地　TEL（下田）109

泉

石綿セメントの
最高水準を行く!!

アスベストバリヤ

Asbesto. Barriev
（硬質石綿板）

建物内外壁、間仕切、天井扉、電気室発電所、配電室、製鋼、ガラス工場の壁、製糖、製油製薬工場の床スカート壁などに最適

泉石綿工業株式会社

大阪市北区同心町1の11
電話 ㊾ 3442·4078

（呈カタログ）

三高式 サッシュ.ドアー.シャッター

オペレーター
ドアーハンガー

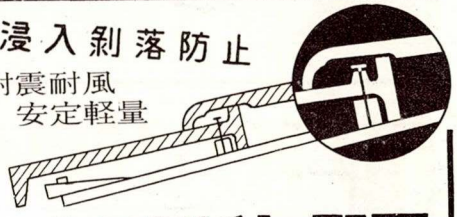
TRADE MARK
M.T.K.S

株式会社 三高製作所
本社工場 尼ヶ崎市神崎五反田280
電話 大阪(401) 6158・6159

コペンハーゲンリブ

商月報無料送呈
井田ベニヤ
井田商事株式会社
大阪市浪速区西円手町一〇一七番地 湊町駅貨物八号門前
電話 (562) 0800, 0808～9

雨水浸入剝落防止
耐震耐風
安定軽量



ナニワ瓦株式会社
大阪市浪速区元町一丁目壱二電話(641)壱弐壱

ナニワ緩勾配瓦
3寸緩勾配最適軽量水止付(空葺)瓦

減らず・滑らず・美しい
モルタル打と同時仕上る 美装床材

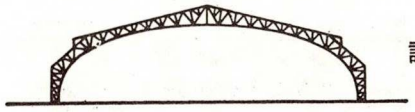
カラーコンクフエロコン

超硬骨材に顔料、薬品等を配合した粉末剤でその儘水練り、金鏝仕上げの為特に技術を要せず、色ムラ、ノ口汚れ等の缺点がない耐磨耗性特に強大、表面滑らかで美しく清潔、耐水性に富み価格低廉であります。(坪当り材料代¥ 950) 仕上り厚さ約2㎜程度学校、工場、病院、事務所、商店、ガレーヂ、ガソリンスタンド、住宅の玄関、流し、浴室等に最適であります。

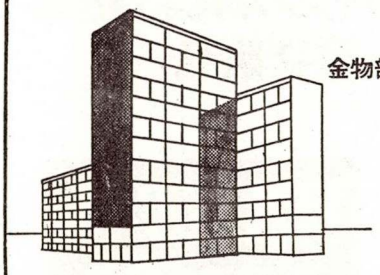
(カタログ進呈)

製造発売元
アサヒカラコン株式会社
大阪市此花区四貫島旭町1−3 TEL (461) 3594
工場 大阪市此花区四貫島旭町1

綜合建築設計への道

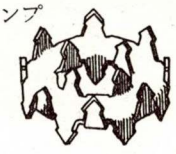


設計部 1.各種鉄骨・鉄筋コンクリート造建築の設計監理
2.ダイヤモンドトラス・ジグザグトラス・平行トラス等
各種大張間鉄骨造の設計監理

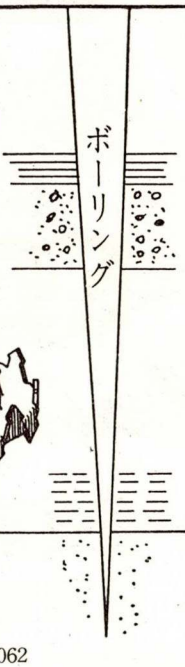


金物部 耐震耐風木材接合金具の製造販売
PAT.O式(織本式)ヂベル及クランプ

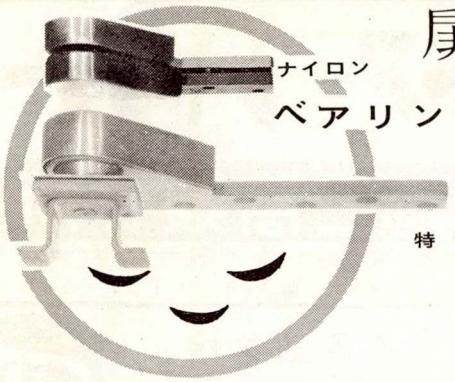




地質部 ボーリング・建築物基礎工事の為の土質調査



株式会社 織本建築事務所 所長 織本道三郎
(旧織本建築設計々算事務所・織本特殊構造研究所・合体)
東京都中央区日本橋かきがら町3の2 電話(671)6443・7007・7062



扉 555

ナイロン

ベアリングで扉の開閉が軽快！

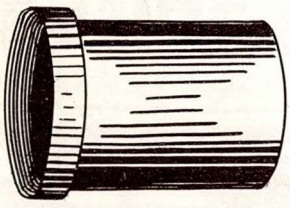
ピボットヒンヂ

特徴
- ボンデライジングに依る完全防錆加工品
- 回転軸部にナイロンベアリングを採用した耐久品

三栄建材工業株式会社

大阪市生野区巽矢柄町一五一番地
大阪（741）4655・0189（716）0188番

築炉並に建築用煉瓦積工事・装飾用化粧煉瓦積工事
コンクリートパイル・コンクリートブロック

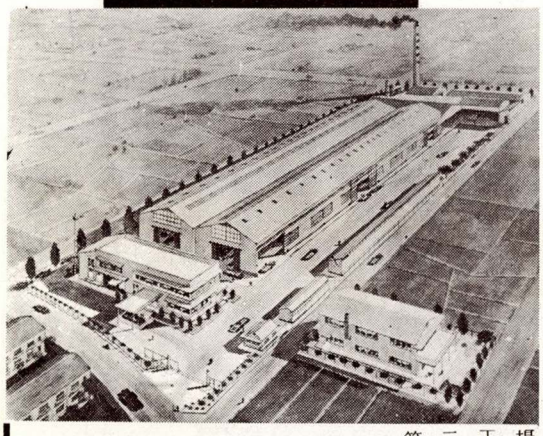


陶管・煉瓦・ヒューム管・衛生陶器
モルタル数ブロック・スペーサ・各種コンクリート製品一式

森延窯業株式会社

取締役社長　森下延幸・専務取締役　船津　稔
大阪市住吉区上住吉町三一電話（671）2420・8217

NK



第二工場

浪建式
アルミサッシュ・ドアー
スチールサッシュ・ドアー
シャッター・オペレーター
パーカライジングの処理工場完成
— 製造販売 —

NANIWA
大正十四年
創業

浪速建材工業株式会社

本社・工場・大阪市城東区野江中之町一丁目九番地電話大阪(931)1171～3番
第二工場・大阪市城東区茨田横堤町四一番地電話大阪(931)6153・6824番
東京営業所・東京都中央区銀座東六丁目木挽館ビル六号館 607号室 電話 東京(541)4611番
福岡営業所・福岡市天神町三番地（サンビル内）電話 福岡 ④ 8462番
出張所・大分市栄町下市三一七番地電話 大分 1366番

日満ゴムタイル
全国總代理店
責任施工

近代的上塗壁材
繊維塗料製品

・優美な繊維の京壁材 →	日本壁
新日本壁	←・繊維の床砂材……
・塗りつける織物壁材 →	パビロン壁
錦上壁	←・パルプの日本座敷壁材
・近代的な趣味の壁材 →	いすゞかべ
新いすゞかべ	←・吹付のできる京砂壁材
・繊維の色土…… →	大和壁

製造発売元　株式会社 新興建材工業所　■全国有名建材店にございます

本　社　大阪市西局区内四ツ橋　電話大阪(541)5756～9
営業所　明石市西王子町1丁目39　電話　明石　5852
営業所　福岡市西唐人町1番地　電話 福岡㉕7373

COPPER-BOSUITAI
OAM
TRADE MARK

陸屋根防水には
特許 絶縁工法を

カッパー防水帯
コーパータイト

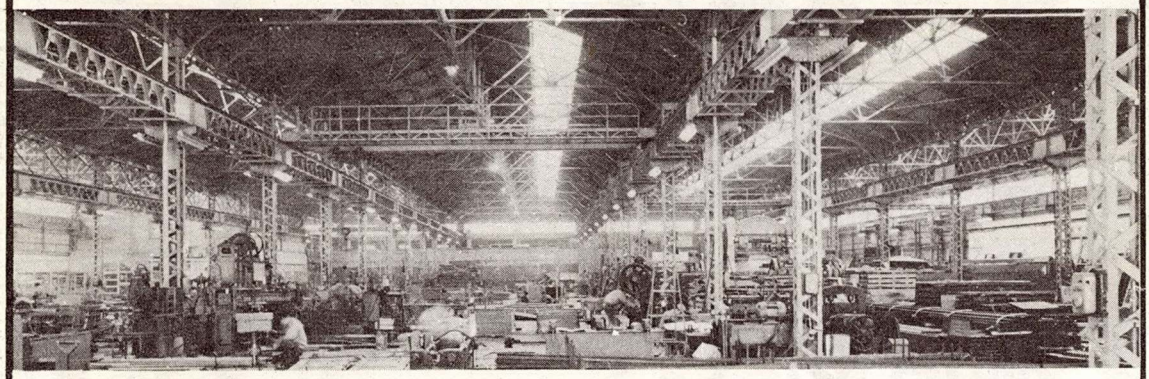
特許 奥山式熱工法・冷工法綜合防水層

奥山化工業株式會社
東京都中央区銀座西8の3　TEL㊲2703～4・2370・4064・0264
名古屋出張所　名古屋市南区若草町33　TEL ㊽3660

●御申越次第カタログ進呈

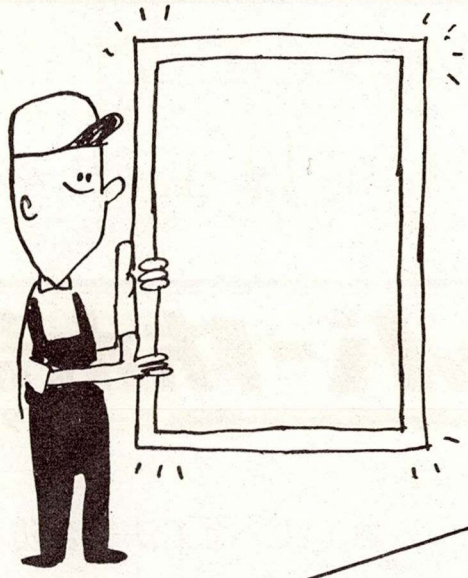
錆びない 岩住のサッシ・ドアー

当社の製品はボンデライトをして焼付塗装をして居ます



株式会社 岩住鐵工所

本社・本社工場　大阪市西淀川区千舟東２－31　電話代表(471) 5123・3000
尼崎工場　尼崎市守部下河原１５　電話代表(401) 6751～3



近代建築に….

大建の

アルミサッシ

住友軽金属工業株式会社と提携

■錆びないスチールサッシは

オートメーション焼付塗装ラインに依る

大建の 2重焼付塗装で

■部材で１回、成品で１回

大阪建材工業株式会社

本社工場　堺市松屋町１の６ Tel 堺(3)5241～9
大阪営業所　大阪市南区九郎右衛門町２１ Tel (211)0836～9
名古屋営業所　名古屋市東区東新道町２の７ Tel 名(97)7264
東京事務所　東京都千代田区平河町１の２ Tel 東京(301)1248

日本建築協会優良證明

セメント増強防水剤

ウォータイトB号

CEMENT WATER-PROOF WOTAITO

株式会社 日本セメント防水剤製造所

本　　社　兵庫県宝塚市高台上の池北28－1　電話　宝　塚（6）2153
大阪事務所　大阪市東区船越町2－31（船越ビル）　電話（941）2626（直通）
出張所電話　東　京（431）0874・名古屋㉜1331
ウォータイト式防水工事　仙台③0721・札　幌⑤7171
代行店電話　大三工業 高松②8697 安藤工事　福　岡③5765
豊永建材　広　島④3567

仕様書型録贈呈

紫綬褒章に輝く

責任・施工・請負

JIS合格モルタルコンクリート用

特許 特マノール防水剤

特許マノール急結剤　特許マノール接着剤

八幡メタルホームKK推奨品

株式会社 油脂化工社

本　　社　東京都品川区二葉町1－441　電話東京（781）1715
取締役社長　矢中龍次郎　大阪営業所　大阪市東成区西今里町2－48　電話（971）4765・0063

防火シャッター

甲種

乙種

パイプシャッター

電動式・手動式・バランス

株式会社 日本シャッター製作所

本社工場　大阪市東淀川区田川通6丁目38番地　電話 大阪（301）3656～9番
東京工場　川崎市新丸子東3丁目1159番地　電話中原局（047）6325～7番
九州工場　福岡県粕屋郡粕屋町仲原蔦屋2727　電話 福岡（65）4779番
名古屋支店　名古屋市中川区福川町1－1　電話名古屋（36）4351－2番
高松営業所　高松市丸ノ内10番地（共商ビル内）　電話 高松②4008番
岡山営業所　岡山市内山下777　電話 岡山③3524番
高知営業所　高知市西絹屋町10番地　電話 高知②7349番
神戸営業所　神戸市生田区加納町3－2　電話 神戸（39）2650番

（呈カタログ・資料）

代行販売店

中博光商店　札幌市北1条通東1丁目（南川通）　電話 代表（4）0281番
現研興業株式会社　小樽市色内町5ノ45番地　電話（2）0672・3656・7533番
三協建材株式会社　東京都中央区八重洲3ノ1（広瀬ビル2階）電話（272）2165～6番
栄進鉄工所　沼津市大岡南小林3400　電話 沼津955番
佐野鋼材株式会社　清水市江尻竹下町8　電話（2）3628・4615番
石本金属株式会社　新川市古町五番町624　電話（2）3181～5番
盛田商店　富山市弁天北町8番地　電話代表8541市959
永見金属株式会社　松江市朝日町駅南口通　電話 3224・5452番
三京交易株式会社　福岡市下南口町23番地　電話（3）0144（2）4647番
〃 小倉出張所　小倉市博労町72ノ1　電話（5）3673番
〃 長崎出張所　長崎市千馬町1ノ9　電話（2）0890番
大石産業株式会社　八幡市通町20丁目　電話（6）1195～6番
中村金物株式会社　鹿児島市武町570番地　電話代表6650～3番
〃 熊本支店　熊本市紺屋町1ノ30　電話（2）1231・4684番
田中鉄工株式会社　玉名市城西町142　電話 329・1221番
小川建材店　千葉市汐見ヶ丘24番地　電話（2）0897番
橋本工作所　福島県郡山市北田町16　電話 郡山2830番

昭和二十四年三月十九日　第三種郵便物認可
昭和三十七年八月二十日印刷　昭和三十七年八月廿五日発行　（毎月廿五日発行）

<技術の日立>

ラクにみがいて
あとはピカピカ……

洗う、みがくがラクな姿勢でできる二段切替式。ペダルをふむだけで、ハンドルは高低二カ所に固定できますから、階段や棚の下のお掃じも、腰をまげずにラクラクできます。またお掃じの範囲もいままでよりグンと広くなりました。歯車の回転がスムーズですから音は静か。性能は強力日立モートルでスジ金入りです。

■大形の移動車輪で運搬は簡単
■家具を傷めないゴムクッション付
■保守や移動に便利な取外し式コードかけ
●電気掃じ機とあわせてお使いになればより合理的に仕上げられます。

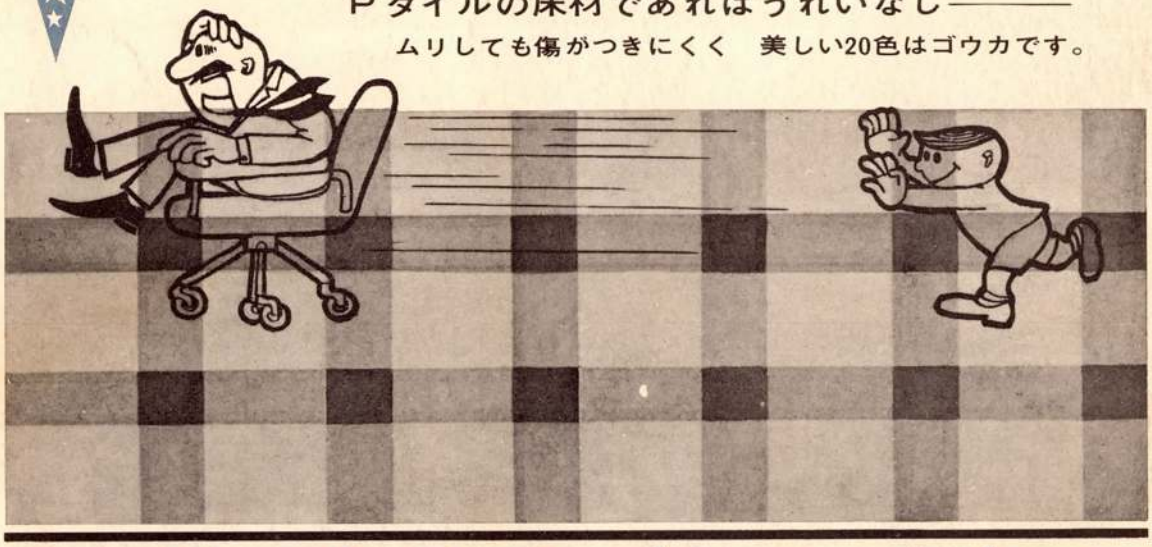
日立フロアポリッシャ
●SF－R1形……38,000円



●SF－R3形
フロアポリッシャ
35,000円

日立

Pタイルの床材であればうれいなし――
ムリしても傷がつきにくく　美しい20色はゴウカです。



三星プラスタイルP

田島応用化工KK
東京／千代田区神田岩本町13 TEL(866)代6101
大阪／西区京町堀1ノ74 TEL(441)代5951
■304.8㎜×304.8㎜／厚さ2㎜
■一面坪￥3500～4000■カタログ進呈.

売価　一部　金百八十円（送料共）

御入会の御申込は……
「建築と社会」発行所　社団法人 日本建築協会 大阪市東区北浜3－37　電話大阪(231)9648・9649・9640
振替口座 大阪39975番